

令和7年度地理空間情報の利用等に関する 実態調査 報告書

2026年1月

国土地理院

目次

調査概要	3
調査結果のポイント	6
調査結果	22
回答者の属性	23
国土地理院の取組や提供するサービスについて	29
国土地理院の取組	29
国土地理院の地図情報サービス	39
国土地理院の防災減災や災害対応	57
国土地理院の国際活動	87
国土地理院の防災地理教育支援	97
地理空間情報の利用に関する実態について	123
位置情報サービス	123
3次元地理空間情報	136
測位技術の高精度化	144
地理空間情報の利用	146
ウェブ地図と紙地図の利用	179
国土地理院や地図・測量に関する要望について	192
参考資料（アンケート画面）	197

調査概要

調査概要

1. 調査目的

国土交通省国土地理院が実施する「地理空間情報の活用に係る施策」について、国民の意見や要望を幅広く把握し、今後の施策の評価・検証に役立てるための基礎情報を収集・分析することを目的とする。国民から寄せられた意見を整理・分析し、今後の情報発信にのりかたを検討するための基礎情報とする。

2. 調査方法

一般利用者（モニター）※ ※アンケート調査を目的とした民間で登録されたモニター

3. 調査期間

令和7年11月11日～令和7年11月14日

4. 調査対象者

全国在住の15歳～99歳までの地図情報利用者

5. 有効回答数

1,000件

6. 回答の信頼性について

本アンケートでは、年齢層に偏りのない意見を収集するため、2025年10月1日現在の総務省統計局による人口推計※1および令和6年通信利用動向調査※2に基づき、15歳～99歳までの人口（8,274万人）の分布比率に準じた年齢構成（誤差3%以内）とした。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上
年齢別調査数	50人	140人	160人	190人	210人	150人	100人
本調査年齢別比率	5.0%	14.0%	16.0%	19.0%	21.0%	15.0%	10.0%
総務相人口推計比率	5.7%	14.1%	14.8%	17.8%	20.0%	14.2%	13.0%
統計比率との差	-0.7%	-0.1%	1.2%	1.2%	1.0%	0.8%	-3.0%

又、性別にも偏りのない意見を収集するため、各年代のモニターの男女比率は、ほぼ同数（誤差2%以内）とした。

※ 1 <https://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/202510.pdf>

※ 2 https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/250530_1.pdf

報告書を読む上での注意点

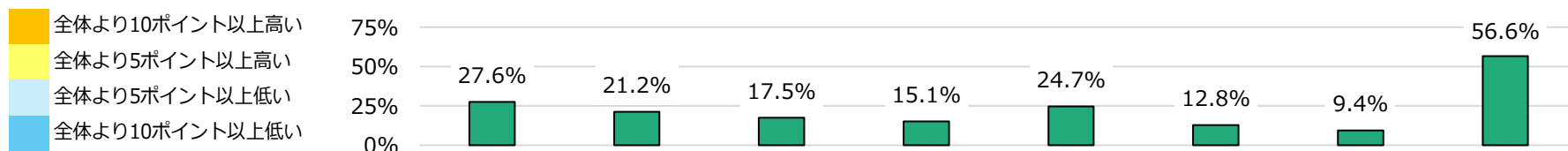
1. 報告書中の「n」は質問に対する回答者数で、比率算出の基数となる。
2. 複数回答の質問においては、総回答数を回答者数（n）で割った比率を回答割合として示しているため、合計が100%を超える場合がある。また、グラフの一部では回答数0（0.0%）を省略しているものがある。
3. 結果数値（%）は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
4. クロス集計において、回答数が10未満の属性については、コメントを省略した。
5. 報告書中では、その解説文や表、グラフにおいて、選択項目の補足部分を省略若しくは判りやすく簡略化して表示した。
6. 本調査の分析に使用する地域は、国土地理院「地方測量部・支所」に準じ、以下の通りの区分である。
 - 北海道： 北海道
 - 東北： 青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県
 - 関東： 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県
 - 北陸： 新潟県・石川県・富山県・福井県
 - 中部： 静岡県・愛知県・岐阜県・三重県
 - 近畿： 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
 - 中国： 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 - 四国： 香川県・愛媛県・徳島県・高知県
 - 九州： 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県
 - 沖縄： 沖縄県
7. 本調査は一般利用者（モニター） ※ 1000名を対象としたものである。そのため、調査結果は、国民全体の意見を一意的に示すものではなく、傾向の把握に資するものである。

※アンケート調査を目的とした民間で登録されたモニター

調査結果のポイント

国土地理院活動の認知度について

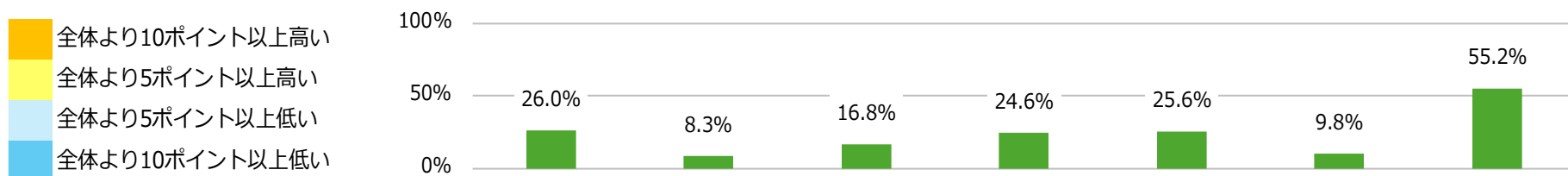
- 国土地理院の活動としては、地理空間情報の作成と提供に関する分野の活動である「位置に関する国家基準の整備と日本全国の座標を精密に測定」、「地図・写真や3Dデータ地理情報の提供(研究・ビジネス・行政・生活の場での利用促進)」、「高品質な地理情報を収集・整備し、広く共有・活用できるように提供」が20%以上の高い認知度を得ていたが、一方で活動を全く知らない方も56.6%と半数以上であった。自由意見では、広く認知されるような方策が必要との意見があった。



		回答者数	位置に関する国家基準の整備と日本全国の座標を精密に測定	高品質な地理情報を収集・整備し、広く共有・活用できるように提供	災害に備え災害リスク把握に役立つ地理空間情報を提供	災害発生時の、地殻変動観測や地図提供を通じた、状況把握・復旧支援	地図・写真や3Dデータ地理情報の提供(研究・ビジネス・行政・生活の場での利用促進)	測量法に則った国内の測量体系の管理や国際標準に関する取組	先端技術を活かした測量技術・地理情報分野の研究開発と専門人材育成	知らない
全体		1000	27.6%	21.2%	17.5%	15.1%	24.7%	12.8%	9.4%	56.6%
年代別	10代	50	20.0%	14.0%	14.0%	12.0%	16.0%	6.0%	8.0%	64.0%
	20代	140	24.3%	17.1%	16.4%	15.0%	20.0%	9.3%	7.9%	60.7%
	30代	160	20.0%	13.8%	10.6%	11.2%	16.2%	8.8%	10.0%	64.4%
	40代	190	21.1%	16.8%	15.8%	13.7%	18.9%	8.4%	6.8%	64.7%
	50代	210	26.2%	21.0%	15.7%	12.9%	26.2%	11.9%	6.2%	58.1%
	60代	150	40.0%	30.0%	22.7%	18.7%	36.0%	20.0%	12.0%	43.3%
	70以上	100	45.0%	38.0%	31.0%	25.0%	40.0%	27.0%	19.0%	36.0%
性別	男性	495	34.1%	28.9%	20.6%	20.4%	31.7%	15.2%	10.9%	47.5%
	女性	498	21.5%	13.7%	14.7%	10.0%	18.1%	10.6%	8.0%	65.3%
	その他	7	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%

国土地理院活動の認知度について

- 国土地理院提供の地図情報に関しては、「地理院地図(ウェブ地図)」、「紙の地形図・地勢図(1万分1、2万5千分1、5万分1、20万分1)」、「空中写真(航空写真)」が20%を超える高い認知度を得ていたが、前問の国土地理院の活動と同様に、55.2%の方が知らないと回答。

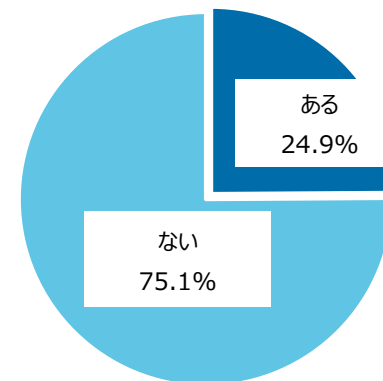


		回答者数	地理院地図 (ウェブ地図)	地図の骨格となる 基盤地図情報 (道路縁や建築 物の外周線などの 13項目)	デジタル地図(電 子地形図 25000、50000 といった地図画像 のデータ)	空中写真(航空 写真)	紙の地形図・地 勢図(1万分1、 2万5千分1、5 万分1、20万分 1)	活断層図などの 主題図(火山、 地震、水害など特 定のテーマに特化 した地図)	知らない
全体		1,000	26.0%	8.3%	16.8%	24.6%	25.6%	9.8%	55.2%
年 代 別	10代	50	28.0%	8.0%	20.0%	18.0%	16.0%	8.0%	56.0%
	20代	140	22.9%	11.4%	14.3%	21.4%	16.4%	7.1%	59.3%
	30代	160	21.3%	6.9%	15.0%	15.0%	15.6%	9.4%	64.4%
	40代	190	25.3%	8.4%	14.7%	21.1%	20.5%	6.3%	63.2%
	50代	210	25.2%	5.2%	15.2%	26.7%	27.6%	8.1%	53.3%
	60代	150	32.0%	6.7%	20.0%	32.0%	39.3%	12.7%	42.0%
	70以上	100	31.0%	15.0%	24.0%	39.0%	44.0%	21.0%	43.0%
性 別	男性	495	32.1%	10.5%	22.6%	28.5%	30.9%	10.9%	47.9%
	女性	498	20.1%	6.2%	11.2%	20.7%	20.7%	8.8%	62.2%
	その他	7	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	71.4%

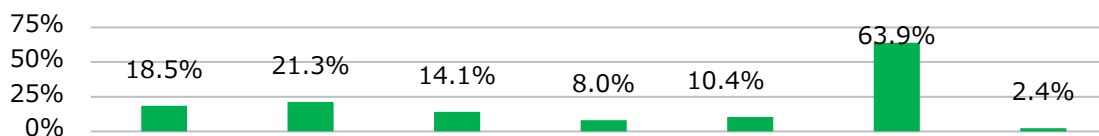
国土地理院活動の認知度について

- 国土地理院提供の地図情報に関しては、全体の24.9%の方がこれらの情報の利用経験があるとの回答であった。

情報の利用経験



- その中で、登山や観光などの趣味での利用が63.9%と圧倒的に高く、次いで、業務目的の21.3%であった。
この傾向は、一般国民を対象とした過去の実態調査結果と同傾向である。



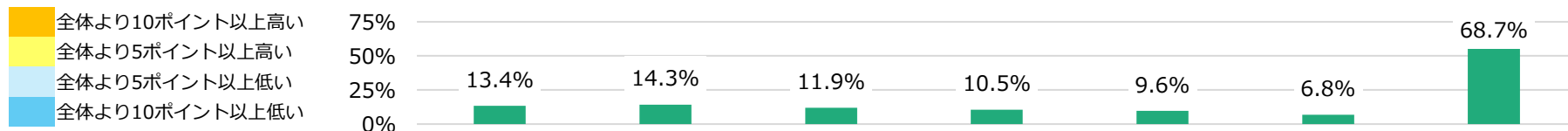
国土地理院が提供している地図等の利用目的(複数回答)	回答者数	行政や学校等の手続き(図の添付等)	業務における報告書(図の添付等)	教育教材	学術の発表・論文(研究・開発)	イベントの広報(展示物・パンフレット)	個人的な趣味(登山や観光など)	その他
	249	18.5%	21.3%	14.1%	8.0%	10.4%	63.9%	2.4%

(参照) ・令和3年度地図の利用等に関するアンケート <https://www.mlit.go.jp/monitor/R4-kadai01/3.pdf>

・平成30年度地理空間情報の利用に関する調査 <https://www.mlit.go.jp/monitor/H30-kadai01/11.pdf>

国土地理院活動の認知度について

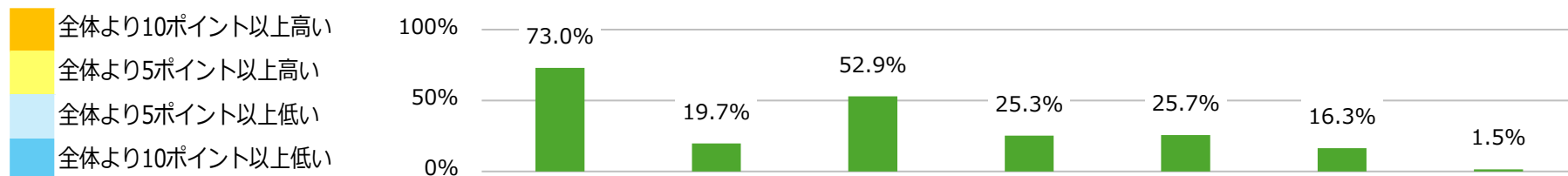
- 防災関連情報に関しては、電子地図が14.3%、地殻変動情報が13.4%と比較的高いが、年代、性別に関係なく知らないとの回答が多く、その比率は全体で68.7%であった。



防災に関連する情報		回答者数	衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)	点・線・面による図形で構成された電子地図	空中写真を補正し地図に重ね合わせた画像	高精度高密度な標高データ	活断層図や地形分類図などの地形特性情報	災害伝承に関する災害履歴情報(自然災害伝承碑等)	知らない
全体		1000	13.4%	14.3%	11.9%	10.5%	9.6%	6.8%	68.7%
年代別	10代	50	12.0%	16.0%	10.0%	10.0%	14.0%	8.0%	66.0%
	20代	140	10.7%	15.7%	10.0%	7.1%	7.1%	5.0%	67.1%
	30代	160	11.2%	10.0%	10.0%	8.1%	7.5%	6.9%	71.9%
	40代	190	10.5%	11.6%	11.1%	8.4%	7.4%	4.7%	75.8%
	50代	210	11.9%	11.9%	11.0%	11.0%	9.0%	5.2%	70.0%
	60代	150	17.3%	17.3%	13.3%	12.7%	10.7%	8.7%	66.7%
	70以上	100	24.0%	24.0%	20.0%	19.0%	18.0%	13.0%	54.0%
性別	男性	495	16.0%	19.2%	14.9%	14.1%	12.5%	9.5%	62.4%
	女性	498	10.8%	9.4%	9.0%	7.0%	6.8%	4.2%	74.9%
	その他	7	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%

国土地理院活動の認知度について

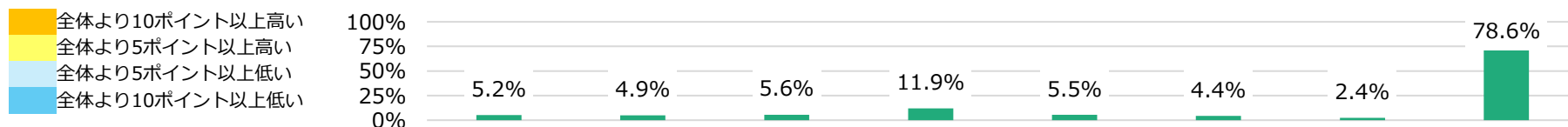
- 災害発生時に活用されるメディアとしては、「テレビ」が73.0%と高く、次いで「PCやスマホのウェブニュース」が52.9%、公共機関のウェブページとSNSは25%台となっている。テレビの利用については、50以上の方で80%を超えており、SNSの利用に関しては、20代が40%と最も高く、30代以降では年代が高くなるにつれ利用率に減少がみられる。新聞については、10代から30代で一桁台と低い傾向がみられる。



		回答者数	テレビ	ラジオ	PCやスマホから見るウェブニュース	PCやスマホから見る公共機関のウェブページ	SNS	新聞	その他
全体		1,000	73.0%	19.7%	52.9%	25.3%	25.7%	16.3%	1.5%
年代別	10代	50	68.0%	20.0%	52.0%	18.0%	32.0%	2.0%	0.0%
	20代	140	52.1%	11.4%	41.4%	18.6%	40.0%	7.9%	4.3%
	30代	160	68.8%	13.1%	52.5%	25.0%	35.6%	7.5%	0.6%
	40代	190	70.5%	20.0%	48.4%	22.6%	29.5%	14.2%	0.0%
	50代	210	80.0%	22.4%	56.7%	28.6%	19.0%	16.2%	1.0%
	60代	150	86.7%	26.7%	61.3%	35.3%	17.3%	24.0%	1.3%
	70以上	100	81.0%	25.0%	58.0%	22.0%	6.0%	42.0%	4.0%
性別	男性	495	71.5%	22.4%	55.6%	28.3%	22.6%	17.2%	1.2%
	女性	498	75.3%	17.3%	51.0%	22.5%	28.9%	15.3%	1.4%
	その他	7	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%

国土地理院活動の認知度について

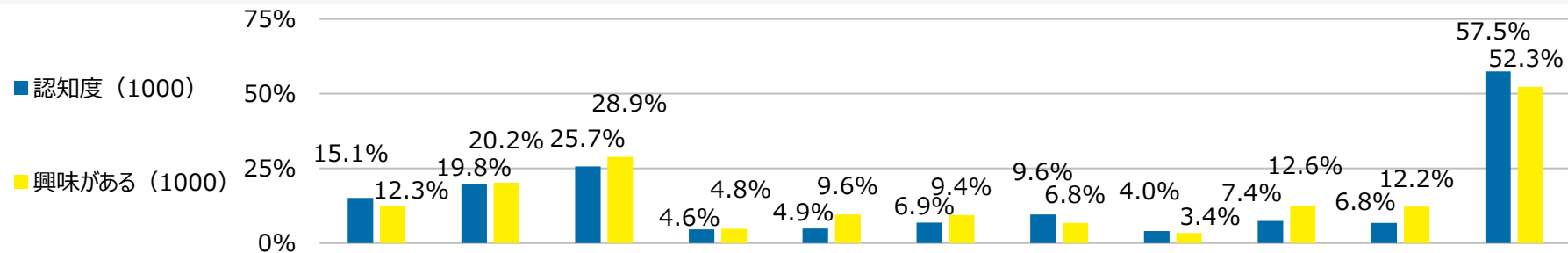
- 国際活動に関しては、南極観測が11.9%と比較的高い数字ではあったが、年代、性別に関係なく70%以上の方が知らないと回答。



国際活動の認知度		回答者数	国連「地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会」への参加	国連「国連地名専門家会合/国連地名標準化会議」への参加	国連「衛星航法システムに関する国際委員会」への参加	南極観測	開発途上国への技術協力（JICAと連携した研修生の受け入れや専門家としての海外派遣）	国際共同観測（GNSSやVLBI等のグローバル測地観測・国際重力測定）	二国間科学技術協力	知らない
全体		1000	5.2%	4.9%	5.6%	11.9%	5.5%	4.4%	2.4%	78.6%
年代別	10代	50	12.0%	6.0%	6.0%	8.0%	6.0%	8.0%	4.0%	78.0%
	20代	140	6.4%	7.9%	11.4%	7.9%	5.0%	4.3%	5.7%	72.9%
	30代	160	4.4%	6.9%	4.4%	10.6%	6.2%	6.2%	2.5%	76.9%
	40代	190	5.8%	3.7%	4.7%	8.9%	3.2%	2.1%	2.6%	83.2%
	50代	210	1.4%	1.9%	3.3%	10.0%	4.3%	2.9%	0.0%	83.8%
	60代	150	6.7%	6.7%	6.0%	15.3%	5.3%	4.7%	1.3%	78.7%
	70以上	100	6.0%	3.0%	5.0%	26.0%	12.0%	7.0%	3.0%	70.0%
性別	男性	495	6.3%	7.3%	8.1%	14.3%	7.3%	5.7%	3.4%	74.3%
	女性	498	4.0%	2.6%	3.2%	9.6%	3.8%	3.2%	1.4%	82.7%
	その他	7	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%

国土地理院活動の認知度について

- 教育に役立つ国土地理院コンテンツに関しては、「ハザードマップポータルサイト」が25.7%と高く、次いで「地理院地図(ウェブ地図)」が19.8%、「地形図/電子国土基本図」が15.1%と認知度が高くなっている。認知度の高いコンテンツには同様に高い興味向けられる傾向がみられた。認知度は10%未満と高くなかったが、浸水ナビや空中写真閲覧サービスには12%を超える興味が集まっていた。



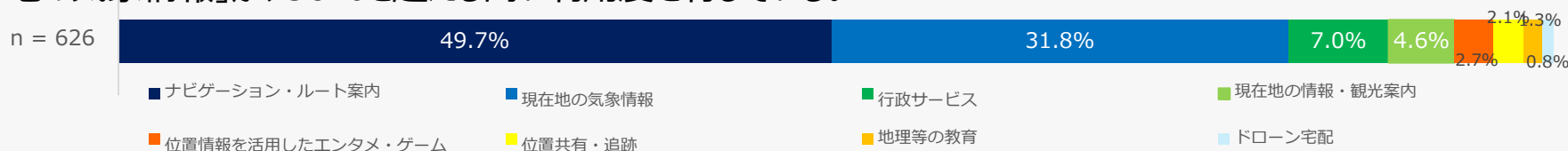
教育に役立つ国土地理院コンテンツ	回答者数	地形図/電子国土基本図(紙地図や地形図の画像データ/地理院地図に掲載する標準地図や写真および地名情報)	地理院地図(ウェブ地図)	ハザードマップポータルサイト	地理教育の道具箱	自然災害伝承碑	土地の成り立ちや土地利用等に関する地形特性情報(活断層図や地形分類図等)	基準点(三角点・水準点・電子基準点)	外国人にも分かりやすい地図記号	浸水ナビ	空中写真閲覧サービス	知らない
認知度 (1000)	1000	15.1%	19.8%	25.7%	4.6%	4.9%	6.9%	9.6%	4.0%	7.4%	6.8%	57.5%
興味がある (1000)	1000	12.3%	20.2%	28.9%	4.8%	9.6%	9.4%	6.8%	3.4%	12.6%	12.2%	52.3%

地理空間情報の利用関連

- 位置情報サービスに関しては、「ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)」、「現在地の気象情報」が40%を超える高い認知度を有しており、次いで、「現在地の情報・観光案内」、「行政サービス(防災マップ・ハザードマップ表示・避難所案内アプリなど)」が20%以上の高い認知度となっている。これらサービスに関しては、60歳以上の方に特に認知度が高い傾向がみられる。

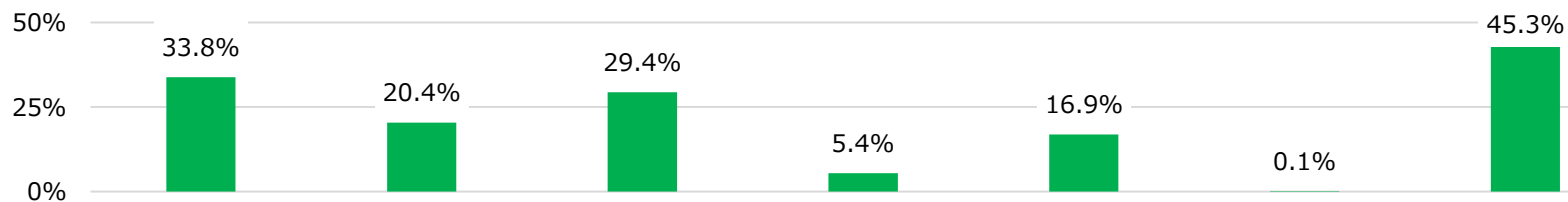
位置情報サービスの利用	回答者数	全体より10ポイント以上高い		全体より5ポイント以上高い		全体より5ポイント以上低い		全体より10ポイント以上低い		その他	特にない	
		ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)	行政サービス(防災マップ・ハザードマップ表示・避難所案内アプリなど)	現在地の気象情報(お天気アプリ・雨雲レーダーなど)	現在地の情報・観光案内(周辺レストラン・観光地検索など)	位置情報を活用したエンタメ・ゲーム(位置連動ゲーム・スタンプラリーなど)	ドローン宅配	地理等の教育	位置共有・追跡(子供の見守り・荷物追跡・居場所共有アプリなど)			
全体	1000	48.7%	25.3%	41.3%	26.0%	3.0%	9.6%	5.2%	10.5%	0.1%	37.4%	
年代別	10代	50	38.0%	14.0%	36.0%	16.0%	8.0%	12.0%	12.0%	10.0%	0.0%	38.0%
	20代	140	40.0%	16.4%	30.0%	21.4%	4.3%	9.3%	4.3%	7.1%	0.0%	42.1%
	30代	160	43.1%	20.6%	33.8%	21.2%	3.1%	18.8%	5.0%	13.1%	0.0%	43.8%
	40代	190	44.2%	21.1%	35.3%	23.2%	3.2%	10.5%	4.2%	14.2%	0.0%	46.3%
	50代	210	51.9%	26.7%	44.8%	30.0%	0.5%	7.1%	6.2%	11.4%	0.0%	33.8%
	60代	150	60.0%	33.3%	54.7%	34.0%	3.3%	7.3%	3.3%	7.3%	0.0%	29.3%
70以上	100	60.0%	44.0%	56.0%	30.0%	3.0%	1.0%	6.0%	7.0%	1.0%	23.0%	
最も利用する	626	49.7%	7.0%	31.8%	4.6%	0.8%	2.7%	1.3%	2.1%	0.0%		

- これらの中でも、最も利用するサービスとしては「ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)」、「現在地の気象情報」が、30%を超える高い利用度を有している。



地理空間情報の利用関連

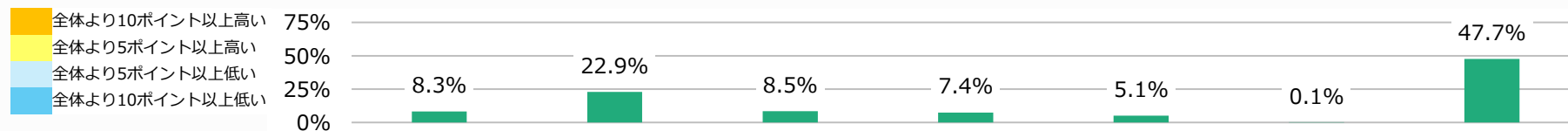
- 3次元地理空間情報に対しては、「車の自動運転」、「土砂災害危険区域や浸水想定区域等の災害リスクの確認、避難行動の検討」、「ドローン配送」の順の役立ち度/期待度となっている。



3次元地理空間情報	回答者数	車の自動運転	ドローン配送	土砂災害危険区域や浸水想定区域等の災害リスクの確認、避難行動の検討	ゲーム空間 (都市を再現したもの)	都市計画や道路設計	その他	特にない
全体	1000	33.8%	20.4%	29.4%	5.4%	16.9%	0.1%	45.3%

地理空間情報の利用関連

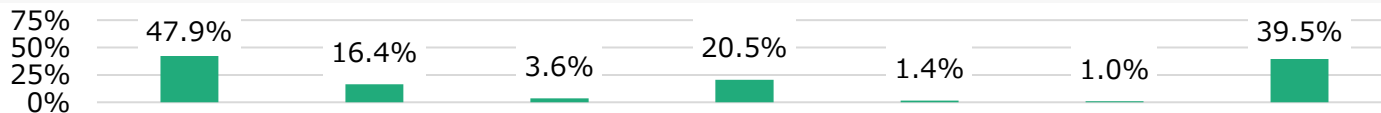
- 測位技術の進化にともなう地理空間データの高精度化で実現する期待に関しては、「運送業や倉庫業等、物流の自動化」が22.9%と期待が集中し、全国的に高い期待値となっている。「空飛ぶクルマの運行」や、「農業分野の自動化促進」が8%台であり特徴的な結果となっている。



地理空間データの高精度化		回答者数	空飛ぶクルマの運行	運送業や倉庫業等、物流の自動化	農業分野の自動化促進	測量・土木・建築分野の自動化	新たな産業の創出	その他	特にない
全体		1000	8.3%	22.9%	8.5%	7.4%	5.1%	0.1%	47.7%
地区別	北海道	49	4.1%	22.4%	14.3%	6.1%	6.1%	0.0%	46.9%
	東北	75	6.7%	16.0%	4.0%	10.7%	8.0%	0.0%	54.7%
	関東	416	9.1%	20.4%	11.1%	6.5%	4.8%	0.0%	48.1%
	北陸	36	8.3%	27.8%	8.3%	11.1%	5.6%	0.0%	38.9%
	中部	125	8.0%	28.8%	6.4%	8.8%	4.8%	0.0%	43.2%
	近畿	184	7.6%	22.8%	5.4%	7.1%	4.9%	0.5%	51.6%
	中国	35	0.0%	20.0%	8.6%	2.9%	11.4%	0.0%	57.1%
	四国	18	16.7%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%
	九州	57	14.0%	31.6%	3.5%	8.8%	1.8%	0.0%	40.4%
	沖縄	5	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%

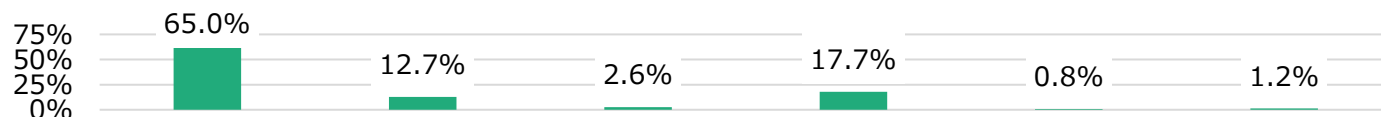
地理空間情報の利用関連

- 地理空間情報の利用目的としては、「旅行・観光」が47.9%と「趣味」20.5%や「仕事・出張」16.4%を大きく引き離している。



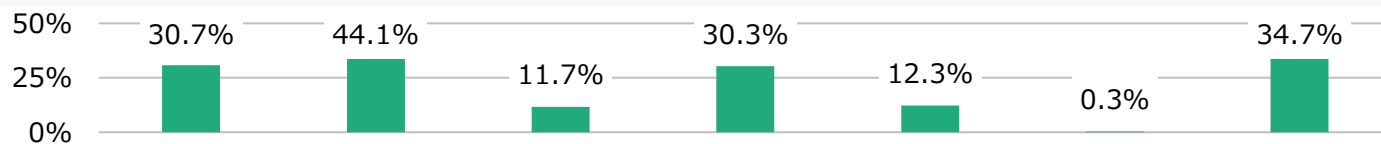
地理空間情報の利用目的	回答者数	旅行・観光	仕事・出張	教材	趣味	研究・技術開発	その他	利用しない
全体	1000	47.9%	16.4%	3.6%	20.5%	1.4%	1.0%	39.5%

- その利用頻度に関しても、同様の順となっている。



最も利用する目的	回答者数	旅行・観光	仕事・出張	教材	趣味	研究・技術開発	その他
全体	605	65.0%	12.7%	2.6%	17.7%	0.8%	1.2%

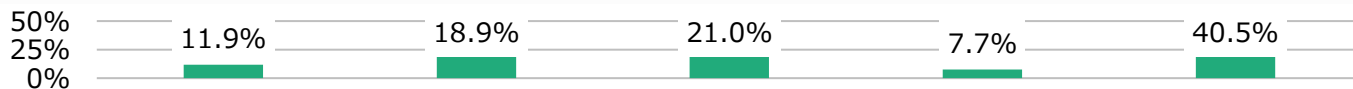
- これらの中でも「携帯端末を利用したウェブ地図」の利用が44.1%と高い数値を示しており、次いで「PCを利用したウェブ地図」、「カーナビ」での利用が30%を超えて高い数値を示している。



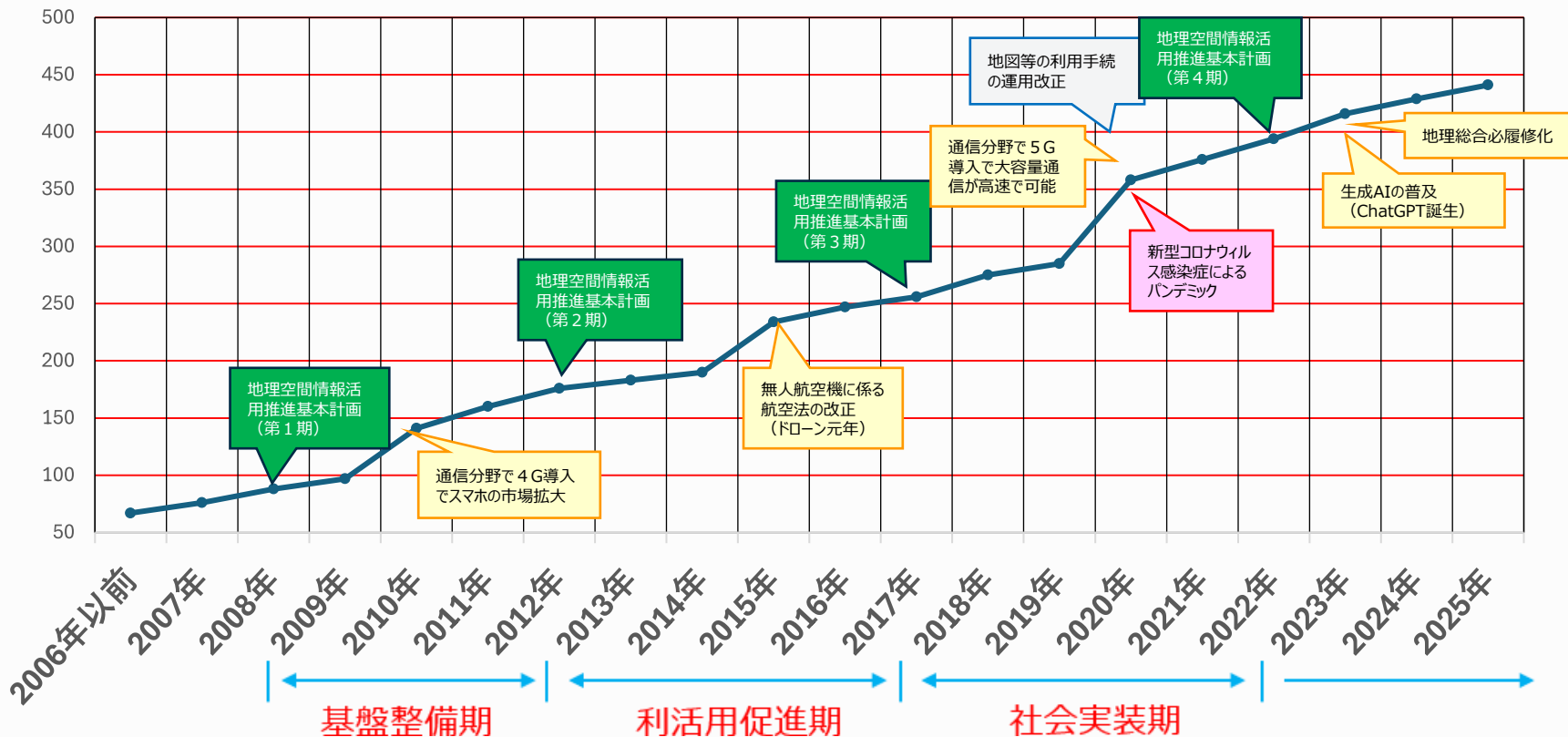
利用した地理空間情報の種類	回答者数	ウェブ地図 (PC使用)	ウェブ地図 (携帯端末使用)	紙の地図 (購入するもの。地図帳等も含む)	カーナビ	案内標識板	その他	利用しない
全体	1000	30.7%	44.1%	11.7%	30.3%	12.3%	0.3%	34.7%

地理空間情報の利用関連

- 地理空間情報の貢献度に関しては、51.8%の方が社会の中で高度に活用されていると感じている。その活用の顕在化が、2020年と答えた方が、活用されていると感じた方の内14.1%と高い数値をしめしており、社会情勢等を勘案すると意識の変化のきっかけがあると考えられる。

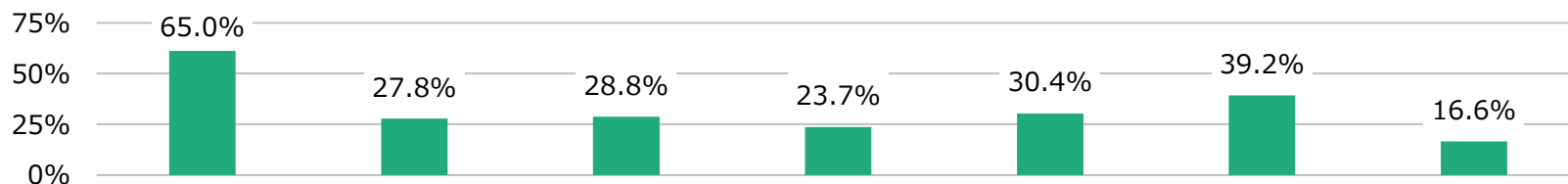


高度に活用されていると感じます	回答者数	大いに感じる	そう感じる	ある程度感じる	まったく感じない	分からない
全体	1000	11.9%	18.9%	21.0%	7.7%	40.5%



地理空間情報の利用関連

- 地理空間情報に求める要件としては、「位置情報の正確性」が65%と最も重視されており、次いで「内容の信頼性」39.2%、「入手の容易さ（インターネットによる入手・費用）」が30.4%「操作の簡易性」が28.8%、「更新時期」が27.8%と情報の正確さと利用の利便性に係る点が重視されている事がわかる。

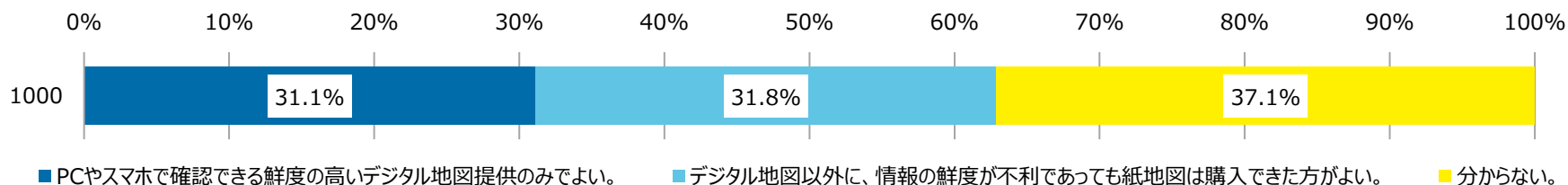


地理空間情報に求める要件	回答者数	位置情報の正確性	更新時期	操作の簡易性 (データ仕様の 使いやすさ)	豊富な情報量	入手の容易さ (インターネットによる入手・ 費用)	内容の信頼性	再利用の容易さ (CCライセンス の明示)
全体	1000	65.0%	27.8%	28.8%	23.7%	30.4%	39.2%	16.6%

地理空間情報の利用関連

- 紙情報の必要性に関しては、デジタル地図のみの提供で良いと回答した人は31.1%にとどまり、紙地図の購入オプションがあった方が良いと回答した人が31.8%、どちらが良いかわからないとの回答が37.1%となった。但し、紙地図の購入に関しては、55.6%の人が有料なら購入しないとの回答。有料なら購入しないとの回答は30代以下で60%以上と特に高い傾向がみられた。

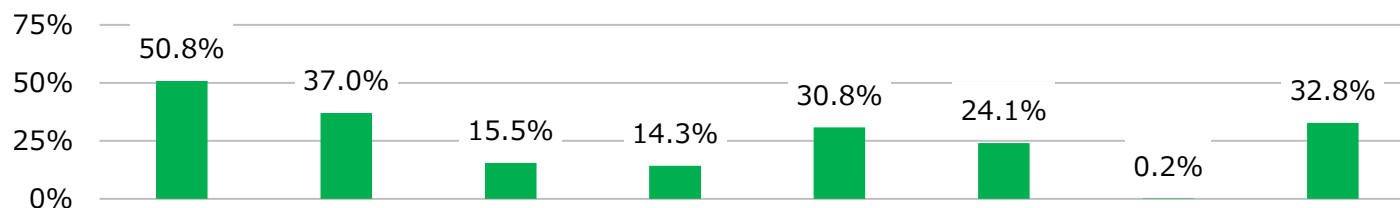
紙情報の必要性



紙地図の購入		回答者数	2001円超	1501円～2000円	1001円～1500円	801円～1000円	501円～800円	500円以下	有料なら購入しない
全体		1000	3.4%	6.6%	7.0%	8.9%	6.3%	12.2%	55.6%
年代別	10代	50	2.0%	10.0%	2.0%	10.0%	6.0%	4.0%	66.0%
	20代	140	4.3%	6.4%	5.0%	6.4%	6.4%	9.3%	62.1%
	30代	160	5.0%	5.0%	8.8%	3.8%	3.8%	7.5%	66.2%
	40代	190	3.7%	3.7%	4.2%	10.0%	5.8%	14.2%	58.4%
	50代	210	2.9%	7.1%	5.7%	10.0%	7.6%	12.9%	53.8%
	60代	150	0.7%	10.7%	10.7%	12.7%	6.0%	16.7%	42.7%
	70以上	100	5.0%	6.0%	12.0%	10.0%	9.0%	16.0%	42.0%

地理空間情報の利用関連

- ウェブ地図利用の利点としては、「利用・入手の手軽さ」50.8%と高く、次いで「位置情報との連動」37.8%、「持ち歩きに便利」30.8%が高い数値を示している。



ウェブ地図を利用する利点	回答者数	利用・入手の手軽さ (スマホやPCでの利用)	位置情報との連動	共有のしやすさ	シームレス (印刷範囲に制限されない)	持ち歩きに便利	情報検索のしやすさ	その他	特にない
全体	1000	50.8%	37.0%	15.5%	14.3%	30.8%	24.1%	0.2%	32.8%

調査結果

調査結果のコメントに関しては、以下の通りとする。ただし、標本数が少ない場合は、傾向に関するコメントはしない。

平均より10%以上高い: 高い傾向

平均より5%以上高い: やや高い傾向

平均の±5%未満: 差はあまりみられない

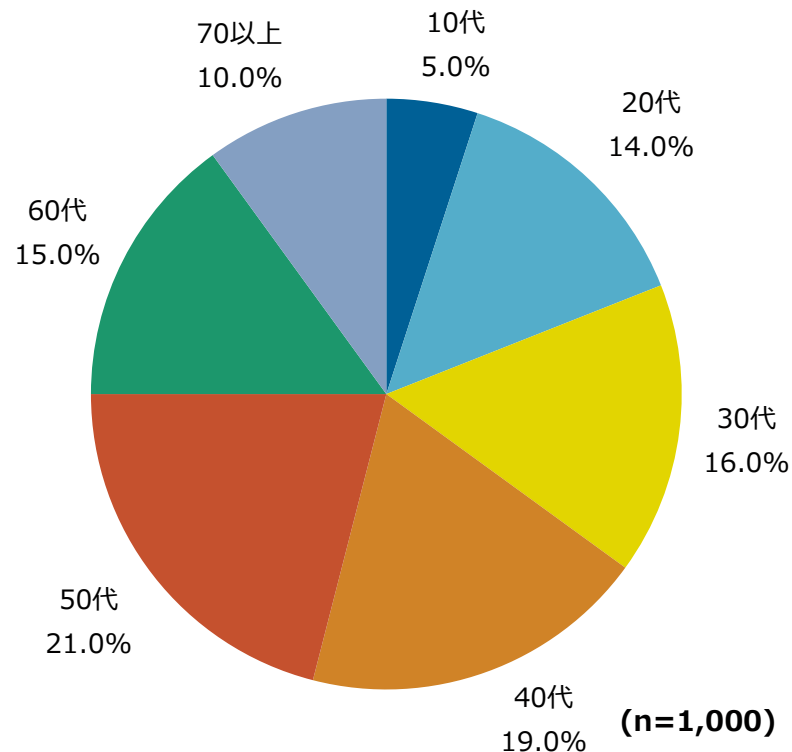
平均より5%以上低い: やや低い傾向

平均より10%以上低い: 低い傾向

回答者の属性 年代

- 2025年10月1日現在の総務省統計局による人口推計および令和6年通信利用動向調査に基づく、15歳～99歳までの人口の分布比率に準じた年齢構成として、10代(15～19)が5%、20代が14%、30代16%、40代19%、50代21%、60代15%、そして70以上(70～99)が10%の構成となっている。

年代	回答者数	割合
10代	50	5.0%
20代	140	14.0%
30代	160	16.0%
40代	190	19.0%
50代	210	21.0%
60代	150	15.0%
70以上	100	10.0%
合計	1,000	100.0%

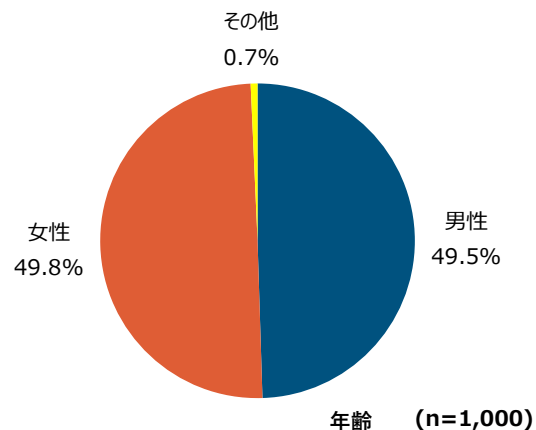


問1 年齢を教えてください。

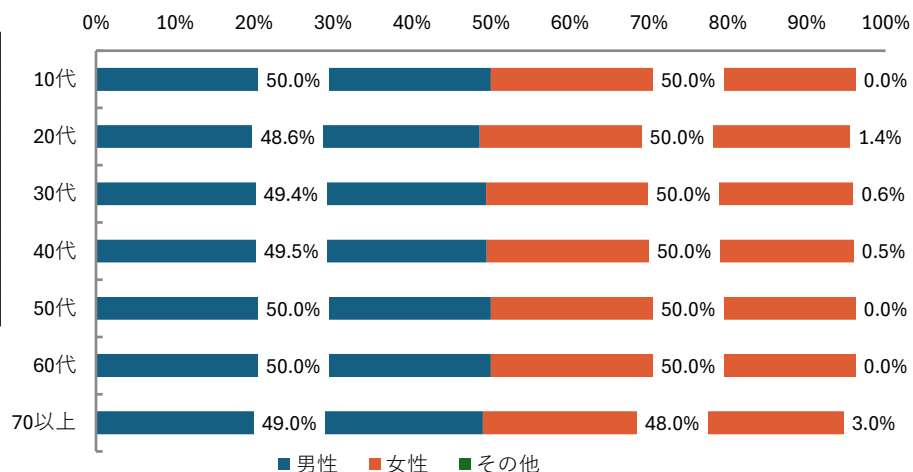
回答者の属性 性別

- モニターの男女比率は、ほぼ同数（誤差2%以内）となっている。

性別	回答者数	割合
男性	495	49.5%
女性	498	49.8%
その他	7	0.7%
合計	1,000	100.0%



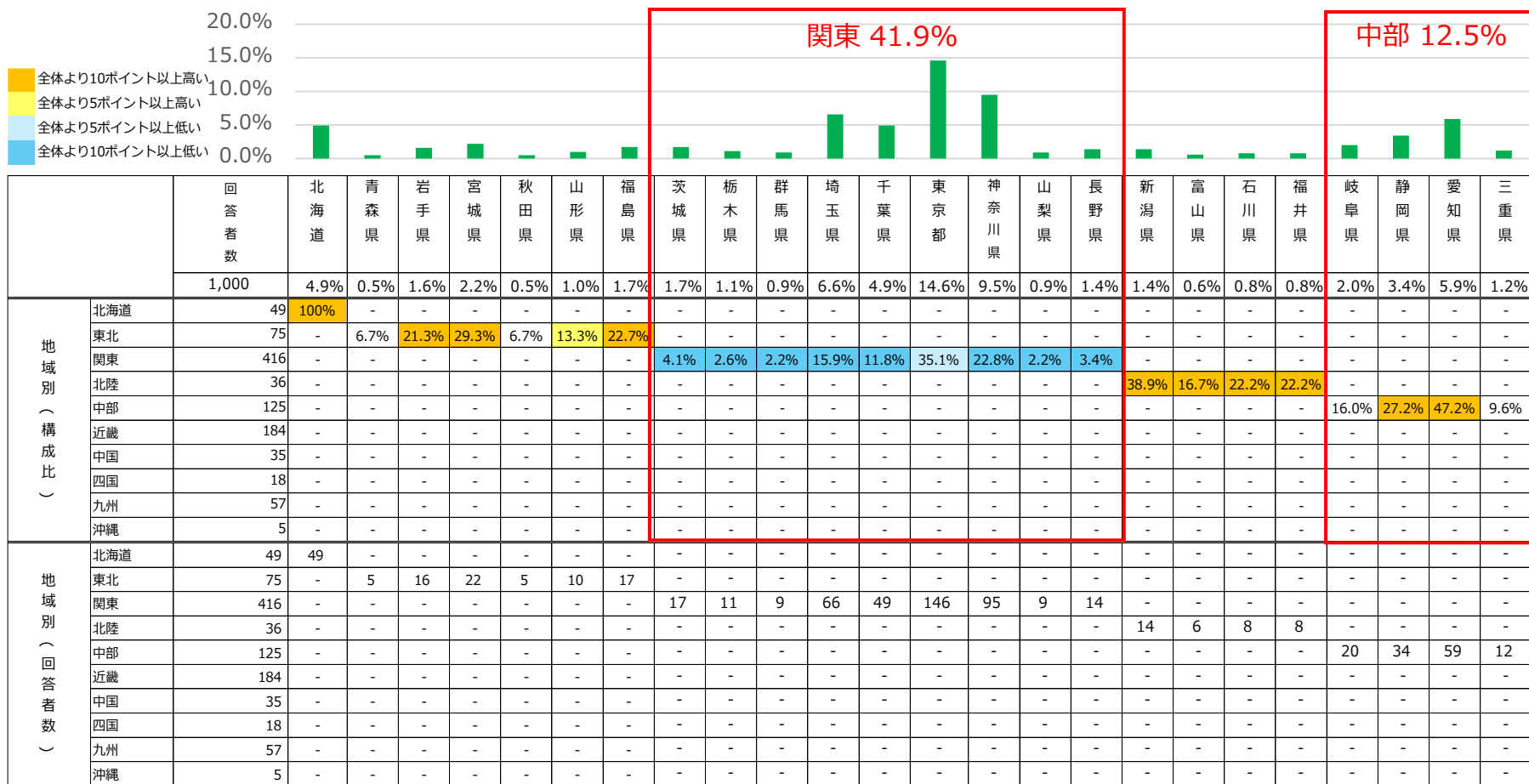
		回答者数	男性	女性	その他
全体		1,000	49.5%	49.8%	0.7%
年 齢	10代	50	50.0%	50.0%	0.0%
	20代	140	48.6%	50.0%	1.4%
	30代	160	49.4%	50.0%	0.6%
	40代	190	49.5%	50.0%	0.5%
	50代	210	50.0%	50.0%	0.0%
	60代	150	50.0%	50.0%	0.0%
	70以上	100	49.0%	48.0%	3.0%



問2 性別をおしえてください。

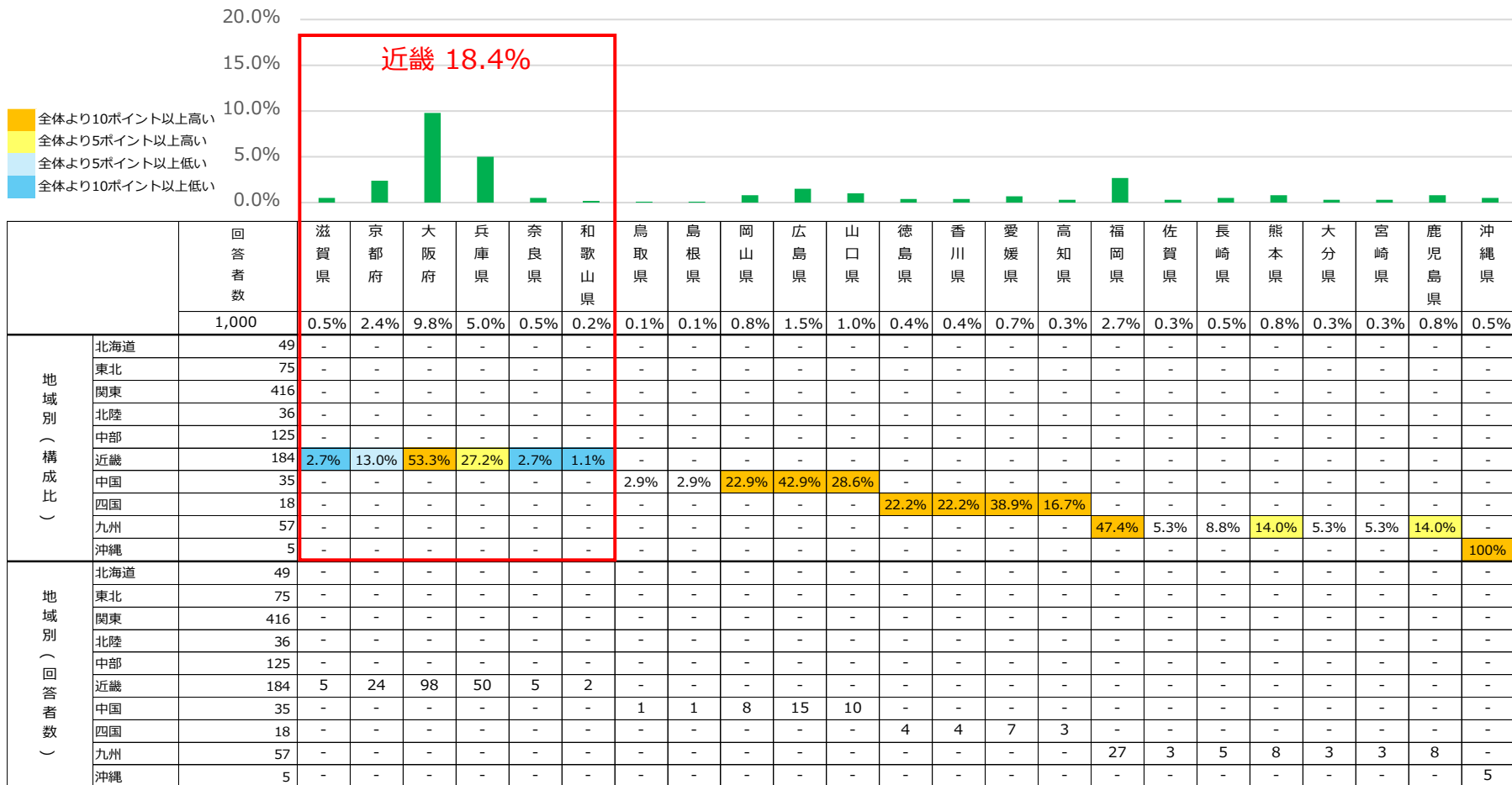
回答者の属性 居住地

- 47都道府県全てより回答あり。
- 地域別で見ると、関東が41.9%、近畿が18.4%、次いで中部が12.5%の順となっており、その他の地域は、10%を下回る回答となっている。



問3 お住まいの都道府県をおしえてください。

回答者の属性 居住地

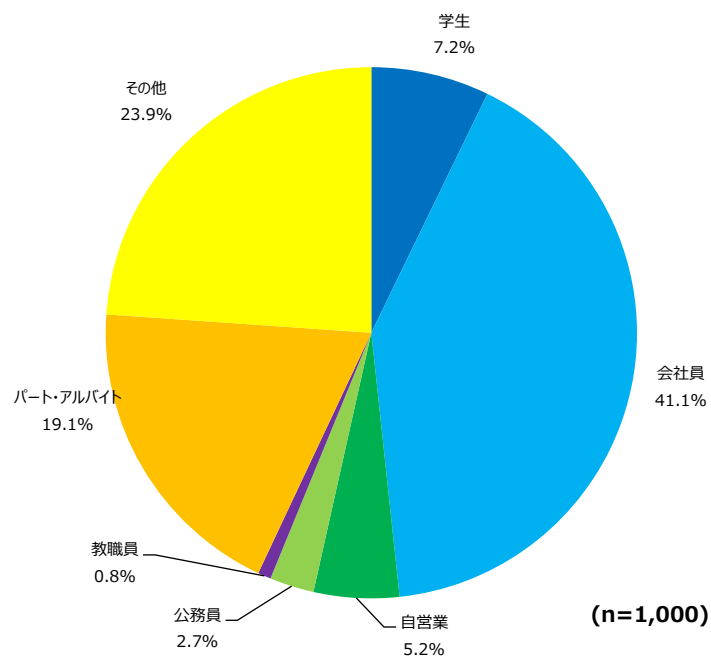


問3 お住まいの都道府県をおしえてください。

回答者の属性 職業

- 全体としては、会社員が41.1%と最も高く、次にパート・アルバイトの回答の方が19.1%と多くなっている。その他の回答も23.9%と高い比率となっている。

職業	件数	割合
学生	72	7.2%
会社員	411	41.1%
自営業	52	5.2%
公務員	27	2.7%
教職員	8	0.8%
パート・アルバイト	191	19.1%
その他	239	23.9%
合計	1000	100.0%



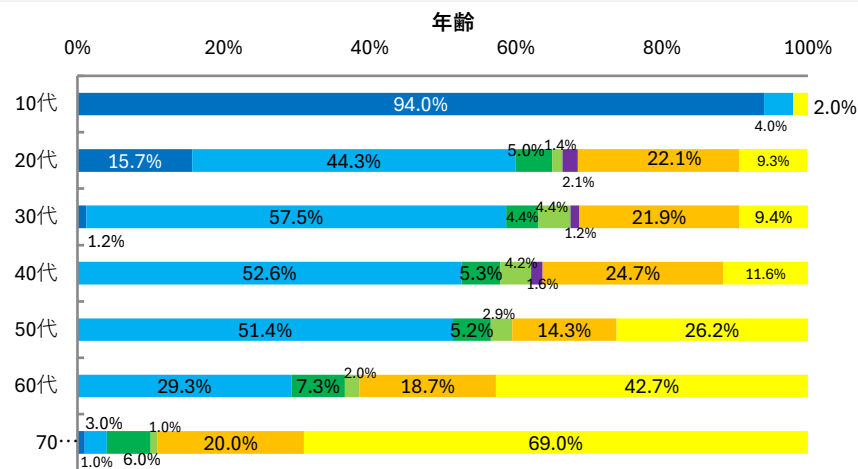
問4 ご職業をおしえてください。

回答者の属性 職業(年齢別・性別)

- 10代は94%が「学生」であり、20代から50代では「会社員」が最も多い。50代以降は「その他」の増加が顕著であり、60代以上は退職された方が多い。

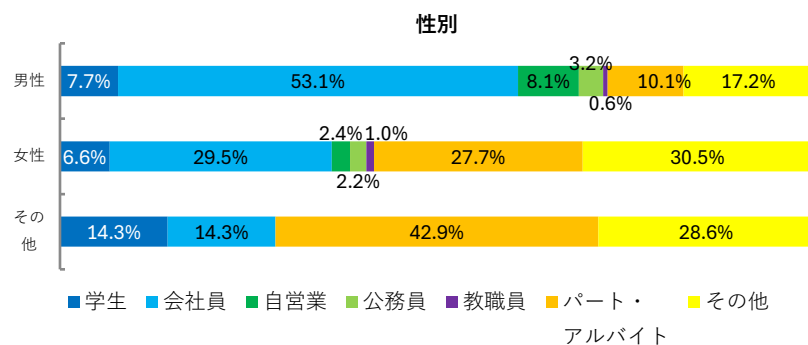
(n=1,000)

		回答者数	学生	会社員	自営業	公務員	教職員	パート・アルバイト	その他
年代別	10代	50	94.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
	20代	140	15.7%	44.3%	5.0%	1.4%	2.1%	22.1%	9.3%
	30代	160	1.2%	57.5%	4.4%	4.4%	1.2%	21.9%	9.4%
	40代	190	0.0%	52.6%	5.3%	4.2%	1.6%	24.7%	11.6%
	50代	210	0.0%	51.4%	5.2%	2.9%	0.0%	14.3%	26.2%
	60代	150	0.0%	29.3%	7.3%	2.0%	0.0%	18.7%	42.7%
	70代	100	1.0%	3.0%	6.0%	1.0%	0.0%	20.0%	69.0%



(n=1,000)

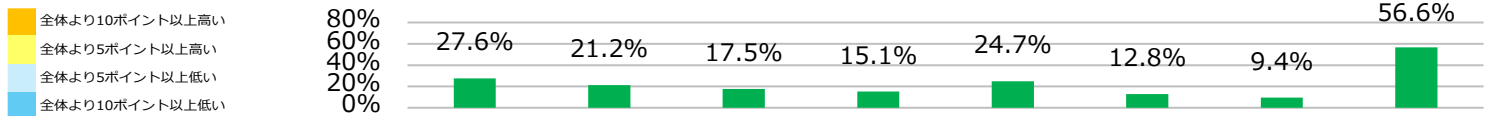
		回答者数	学生	会社員	自営業	公務員	教職員	パート・アルバイト	その他
性別	男性	495	7.7%	53.1%	8.1%	3.2%	0.6%	10.1%	17.2%
	女性	498	6.6%	29.5%	2.4%	2.2%	1.0%	27.7%	30.5%
	その他	7	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	28.6%



問4 ご職業をおしえてください。

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 1. 国土地理院の取組

- 全体では、「位置に関する国家基準の整備と日本全国の座標を精密に測定」、「地図・写真や3Dデータ地理情報の提供(研究・ビジネス・行政・生活の場での利用促進)」、「高品質な地理情報を収集・整備し、広く共有・活用できるように提供」が20%以上の高い認知度を得ている。知らないとの回答が最も多く56.6%であった。

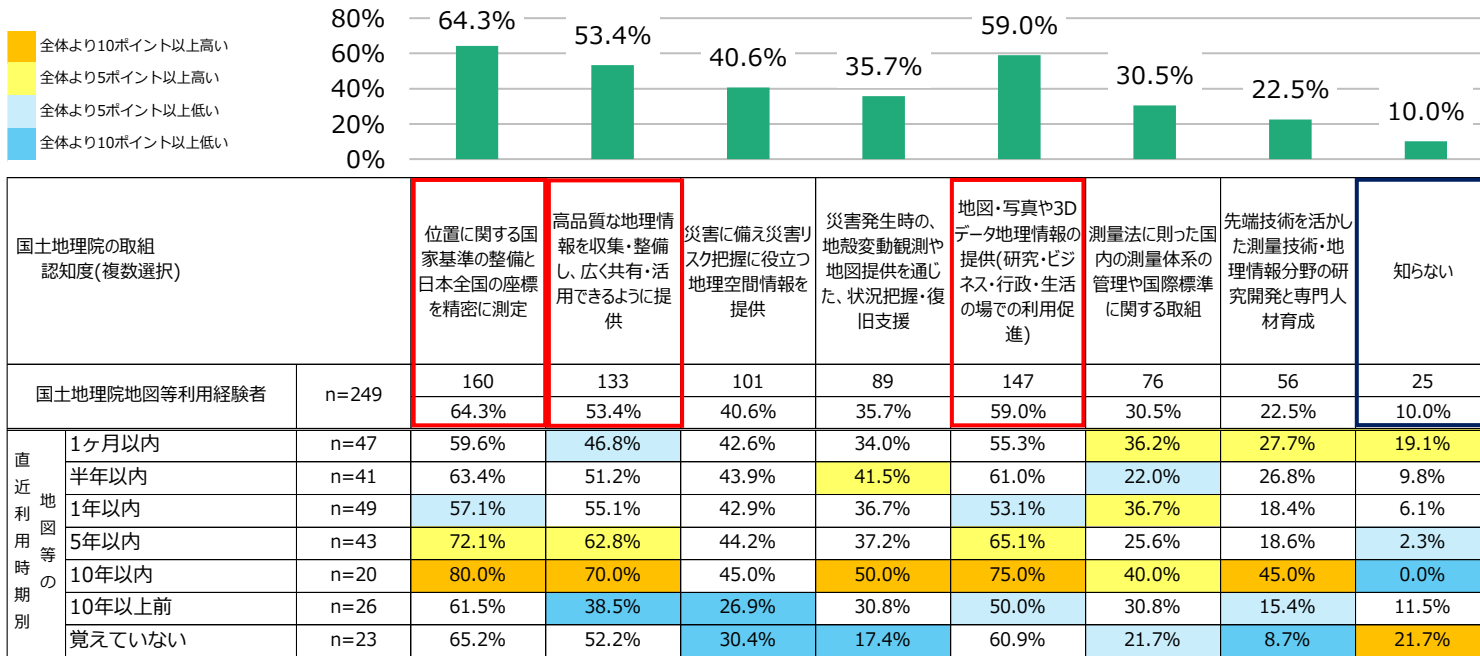


国土地理院の取組 認知度(複数選択)		位置に関する国家基準の整備と日本全国の座標を精密に測定	高品質な地理情報を収集・整備し、広く共有・活用できるように提供	災害に備え災害リスク把握に役立つ地理空間情報を提供	災害発生時の、地殻変動観測や地図提供を通じた、状況把握・復旧支援	地図・写真や3Dデータ地理情報の提供(研究・ビジネス・行政・生活の場での利用促進)	測量法に則った国内の測量体系の管理や国際標準に関する取組	先端技術を活かした測量技術・地理情報分野の研究開発と専門人材育成	知らない	
全体	n=1000	276 27.6%	212 21.2%	175 17.5%	151 15.1%	247 24.7%	128 12.8%	94 9.4%	566 56.6%	
年代別	10代	n=50	20.0%	14.0%	14.0%	12.0%	16.0%	6.0%	8.0%	64.0%
	20代	n=140	24.3%	17.1%	16.4%	15.0%	20.0%	9.3%	7.9%	60.7%
	30代	n=160	20.0%	13.8%	10.6%	11.3%	16.3%	8.8%	10.0%	64.4%
	40代	n=190	21.1%	16.8%	15.8%	13.7%	18.9%	8.4%	6.8%	64.7%
	50代	n=210	26.2%	21.0%	15.7%	12.9%	26.2%	11.9%	6.2%	58.1%
	60代	n=150	40.0%	30.0%	22.7%	18.7%	36.0%	20.0%	12.0%	43.3%
	70以上	n=100	45.0%	38.0%	31.0%	25.0%	40.0%	27.0%	19.0%	36.0%
性別	男性	n=495	34.1%	28.9%	20.6%	20.4%	31.7%	15.2%	10.9%	47.5%
	女性	n=498	21.5%	13.7%	14.7%	10.0%	18.1%	10.6%	8.0%	65.3%
	その他	n=7	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
地域別	北海道	n=49	38.8%	26.5%	26.5%	22.4%	20.4%	16.3%	10.2%	49.0%
	東北	n=75	17.3%	12.0%	10.7%	9.3%	18.7%	9.3%	5.3%	66.7%
	関東	n=416	26.2%	22.1%	16.1%	13.7%	24.5%	11.5%	8.7%	57.0%
	北陸	n=36	38.9%	25.0%	13.9%	16.7%	33.3%	19.4%	8.3%	38.9%
	中部	n=125	28.0%	22.4%	22.4%	15.2%	31.2%	15.2%	11.2%	53.6%
	近畿	n=184	25.5%	20.1%	20.1%	19.6%	22.8%	13.0%	10.3%	58.7%
	中国	n=35	28.6%	17.1%	11.4%	11.4%	20.0%	14.3%	11.4%	60.0%
	四国	n=18	50.0%	27.8%	11.1%	11.1%	38.9%	22.2%	16.7%	44.4%
	九州	n=57	33.3%	19.3%	19.3%	15.8%	24.6%	10.5%	10.5%	59.6%
	沖縄	n=5	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%
の紙地図利用	デジタル地図のみでよい	n=311	31.2%	25.4%	23.5%	20.6%	28.0%	12.5%	10.0%	46.6%
	紙地図提供必要	n=318	45.0%	36.8%	27.4%	23.6%	42.5%	24.5%	16.0%	33.6%
	分からない	n=371	9.7%	4.3%	4.0%	3.2%	6.7%	3.0%	3.2%	84.6%

問B1(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 1. 国土地理院の取組

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でみても、「位置に関する国家基準の整備と日本全国の座標を精密に測定」、「地図・写真や3Dデータ地理情報の提供(研究・ビジネス・行政・生活の場での利用促進)」、「高品質な地理情報を収集・整備し、広く共有・活用できるように提供」が50%以上の高い認知度を得ている。国土地理院の地図等の利用経験者では、知らないとの回答は10.0%であった。



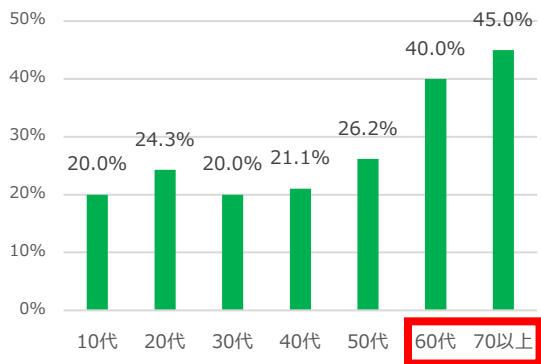
問B1(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 1. 国土地理院の取組

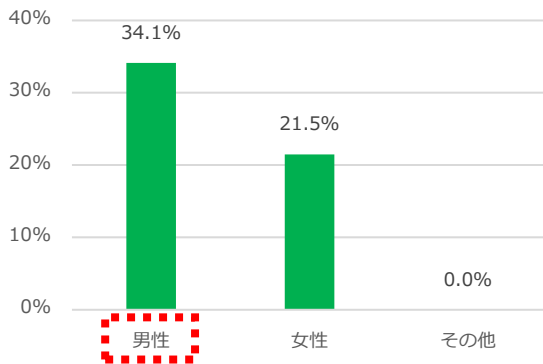
位置に関する国家基準の整備と日本全国の座標を精密に測定

- 「位置に関する国家基準の整備と日本全国の座標を精密に測定」認知度(全体27.6%)は、年代別では60代、70以上で、地域別にみると四国、北陸、北海道で高い傾向がみられる。性別では男性で、やや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は64.3%で、時期別では5年以内と回答した人でやや高い傾向、10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

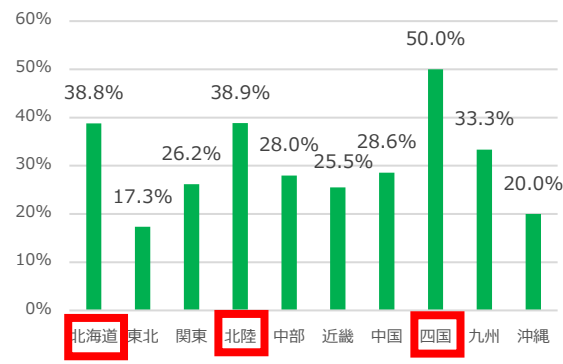
年代別



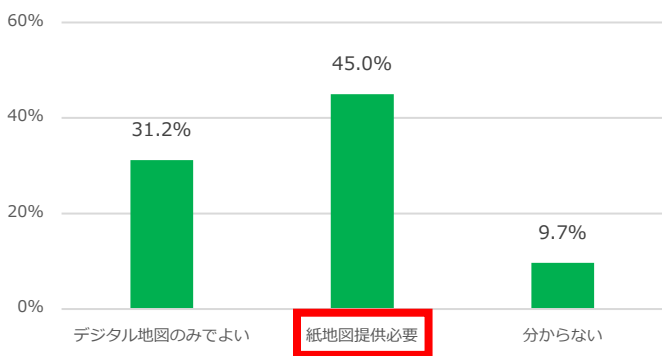
性別



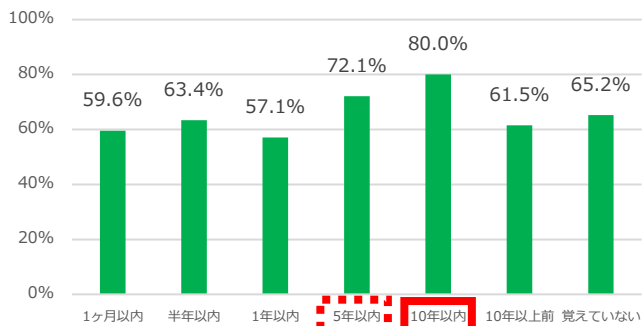
地域別



紙地図の利用要望別



直近利用状況別(n = 249)

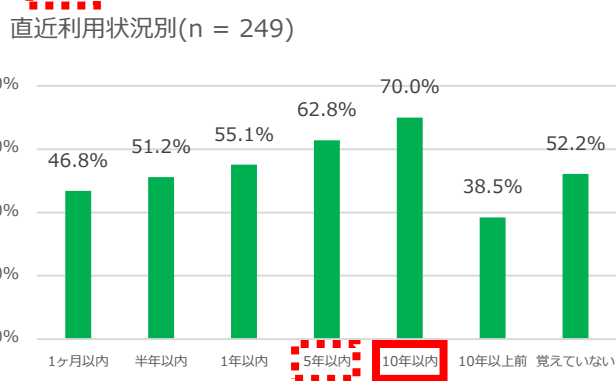
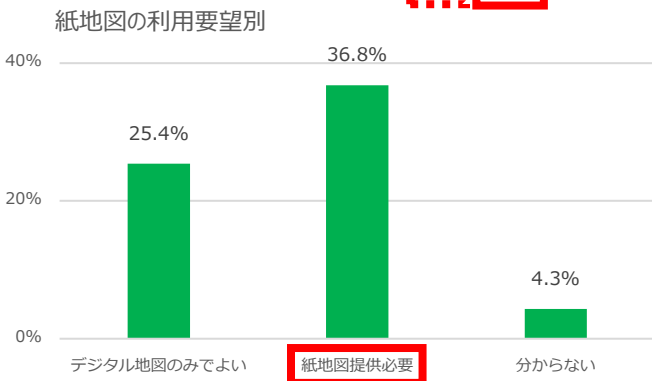
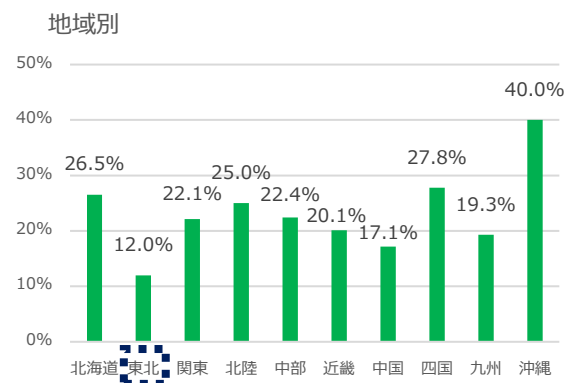
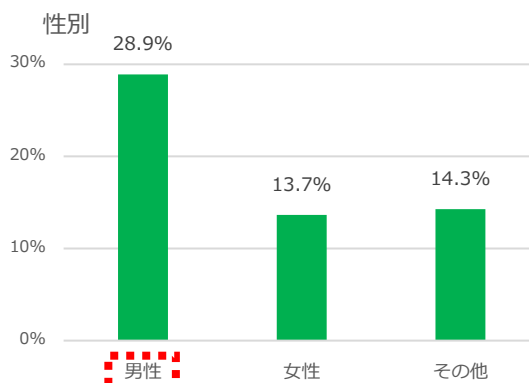
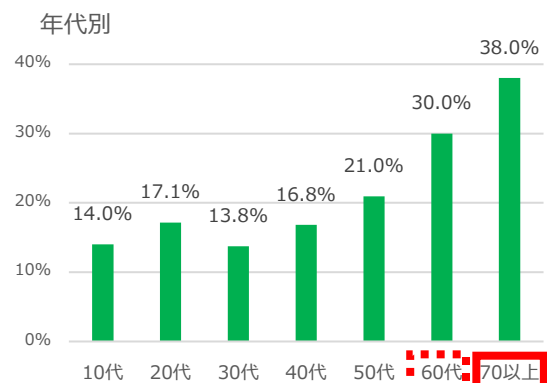


問B2(1) 国土地理院提供の地図情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 1. 国土地理院の取組

高品質な地理情報を収集・整備し、広く共有・活用できるように提供

- 「高品質な地理情報を収集・整備し、広く共有・活用できるように提供」認知度(全体21.2%)は、年代別では60代でやや高い傾向、70以上で高い傾向が、性別では男性でやや高い傾向がみられる。地域別では東北でやや低い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は53.4%で、時期別では5年以内と回答した人でやや高い、10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

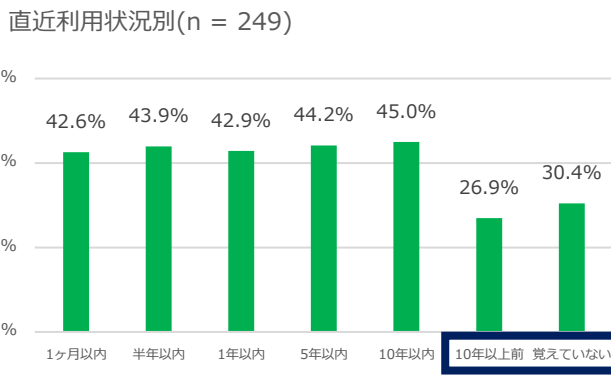
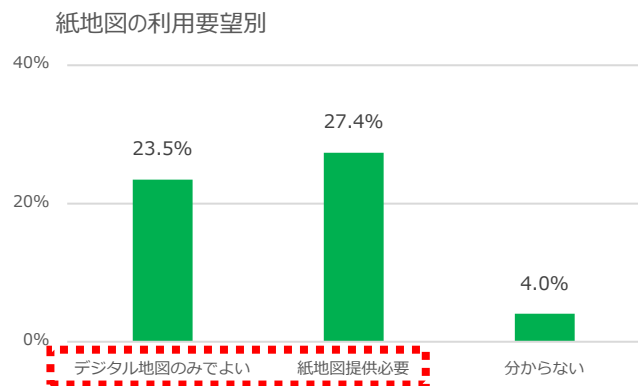
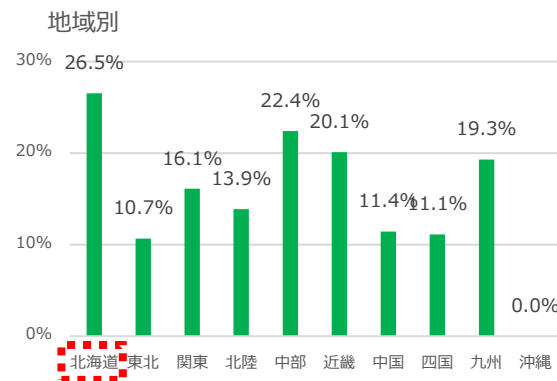
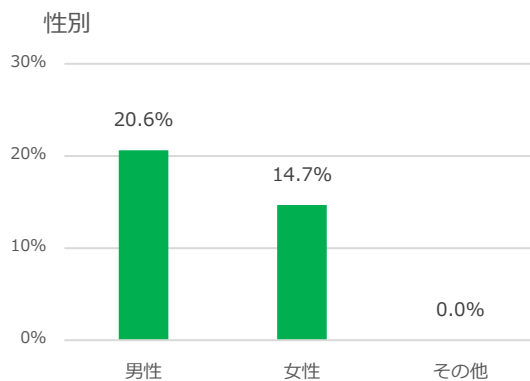
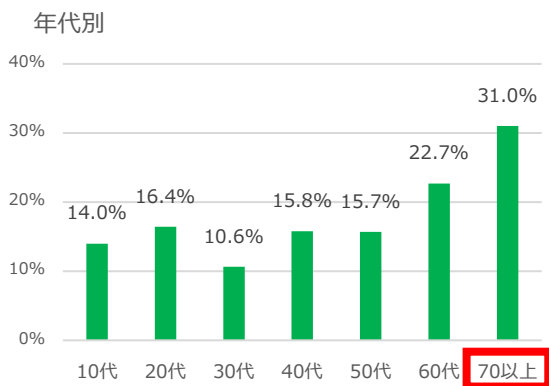


問B1(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 1. 国土地理院の取組

災害に備え災害リスク把握に役立つ地理空間情報を提供

- 「災害に備え災害リスク把握に役立つ地理空間情報を提供」認知度(全体17.5%)は、年代別では70以上で高い、地域別では北海道でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、デジタル地図のみでよい、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は40.6%で、時期別では10年以上と覚えていないと回答した人で低い傾向がみられる。

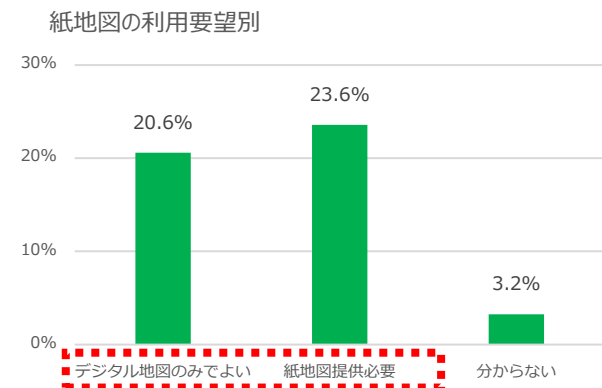
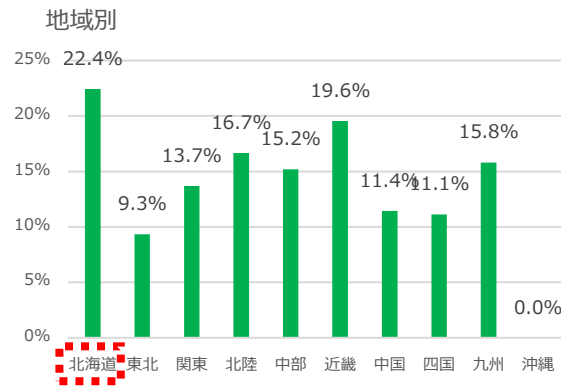
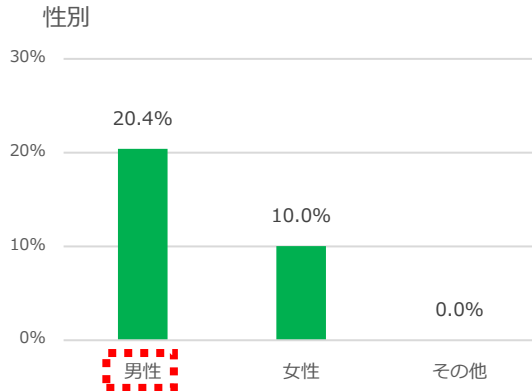
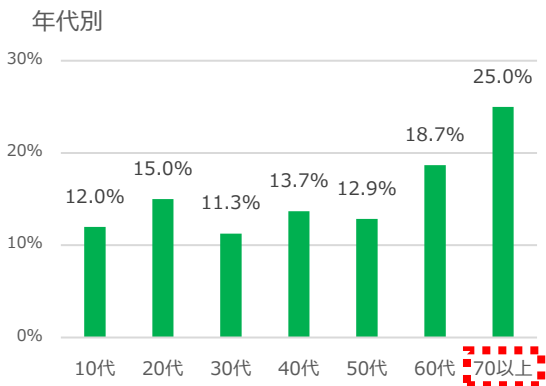


問B1(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

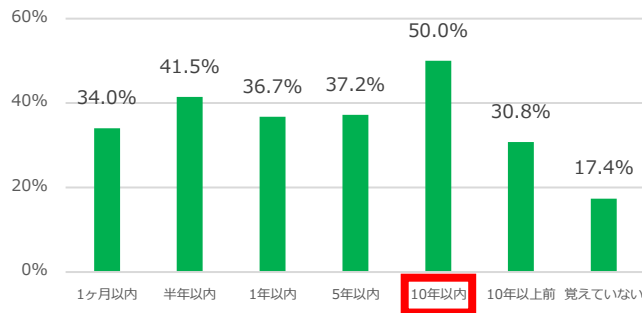
B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 1. 国土地理院の取組

災害発生時の、地殻変動観測や地図提供を通じた、状況把握・復旧支援

- 「災害発生時の、地殻変動観測や地図提供を通じた、状況把握・復旧支援」認知度(全体15.1%)は、年代別では70以上で、性別では男性で、地域別では北海道でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、デジタル地図のみでよい、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は35.7%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。



直近利用状況別(n = 249)

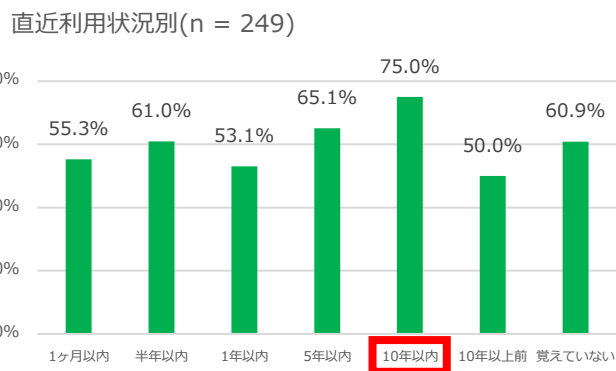
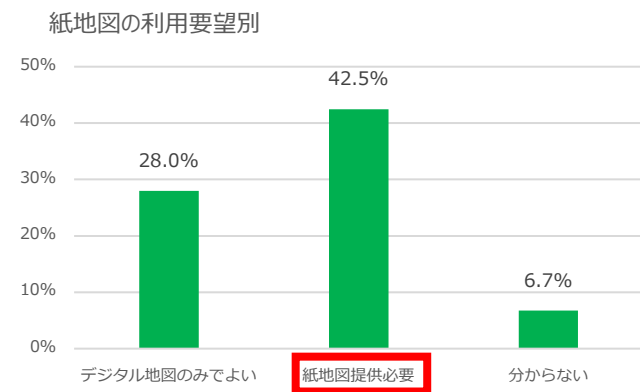
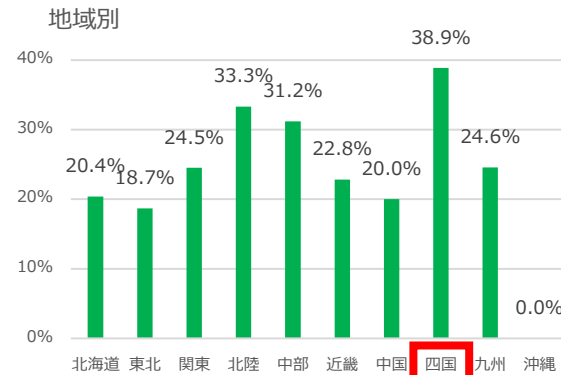
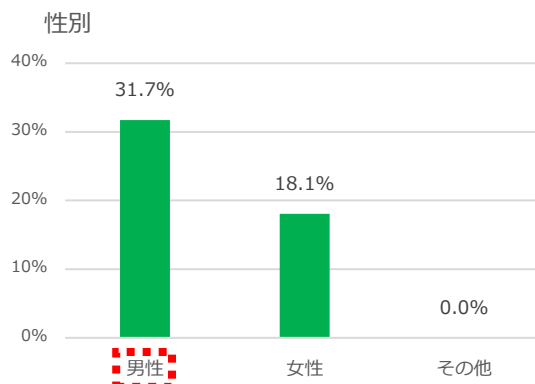
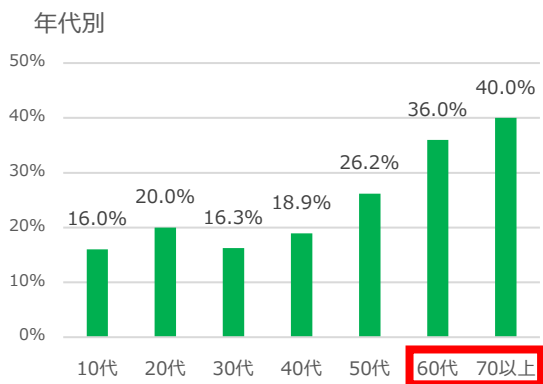


問B1(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 1. 国土地理院の取組

地図・写真や3Dデータ地理情報の提供(研究・ビジネス・行政・生活の場での利用促進)

- 「地図・写真や3Dデータ地理情報の提供(研究・ビジネス・行政・生活の場での利用促進)」認知度(全体24.7%)は、年代別では70以上、60代の人で、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では男性で、やや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は59.0%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

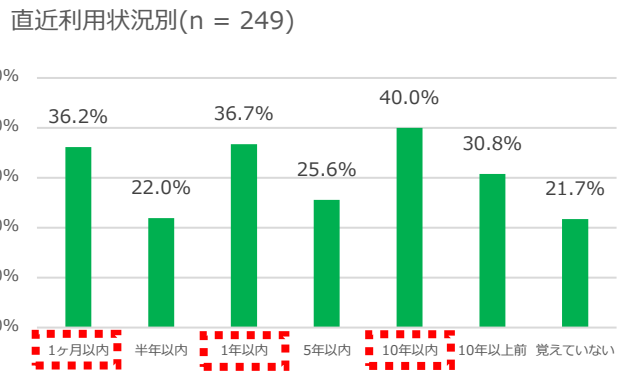
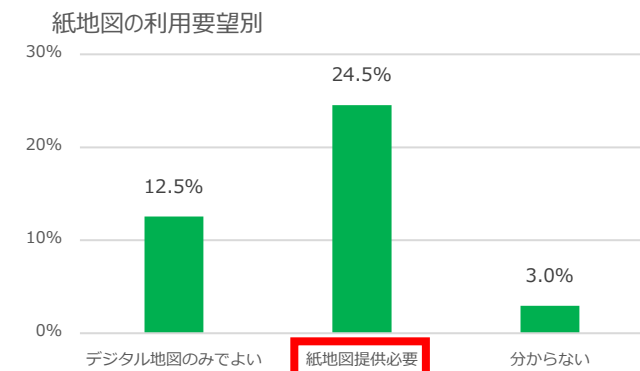
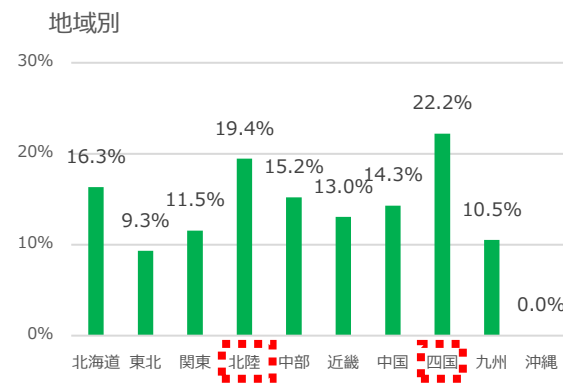
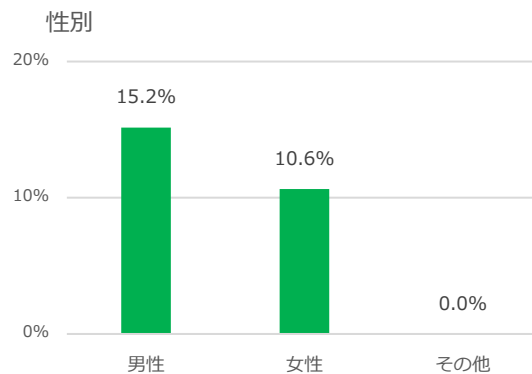
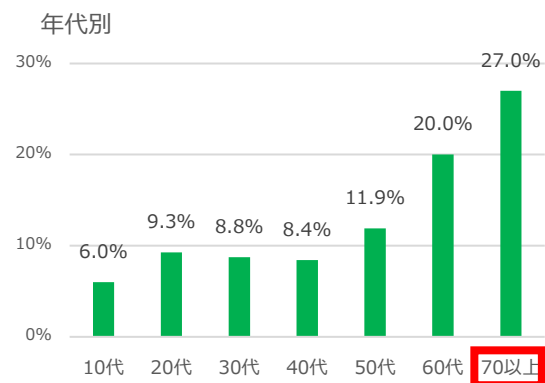


問B1(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 1. 国土地理院の取組

測量法に則った国内の測量体系の管理や国際標準に関する取組

- 「測量法に則った国内の測量体系の管理や国際標準に関する取組」認知度(全体12.8%)は、年代別では、70以上で高い傾向が、地域別では四国と北陸でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は30.5%で、時期別では10年以内、1年以内、1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

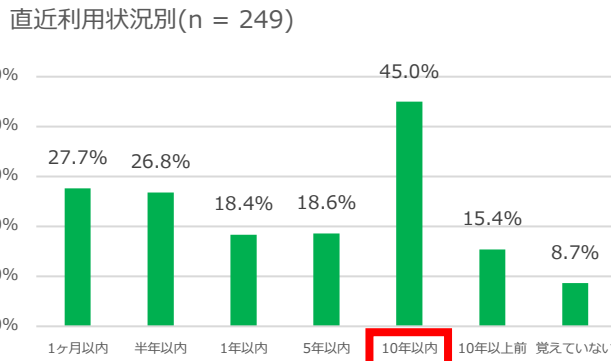
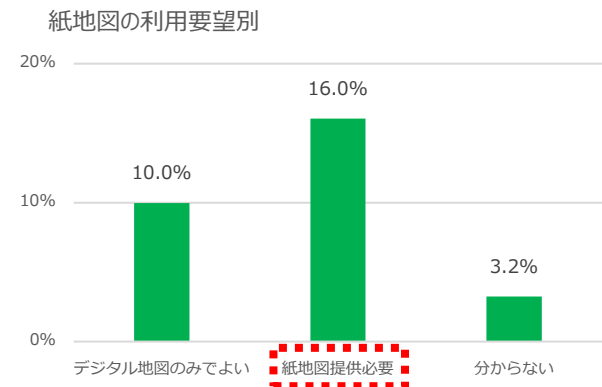
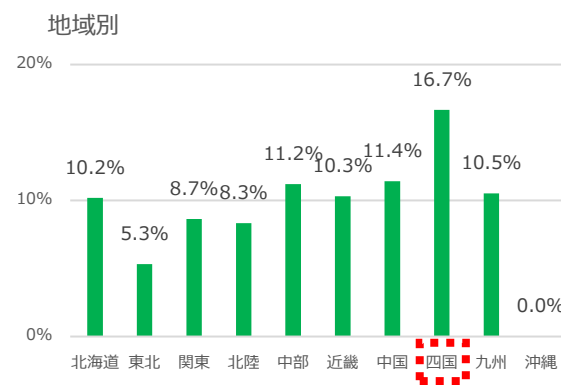
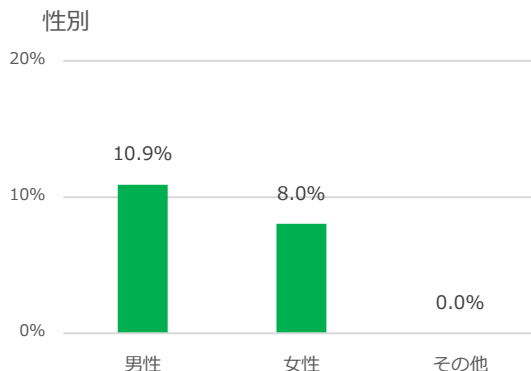
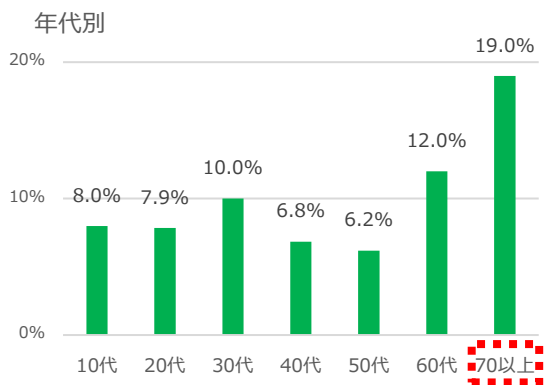


問B1(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 1. 国土地理院の取組

先端技術を活かした測量技術・地理情報分野の研究開発と専門人材育成

- 「先端技術を活かした測量技術・地理情報分野の研究開発と専門人材育成」認知度(全体9.4%)は、年代別では70以上で、地域別では四国でやや高い傾向がみられる。性別では差は見られない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は22.5%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

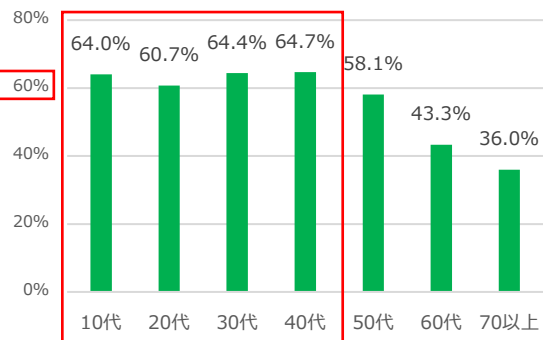


問B1(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

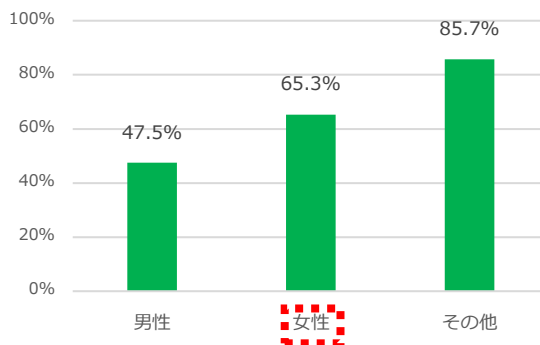
B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 1. 国土地理院の取組 知らない

- 「知らない」(全体56.6%)との回答に関しては、年代別では10代から40代までが60%以上で、性別では女性でやや高い傾向がみられる。地域別では東北で66.7%と高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の86.4%が分からないと回答した。
- 地図利用経験者の知らないとの回答は10.0%で、時期別では覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる。

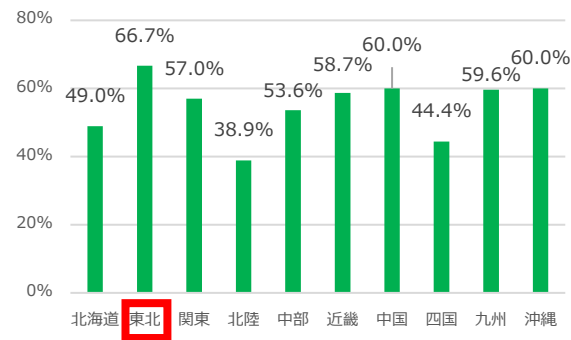
年代別



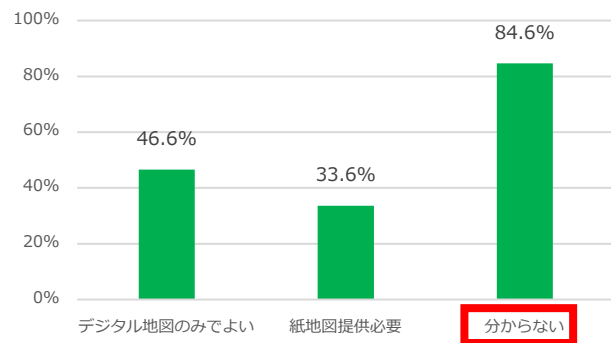
性別



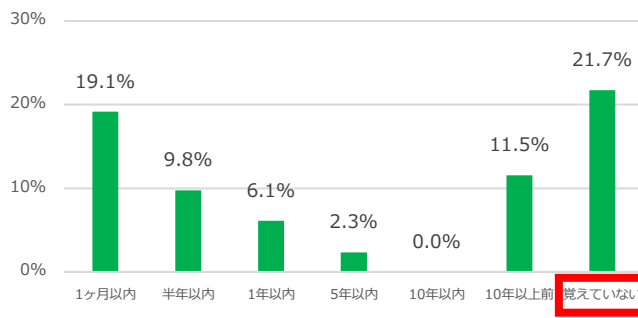
地域別



紙地図の利用要望別



直近利用状況別(n = 249)

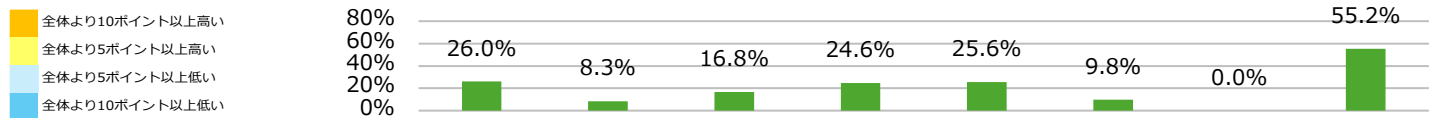


問B1(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(1) 国土地理院提供の地図情報の認知度

- 全体では、国土地理院提供の地図情報に関しては、「地理院地図（ウェブ地図）」、「紙の地形図・地勢図（1万分1、2万5千分1、5万分1、20万分1）」、「空中写真（航空写真）」が20%を超える高い認知度を得ている。知らないとの回答が最も多く55.2%であった。



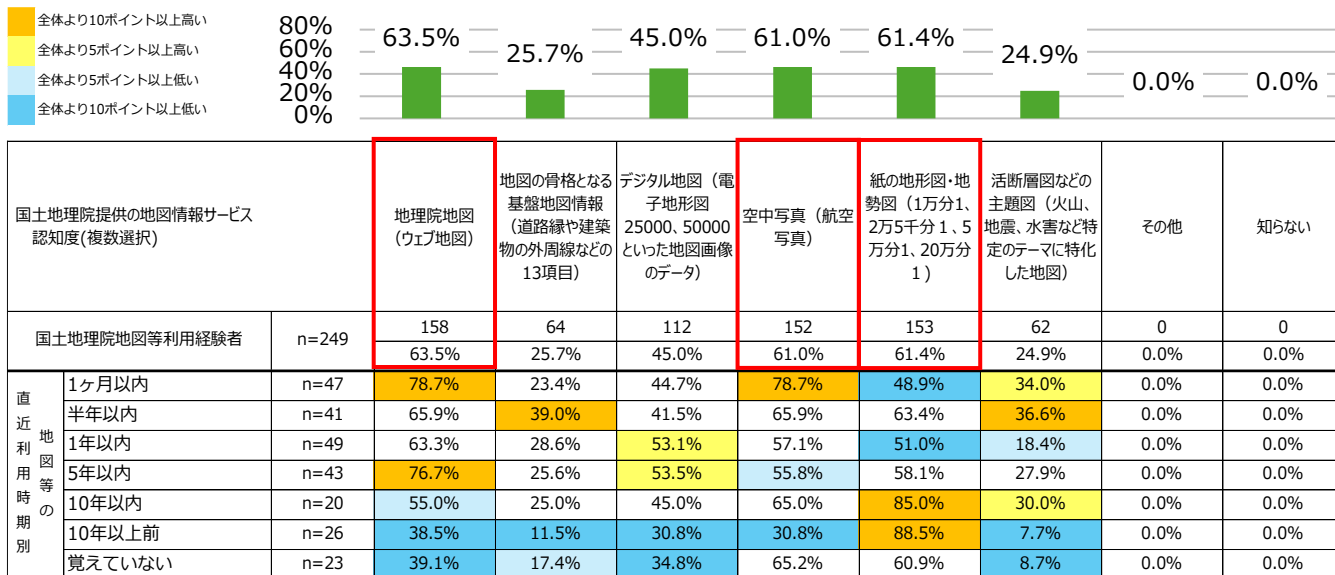
国土地理院提供の地図情報サービス認知度 (複数選択)		地理院地図 (ウェブ地図)	地理院地図情報 (基礎地図情報 (道路線や建築物の外周線などの13項目))	デジタル地図 (電子地形図 (25000、50000といった地図画像のデータ))	空中写真 (航空写真)	紙の地形図・地勢図 (1万分1、2万5千分1、5万分1、20万分1)	活断層図などの主題図 (火山、地震、水害など特定のテーマに特化した地図)	その他	知らない	
全体	n=1000	260 26.0%	83 8.3%	168 16.8%	246 24.6%	256 25.6%	98 9.8%	0 0.0%	552 55.2%	
年代別	10代	n=50	28.0%	8.0%	20.0%	18.0%	16.0%	8.0%	0.0%	56.0%
	20代	n=140	22.9%	11.4%	14.3%	21.4%	16.4%	7.1%	0.0%	59.3%
	30代	n=160	21.3%	6.9%	15.0%	15.0%	15.6%	9.4%	0.0%	64.4%
	40代	n=190	25.3%	8.4%	14.7%	21.1%	20.5%	6.3%	0.0%	63.2%
	50代	n=210	25.2%	5.2%	15.2%	26.7%	27.6%	8.1%	0.0%	53.3%
	60代	n=150	32.0%	6.7%	20.0%	32.0%	39.3%	12.7%	0.0%	42.0%
	70以上	n=100	31.0%	15.0%	24.0%	39.0%	44.0%	21.0%	0.0%	43.0%
性別	男性	n=495	32.1%	10.5%	22.6%	28.5%	30.9%	10.9%	0.0%	47.9%
	女性	n=498	20.1%	6.2%	11.2%	20.7%	20.7%	8.8%	0.0%	62.2%
	その他	n=7	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%
地域別	北海道	n=49	36.7%	14.3%	16.3%	26.5%	38.8%	12.2%	0.0%	38.8%
	東北	n=75	17.3%	8.0%	14.7%	18.7%	18.7%	9.3%	0.0%	61.3%
	関東	n=416	26.7%	7.2%	16.8%	23.6%	24.0%	9.6%	0.0%	54.6%
	北陸	n=36	27.8%	5.6%	16.7%	23.9%	27.8%	8.3%	0.0%	55.6%
	中部	n=125	26.4%	10.4%	19.2%	30.4%	30.4%	12.8%	0.0%	53.6%
	近畿	n=184	22.8%	6.5%	15.2%	23.4%	23.9%	9.2%	0.0%	59.8%
	中国	n=35	25.7%	5.7%	17.1%	31.4%	37.1%	14.3%	0.0%	51.4%
	四国	n=18	38.9%	22.2%	27.8%	33.3%	27.8%	5.6%	0.0%	50.0%
	九州	n=57	28.1%	12.3%	17.5%	31.6%	21.1%	5.3%	0.0%	57.9%
沖縄	n=5	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	
の紙地図用図	デジタル地図のみでよい	n=311	33.1%	11.9%	20.3%	30.5%	27.7%	10.3%	0.0%	45.0%
	紙地図提供必要	n=318	39.9%	12.3%	30.2%	41.5%	45.6%	18.6%	0.0%	30.5%
	分からない	n=371	8.1%	1.9%	2.4%	5.1%	6.7%	1.9%	0.0%	84.9%

問B2(1) 国土地理院提供の地図情報で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(1) 国土地理院提供の地図情報の認知度

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でみても、「地理院地図（ウェブ地図）」、「紙の地形図・地勢図（1万分1、2万5千分1、5万分1、20万分1）」、「空中写真（航空写真）」が60%以上の高い認知度を得ている。国土地理院の地図等の利用経験者では、知らないとの回答はなかった。

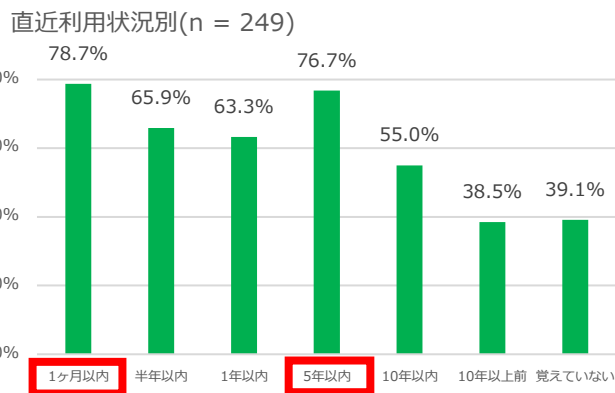
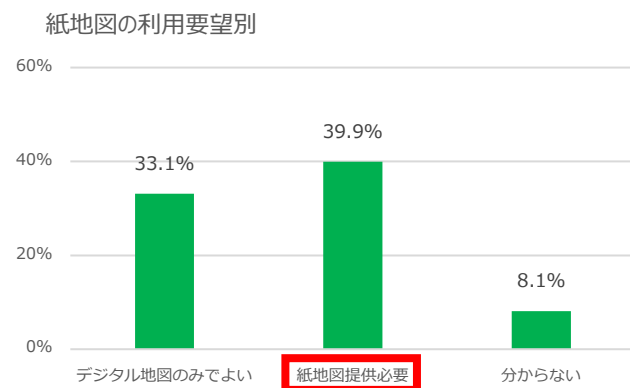
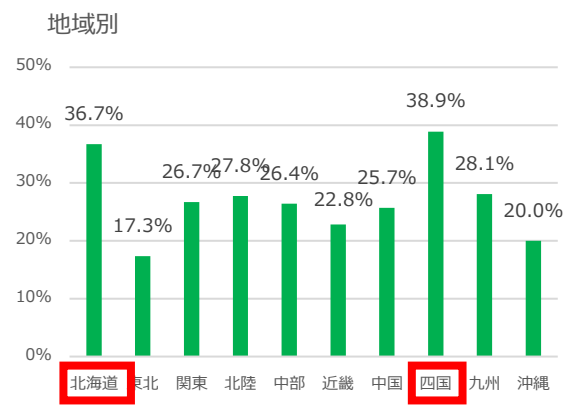
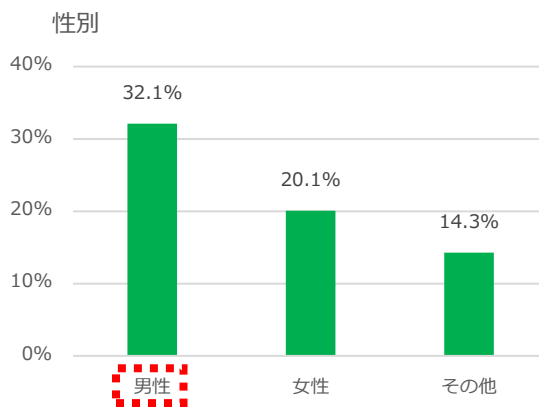
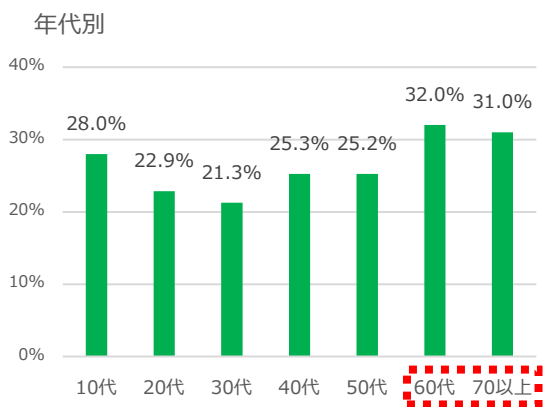


問B2(1) 国土地理院提供の地図情報で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(1) 国土地理院提供の地図情報の認知度：地理院地図（ウェブ地図）

- 「地理院地図（ウェブ地図）」認知度(全体26.0%)は、年代別では60代及び70以上で、性別では男性がやや高い傾向がみられる。地域別では四国、北海道で高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は63.5%で、時期別では1ヶ月以内と5年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

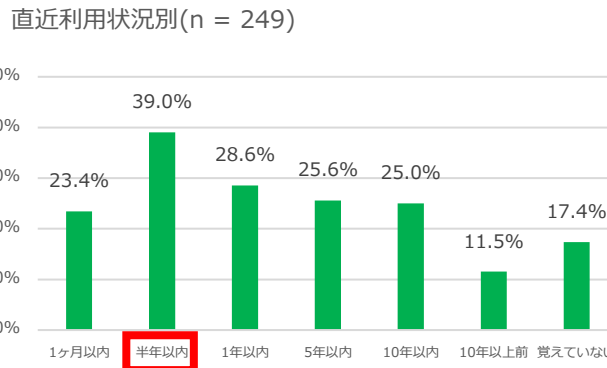
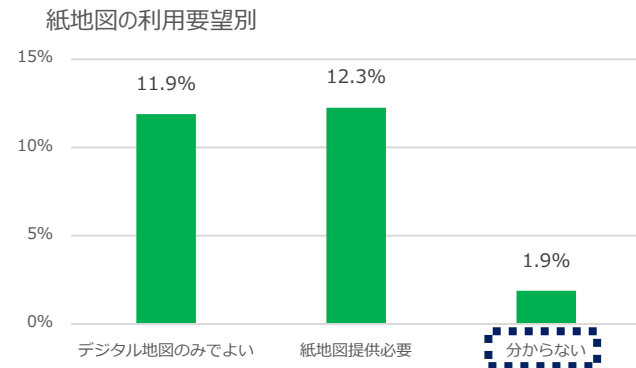
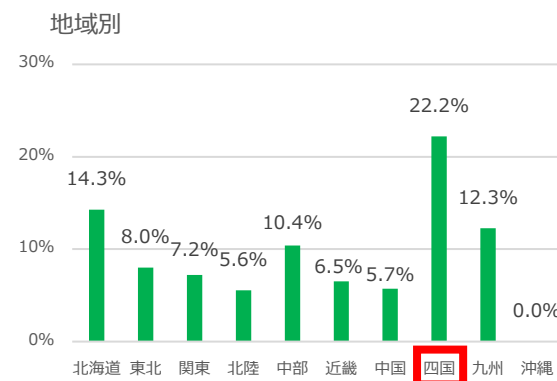
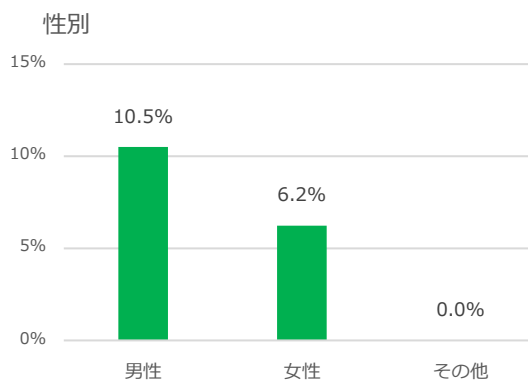
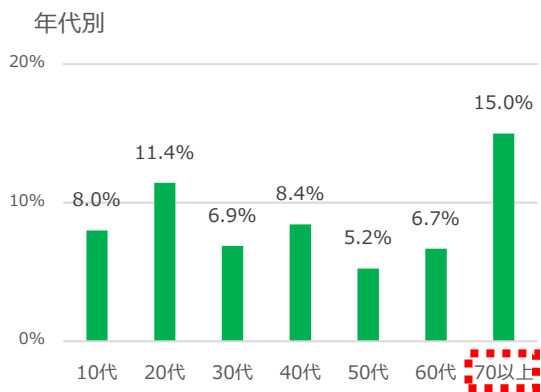


問B1(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(1) 国土地理院提供の地図情報の認知度：地図の骨格となる基盤地図情報（道路線や建築物の外周線などの13項目）

- 「地図の骨格となる基盤地図情報（道路線や建築物の外周線などの13項目）」認知度(全体8.3%)は、年代別では70以上がやや高く、地域別では四国で高くなっている。性別では大きな差はみられなかった。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人がやや低くなっている。
- 地図利用経験者の認知度は25.7%で、時期別では半年以内と回答した人が高くなっている。

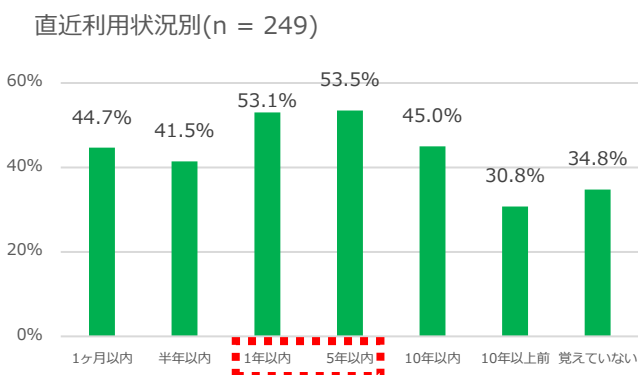
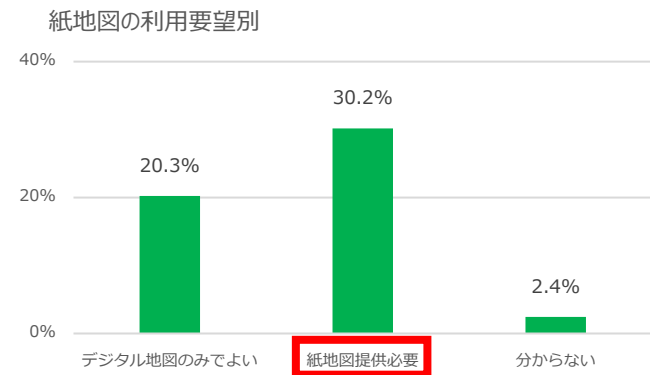
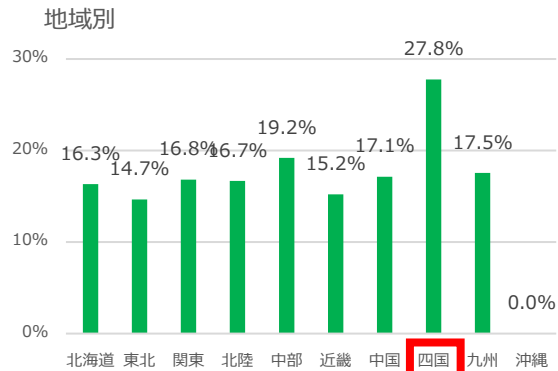
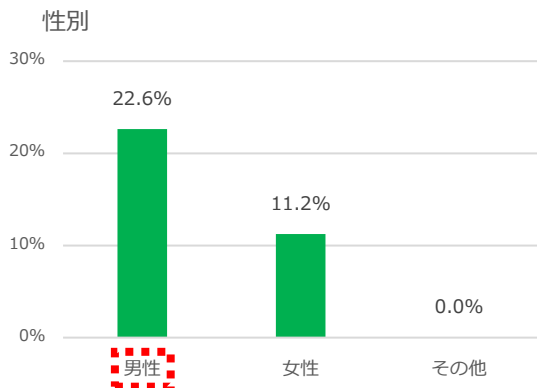
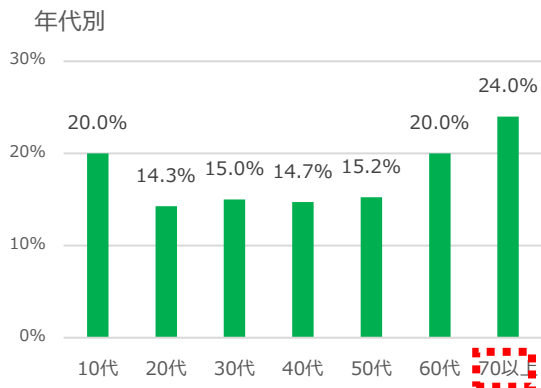


問B2(1) 国土地理院提供の地図情報で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(1) 国土地理院提供の地図情報の認知度： デジタル地図（電子地形図25000、50000といった地図画像のデータ）

- 「デジタル地図（電子地形図25000、50000といった地図画像のデータ）」認知度(全体16.8%)は、年代別では70以上の人で、性別では男性でやや高い傾向がみられる。地域別では四国で高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は45.0%で、時期別では1年以内及び5年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

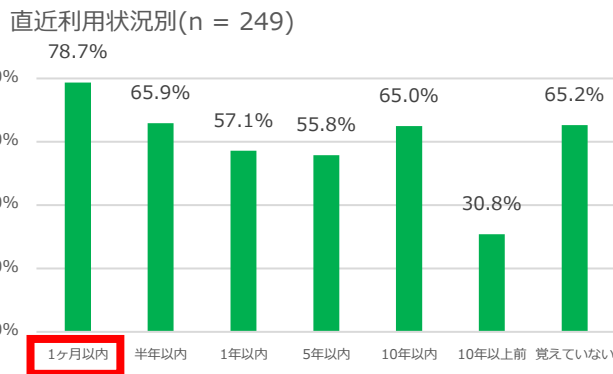
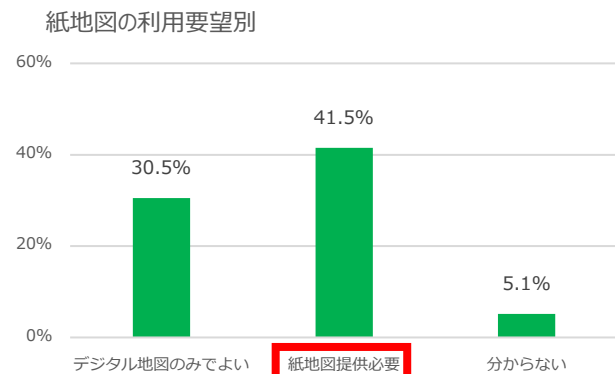
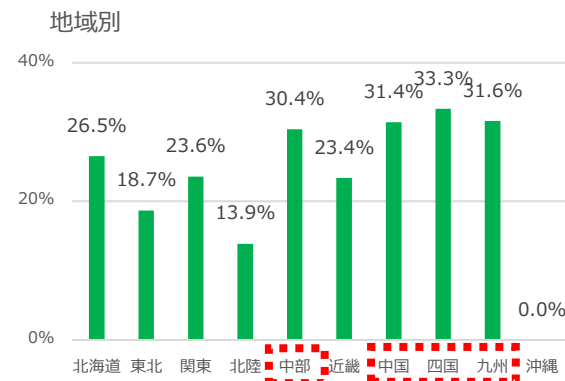
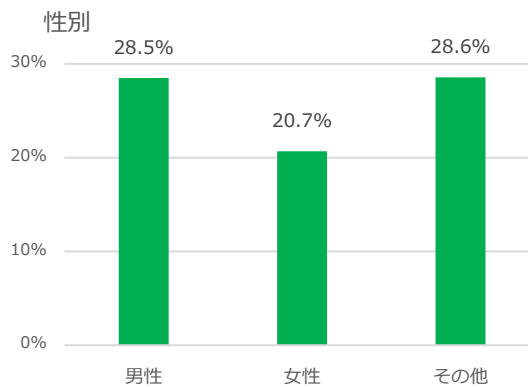
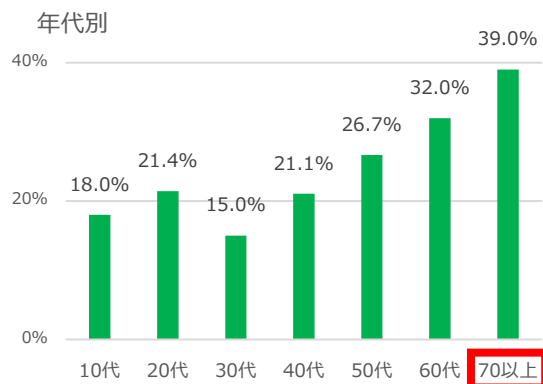


問B2(1) 国土地理院提供の地図情報で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(1) 国土地理院提供の地図情報の認知度： 空中写真（航空写真）

- 「空中写真（航空写真）」認知度(全体24.6%)は、年代別では70以上で高い傾向が、地域別では四国、九州、中国、中部でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は61.0%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。

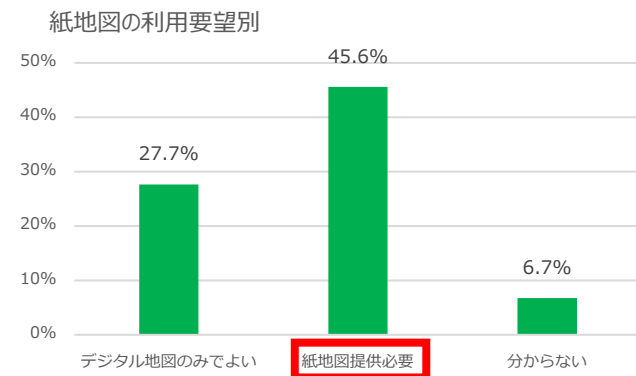
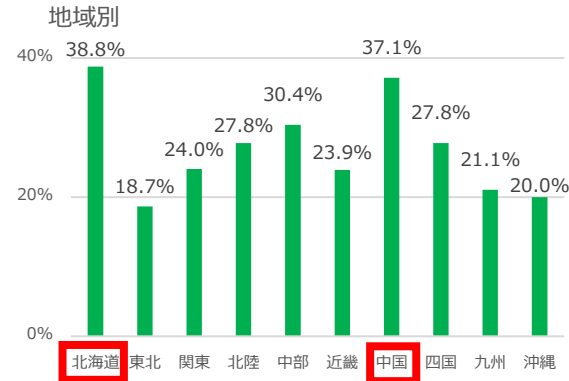
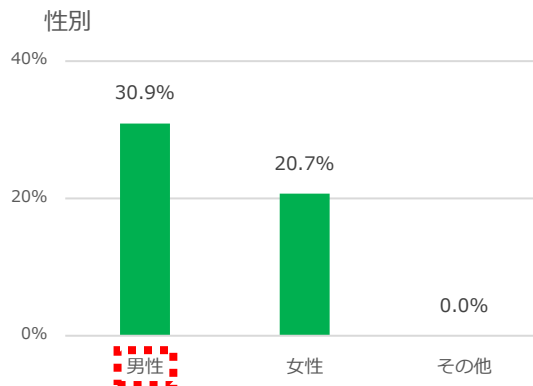
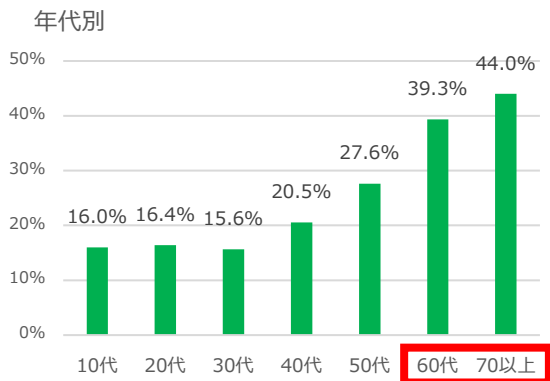


問B2(1) 国土地理院提供の地図情報で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

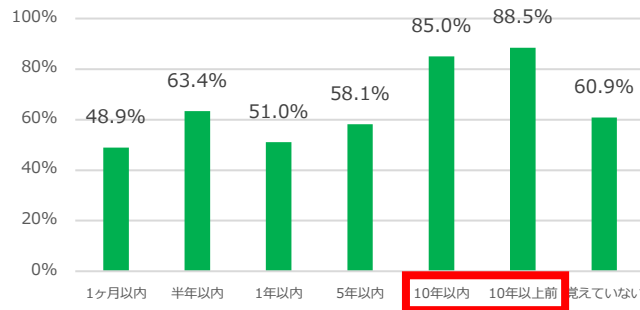
B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(1) 国土地理院提供の地図情報の認知度： 紙の地形図・地勢図（1万分1、2万5千分1、5万分1、20万分1）

- 「紙の地形図・地勢図（1万分1、2万5千分1、5万分1、20万分1）」認知度(全体25.6%)は、年代別では70以上、60代で、地域別にみると北海道と中国で高い傾向がみられる。性別では男性でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は61.4%で、時期別では10年以内、10年以上と回答した人で高い傾向がみられる。



直近利用状況別(n = 249)

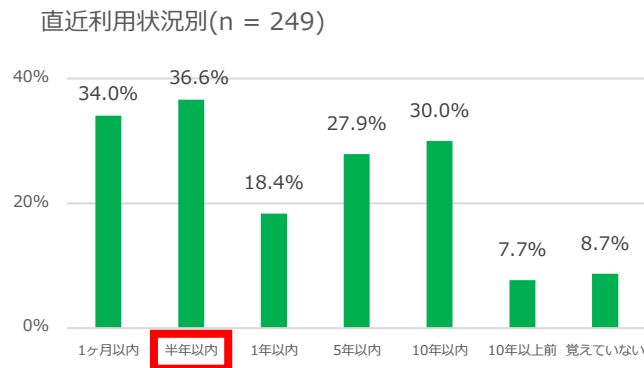
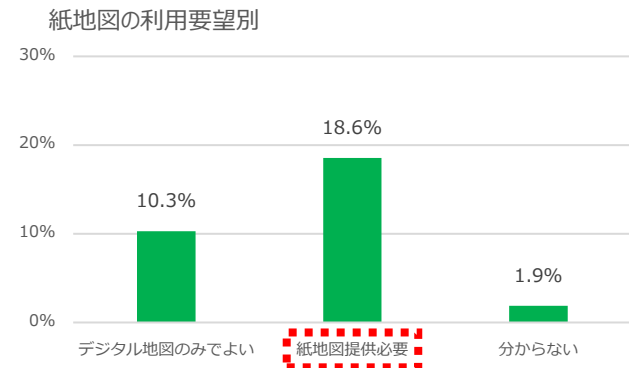
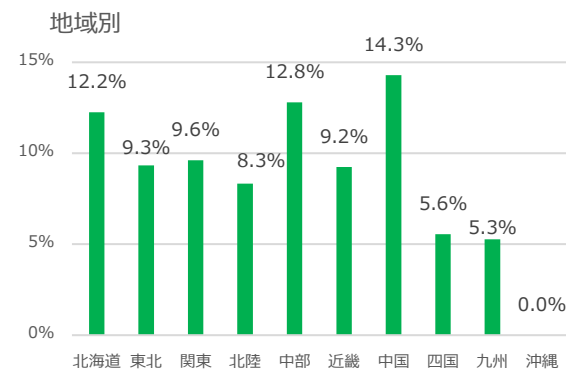
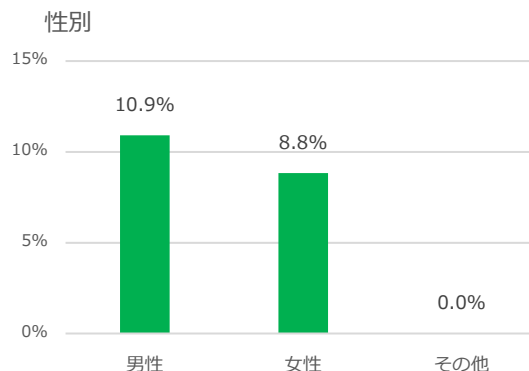
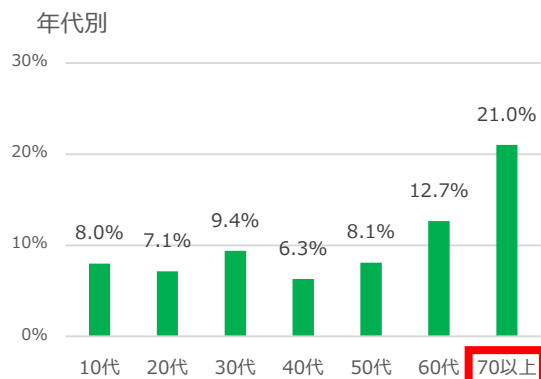


問B2(1) 国土地理院提供の地図情報で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(1) 国土地理院提供の地図情報の認知度： 活断層図などの主題図(火山、地震、水害など特定のテーマに特化した地図)

- 「活断層図などの主題図(火山、地震、水害など特定のテーマに特化した地図)」認知度(全体9.8%)は、年代別では70以上で高い傾向がみられる。地域別、性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は24.9%で、時期別では半年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

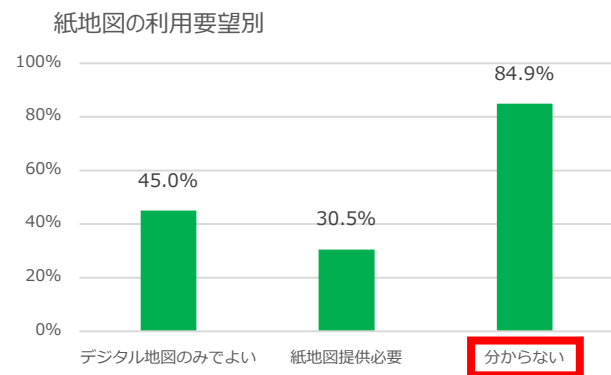
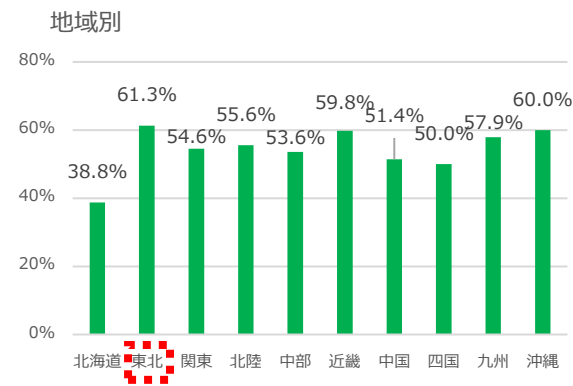
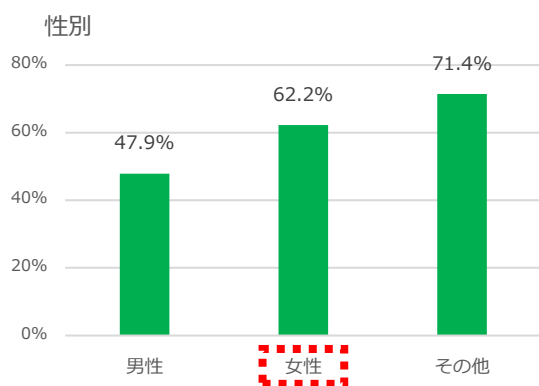
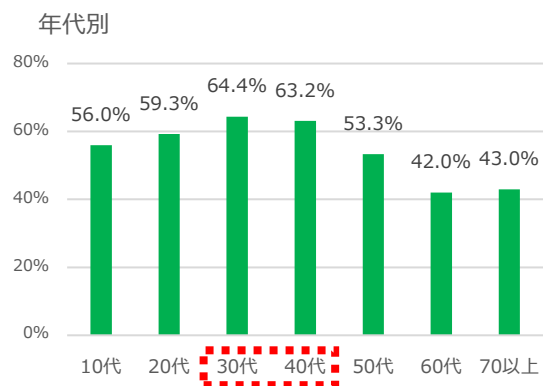


問B2(1) 国土地理院提供の地図情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(1) 国土地理院提供の地図情報の認知度：知らない

- 「知らない」(全体55.2%)との回答に関しては、年代別では30代40代、性別では女性でやや高い傾向がみられる。地域別では東北でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の84.9%が分からないと回答した。



問B2(1) 国土地理院提供の地図情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

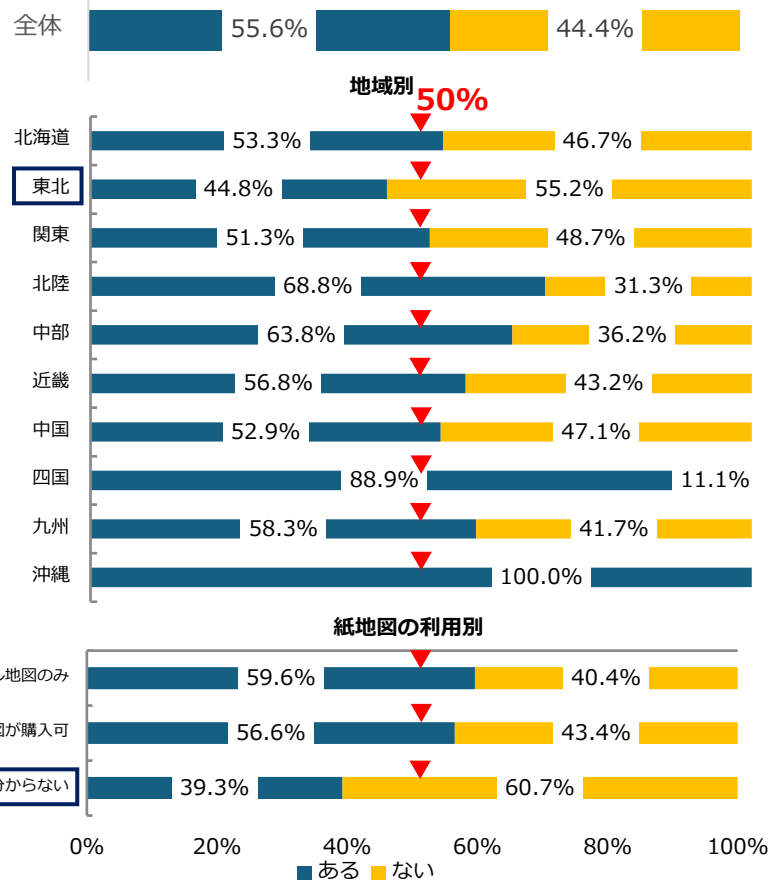
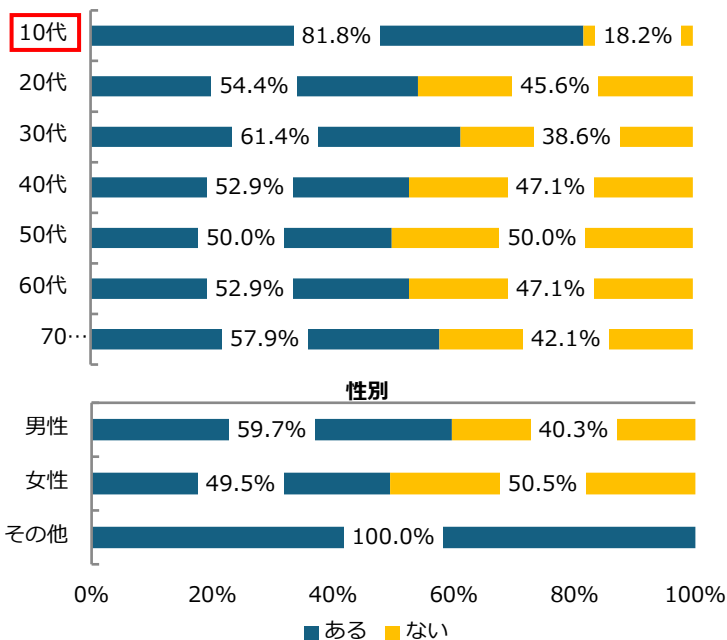
(2) 国土地理院提供の地図情報利用経験

- 「国土地理院提供の地図情報利用経験」に関しては、国土地理院の地図情報を知っていると回答した448人中、55.6%の人が利用経験があると回答。年代別では10代で利用率81.8%と高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。地域別では東北以外の地域で50%以上が利用経験ありと回答。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人で利用系経験ありは39.3%と低い傾向がみられる。

(割合は回答人数448人より算定)

選択肢	回答数	割合
ある	249	55.6%
ない	199	44.4%
合計	448	100.0%

年代別

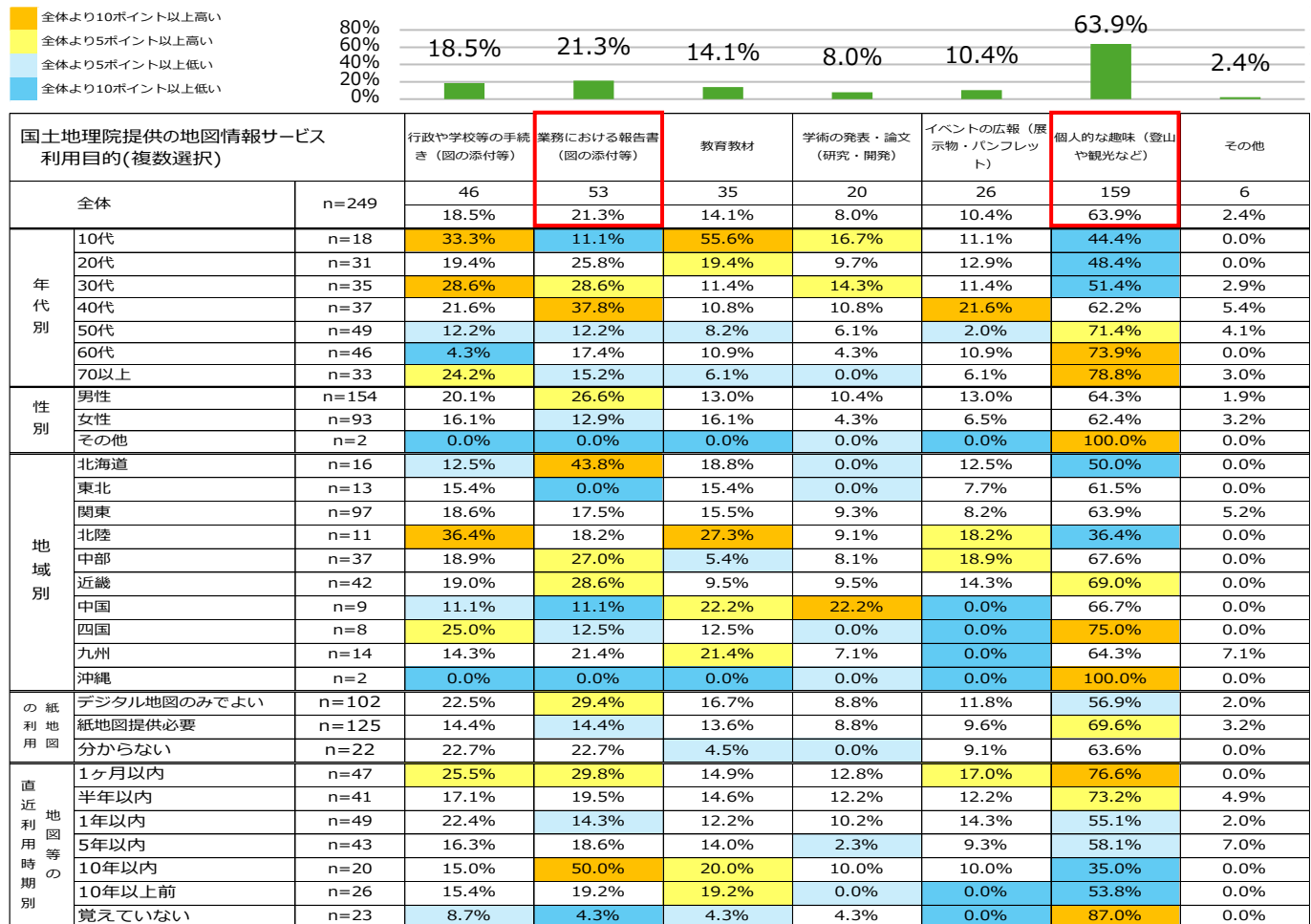


問B2(2) 前問で回答の地図情報を利用した事がありますか

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(3) 国土地理院提供の地図情報の利用目的

- 国土地理院提供の地図情報の利用目的に関しては、「個人的な趣味(登山や観光など)」が63.9%と最も高く、次いで「業務における報告書(図の添付等)」が21.3%と高い傾向がみられる。
- その他の回答の中には、災害対策(含むハザードマップ確認)や標高や面積の算出などがみられた。



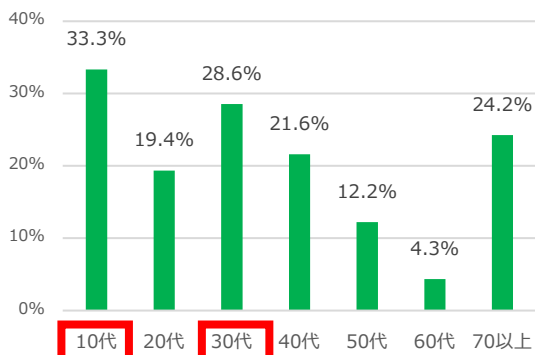
問B2(3) ご回答の地図情報利用の目的を教えてください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

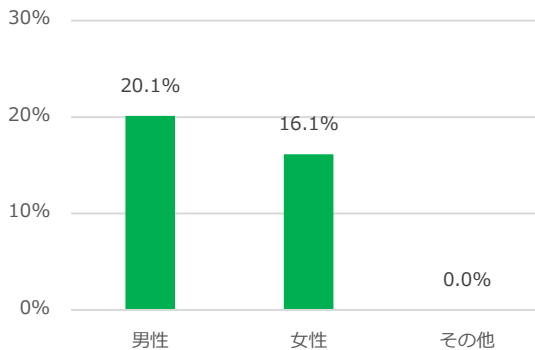
(3) 国土地理院提供の地図情報の利用目的： 行政や学校等の手続き（図の添付等）

- 「行政や学校等の手続き（図の添付等）」利用率(18.5%)は、年代別では10代、30代で、地域別では北陸で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 直近の地図利用時期別では、1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

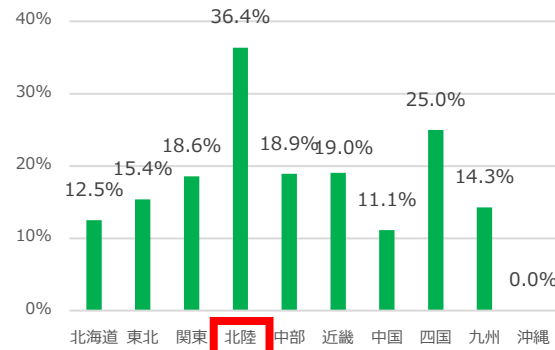
年代別(n = 249)



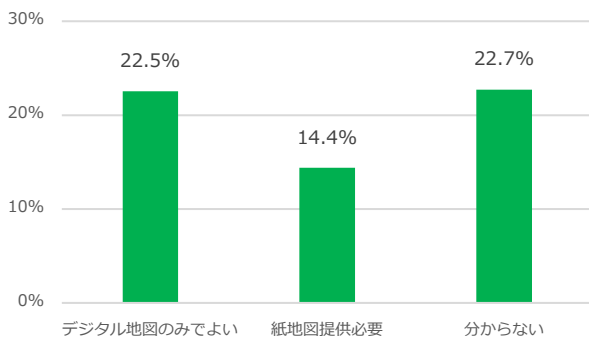
性別(n = 249)



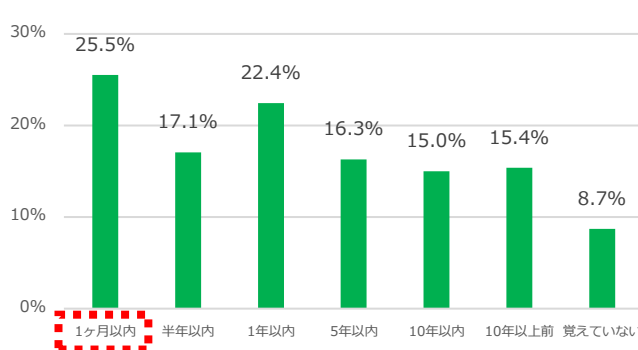
地域別(n = 249)



紙地図の利用要望別(n = 249)



直近利用状況別(n = 249)

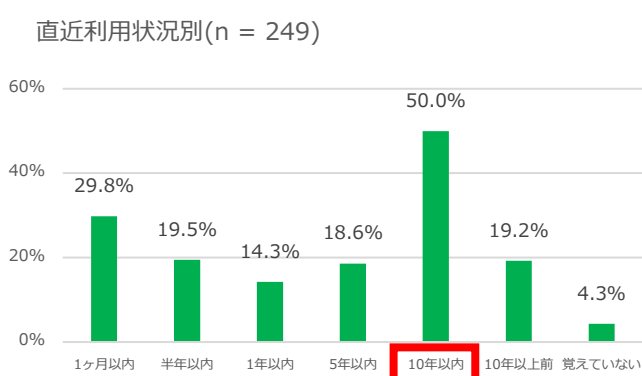
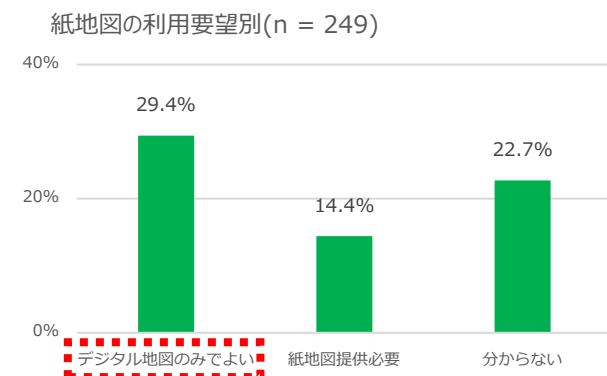
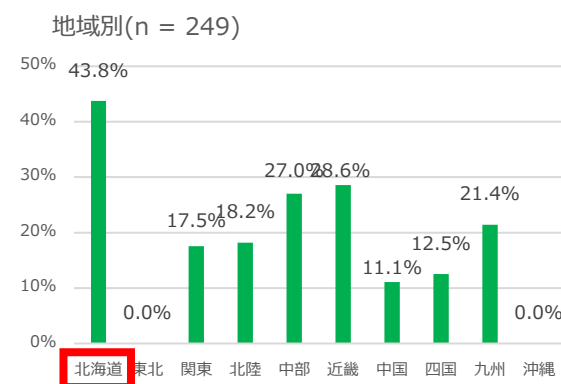
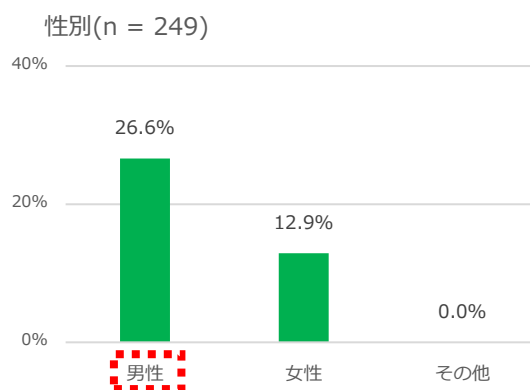
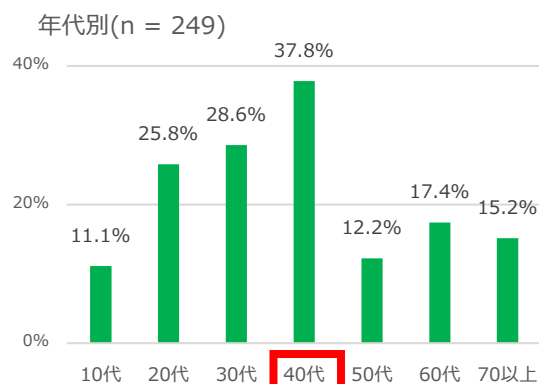


問B2(3) ご回答の地図情報利用の目的を教えてください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(3) 国土地理院提供の地図情報の利用目的： 業務における報告書（図の添付等）

- 「業務における報告書（図の添付等）」利用率(21.3%)は、年代別では40代で高い傾向が、性別では男性でやや高い傾向が、地域別では北海道で高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、デジタル地図のみでよいと回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 直近の地図利用時期別では、10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

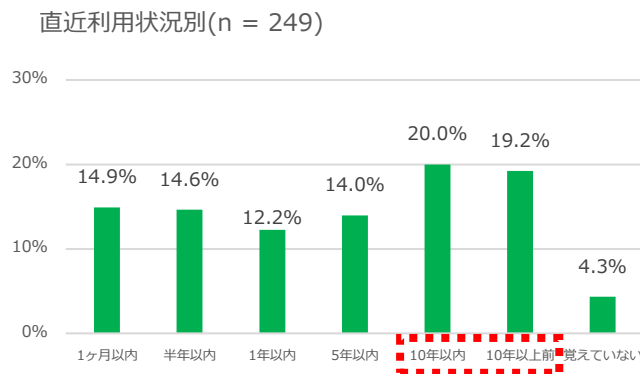
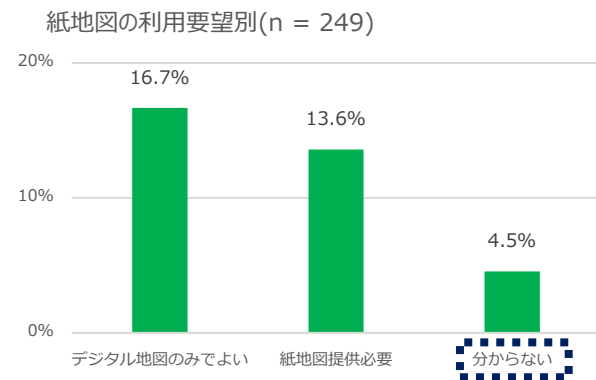
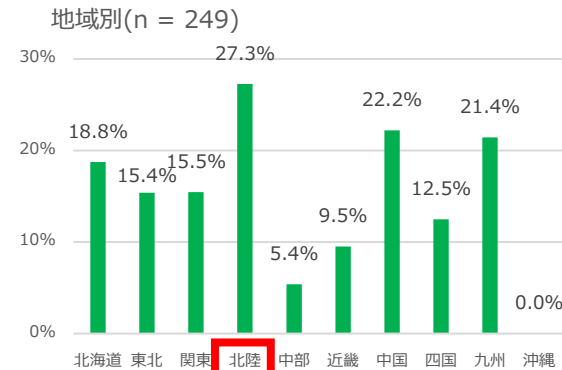
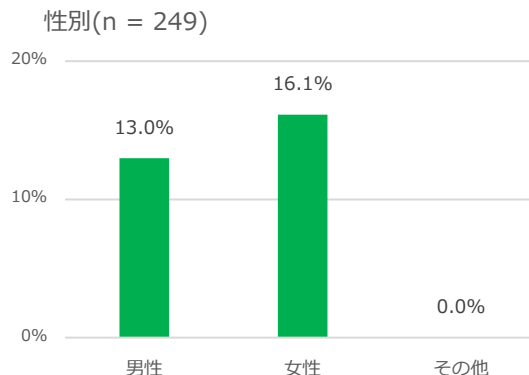
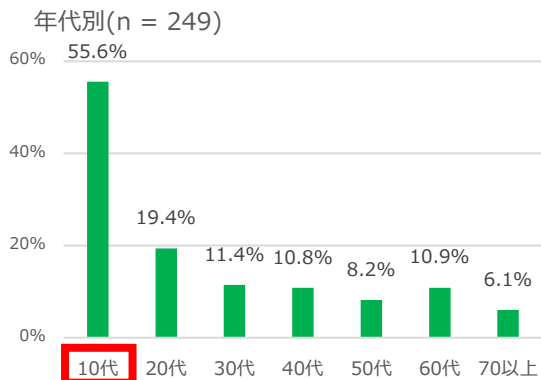


問B2(3) ご回答の地図情報利用の目的を教えてください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(3) 国土地理院提供の地図情報の利用目的: 教育教材

- 「教育教材」利用率(14.1%)は、年代別では10代で、地域別では北陸で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人でやや低い傾向がみられる。
- 直近の地図利用時期別では、10年以内、10年以上前と回答した人でやや高い傾向がみられる。

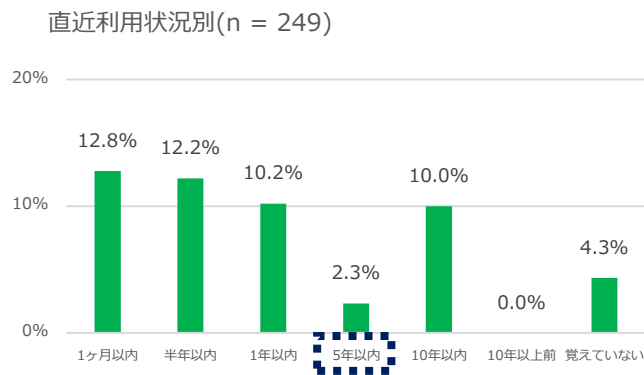
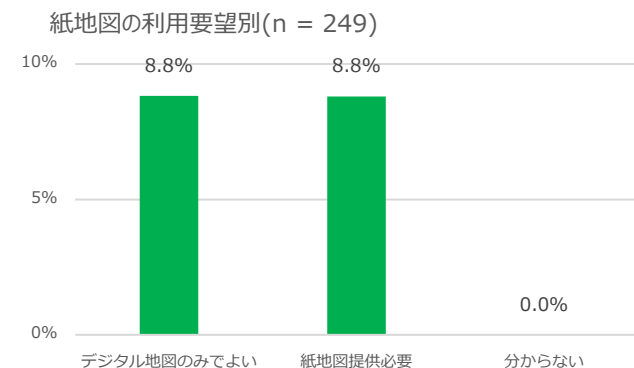
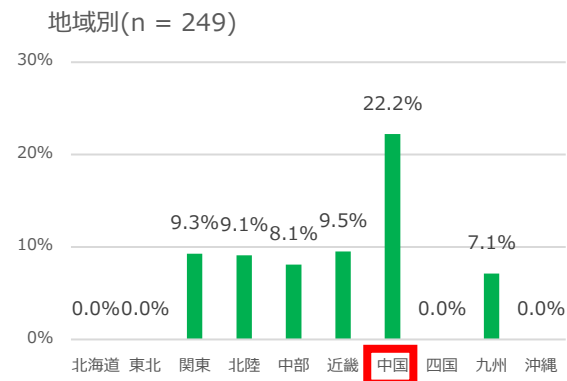
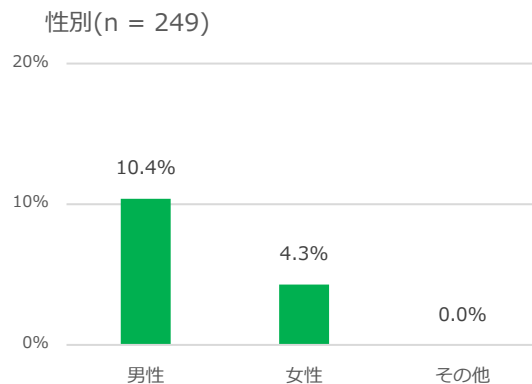
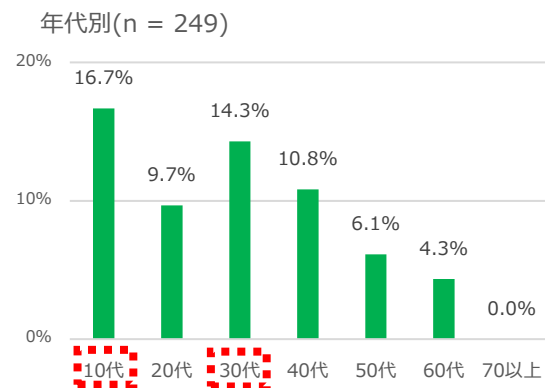


問B2(3) ご回答の地図情報利用の目的を教えてください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(3) 国土地理院提供の地図情報の利用目的： 学術の発表・論文（研究・開発）

- 「学術の発表・論文（研究・開発）」利用率(8.0%)は、年代別では10代、30代でやや高い傾向が、地域別では中国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、デジタル地図のみでよいと紙地図が必要との差はあまりみられない。
- 直近の地図利用時期別では、5年以内と回答した人でやや低い傾向がみられる。



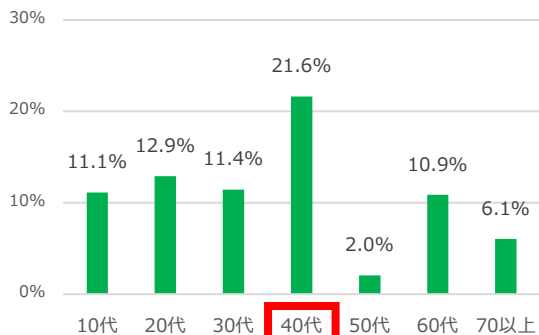
問B2(3) ご回答の地図情報利用の目的を教えてください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

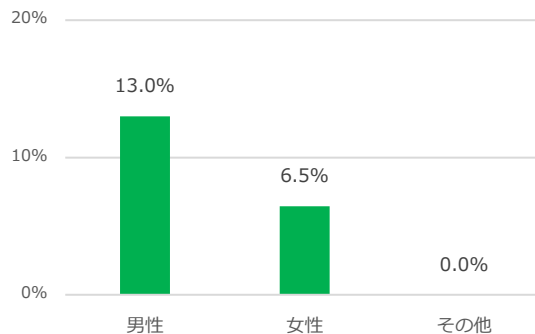
(3) 国土地理院提供の地図情報の利用目的: イベントの広報(展示物・パンフレット)

- 「イベントの広報(展示物・パンフレット)」利用率(10.4%)は、年代別では40代で高い傾向が、地域別では、中部、北陸でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 直近の地図利用時期別では、1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

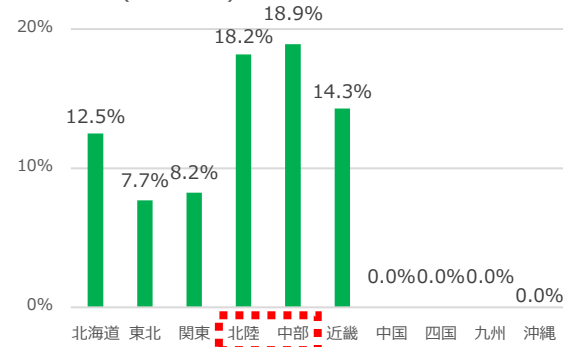
年代別(n = 249)



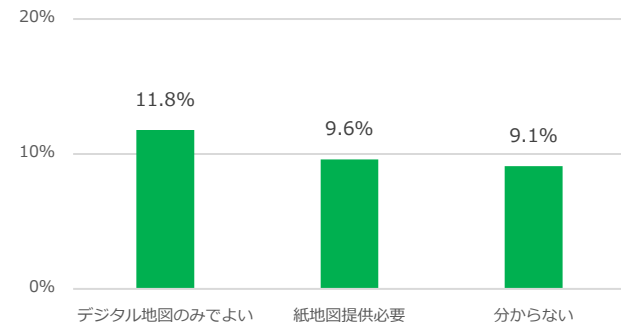
性別(n = 249)



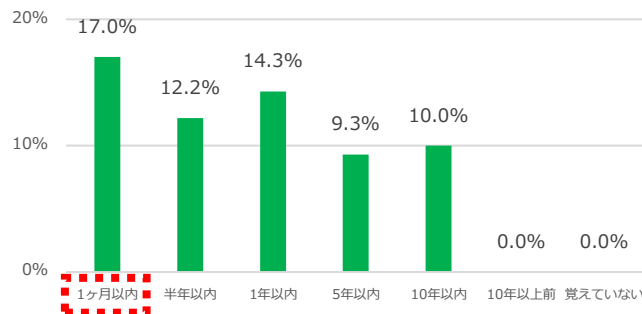
地域別(n = 249)



紙地図の利用要望別(n = 249)



直近利用状況別(n = 249)

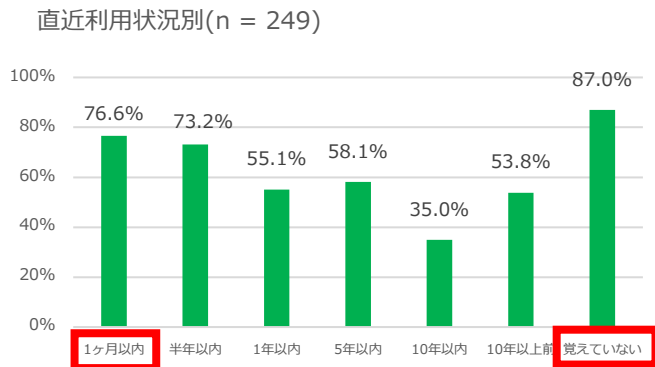
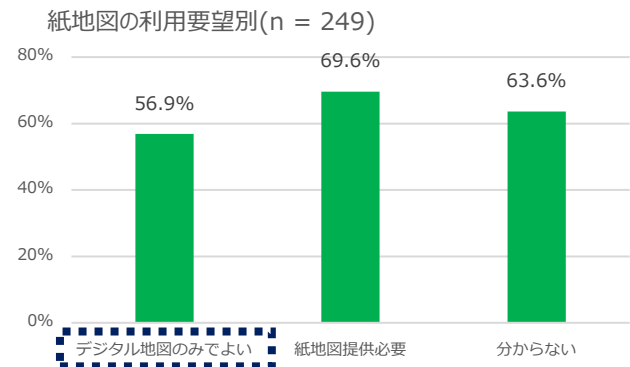
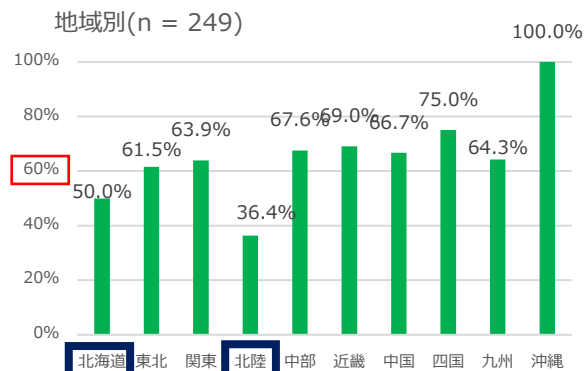
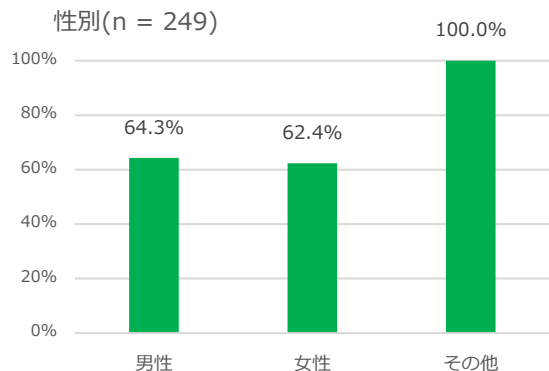
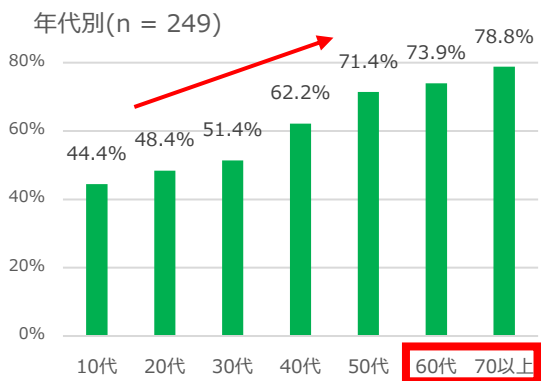


問B2(3) ご回答の地図情報利用の目的を教えてください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

(3) 国土地理院提供の地図情報の利用目的： 個人的な趣味（登山や観光など）

- 「個人的な趣味（登山や観光など）」利用率(63.9%)は、年代別では70以上、60代で（年代上昇とともに利用率上昇）高い傾向がみられる。地域別では北陸、北海道以外で60%以上の傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、デジタル地図のみでよいと回答した人でやや低い傾向がみられる。
- 直近の地図利用時期別では、覚えていない、1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。



問B2(3) ご回答の地図情報利用の目的を教えてください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 2. 国土地理院の地図情報サービス

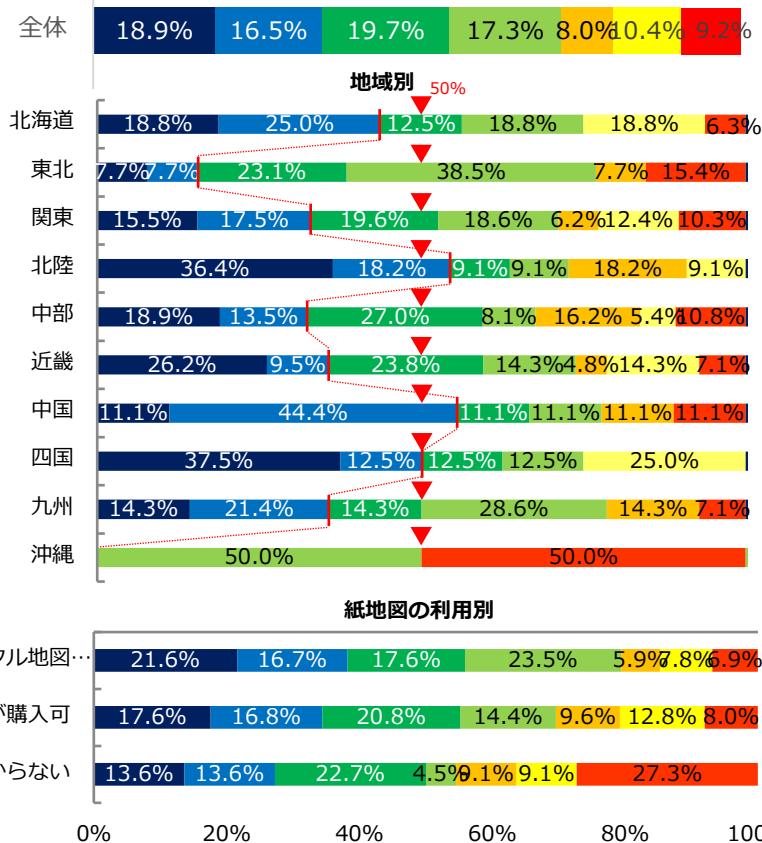
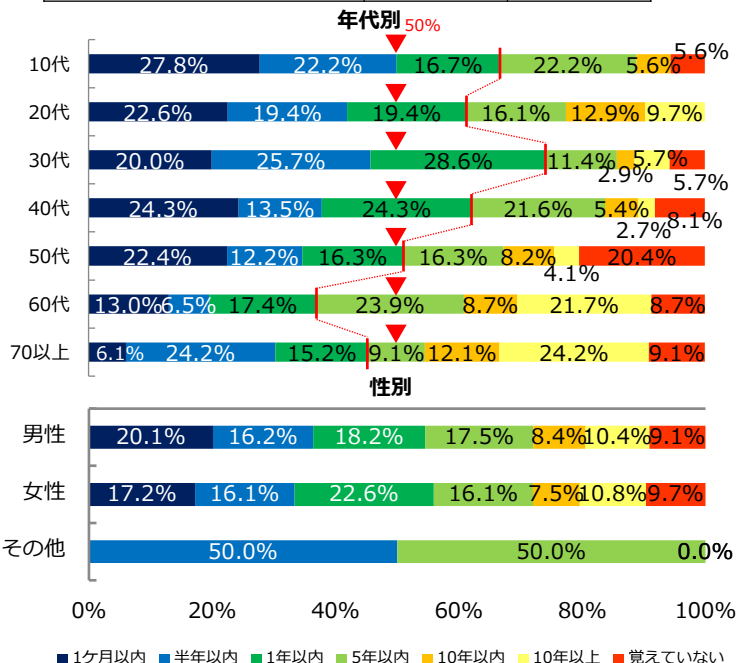
(4) 国土地理院提供の地図情報の直近利用時期

- 「国土地理院提供の地図情報の直近利用時期」に関しては、地図情報を利用したと回答の249人中、55.1%の人が1年以内までに利用をしていると回答。10代から50代の過半数が1年以内までに利用していると回答。性別では差はあまりみられない。地域別では、中国と北陸と四国で50%以上が半年以内までに利用したと回答。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した方に「覚えていない」との回答が高い傾向がみられる。

(割合は回答人数249人より算定)

選択肢	回答数	割合
1ヶ月以内	47	18.9%
半年以内	41	16.5%
1年以内	49	19.7%
5年以内	43	17.3%
10年以上前	20	8.0%
覚えていない	23	9.2%
合計	249	100.0%

55.1%

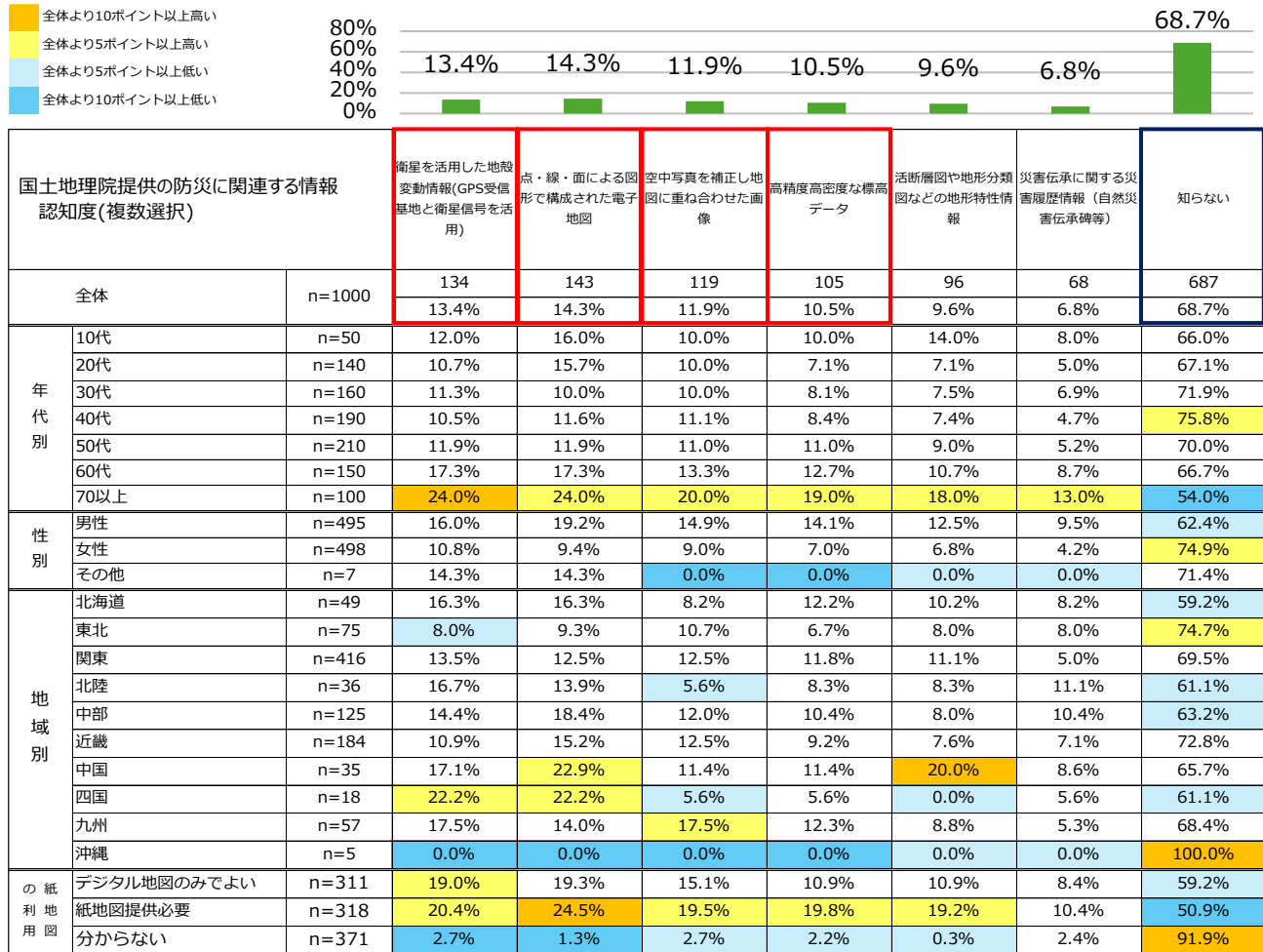


問B2(4) その地図情報を直近で利用された時期を教えてください。

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(1) 国土地理院提供の防災に関連する情報の認知度

- 全体では、国土地理院提供の防災に関連する情報に関しては、「点・線・面による図形で構成された電子地図」が14.3%と最も高く、続いて「衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)」、「空中写真を補正し地図に重ね合わせた画像」及び「高精度高密度な標高データ」が10%を超える認知度となっている。知らないとの回答が最も多く68.7%となっている。

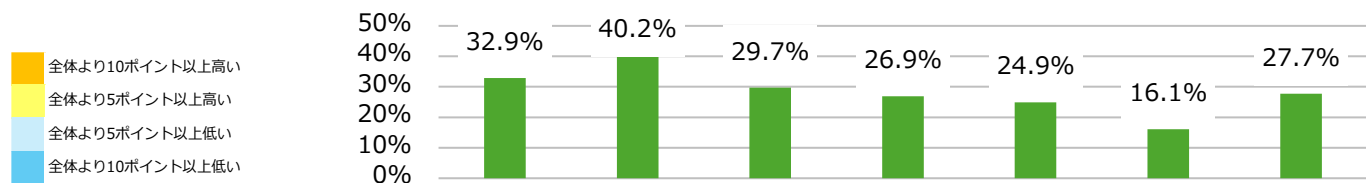


問B3(1) 国土地理院提供の「防災に関連する情報」で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(1) 国土地理院提供の防災に関連する情報の認知度

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でみても、「点・線・面による図形で構成された電子地図」が40.2%と最も高く、続いて「衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)」が32.9%、「空中写真を補正し地図に重ね合わせた画像」及び「高精度高密度な標高データ」が25%を超える認知度となっている。利用経験者では、「活断層図や地形分類図などの地形特性情報」も24.9%と全体と比較すると高くなっている。



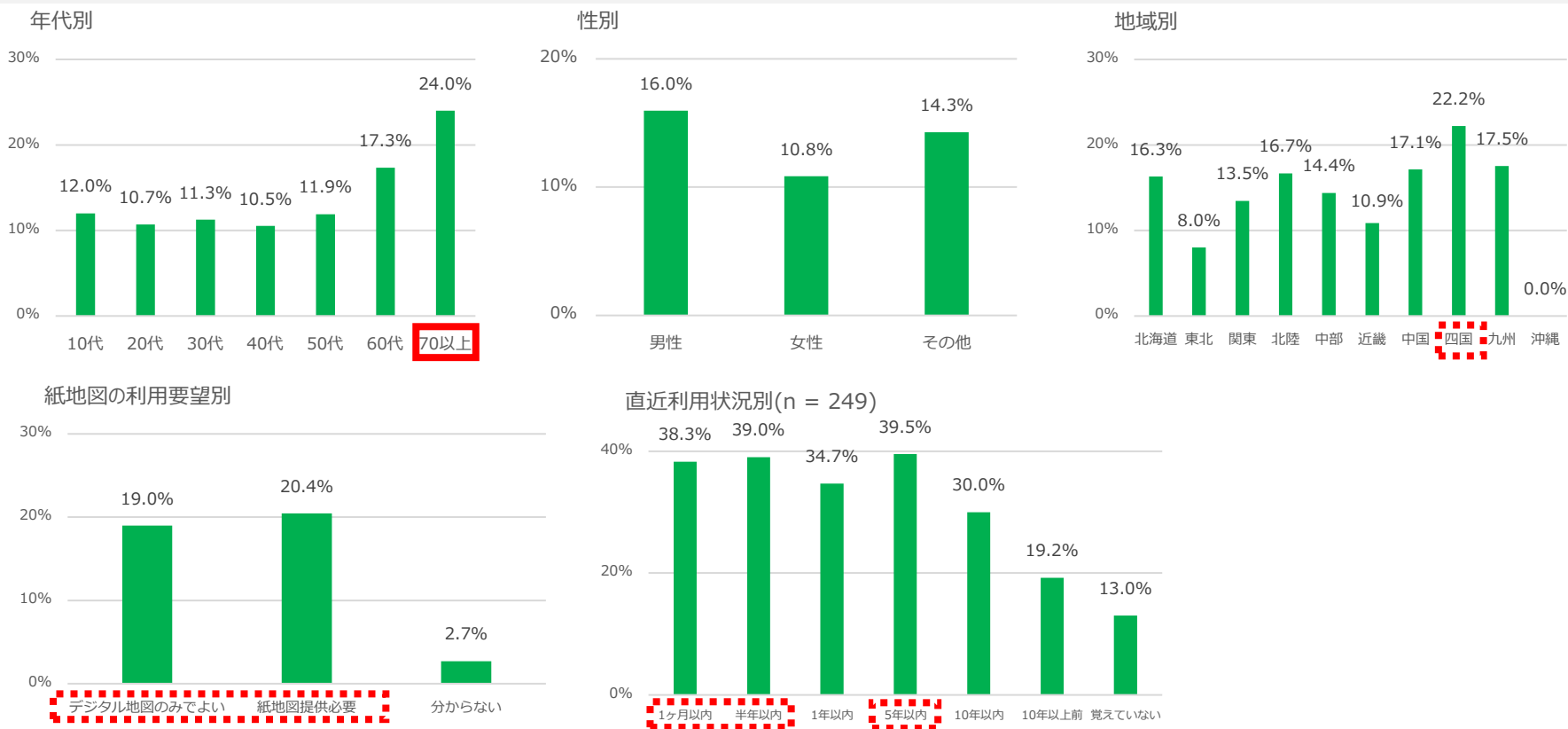
国土地理院提供の防災に関連する情報認知度(複数選択)			衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)	点・線・面による図形で構成された電子地図	空中写真を補正し地図に重ね合わせた画像	高精度高密度な標高データ	活断層図や地形分類図などの地形特性情報	災害伝承に関する災害履歴情報(自然災害伝承碑等)	知らない	
国土地理院地図等利用経験者			n=249	82 32.9%	100 40.2%	74 29.7%	67 26.9%	62 24.9%	40 16.1%	69 27.7%
直近地図等利用時期別	1ヶ月以内	n=47	38.3%	46.8%	34.0%	25.5%	27.7%	23.4%	29.8%	
	半年以内	n=41	39.0%	43.9%	31.7%	31.7%	36.6%	14.6%	17.1%	
	1年以内	n=49	34.7%	42.9%	26.5%	24.5%	14.3%	16.3%	26.5%	
	5年以内	n=43	39.5%	48.8%	44.2%	30.2%	23.3%	16.3%	16.3%	
	10年以内	n=20	30.0%	50.0%	35.0%	40.0%	50.0%	25.0%	15.0%	
	10年以上前	n=26	19.2%	15.4%	11.5%	15.4%	11.5%	7.7%	53.8%	
	覚えていない	n=23	13.0%	17.4%	13.0%	21.7%	17.4%	4.3%	47.8%	

問B3(1) 国土地理院提供の「防災に関連する情報」で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(1) 国土地理院提供の防災に関連する情報の認知度： 衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)

- 「衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)」認知度(全体13.4%)は、年代別では70以上で高い傾向が、地域別では四国でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、デジタル地図のみでよいと紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は32.9%で、時期別では5年以内、半年以内、1ヶ月以内と回答した人がやや高い傾向がみられる。



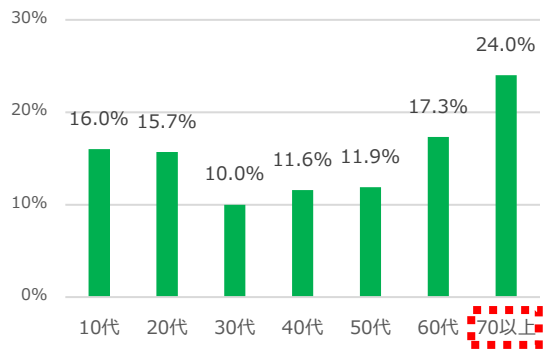
問B3(1) 国土地理院提供の「防災に関連する情報」で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

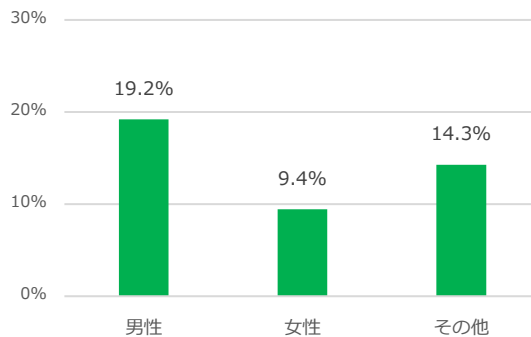
(1) 国土地理院提供の防災に関連する情報の認知度: 点・線・面による図形で構成された電子地図

- 「点・線・面による図形で構成された電子地図」認知度(全体14.3%)は、年代別では70以上で、地域別では中国、四国でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は40.2%で、時期別では10年以内、5年以内、1ヶ月以内と回答した人がやや高い傾向がみられる。

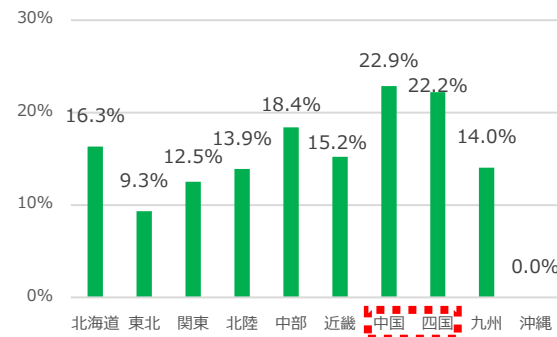
年代別



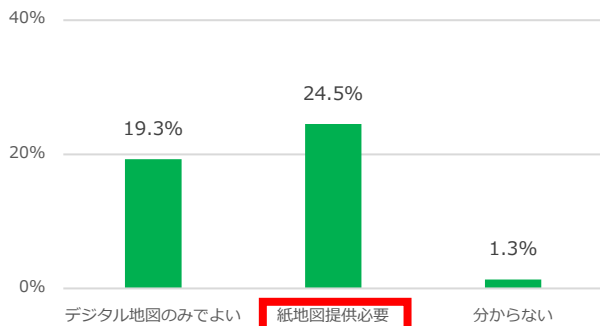
性別



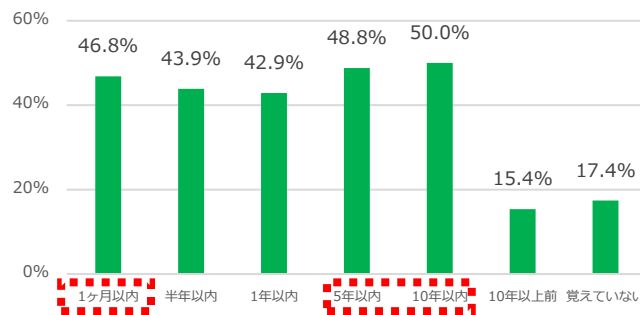
地域別



紙地図の利用要望別



直近利用状況別(n = 249)

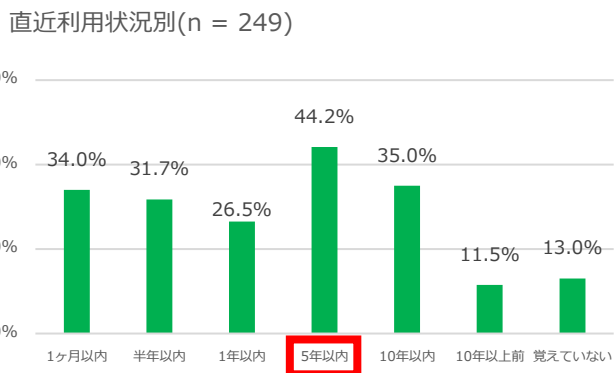
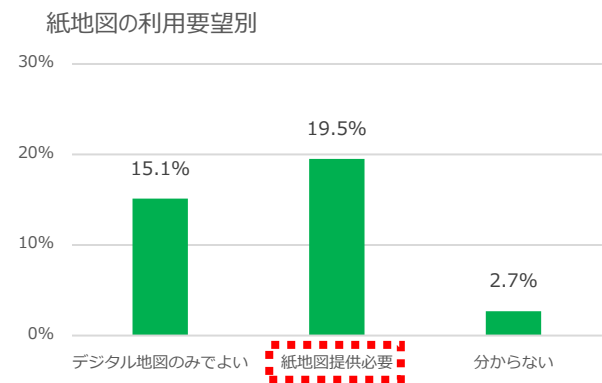
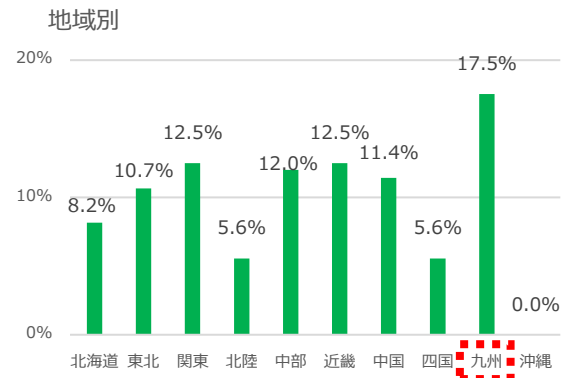
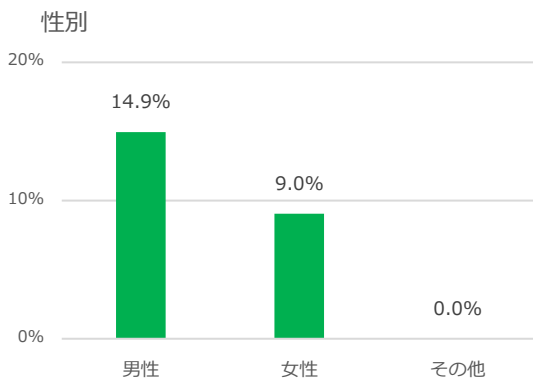
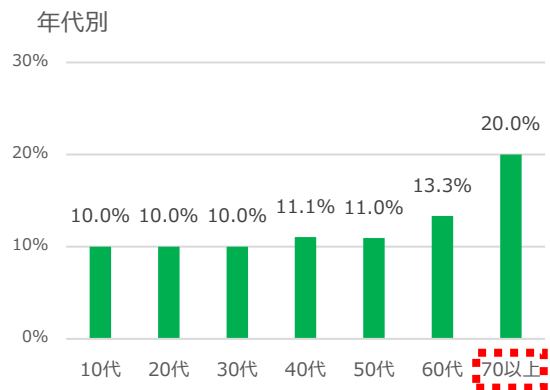


問B3(1) 国土地理院提供の「防災に関連する情報」で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(1) 国土地理院提供の防災に関連する情報の認知度: 空中写真を補正し地図に重ね合わせた画像

- 「空中写真を補正し地図に重ね合わせた画像」認知度(全体11.9%)は、年代別では70以上で、地域別では九州でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は29.7%で、時期別では5年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

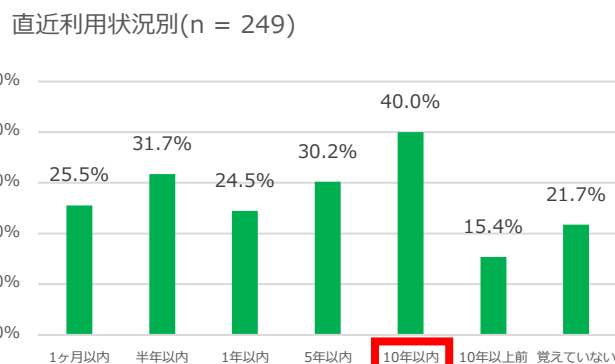
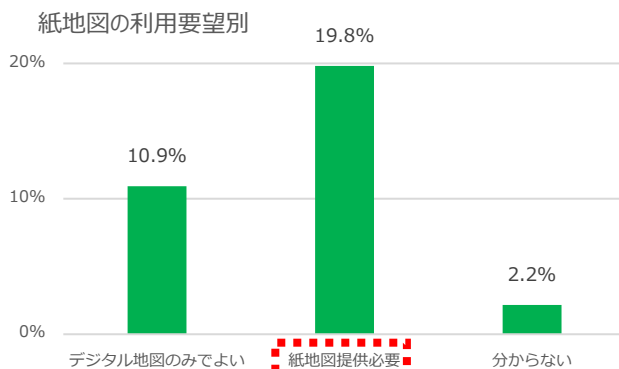
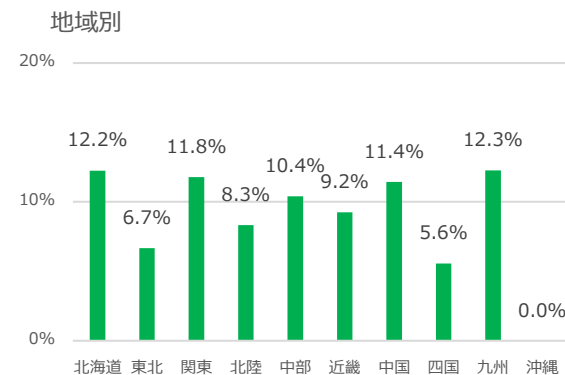
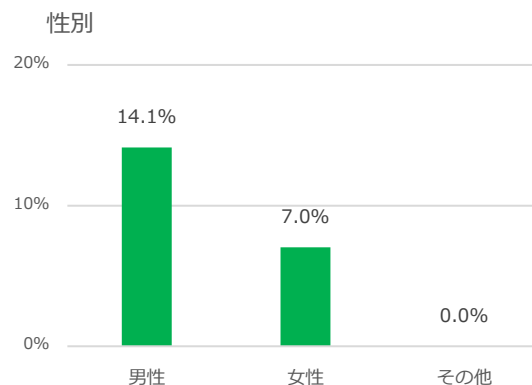
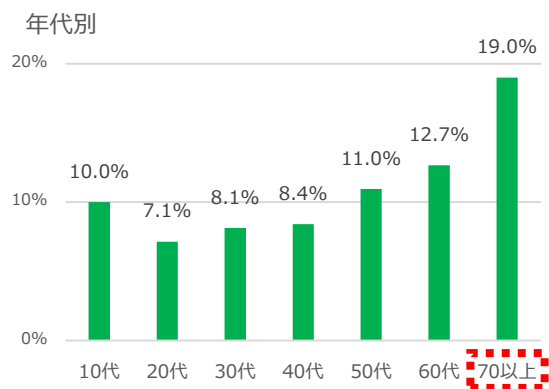


問B3(1) 国土地理院提供の「防災に関連する情報」で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(1) 国土地理院提供の防災に関連する情報の認知度: 高精度高密度な標高データ

- 「高精度高密度な標高データ」認知度(全体10.5%)は、年代別では70以上の人でやや高い傾向がみられる。性別及び地域別では、差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は26.9%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

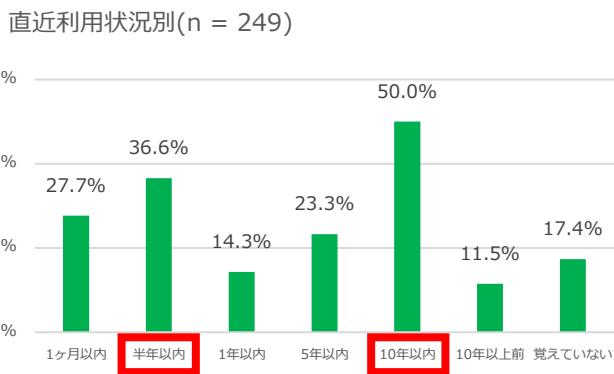
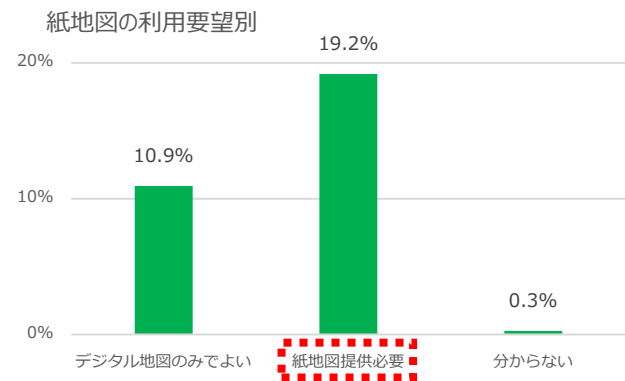
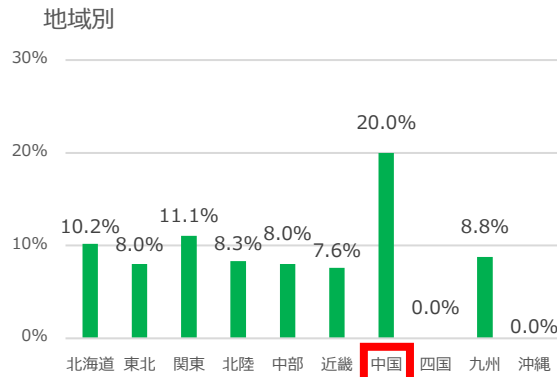
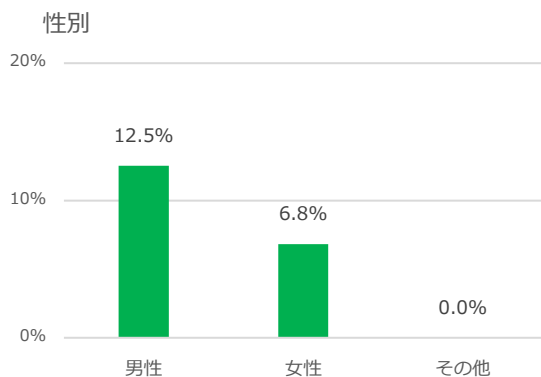
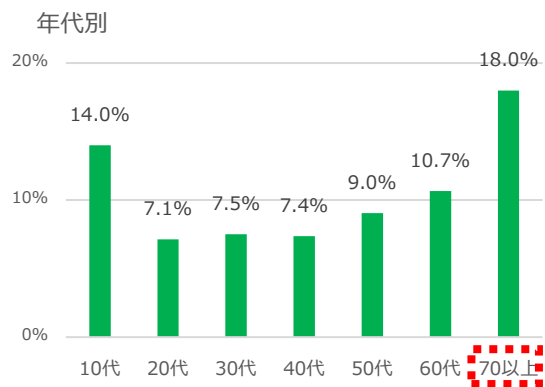


問B3(1) 国土地理院提供の「防災に関連する情報」で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(1) 国土地理院提供の防災に関連する情報の認知度: 活断層図や地形分類図などの地形特性情報

- 「活断層図や地形分類図などの地形特性情報」認知度(全体9.6%)は、年代別では70以上でやや高い、地域別では中国で高い傾向がみられる。性別では大きな差はみられなかった。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は24.9%で、時期別では10年以内及び半年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

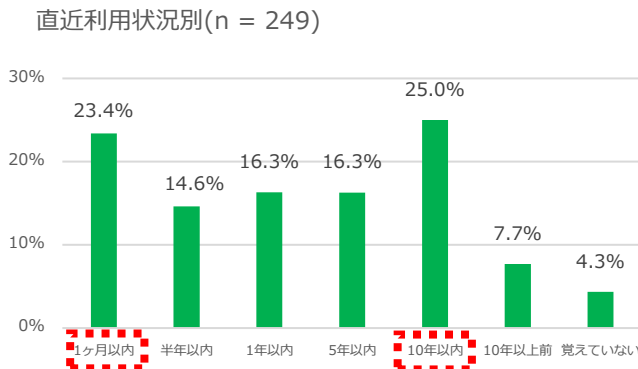
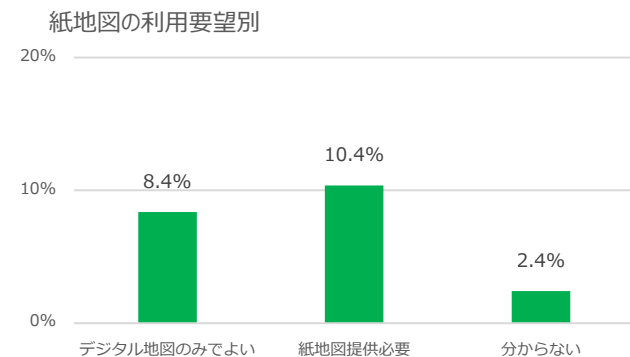
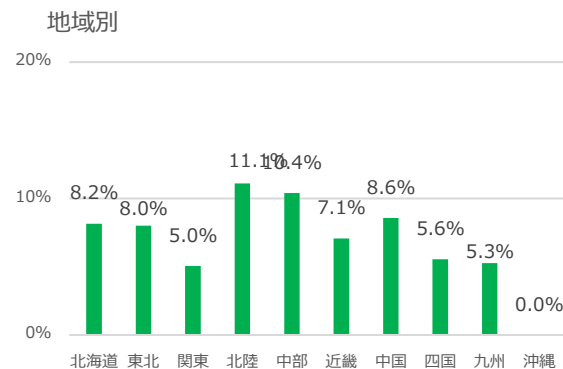
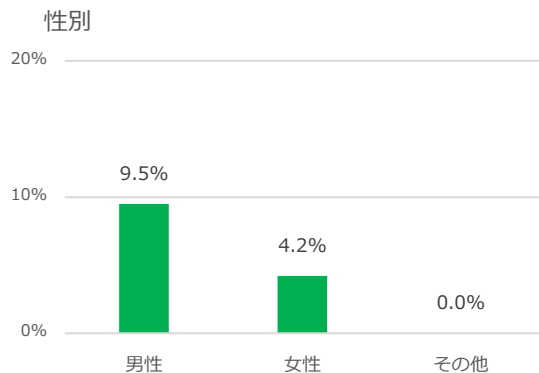
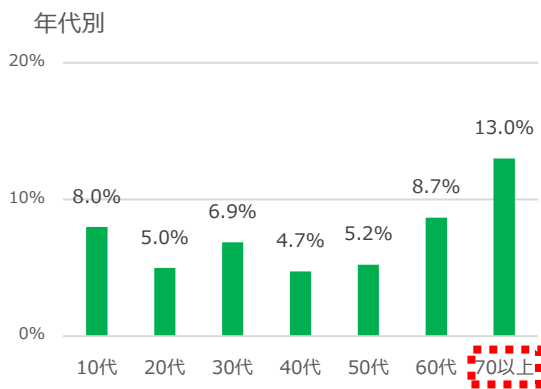


問B3(1) 国土地理院提供の「防災に関連する情報」で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(1) 国土地理院提供の防災に関連する情報の認知度： 災害伝承に関する災害履歴情報（自然災害伝承碑等）

- 「災害伝承に関する災害履歴情報（自然災害伝承碑等）」認知度(全体6.8%)は、年代別では70以上でやや高い傾向がみられる。性別及び地域別では、差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は16.1%で、時期別では10年以内、1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

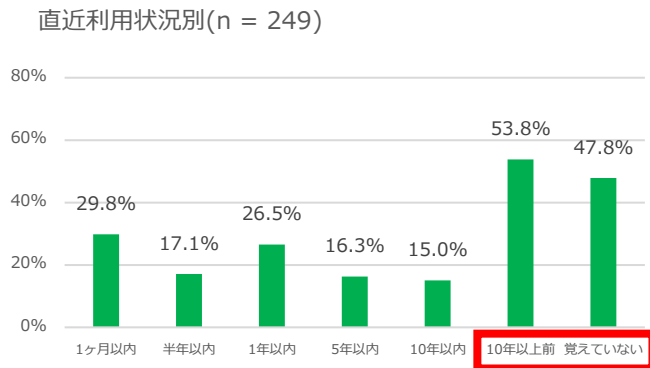
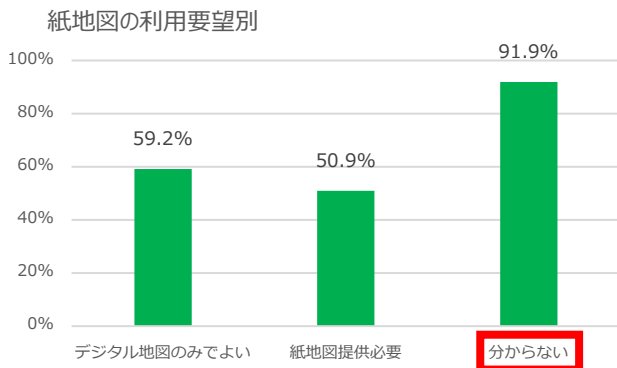
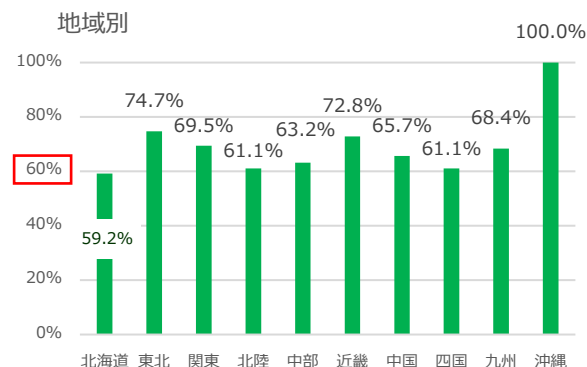
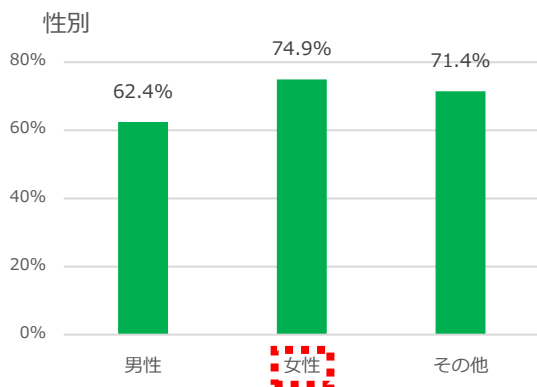
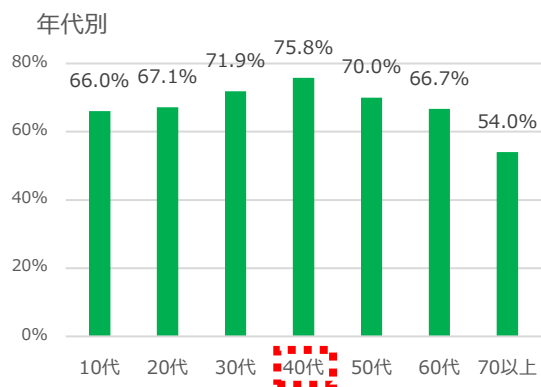


問B3(1) 国土地理院提供の「防災に関連する情報」で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(1) 国土地理院提供の防災に関連する情報の認知度：知らない

- 「知らない」(全体68.7%)との回答に関しては、年代別では40代が、性別では女性でやや高い傾向がみられる。地域別では、北海道以外の地域で60%以上の傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の知らないとの回答は27.7%で、10年以上、覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる。

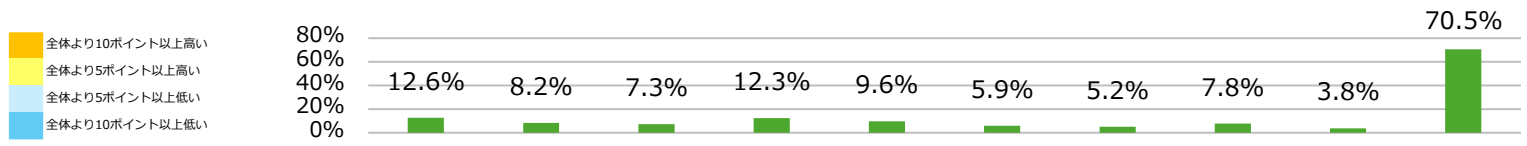


問B3(1) 国土地理院提供の「防災に関連する情報」で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度

- 全体では、国土地理院の災害時公表情報に関しては、「衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)」が12.6%と最も高く、つづいて「浸水推定図」が10%を超える認知度となっており、それ以外の情報の認知度は一桁台にとどまっている。
- 特にないと回答が最も多く70.5%となっている。



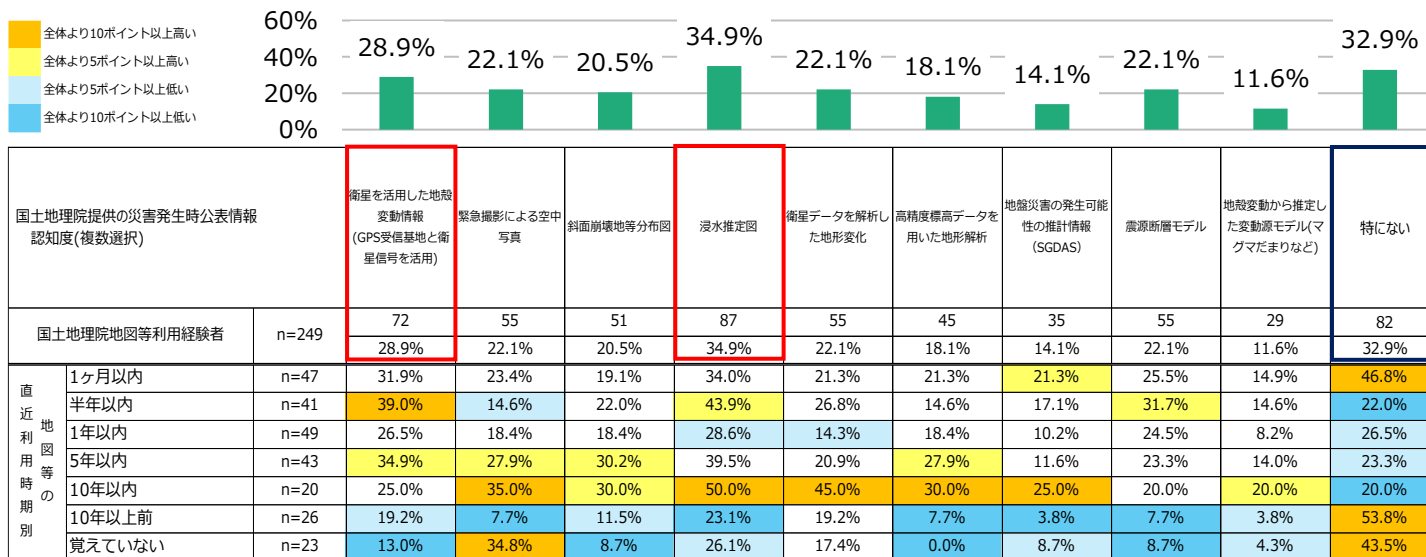
国土地理院提供の災害発生時公表情報認知度(複数選択)		衛星を活用した地殻変動情報 (GPS受信基地と衛星信号を活用)	緊急撮影による空中写真	斜面崩壊地等分布図	浸水推定図	衛星データを解析した地形変化	高精度標高データを用いた地形解析	地盤災害の発生可能性の推計情報(SGDAS)	震源断層モデル	地殻変動から推定した変動源モデル(マグマだまりなど)	特にない	
全体	n=1000	126 12.6%	82 8.2%	73 7.3%	123 12.3%	96 9.6%	59 5.9%	52 5.2%	78 7.8%	38 3.8%	705 70.5%	
年代別	10代	n=50	12.0%	4.0%	10.0%	16.0%	6.0%	8.0%	6.0%	10.0%	8.0%	70.0%
	20代	n=140	15.0%	5.7%	5.7%	9.3%	10.0%	5.0%	5.7%	5.0%	3.6%	65.0%
	30代	n=160	10.0%	3.8%	6.3%	13.1%	6.3%	5.6%	6.9%	8.1%	3.8%	72.5%
	40代	n=190	10.5%	8.4%	6.3%	8.9%	6.8%	6.3%	5.3%	6.3%	2.1%	75.8%
	50代	n=210	9.5%	9.5%	6.7%	11.0%	9.0%	2.9%	2.4%	9.0%	3.3%	71.9%
	60代	n=150	14.7%	11.3%	10.7%	14.0%	10.0%	7.3%	4.7%	8.0%	4.7%	73.3%
	70以上	n=100	21.0%	9.0%	8.0%	20.0%	22.0%	10.0%	8.0%	10.0%	5.0%	58.0%
性別	男性	n=495	15.4%	11.1%	8.7%	16.0%	10.9%	8.3%	7.3%	9.9%	5.3%	65.5%
	女性	n=498	10.0%	5.2%	6.0%	8.8%	8.4%	3.6%	3.0%	5.8%	2.4%	75.5%
	その他	n=7	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%
地域別	北海道	n=49	18.4%	8.2%	8.2%	18.4%	18.4%	6.1%	2.0%	8.2%	4.1%	59.2%
	東北	n=75	10.7%	9.3%	6.7%	10.7%	10.7%	5.3%	8.0%	8.0%	1.3%	74.7%
	関東	n=416	13.5%	7.7%	7.5%	12.7%	9.9%	5.5%	4.3%	7.7%	4.1%	70.4%
	北陸	n=36	22.2%	11.1%	11.1%	16.7%	5.6%	8.3%	8.3%	11.1%	5.6%	63.9%
	中部	n=125	10.4%	11.2%	8.0%	15.2%	11.2%	7.2%	6.4%	10.4%	3.2%	63.2%
	近畿	n=184	10.3%	7.1%	4.9%	9.2%	7.1%	6.5%	6.5%	5.4%	4.3%	77.2%
	中国	n=35	17.1%	8.6%	8.6%	11.4%	5.7%	8.6%	5.7%	11.4%	5.7%	71.4%
	四国	n=18	16.7%	5.6%	5.6%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	66.7%
	九州	n=57	7.0%	7.0%	10.5%	7.0%	10.5%	3.5%	3.5%	3.5%	3.5%	71.9%
沖縄	n=5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
紙利地図	デジタル地図のみでよい	n=311	16.7%	10.9%	9.0%	16.1%	11.3%	7.7%	6.4%	9.6%	4.5%	61.7%
	紙地図提供必要	n=318	21.7%	13.5%	12.9%	21.4%	17.0%	10.1%	8.2%	13.2%	6.6%	53.8%
	分からない	n=371	1.3%	1.3%	1.1%	1.3%	1.9%	0.8%	1.6%	1.6%	0.8%	92.2%

問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人では、「浸水推定図」が34.9%と最も高く、つづいて「衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)」が28.9%の認知度となっている。利用経験者でも、特にないも32.9%と高くなっている。

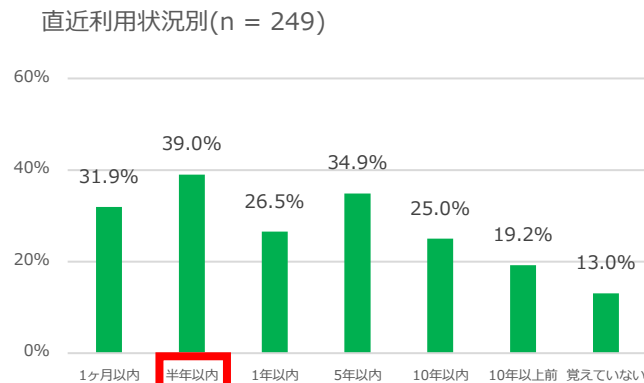
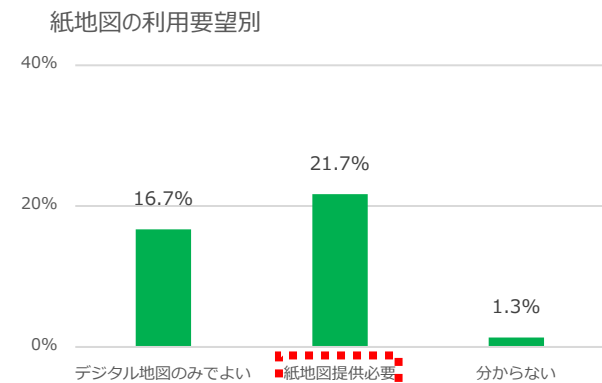
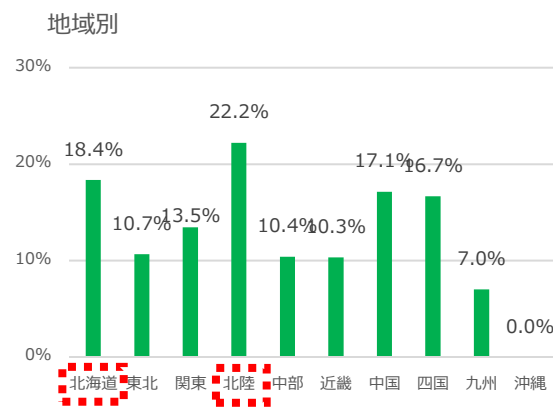
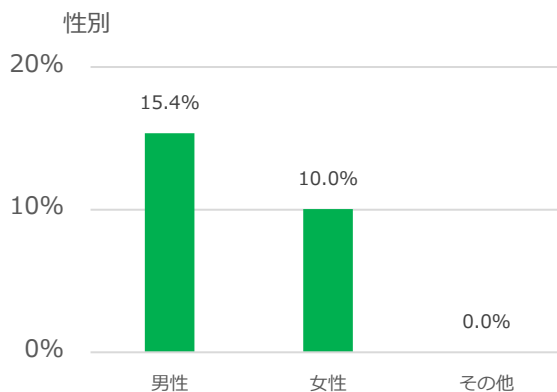
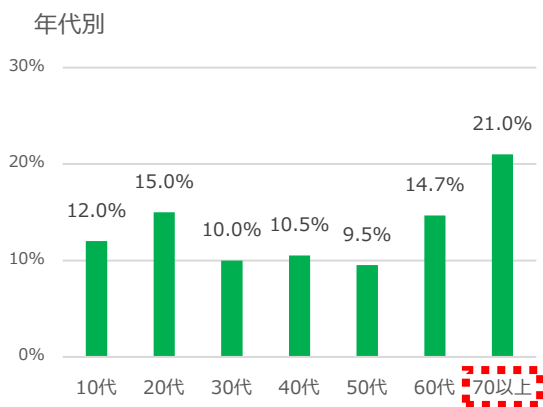


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度： 衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)

- 「衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)」認知度(全体12.6%)は、年代別では70以上で、地域別では北陸、北海道でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は28.9%で、時期別では半年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

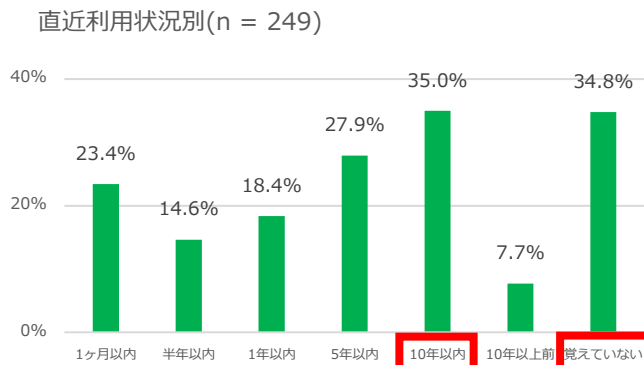
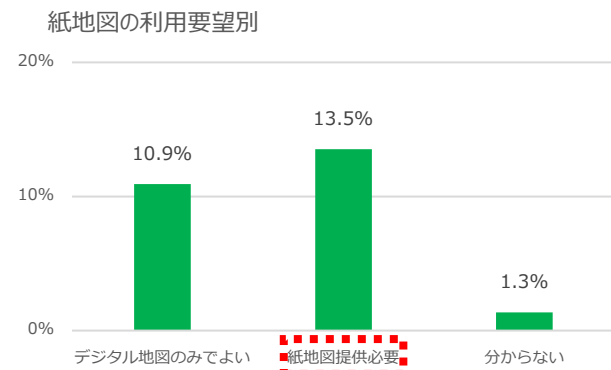
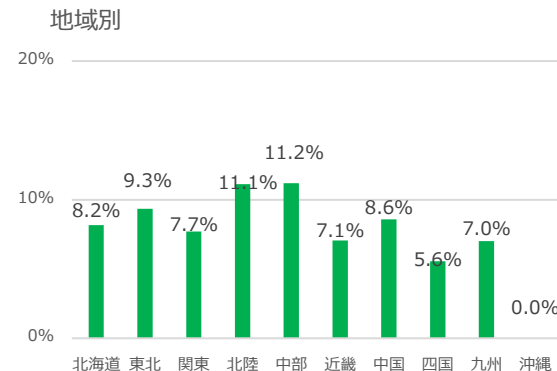
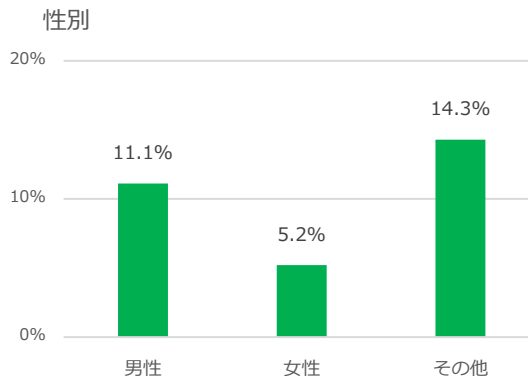
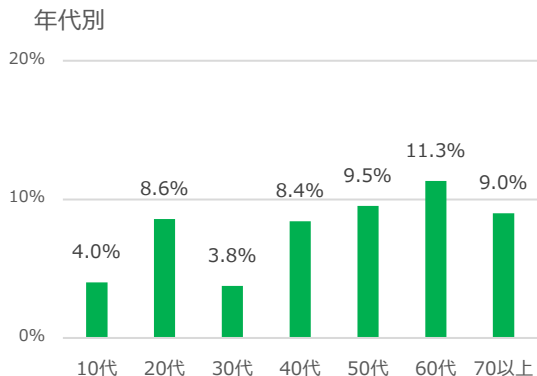


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度： 緊急撮影による空中写真

- 「緊急撮影による空中写真」認知度(全体8.2%)は、年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は22.1%で、時期別では10年以内、覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる。

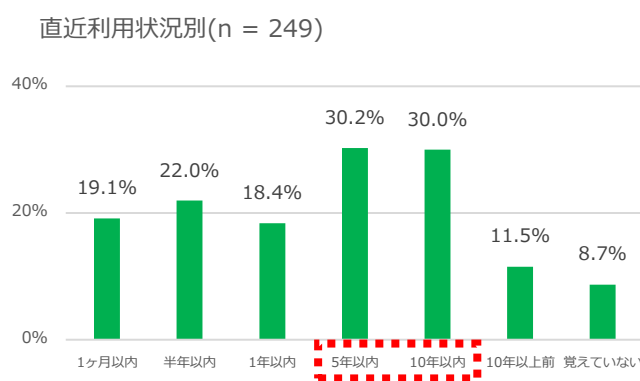
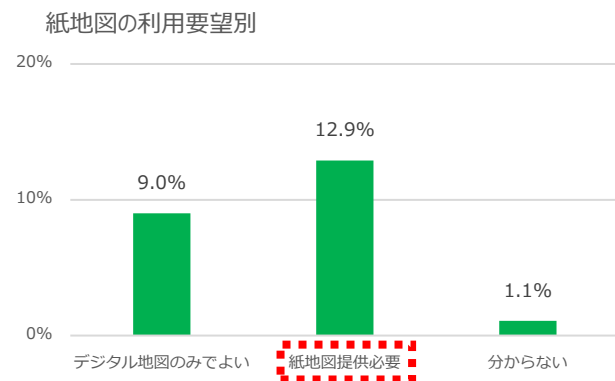
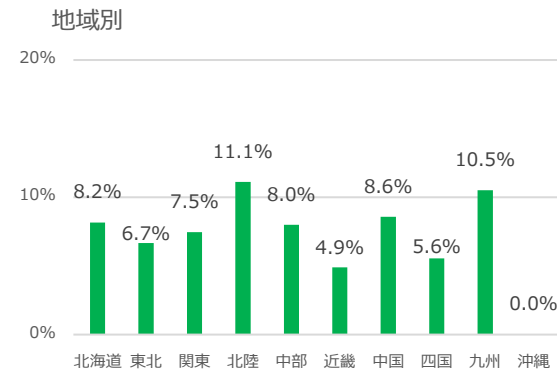
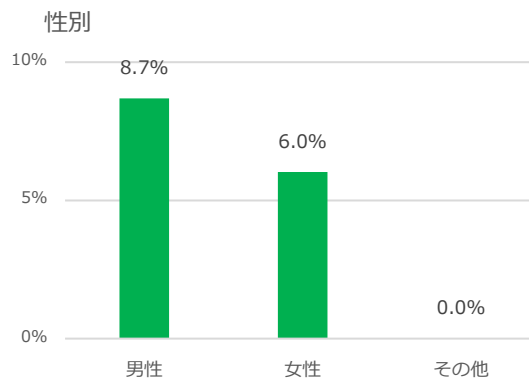
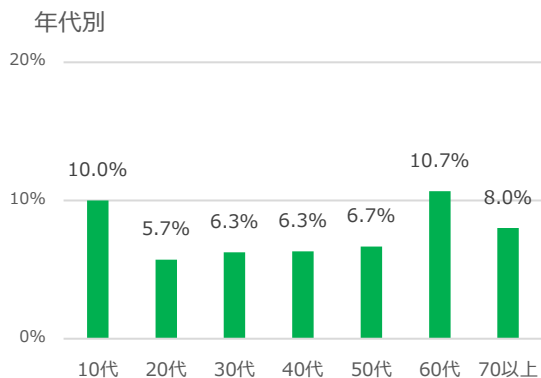


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度：斜面崩壊地等分布図

- 「斜面崩壊地等分布図」認知度(全体7.3%)は、年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は20.5%で、時期別では5年以内、10年以内と回答した人やや高い傾向がみられる。

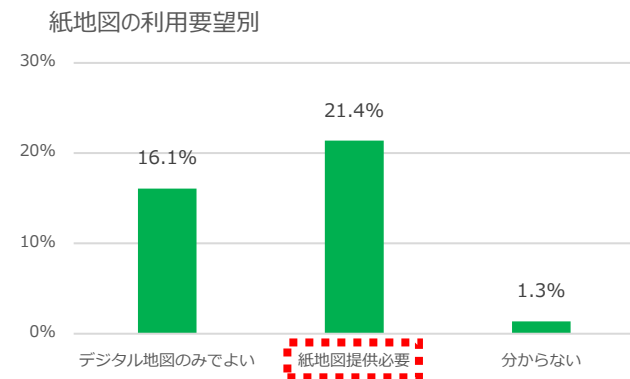
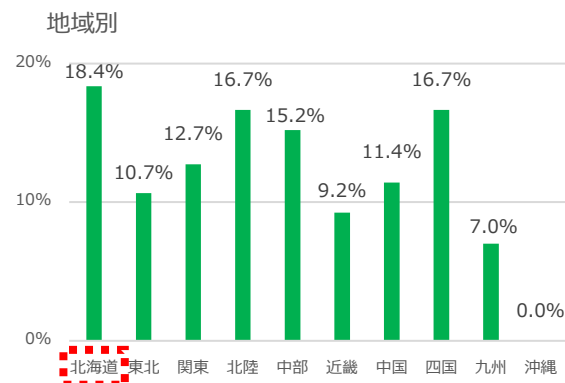
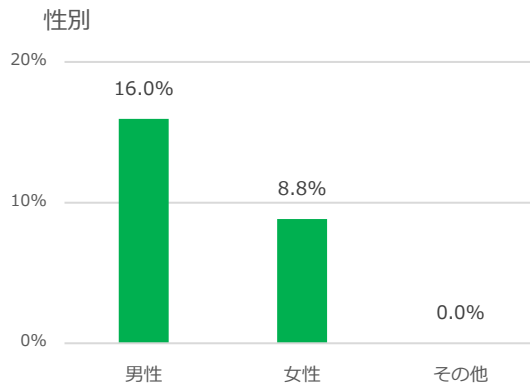
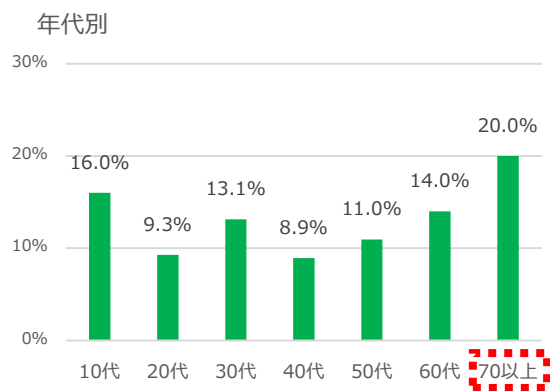


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

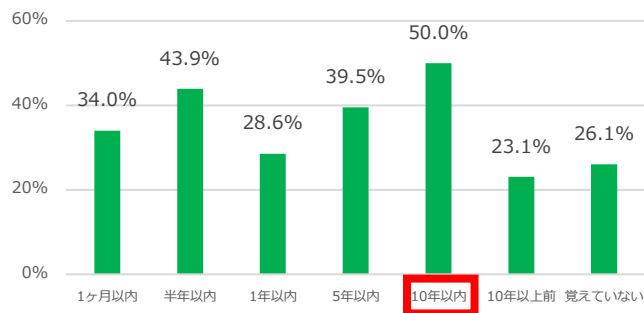
B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度： 浸水推定図

- 「浸水推定図」認知度(全体12.3%)は、年代別では70以上で、地域別では北海道でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人がやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は34.9%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。



直近利用状況別(n = 249)

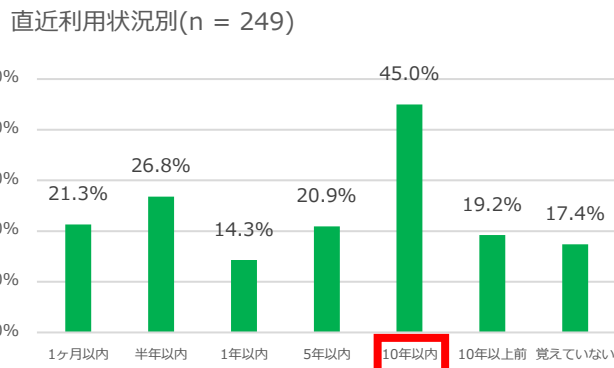
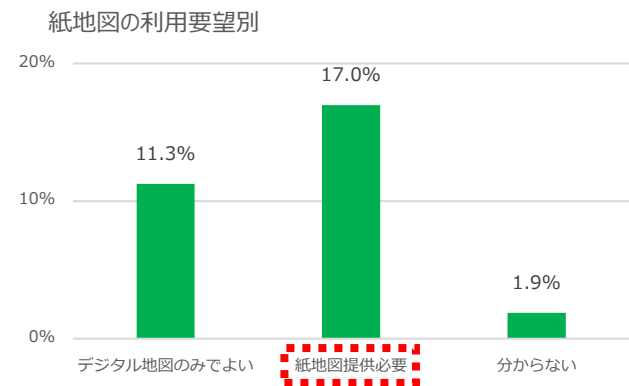
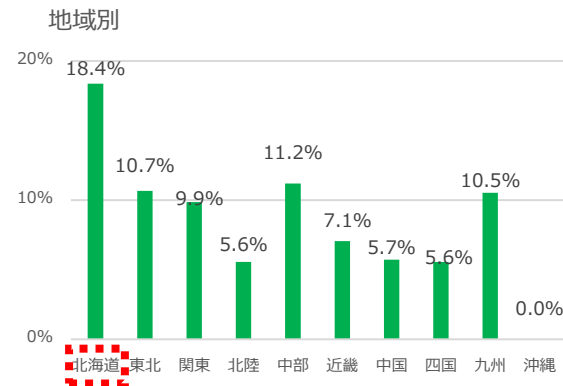
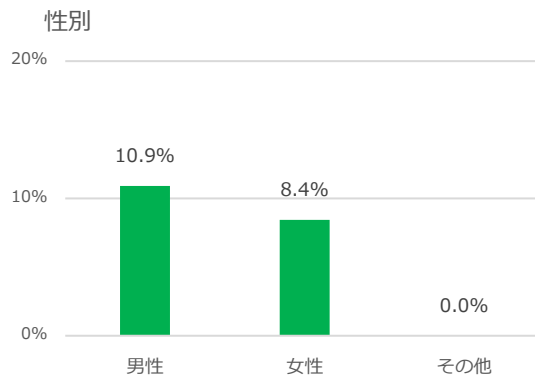
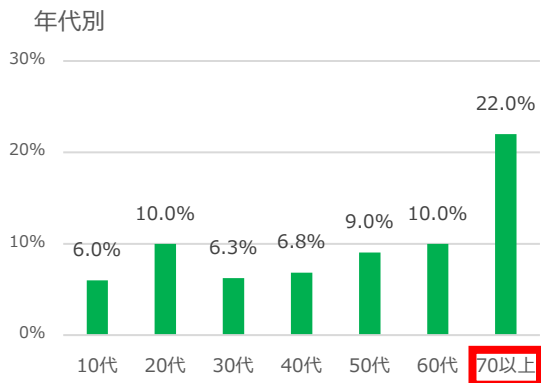


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度： 衛星データを解析した地形変化

- 「衛星データを解析した地形変化」認知度(全体9.6%)は、年代別では70以上で高い傾向が、地域別では北海道でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は22.1%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

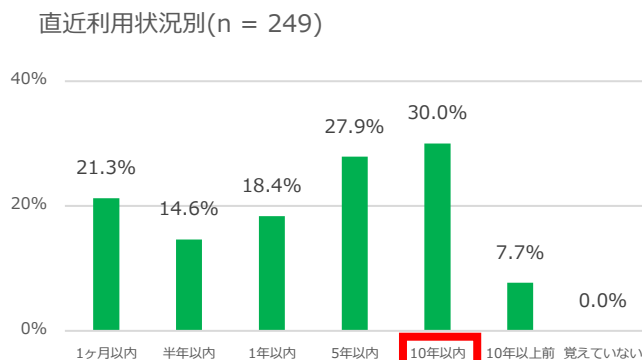
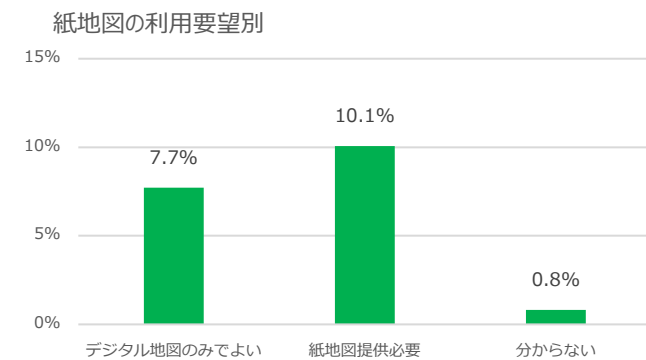
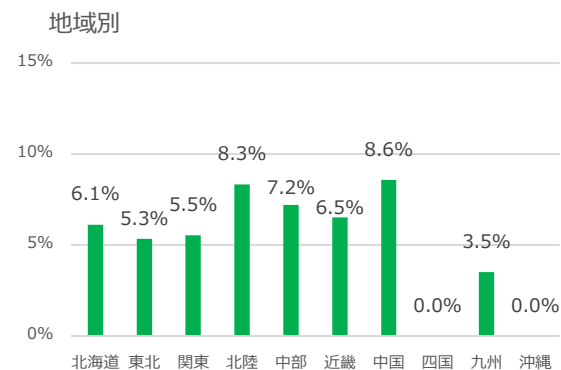
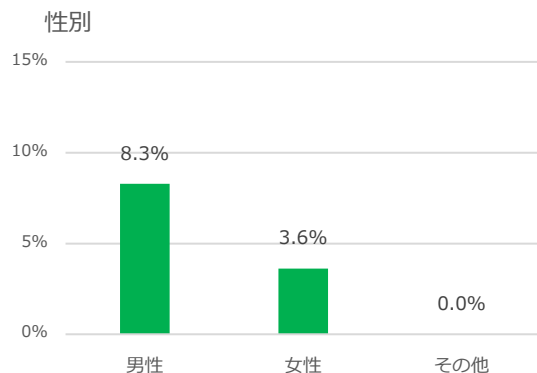
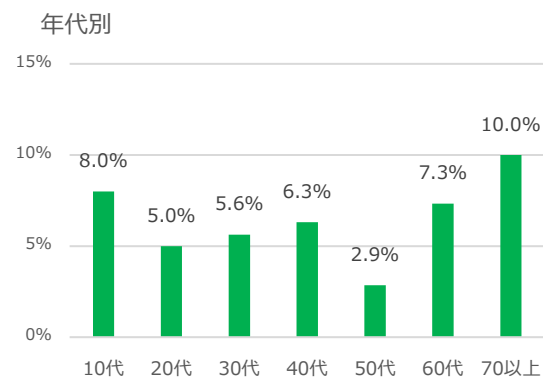


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度： 高精度標高データを用いた地形解析

- 「高精度標高データを用いた地形解析」認知度(全体5.9%)は、年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、デジタル地図のみでよいと紙地図が必要との差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は18.1%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

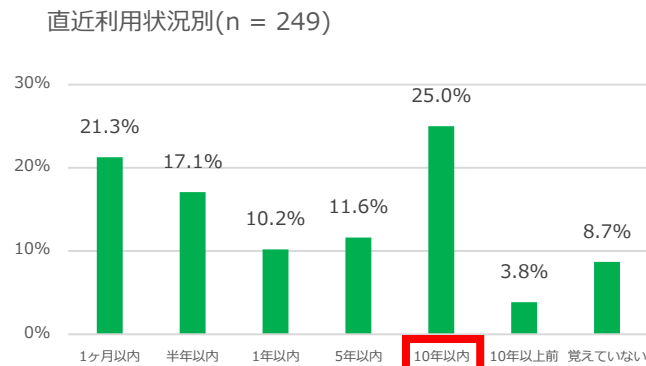
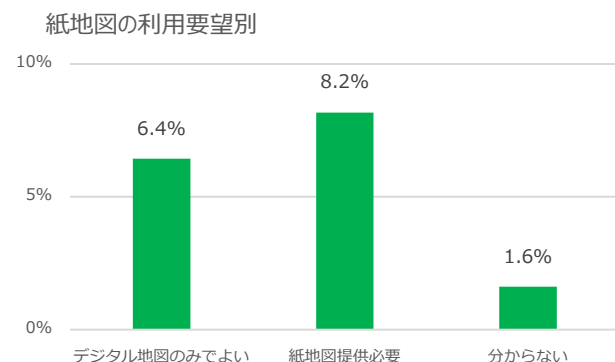
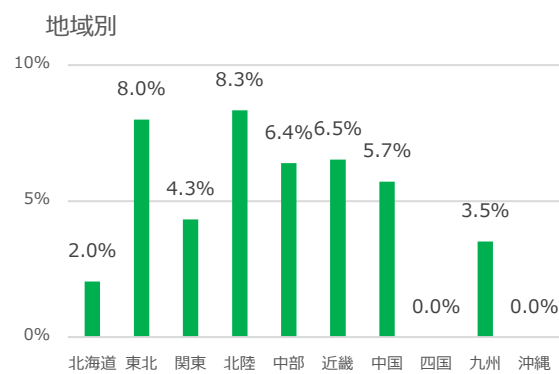
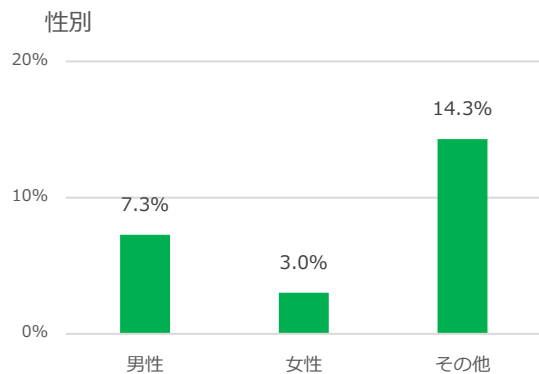
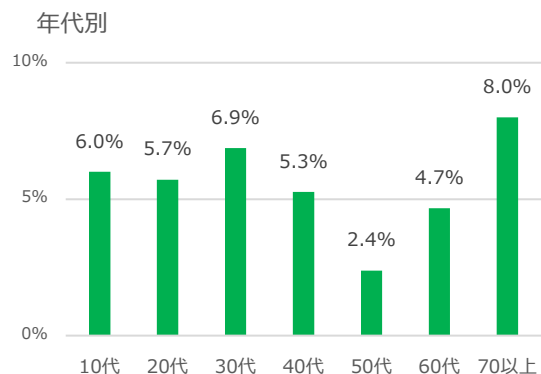


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度： 地盤災害の発生可能性の推計情報（SGDAS）

- 「地盤災害の発生可能性の推計情報（SGDAS）」認知度(全体5.2%)は、年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は14.1%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

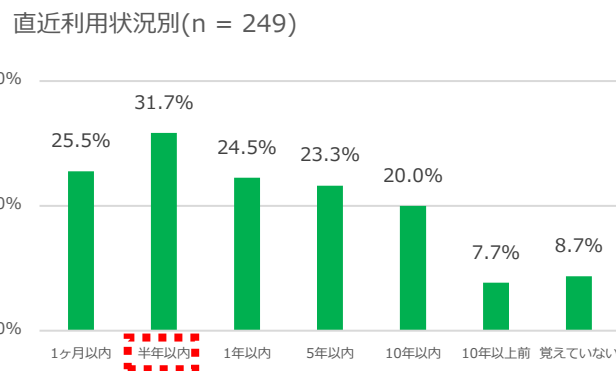
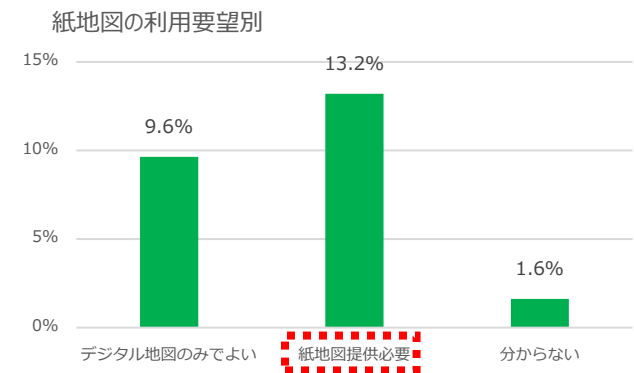
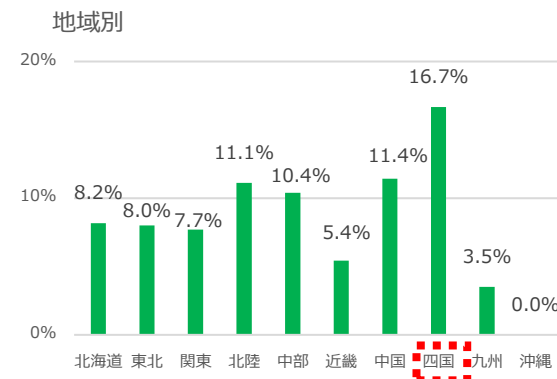
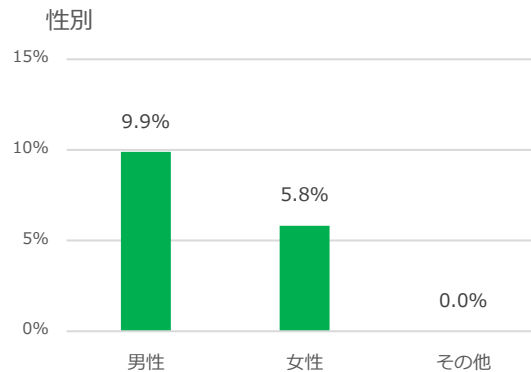
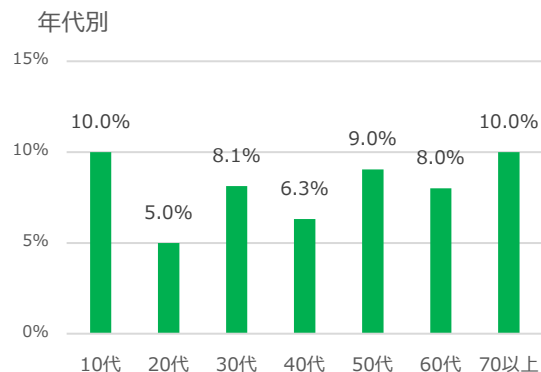


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度： 震源断層モデル

- 「震源断層モデル」認知度(全体7.8%)は、年代別、性別では差はあまりみられない。地域別では四国でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は22.1%で、時期別では半年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

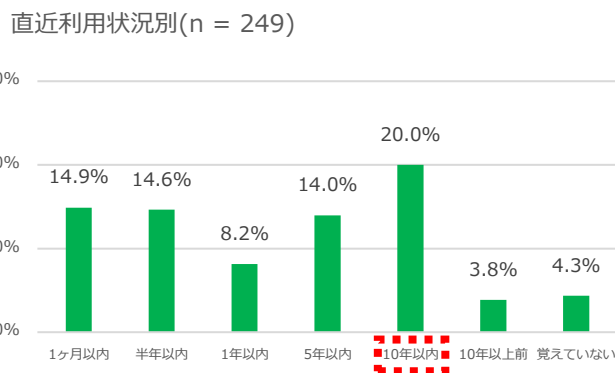
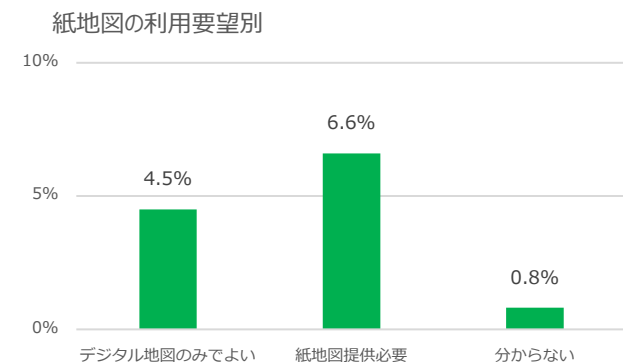
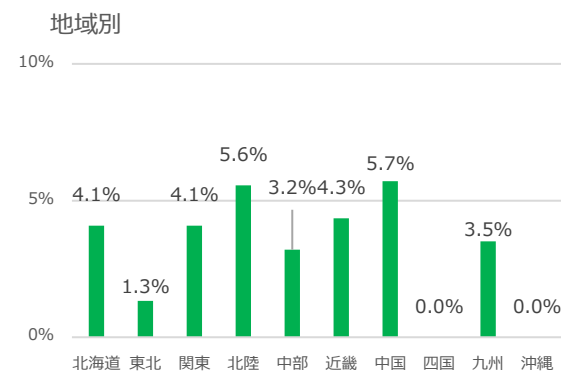
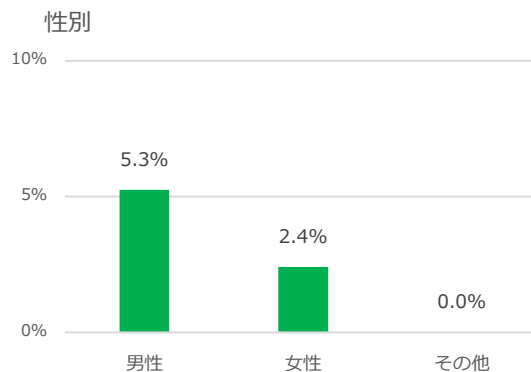
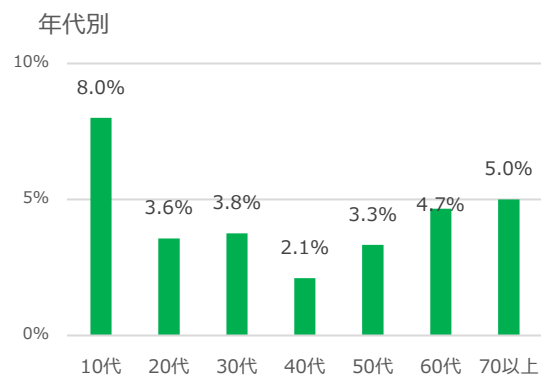


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度： 地殻変動から推定した変動源モデル(マグマだまりなど)

- 「地殻変動から推定した変動源モデル(マグマだまりなど)」認知度(全体3.8%)は、年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は11.6%で、時期別では10年以内と回答した人やや高い傾向がみられる。

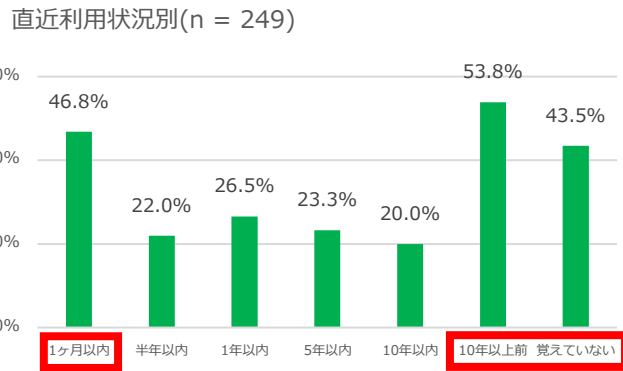
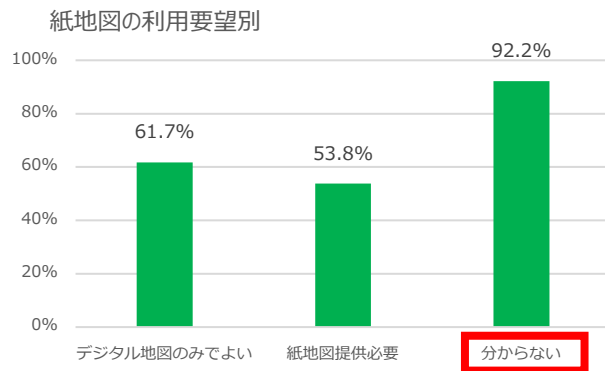
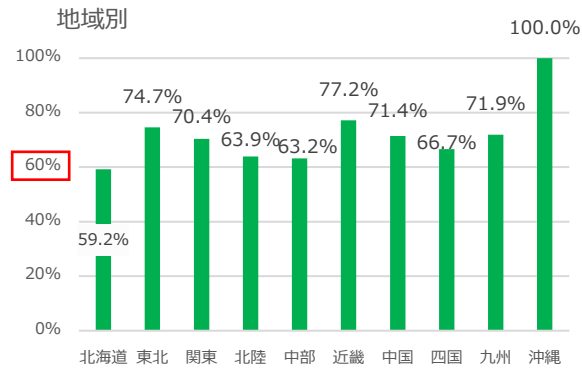
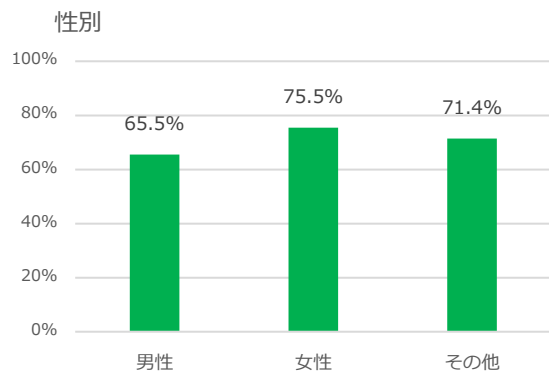
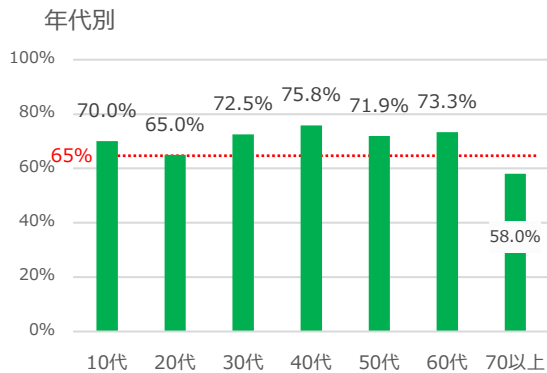


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(2) 国土地理院の災害時公表情報の認知度： 特にない

- 「特にない」(全体70.5%)との回答に関しては、年代別では70以上を除く世代で65%以上の傾向がみられる。性別では女性でやや高い傾向がみられる。地域別では北海道を除く全ての地域で60%以上の傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の92.2%が特にないと回答した。
- 地図利用経験者の特にないと回答は32.9%で、10年以上、1ヶ月以内、覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる。

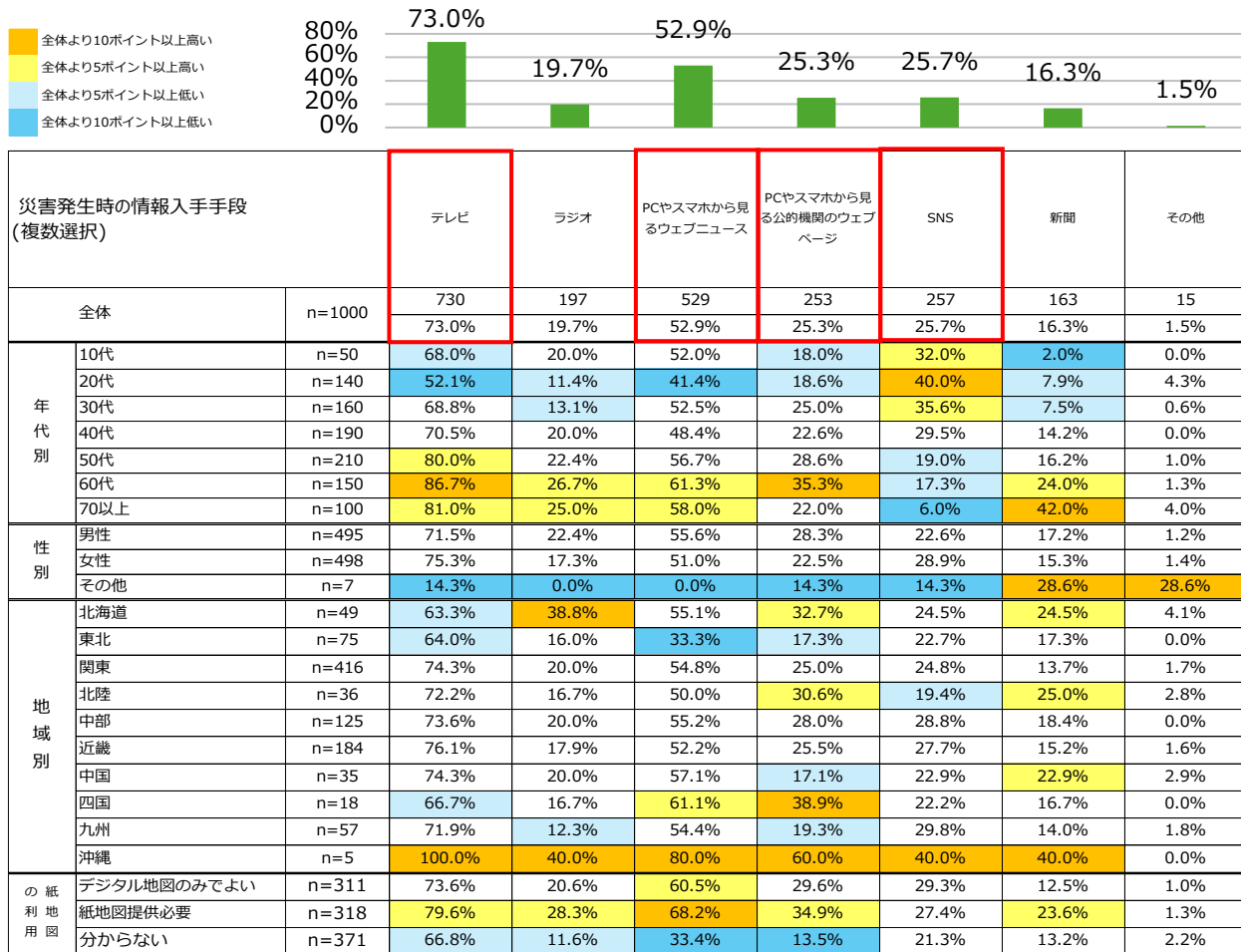


問B3(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(3) 災害発生時の情報収集手段

- 災害発生時の情報収集手段に関しては、「テレビ」との回答が73.0%と最も高く、次いで「PCやスマホから見るウェブニュース」の52.9%であった。「PCやスマホから見る公的機関のウェブページ」と「SNS」との回答は25%台であった。
- その他回答では、特になしに加え、家族や町内会等の知人や専門家からとの回答がみられた。

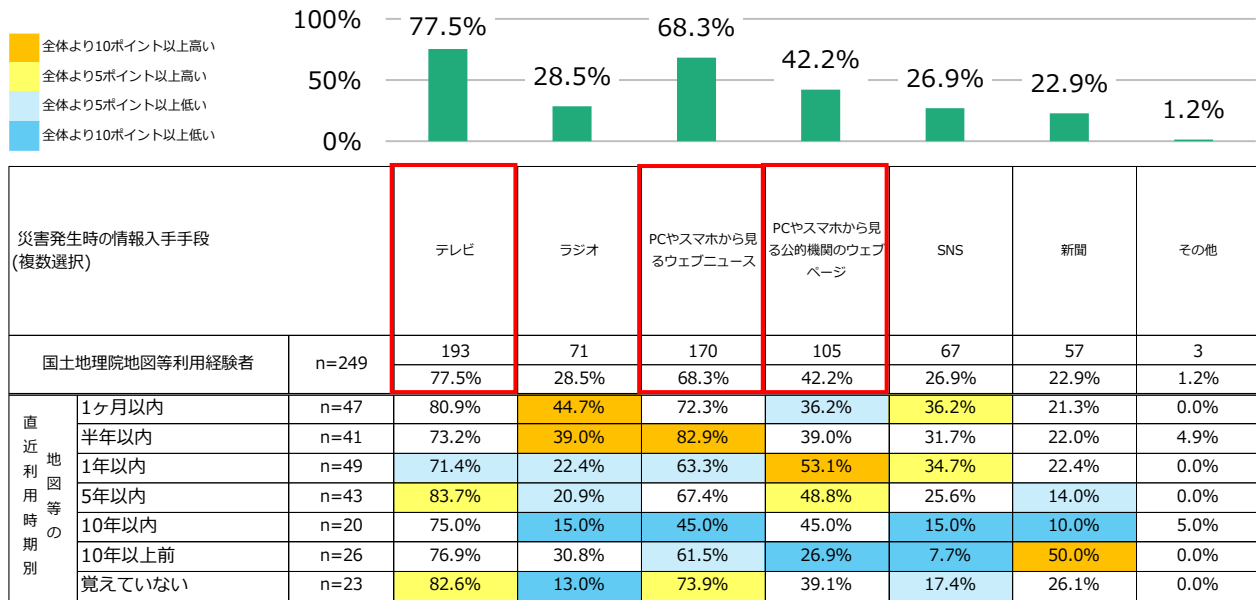


問B3(3) 災害発生時にあなたが情報収集に活用する手段をお答えください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(3) 災害発生時の情報収集手段

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でみても、災害発生時の情報収集手段に関しては、「テレビ」との回答が77.5%と最も高く、次いで「PCやスマホから見るウェブニュース」の68.3%であった。「PCやスマホから見る公的機関のウェブページ」との回答も42.2%と全体に比べて高い傾向がみられる。

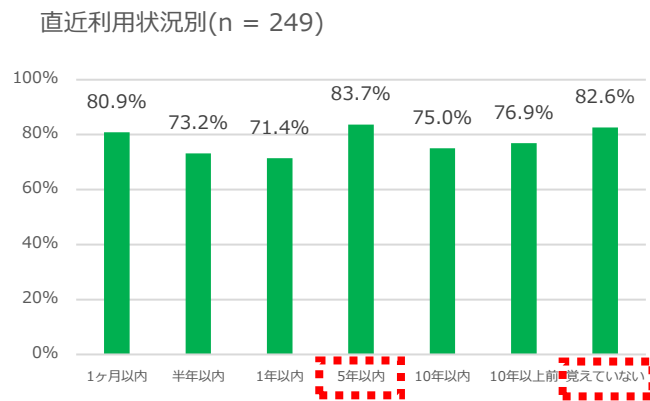
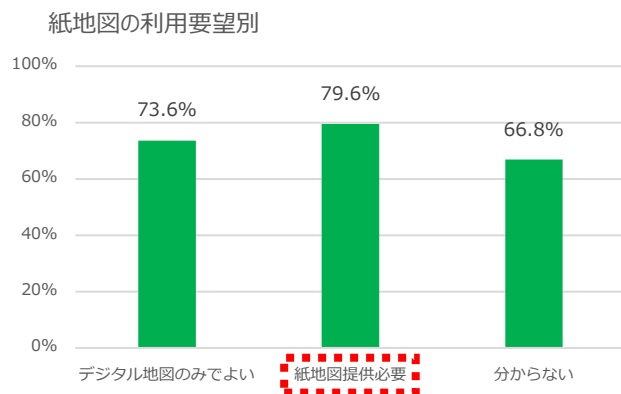
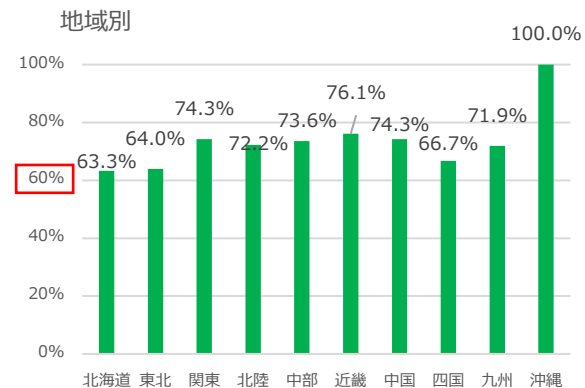
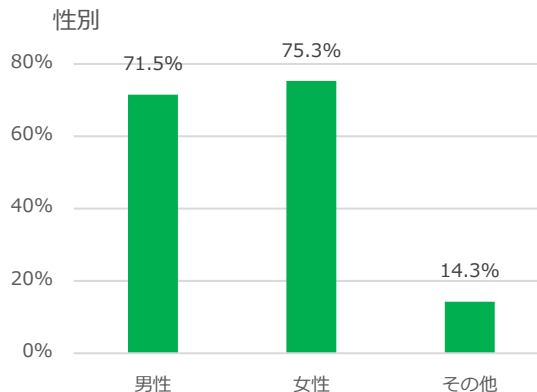
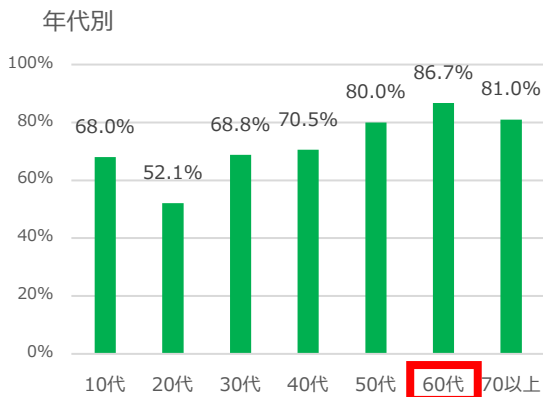


問B3(3) 災害発生時にあなたが情報収集に活用する手段をお答えください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(3) 災害発生時の情報収集手段：テレビ

- 「テレビ」利用率(全体73.0%)は、年代別では60代で高い傾向がみられる。地域別では全ての地域で60%を超える傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の利用率は77.5%で、時期別では5年以内、覚えていないと回答した人でやや高い傾向がみられる。



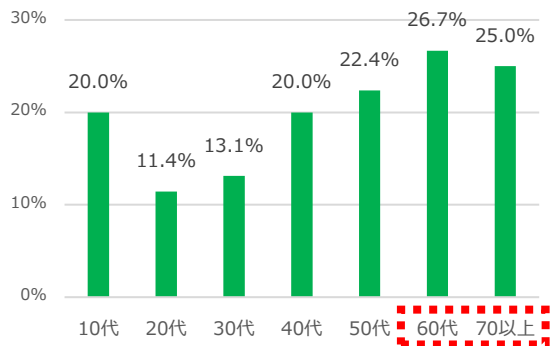
問B3(3) 災害発生時にあなたが情報収集に活用する手段をお答えください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

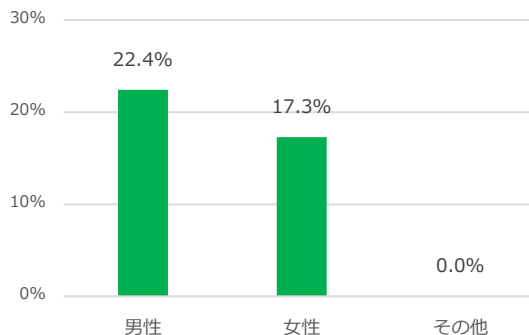
(3) 災害発生時の情報収集手段: ラジオ

- 「ラジオ」利用率(全体19.7%)は、年代別では60代、70以上でやや高い傾向が、地域別では北海道で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の利用率は28.5%で、時期別では1ヶ月以内と半年以内と回答された人で高い傾向がみられる。

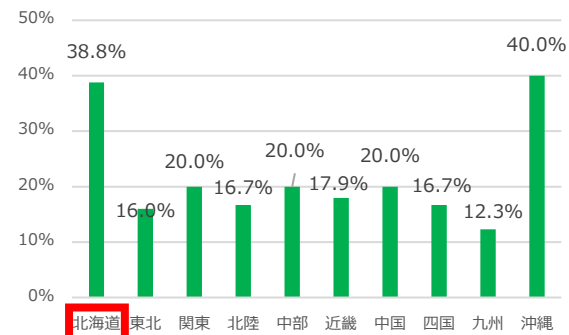
年代別



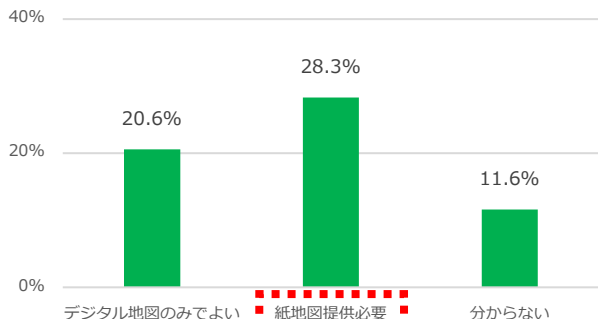
性別



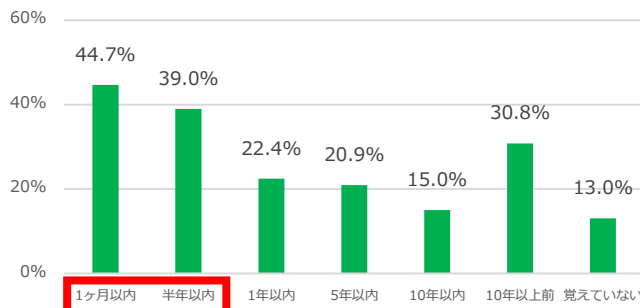
地域別



紙地図の利用要望別



直近利用状況別(n = 249)

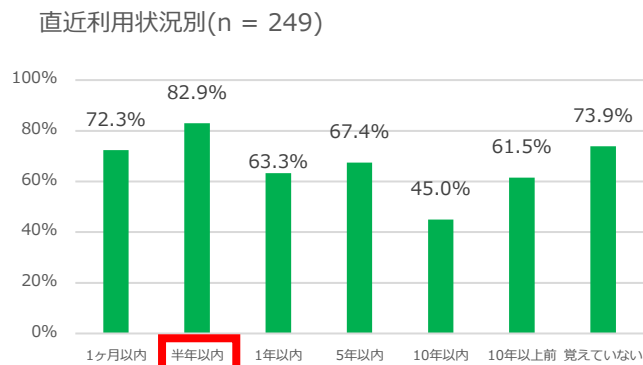
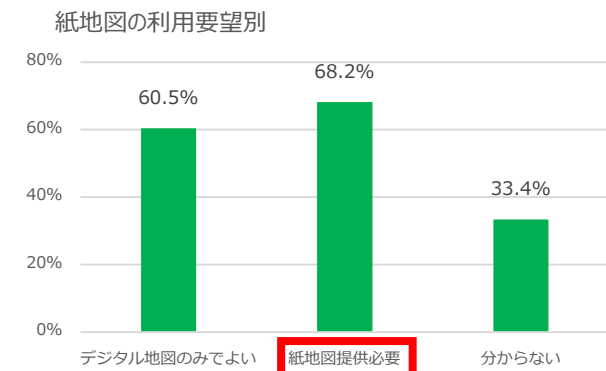
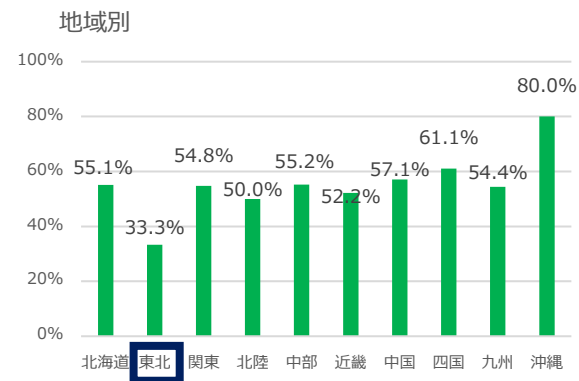
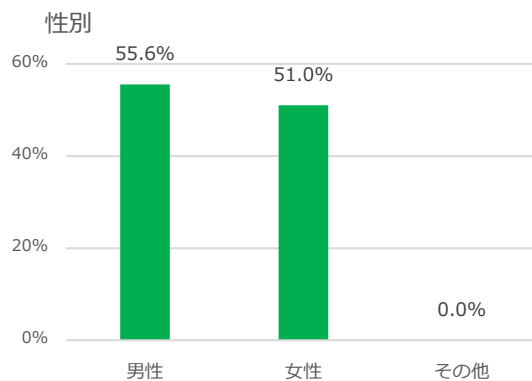
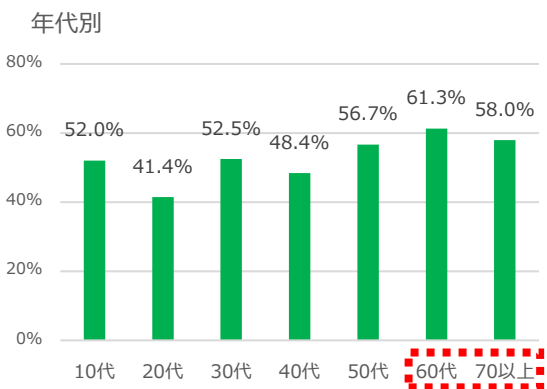


問B3(3) 災害発生時にあなたが情報収集に活用する手段をお答えください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(3) 災害発生時の情報収集手段：PCやスマホから見るウェブニュース

- 「PCやスマホから見るウェブニュース」利用率(全体52.9%)は、年代別では60代、70以上でやや高い傾向が、地域別では東北で低い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の利用率は68.3%で、時期別では半年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

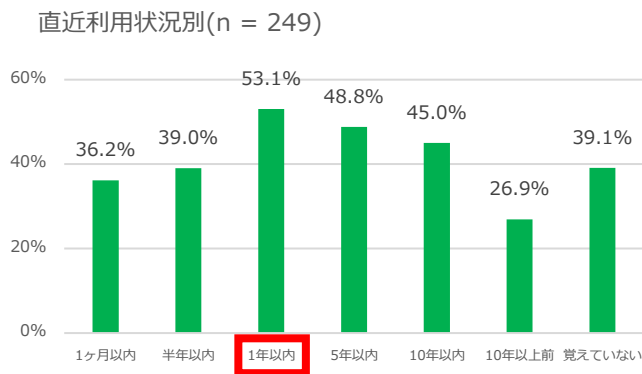
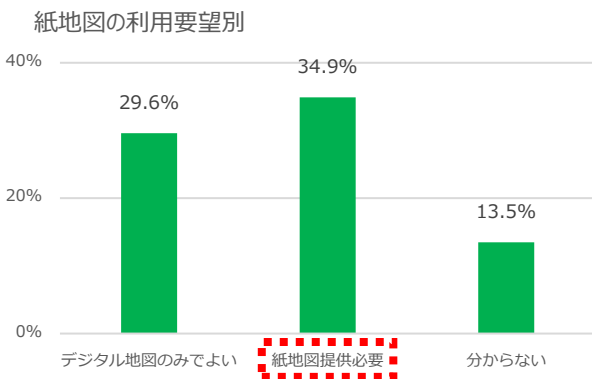
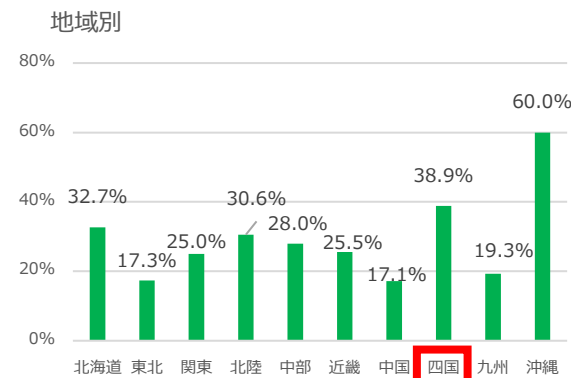
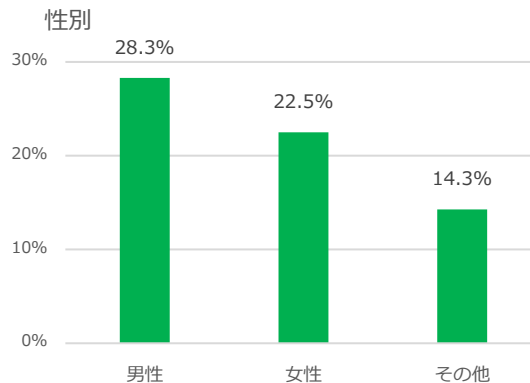
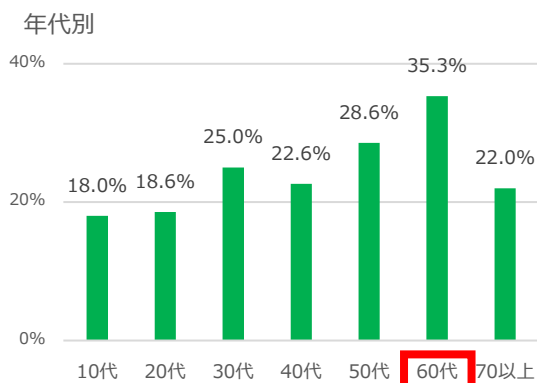


問B3(3) 災害発生時にあなたが情報収集に活用する手段をお答えください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(3) 災害発生時の情報収集手段：PCやスマホから見る公的機関のウェブページ

- 「PCやスマホから見る公的機関のウェブページ」利用率(全体25.3%)は、年代別では60代で、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の利用率は42.2%で、時期別では1年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

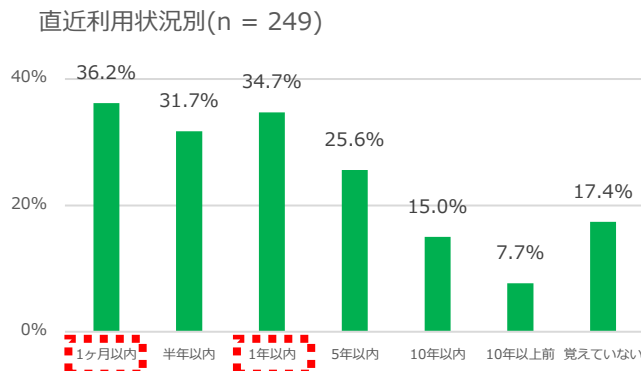
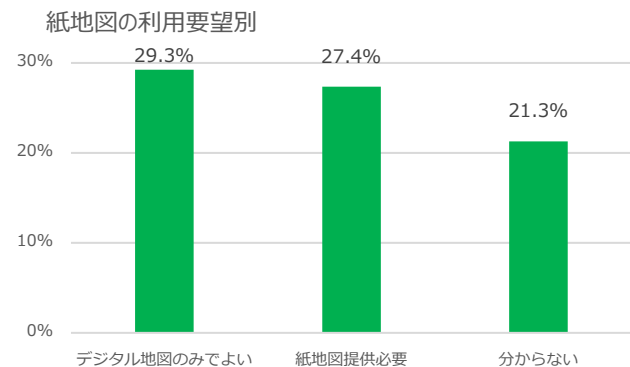
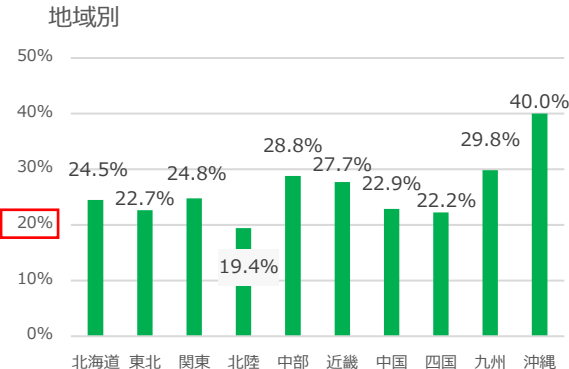
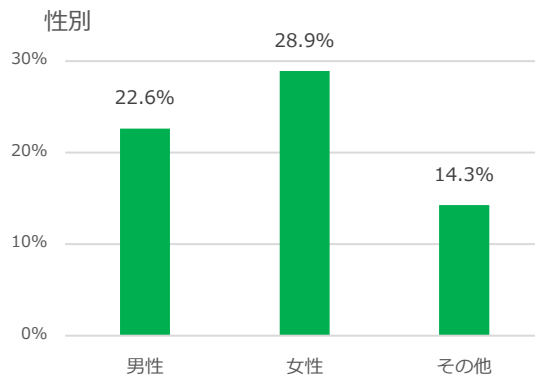
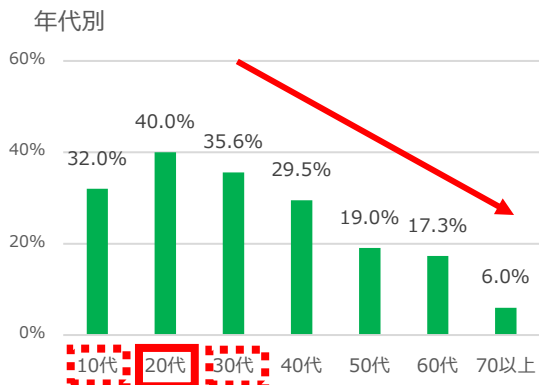


問B3(3) 災害発生時にあなたが情報収集に活用する手段をお答えください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(3) 災害発生時の情報収集手段: SNS

- 「SNS」利用率(全体25.7%)は、年代別では20代で高い傾向が、10代及び30代でやや高い傾向がみられる。地域別では北陸以外で20%以上の傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。尚、年代別では20代以上では年代が上がると利用率は減少している。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の利用率は26.9%で、時期別では1ヶ月以内、1年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

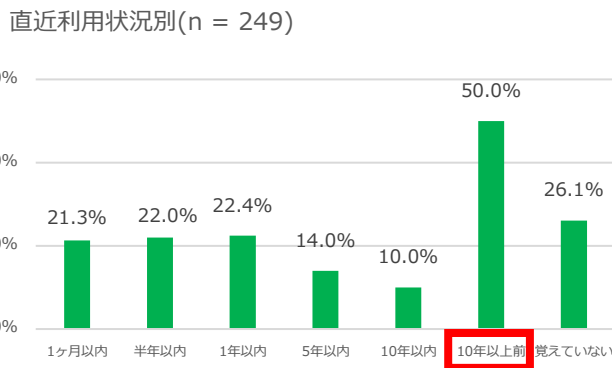
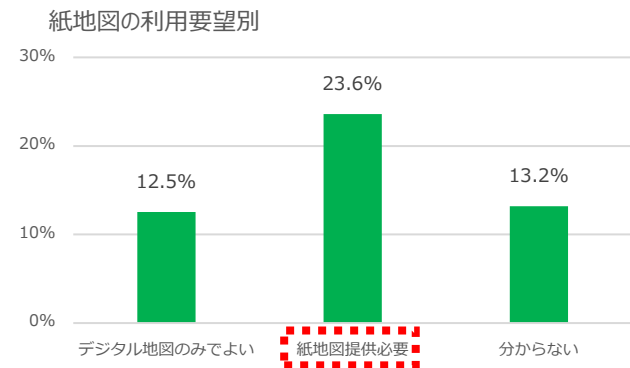
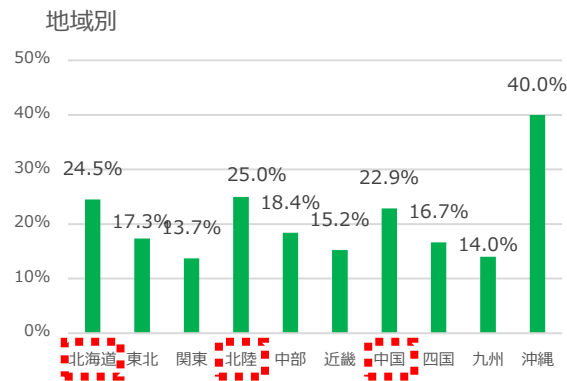
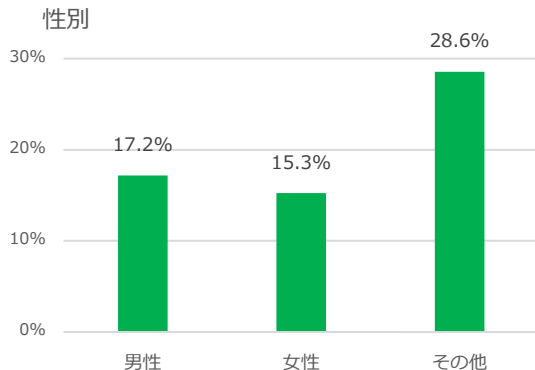
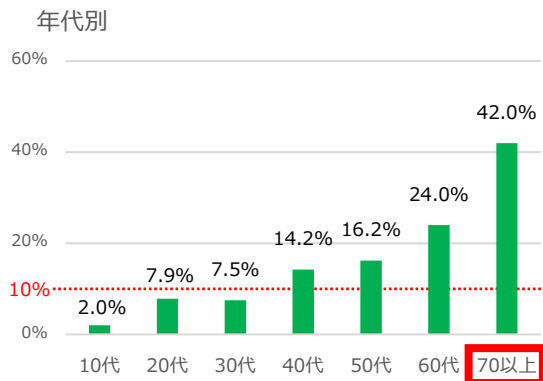


問B3(3) 災害発生時にあなたが情報収集に活用する手段をお答えください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(3) 災害発生時の情報収集手段: 新聞

- 「新聞」利用率(全体16.3%)は、年代別では70以上で高い傾向がみられる。一方で10代から30代では利用率が10%を割り込んでいる。地域別では北海道と北陸と中国でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の利用率は22.9%で、時期別では10年以上と回答した人で高い傾向がみられる。

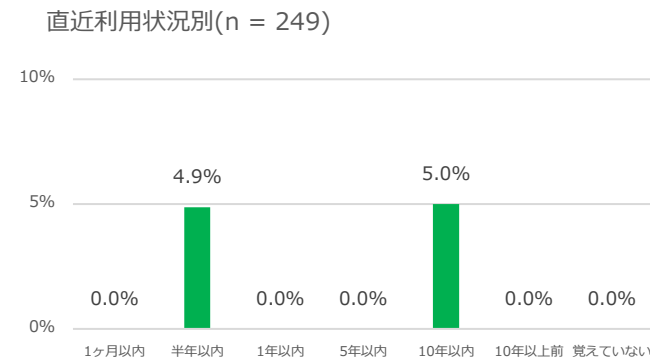
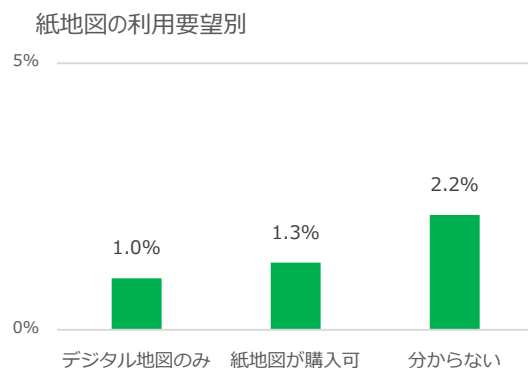
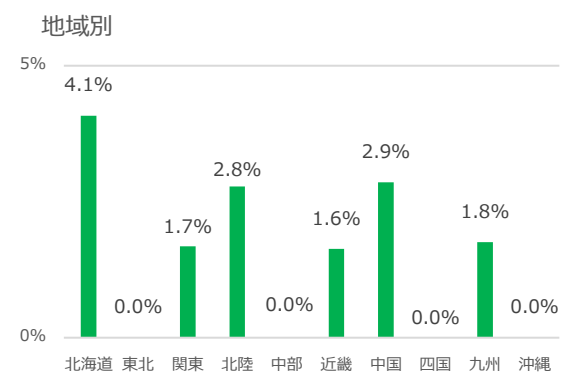
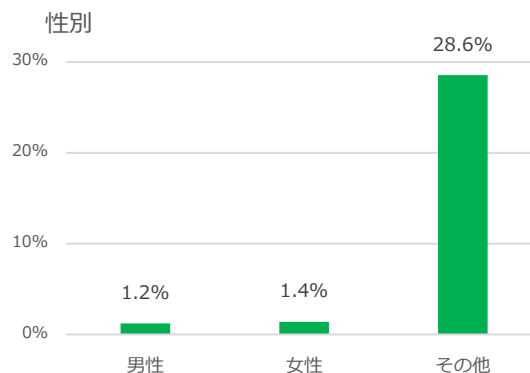
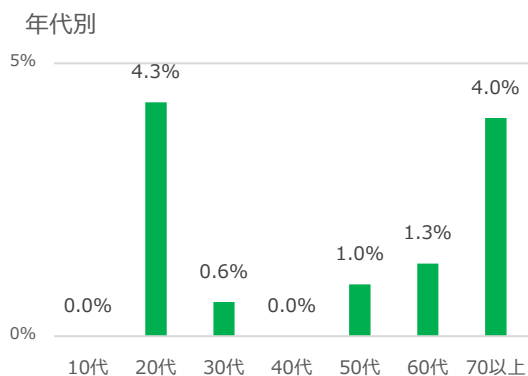


問B3(3) 災害発生時にあなたが情報収集に活用する手段をお答えください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 3. 国土地理院の防災減災や災害対応

(3) 災害発生時の情報収集手段: その他

- 「その他」に関しては、全体で1.5%と低くなっている。年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者では1.2%で、時期別では差はあまりみられない。
- その他回答では、特になしに加え、家族や町内会等の知人や専門家からとの回答がみられた。

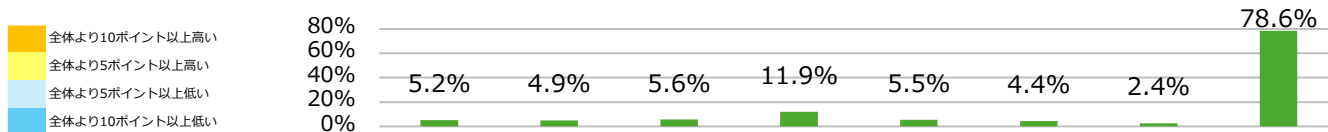


問B3(3) 災害発生時にあなたが情報収集に活用する手段をお答えください。(複数選択可)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 4. 国土地理院の国際活動

(1) 国土地理院の国際活動の認知度

- 全体では、国土地理院の国際活動に関しては、「南極観測」が11.9%と最も高く、他の活動は一行台の認知度にとどまっている。知らないとの回答が最も多く78.6%となっている。



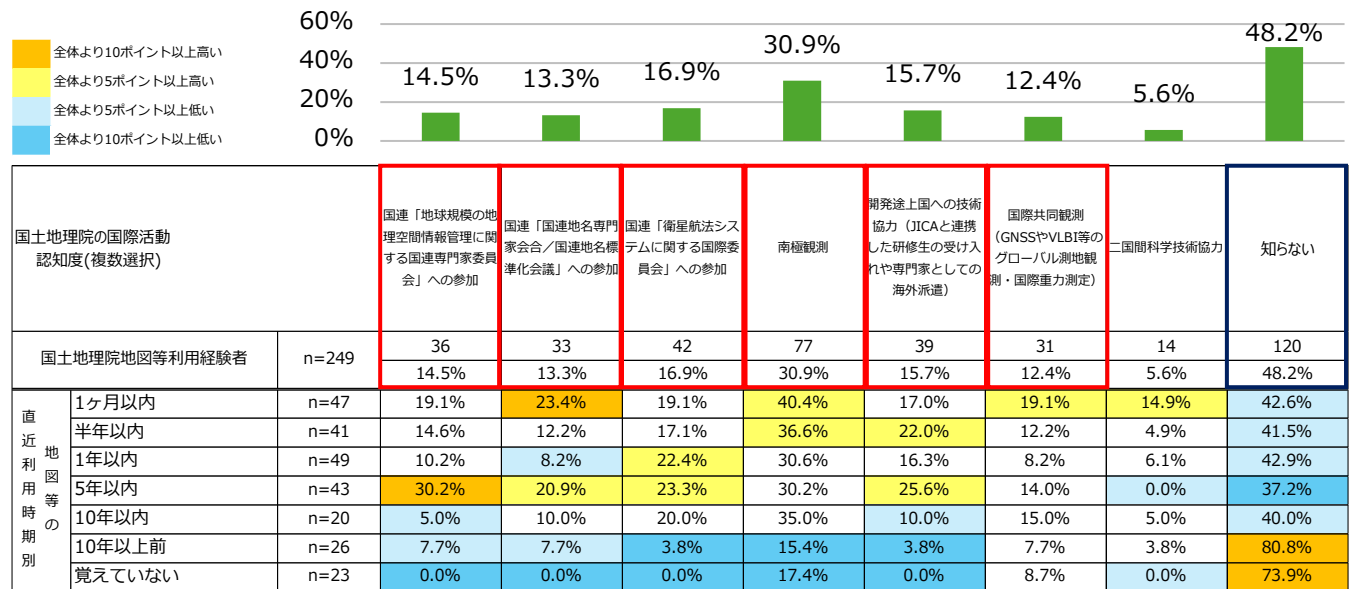
国土地理院の国際活動認知度(複数選択)		国連「地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会」への参加	国連「国連地名専門家会合/国連地名標準化会議」への参加	国連「衛星航法システムに関する国際委員会」への参加	南極観測	開発途上国への技術協力 (JICAと連携した研修生の受け入れや専門家としての海外派遣)	国際共同観測 (GNSSやVLBI等のグローバル測地観測・国際重力測定)	二国間科学技術協力	知らない
全体	n=1000	52 5.2%	49 4.9%	56 5.6%	119 11.9%	55 5.5%	44 4.4%	24 2.4%	786 78.6%
年代別	10代	n=50 12.0%	6.0%	6.0%	8.0%	6.0%	8.0%	4.0%	78.0%
	20代	n=140 6.4%	7.9%	11.4%	7.9%	5.0%	4.3%	5.7%	72.9%
	30代	n=160 4.4%	6.9%	4.4%	10.6%	6.3%	6.3%	2.5%	76.9%
	40代	n=190 5.8%	3.7%	4.7%	8.9%	3.2%	2.1%	2.6%	83.2%
	50代	n=210 1.4%	1.9%	3.3%	10.0%	4.3%	2.9%	0.0%	83.8%
	60代	n=150 6.7%	6.7%	6.0%	15.3%	5.3%	4.7%	1.3%	78.7%
	70以上	n=100 6.0%	3.0%	5.0%	26.0%	12.0%	7.0%	3.0%	70.0%
性別	男性	n=495 6.3%	7.3%	8.1%	14.3%	7.3%	5.7%	3.4%	74.3%
	女性	n=498 4.0%	2.6%	3.2%	9.6%	3.8%	3.2%	1.4%	82.7%
	その他	n=7 14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
地域別	北海道	n=49 4.1%	8.2%	6.1%	18.4%	4.1%	2.0%	4.1%	71.4%
	東北	n=75 4.0%	4.0%	6.7%	9.3%	2.7%	8.0%	1.3%	74.7%
	関東	n=416 4.8%	4.3%	5.5%	10.6%	7.0%	4.1%	2.2%	80.3%
	北陸	n=36 5.6%	5.6%	2.8%	16.7%	2.8%	11.1%	2.8%	69.4%
	中部	n=125 3.2%	2.4%	4.0%	13.6%	2.4%	4.8%	0.8%	79.2%
	近畿	n=184 8.2%	6.5%	6.5%	8.7%	7.1%	4.3%	3.8%	82.6%
	中国	n=35 5.7%	5.7%	5.7%	20.0%	5.7%	2.9%	2.9%	74.3%
	四国	n=18 16.7%	11.1%	16.7%	16.7%	11.1%	5.6%	5.6%	72.2%
	九州	n=57 1.8%	5.3%	3.5%	17.5%	1.8%	0.0%	1.8%	71.9%
	沖縄	n=5 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
の紙地図用図	デジタル地図のみでよい	n=311 8.0%	8.7%	8.4%	13.2%	7.4%	4.2%	2.3%	73.0%
	紙地図提供必要	n=318 7.9%	6.3%	9.1%	21.4%	9.4%	8.8%	3.8%	66.0%
	分からない	n=371 0.5%	0.5%	0.3%	2.7%	0.5%	0.8%	1.3%	94.1%

問B4(1) 国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 4. 国土地理院の国際活動

(1) 国土地理院の国際活動の認知度

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、「南極観測」が30.9%と最も高くなっている。利用経験者では、これに加えて、「開発途上国への技術協力（JICAと連携した研修生の受け入れや専門家としての海外派遣）」や「国連『衛星航法システムに関する国際委員会』への参加」、「国連『地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会』への参加」、「国連『国連地名専門家会合／国連地名標準化会議』への参加」及び「国際共同観測（GNSSやVLBI等のグローバル測地観測・国際重力測定）」にも10%を超える認知度がみられた。こちらでも、知らないとの回答が最も多く48.2%となっている。

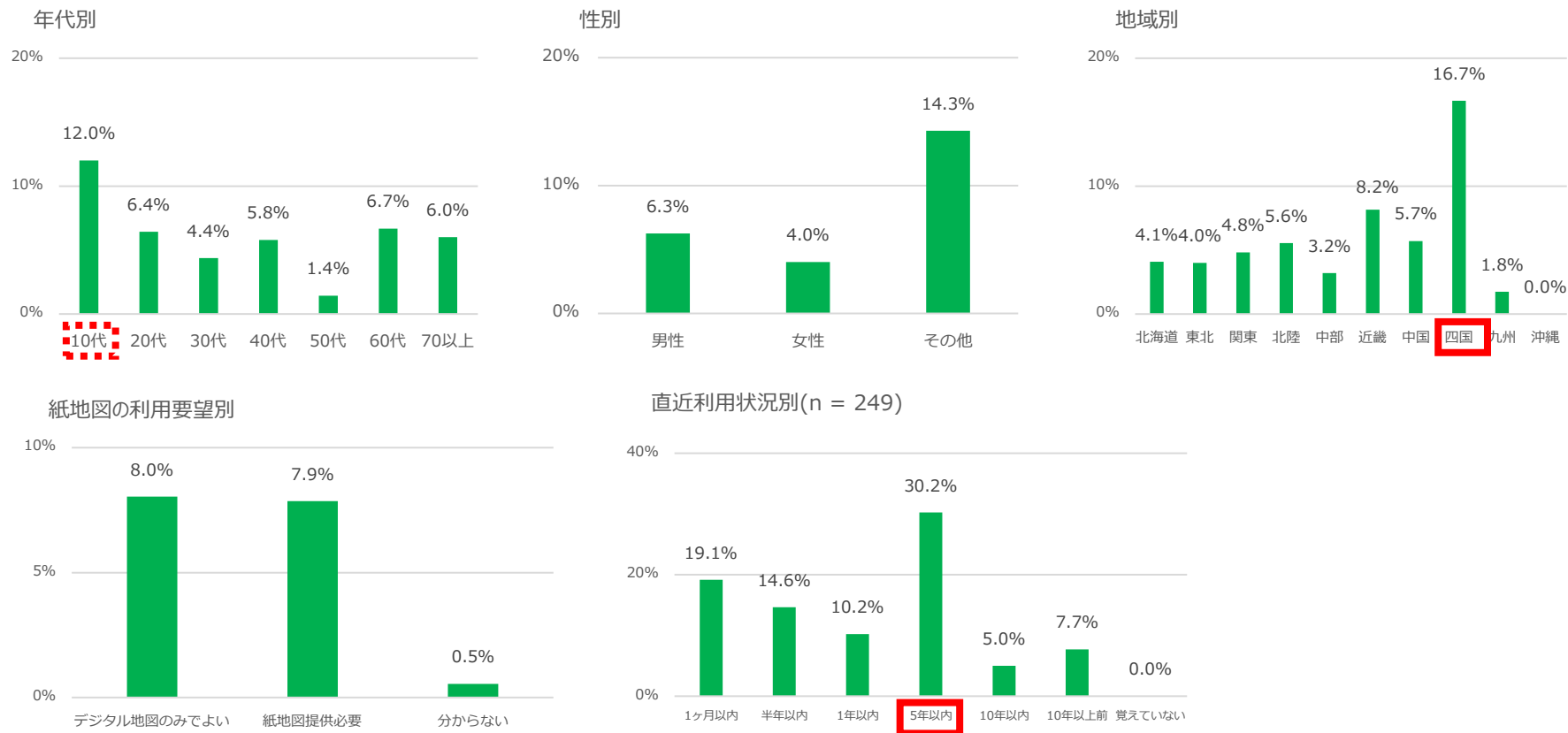


問B4(1) 国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 4. 国土地理院の国際活動

(1) 国土地理院の国際活動の認知度： 国連「地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会」への参加

- 「国連『地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会』への参加」認知度(全体5.2%)は、年代別では10代でやや高い傾向が、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別での差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は14.5%で、時期別では5年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

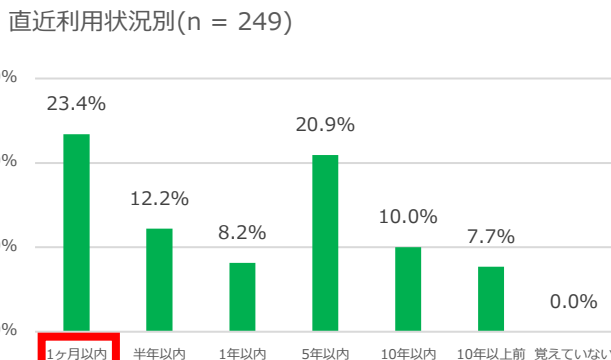
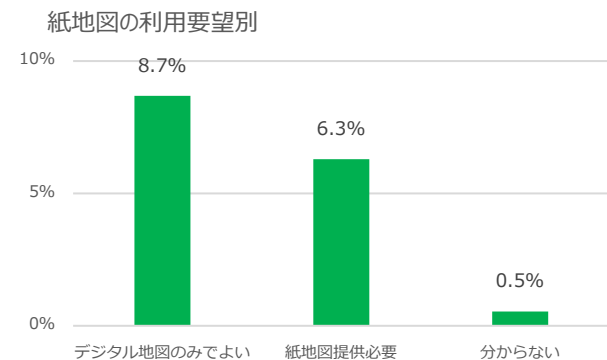
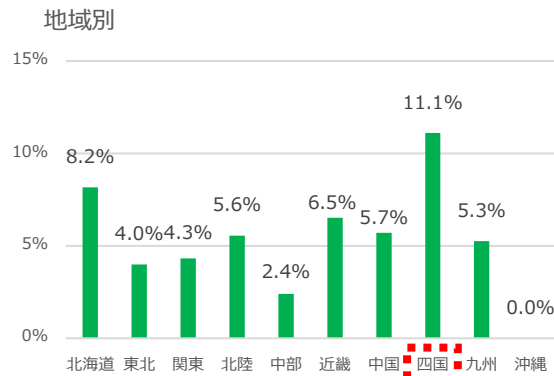
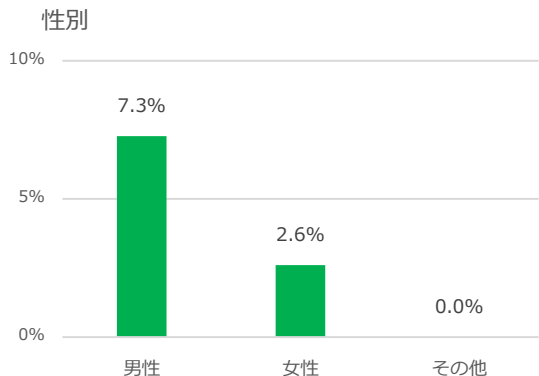
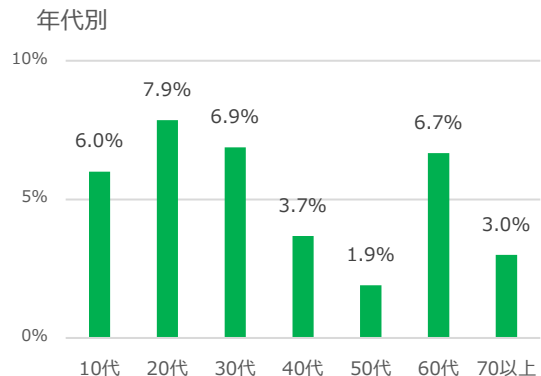


問B4(1) 国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 4. 国土地理院の国際活動

(1) 国土地理院の国際活動の認知度： 国連「国連地名専門家会合／国連地名標準化会議」への参加

- 「国連『国連地名専門家会合／国連地名標準化会議』への参加」認知度(全体4.9%)は、年代別、性別では差はあまりみられない。地域別では四国でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない
- 地図利用経験者の認知度は13.3%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。

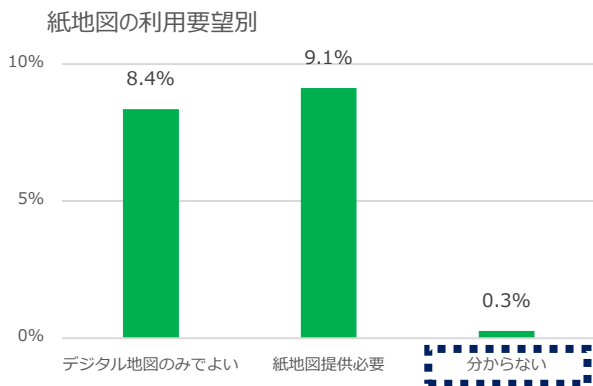
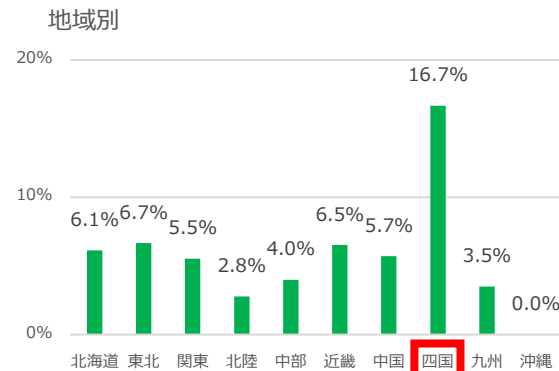
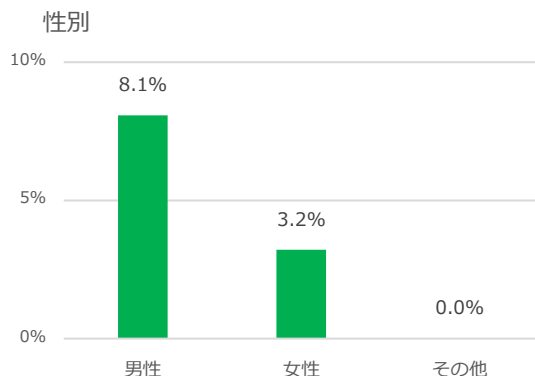
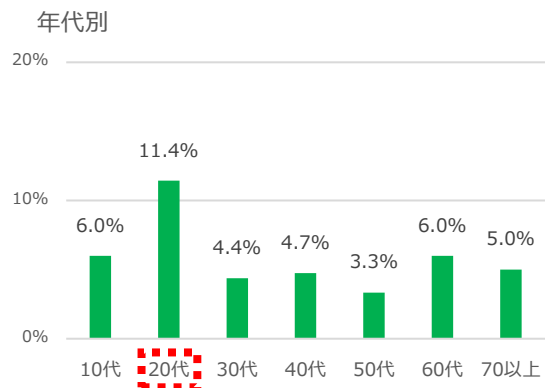


問B4(1) 国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

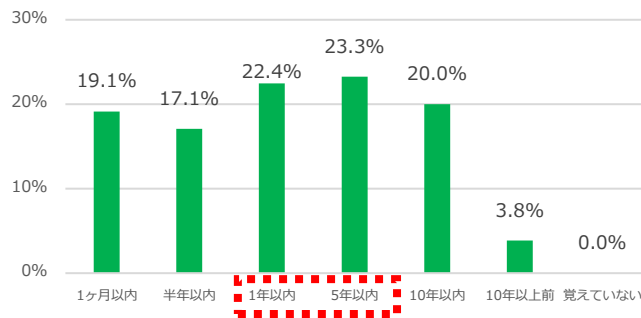
B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 4. 国土地理院の国際活動

(1) 国土地理院の国際活動の認知度： 国連「衛星航法システムに関する国際委員会」への参加

- 「国連「衛星航法システムに関する国際委員会」への参加」認知度(全体5.6%)は、年代別では20代でやや高い傾向が、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人でやや低い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は16.9%で、時期別では5年以内、1年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。



直近利用状況別(n = 249)

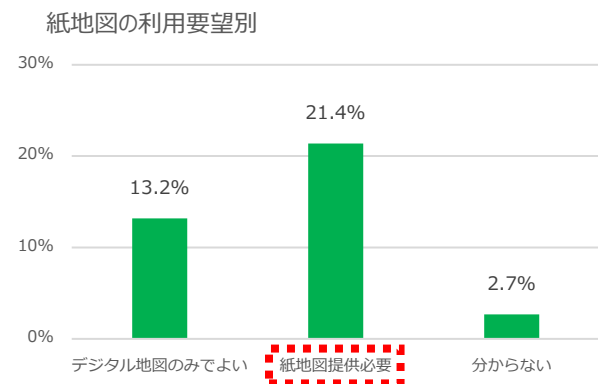
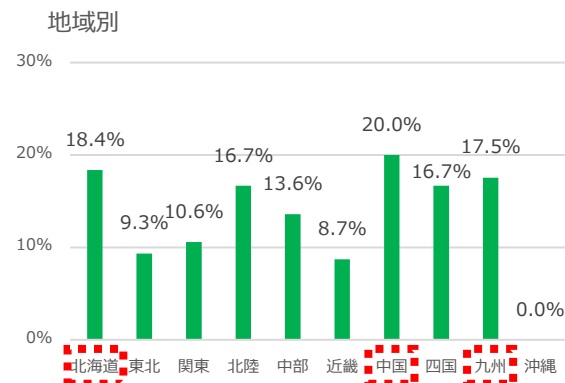
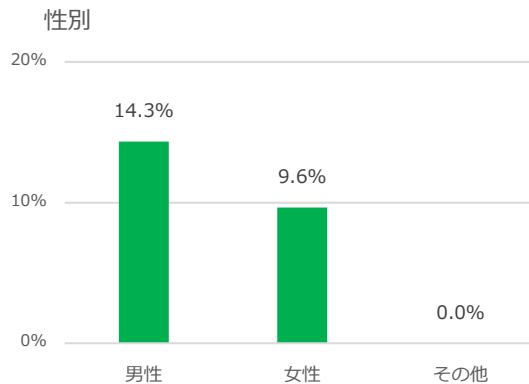
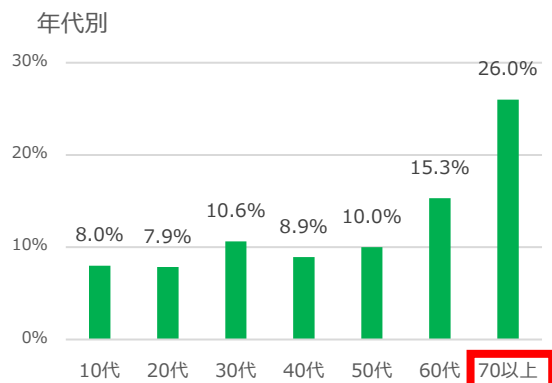


問B4(1) 国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

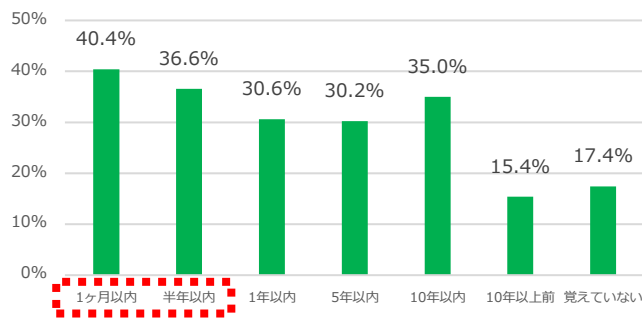
B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 4. 国土地理院の国際活動

(1) 国土地理院の国際活動の認知度： 南極観測

- 「南極観測」認知度(全体11.9%)は、年代別では70以上で高い傾向が、地域別では中国、北海道、九州でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は30.9%で、時期別では1ヶ月以内、半年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。



直近利用状況別(n = 249)

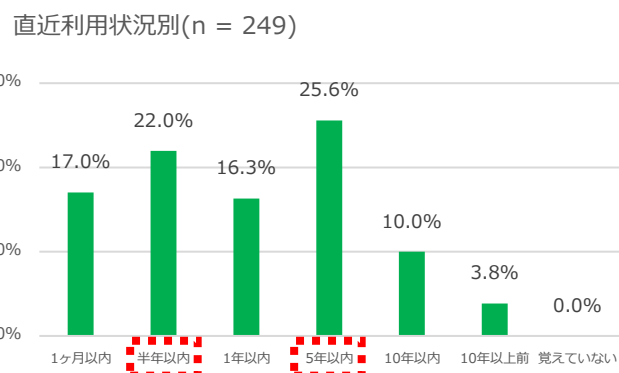
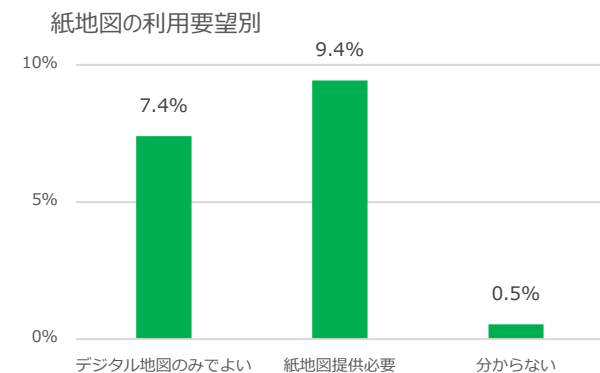
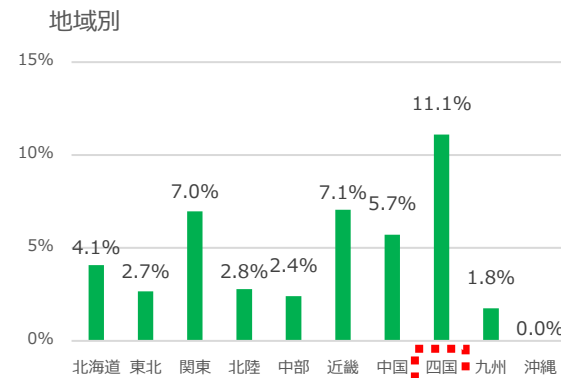
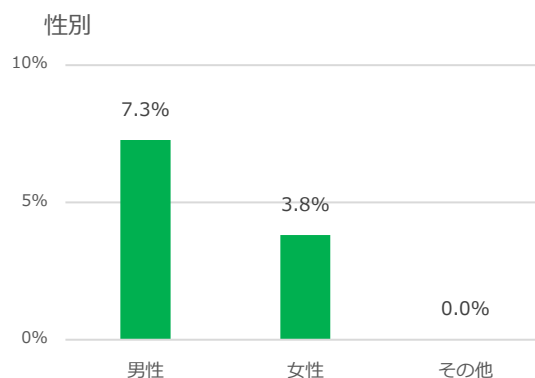
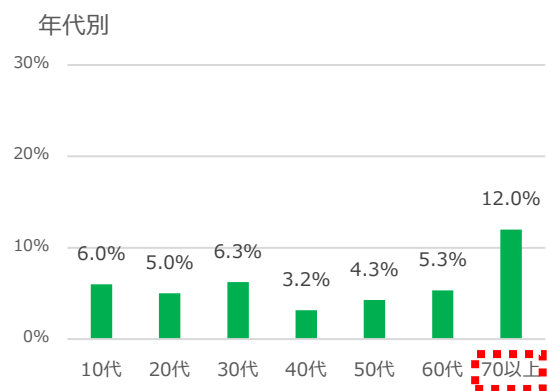


問B4(1) 国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 4. 国土地理院の国際活動

(1) 国土地理院の国際活動の認知度： 開発途上国への技術協力（JICAと連携した研修生の受け入れや専門家としての海外派遣）

- 「開発途上国への技術協力（JICAと連携した研修生の受け入れや専門家としての海外派遣）」認知度(全体5.5%)は、年代別では70以上で、地域別では四国でやや高い傾向がみられる(沖縄は認知者なし)。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は15.7%で、時期別では5年以内、半年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

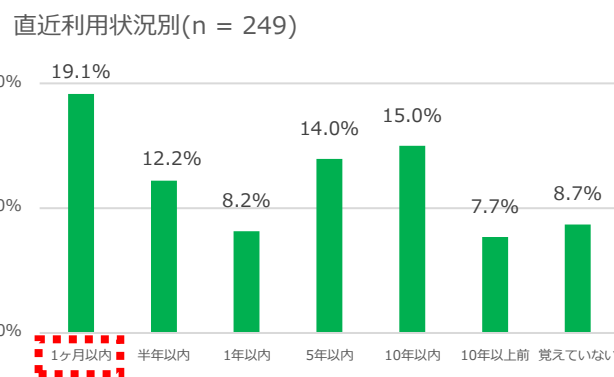
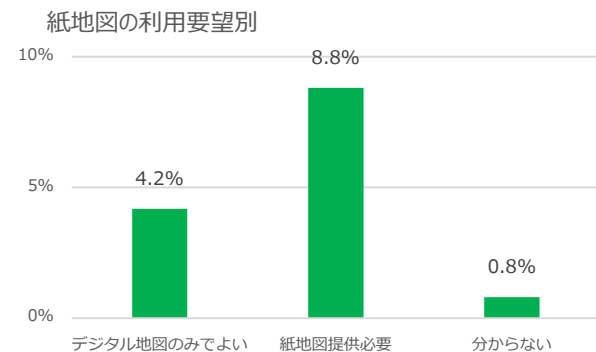
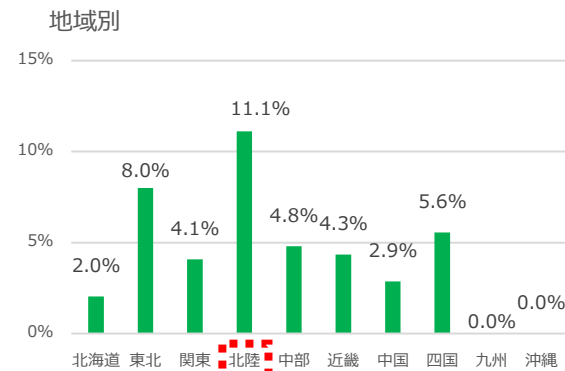
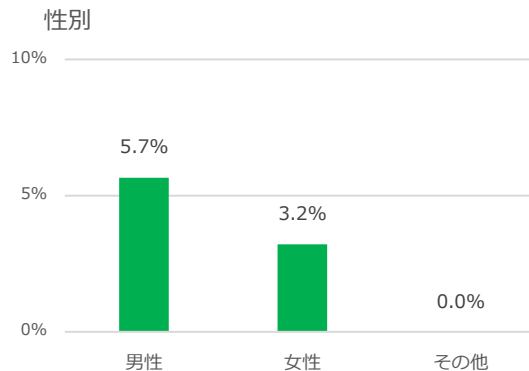
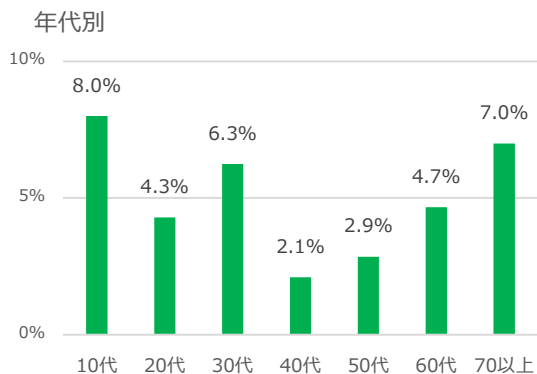


問B4(1) 国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 4. 国土地理院の国際活動

(1) 国土地理院の国際活動の認知度：国際共同観測（GNSSやVLBI等のグローバル測地観測・国際重力測定

- 「国際共同観測（GNSSやVLBI等のグローバル測地観測・国際重力測定」認知度(全体4.4%)は、年代別、性別では差はあまりみられない。地域別では、北陸でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は12.4%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

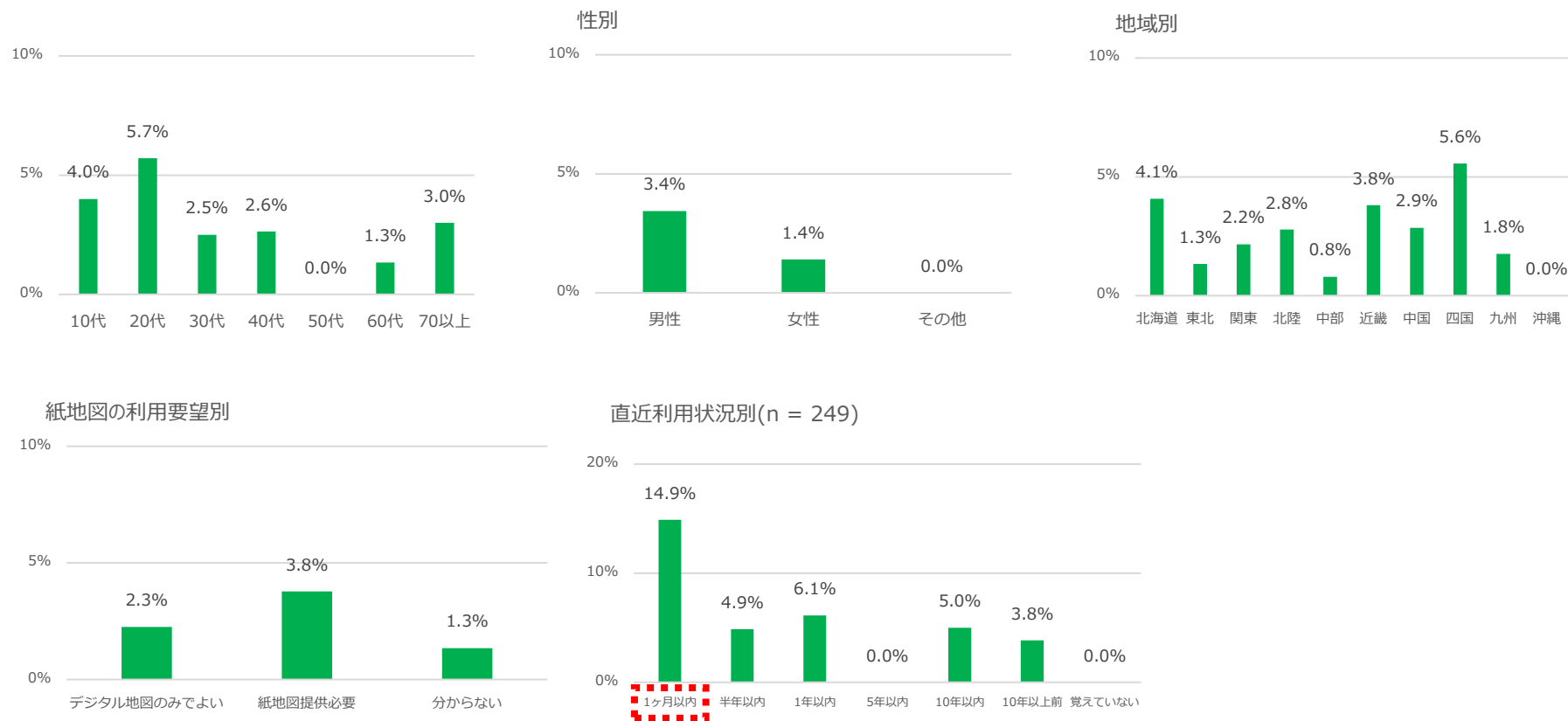


問B4(1) 国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 4. 国土地理院の国際活動

(1) 国土地理院の国際活動の認知度： 二国間科学技術協力

- 「二国間科学技術協力」認知度(全体2.4%)は、年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は5.6%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

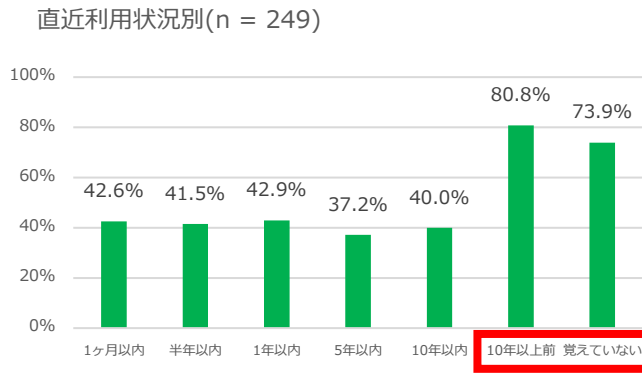
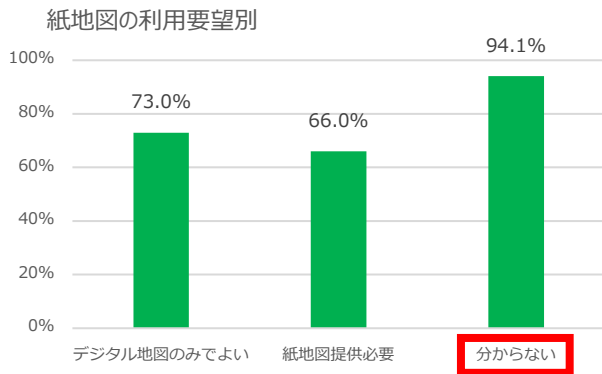
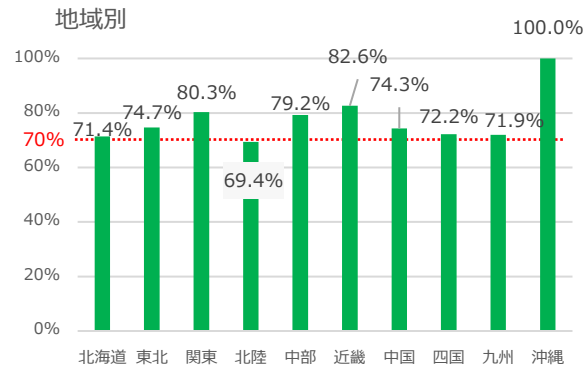
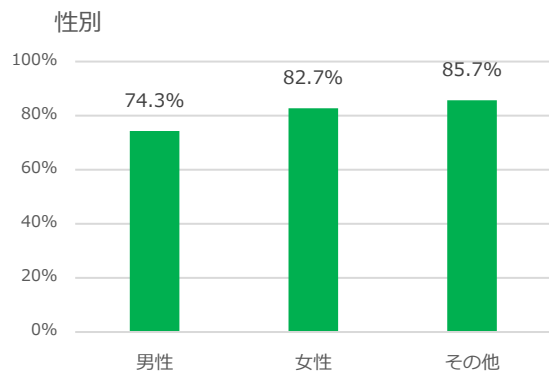
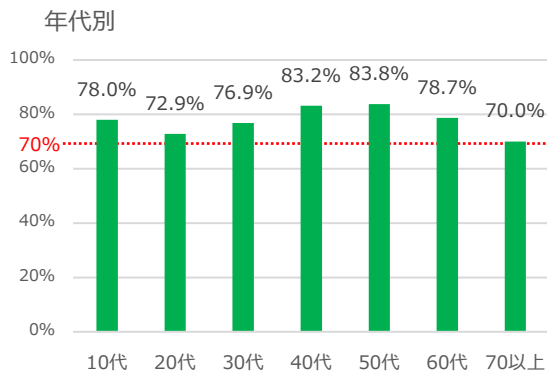


問B4(1) 国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 4. 国土地理院の国際活動

(1) 国土地理院の国際活動の認知度： 知らない

- 「知らない」(全体78.6%)との回答に関しては、年代別では全ての世代で70%以上の傾向がみられる。地域別では、北陸以外の地域で70%以上の傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の94.1%が知らないと回答した。
- 地図利用経験者の知らないとの回答は48.2%で、10年以上、覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる。

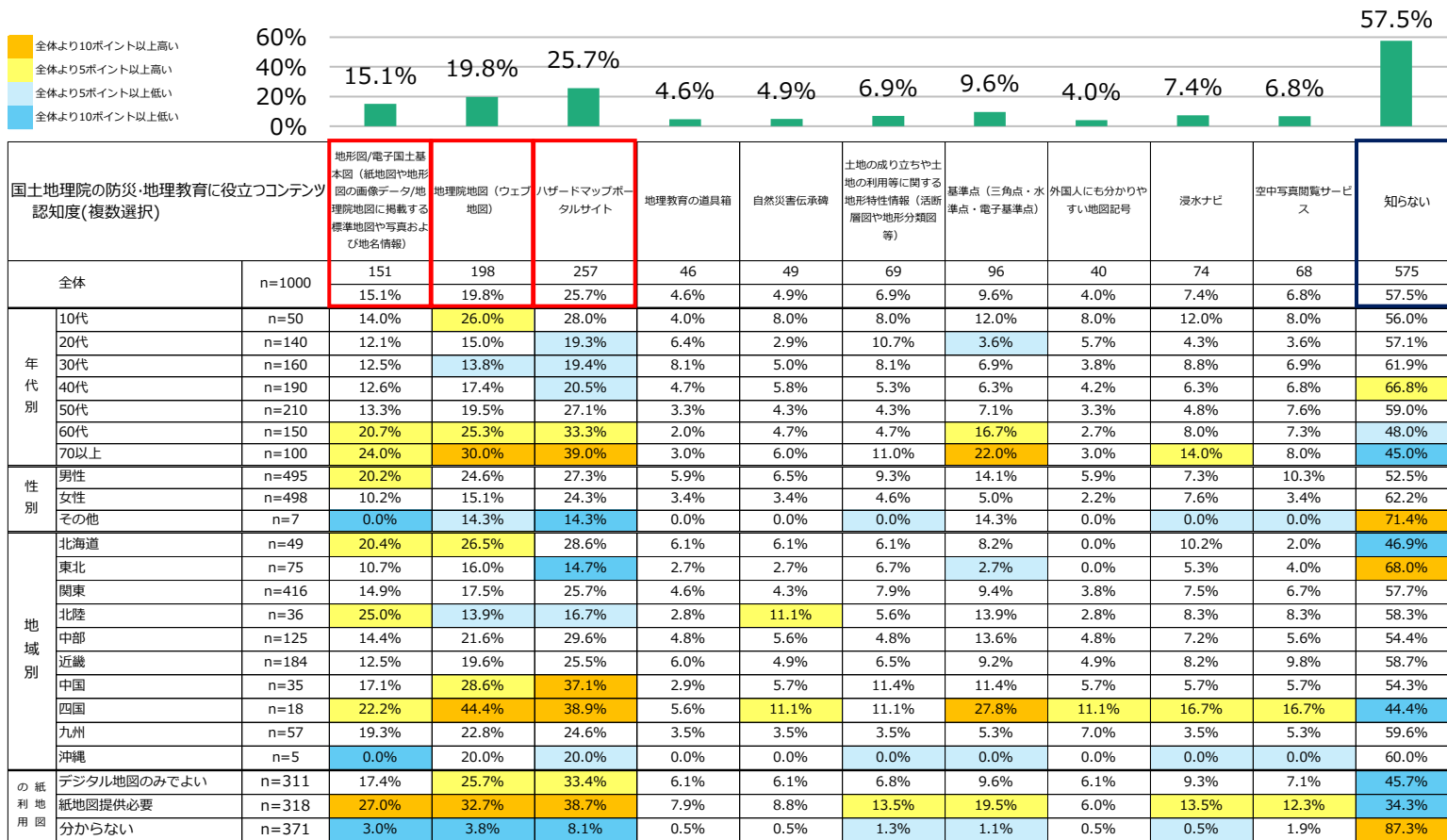


問B4(1) 国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度

- 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツに関しては、「ハザードマップポータルサイト」が25.7%と最も高く、つづいて「地理院地図（ウェブ地図）」、「地形図/電子国土基本図（紙地図や地形図の画像データ/地理院地図に掲載する標準地図や写真および地名情報）」が10%台となっている。それ以外のコンテンツの認知度は一桁台にとどまっている。
- 知らないとの回答が最も多く57.5%となっている。

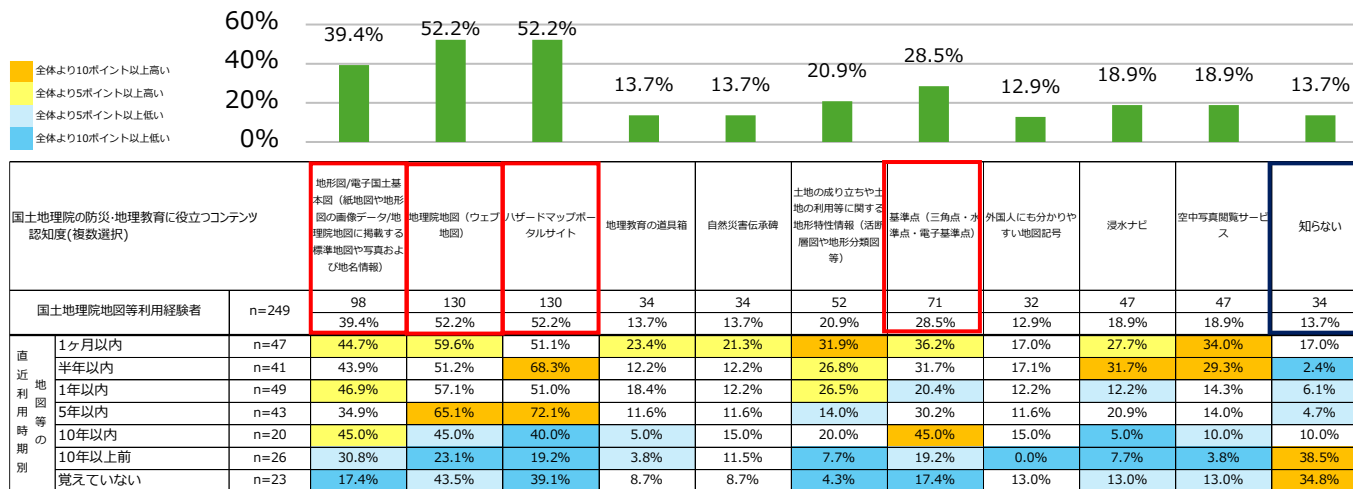


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツに関しては、「ハザードマップポータルサイト」、「地理院地図（ウェブ地図）」が高くともに52.2%となっている。つづいて「地形図/電子国土基本図（紙地図や地形図の画像データ/地理院地図に掲載する標準地図や写真および地名情報）」が39.4%と高くなっている。利用経験者では、基準点の認知度も28.5%と高く、知らないとの回答が13.7%となっている。

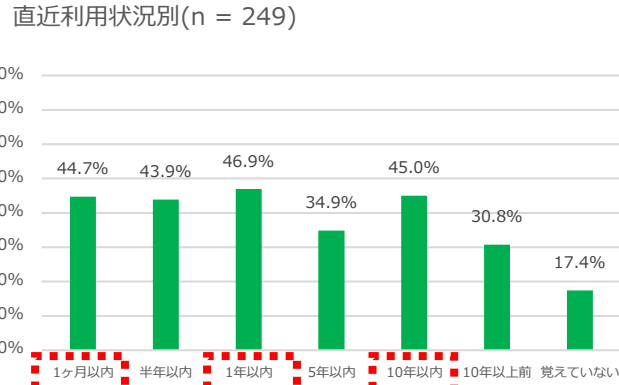
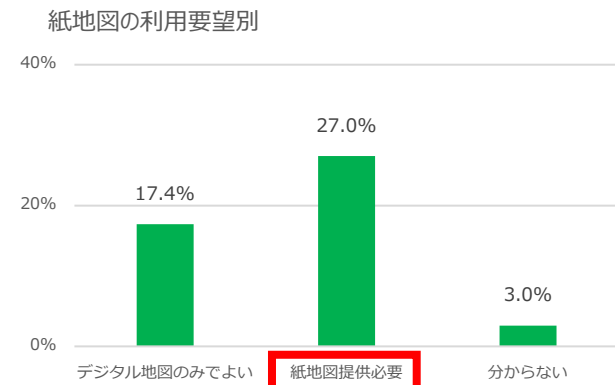
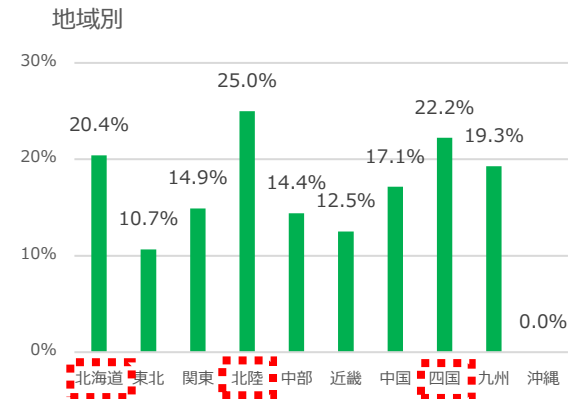
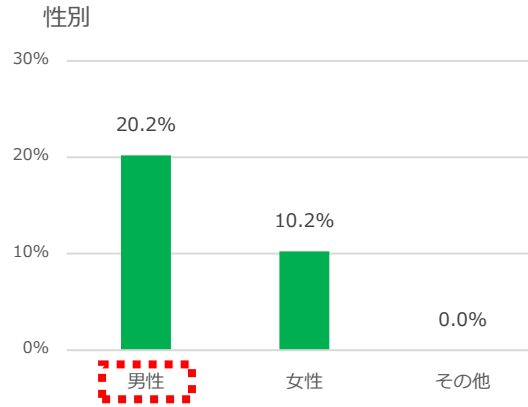
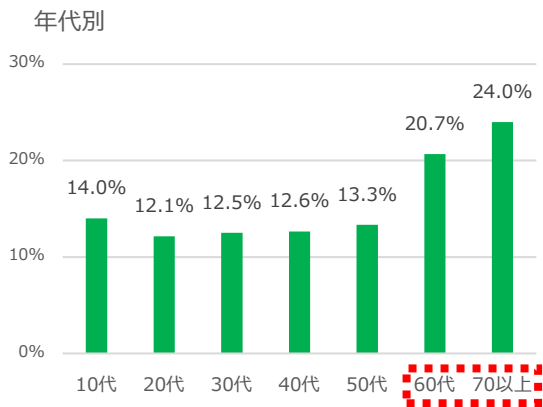


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度： 地形図/電子国土基本図

- 「地形図/電子国土基本図（紙地図や地形図の画像データ/地理院地図に掲載する標準地図や写真および地名情報）」認知度(全体15.1%)は、年代別では70以上、60代で、性別では男性で、地域別では北陸、四国、北海道でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は39.4%で、時期別では1年以内、10年以内、1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

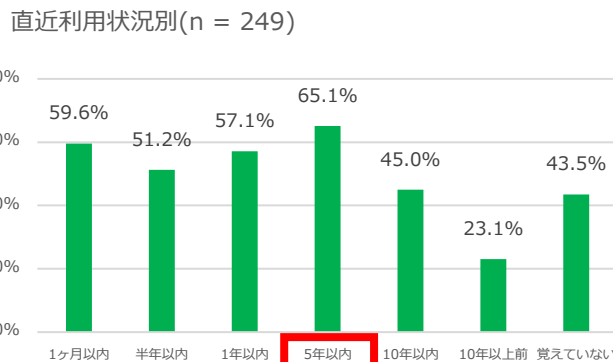
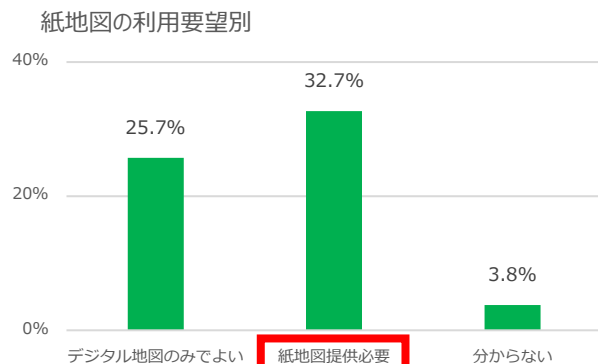
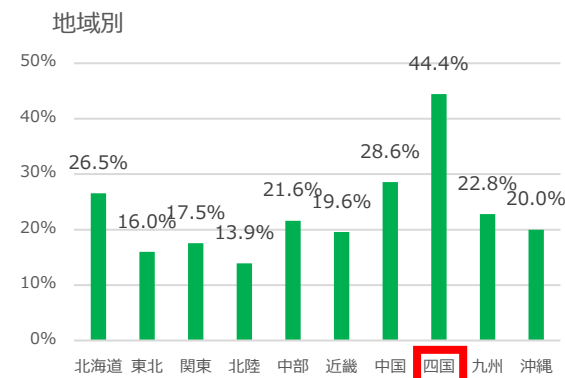
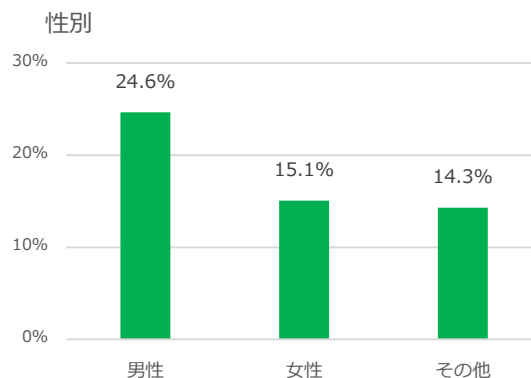
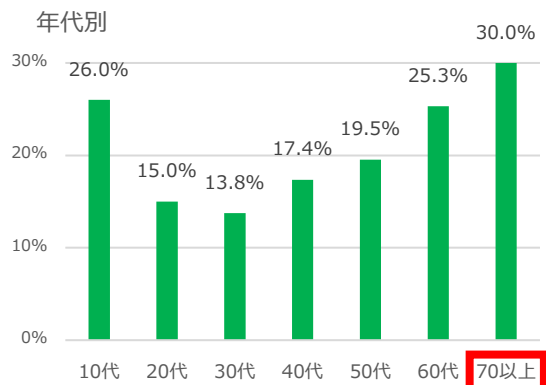


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度： 地理院地図（ウェブ地図）

- 「地理院地図（ウェブ地図）」認知度(全体19.8%)は、年代別では70以上で、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は52.2%で、時期別では5年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

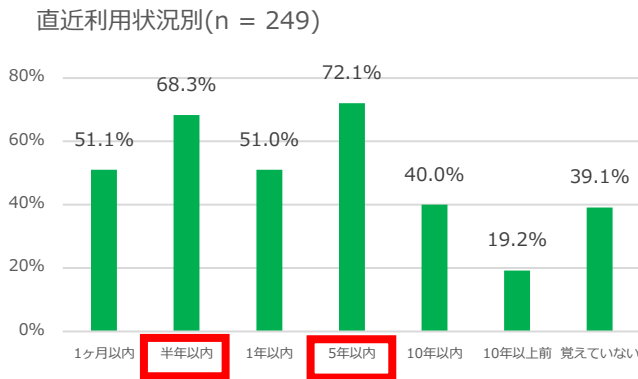
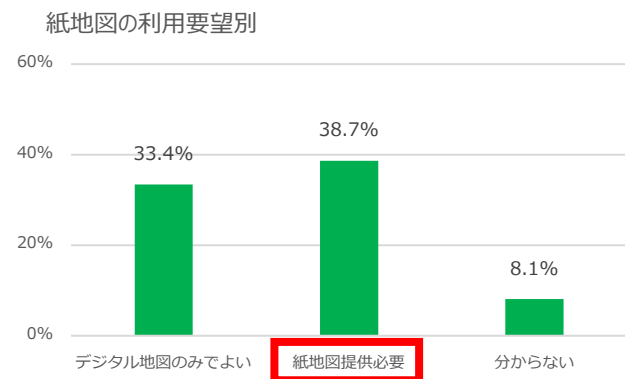
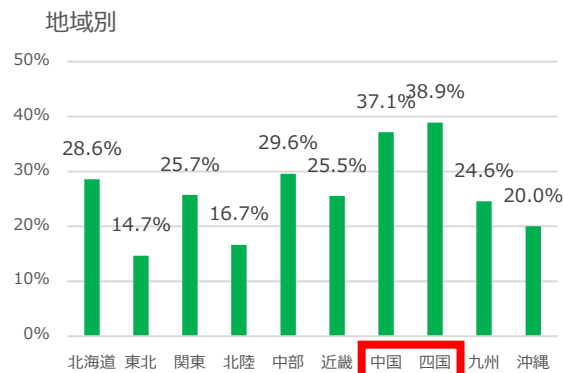
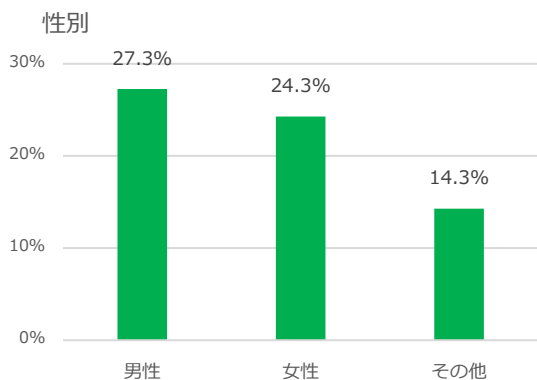
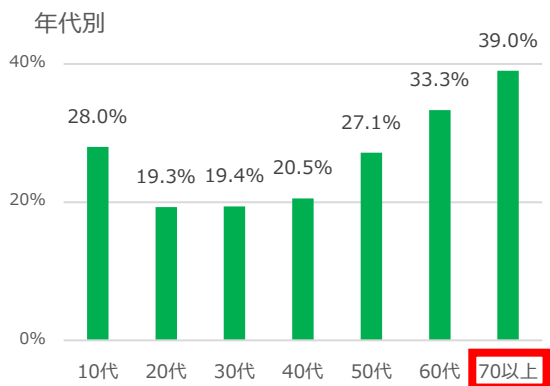


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度：ハザードマップポータルサイト

- 「ハザードマップポータルサイト」認知度(全体25.7%)は、年代別では70以上で、地域別では四国、中国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は52.2%で、時期別では5年以内、半年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

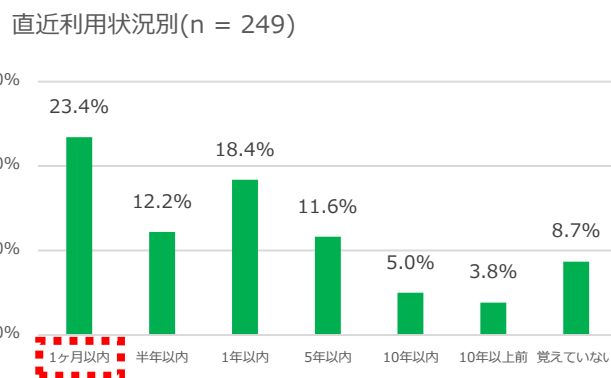
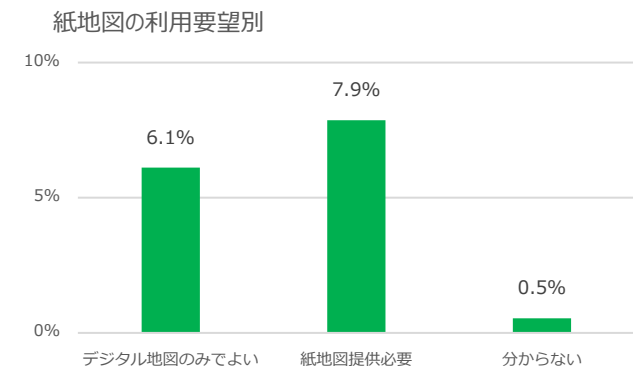
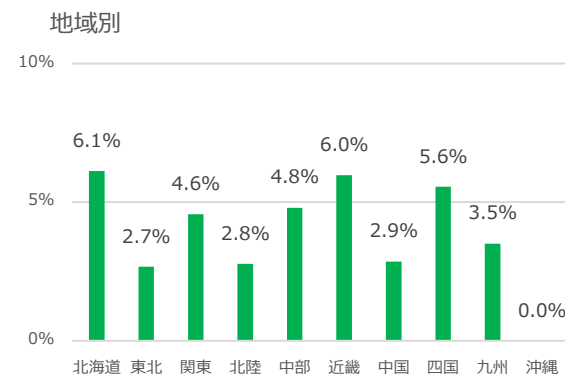
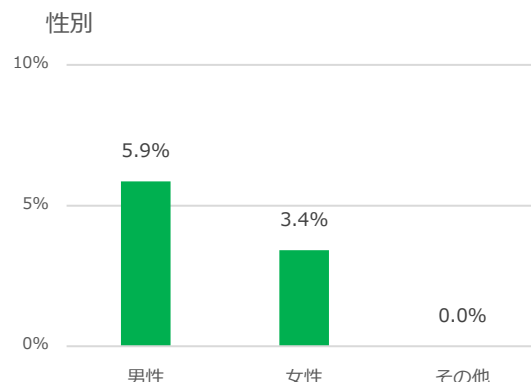
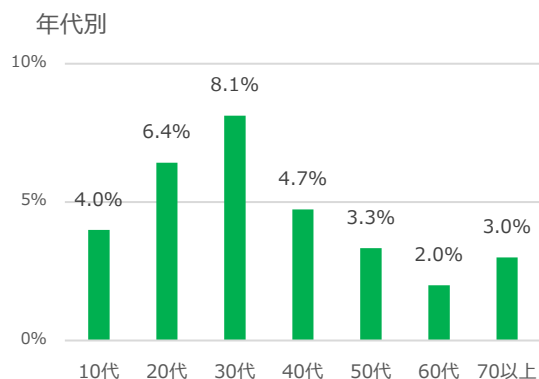


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度： 地理教育の工具箱

- 「地理教育の工具箱」認知度(全体4.6%)は、年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は13.7%で、時期別で1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

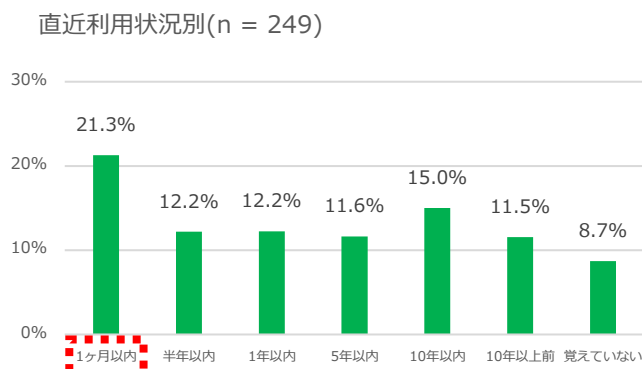
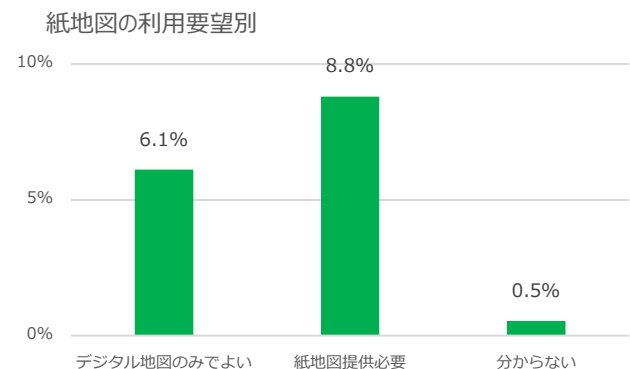
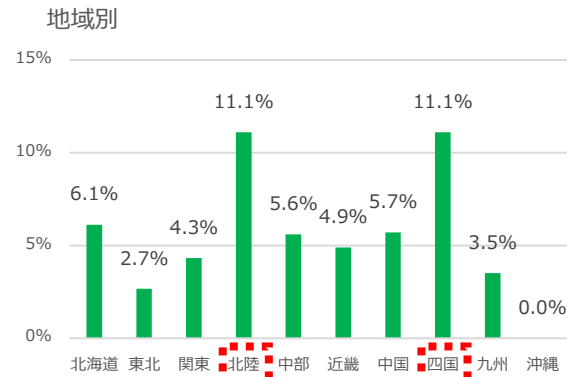
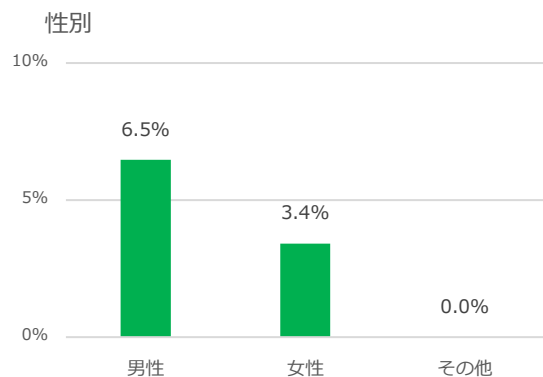
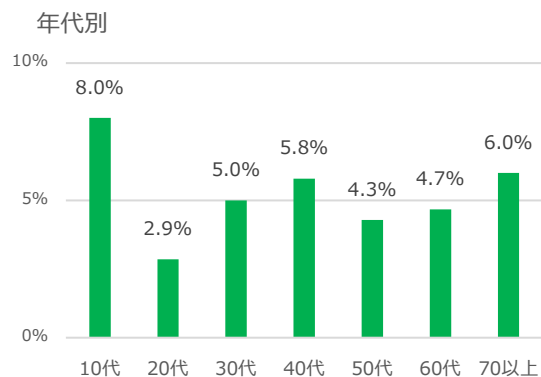


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度： 自然災害伝承碑

- 「自然災害伝承碑」認知度(全体4.9%)は、地域別で、北陸、四国でやや高い傾向がみられる。年代別、性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は13.7%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人がやや高くなっている。

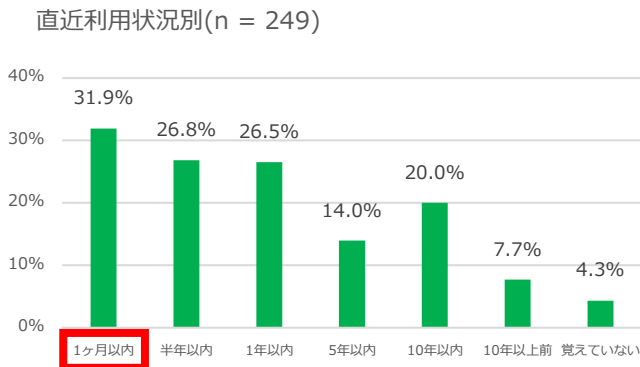
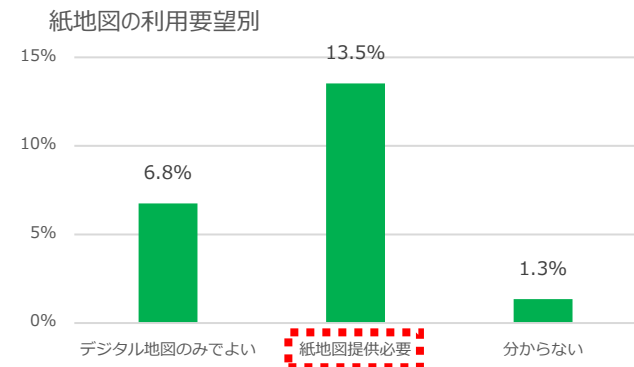
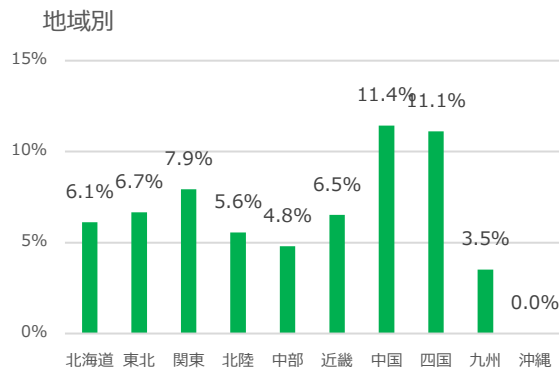
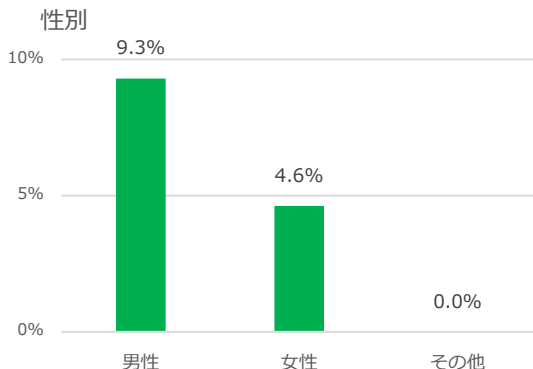
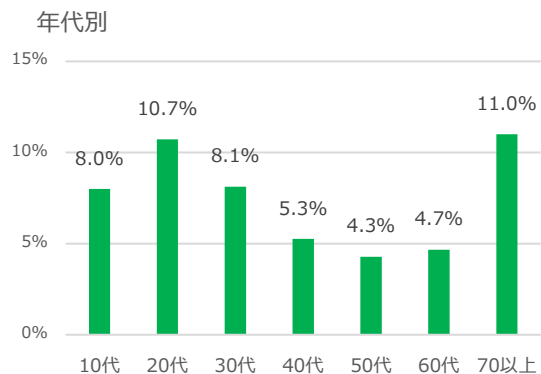


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度： 土地の成り立ちや土地の利用等に関する地形特性情報

- 「土地の成り立ちや土地の利用等に関する地形特性情報（活断層図や地形分類図等）」認知度(全体6.9%)は、年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は20.9%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。

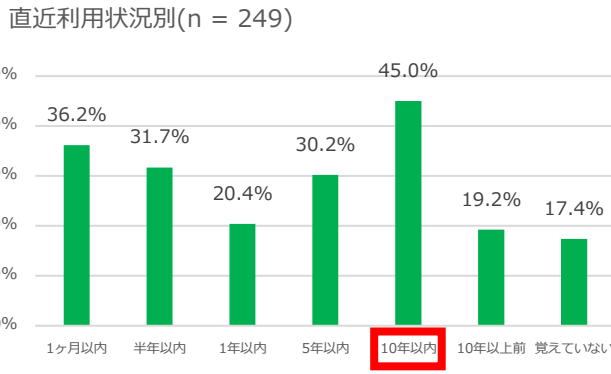
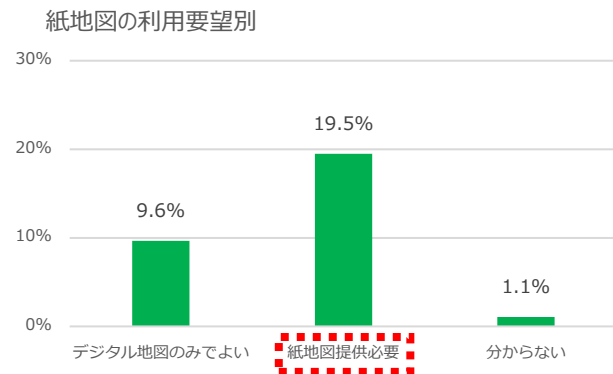
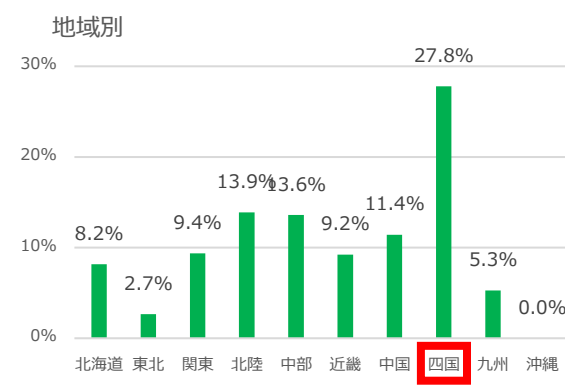
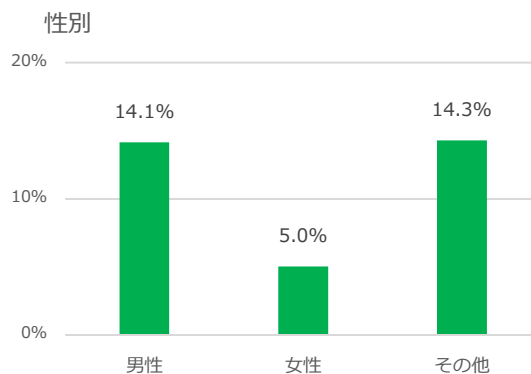
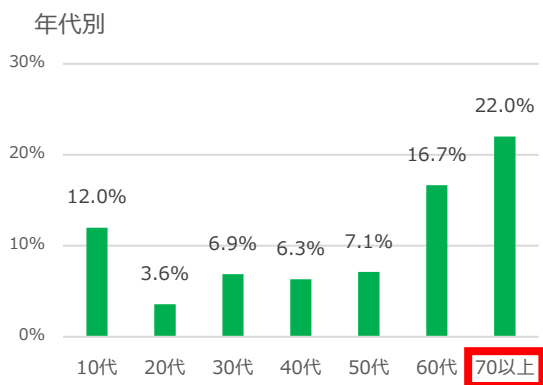


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度： 基準点（三角点・水準点・電子基準点）

- 「基準点（三角点・水準点・電子基準点）」認知度(全体9.6%)は、年代別では70以上で、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は28.5%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

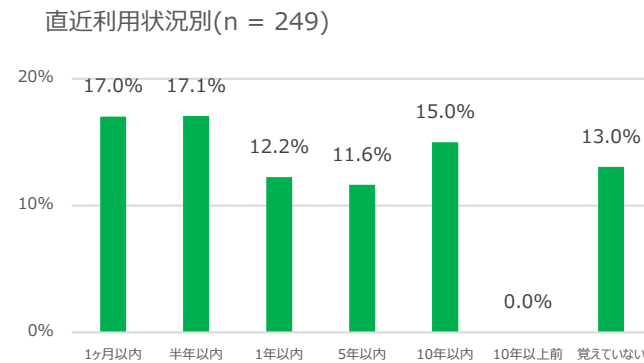
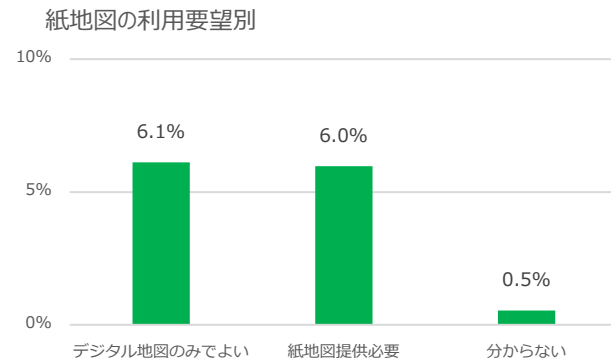
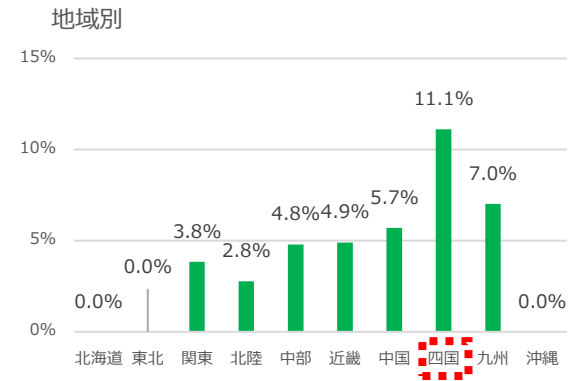
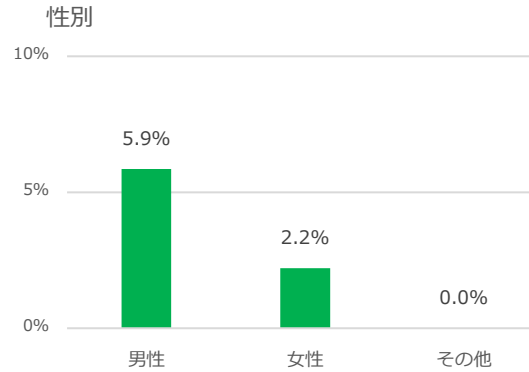
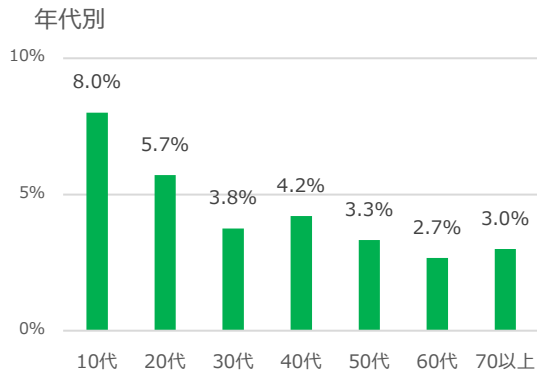


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度： 外国人にも分かりやすい地図記号

- 「外国人にも分かりやすい地図記号」認知度(全体4.0%)は、年代別、性別では差はあまりみられない。地域別では四国でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の認知度は12.9%で、時期別では差はあまりみられない。

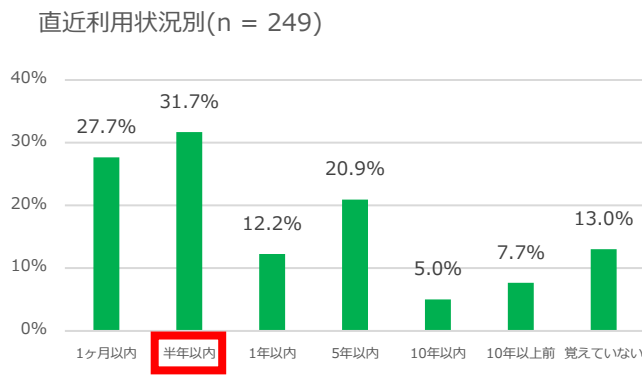
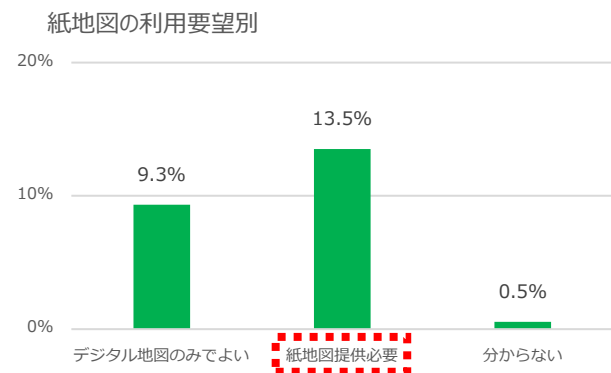
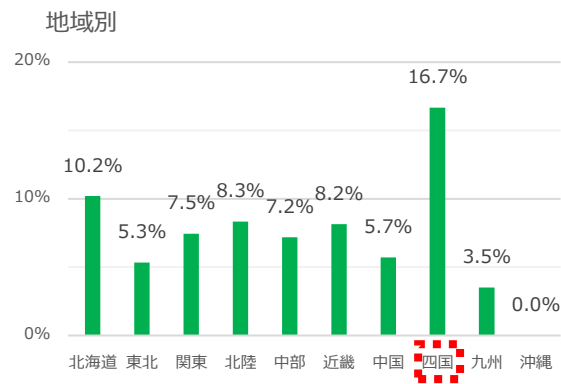
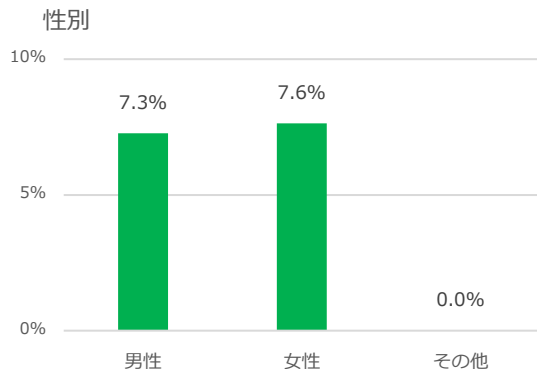
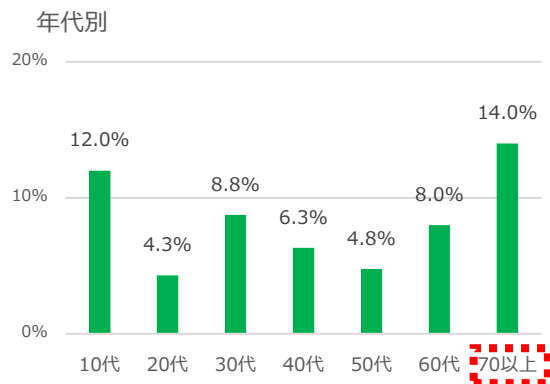


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度： 浸水ナビ

- 「浸水ナビ」認知度(全体7.4%)は、年代別では70代以上で、地域別では四国でやや高い傾向がみられる。性別で差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は18.9%で、時期別では半年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

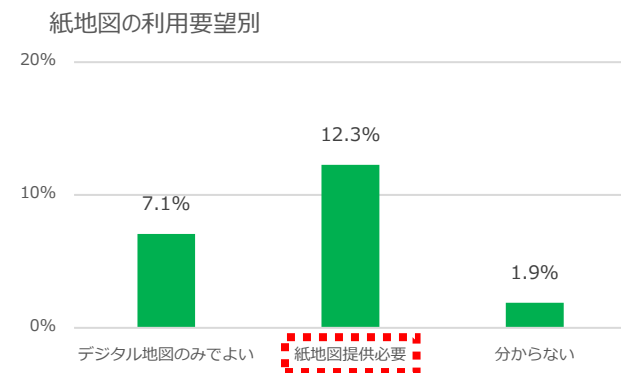
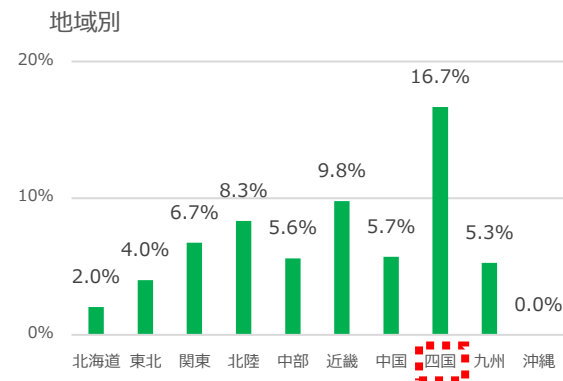
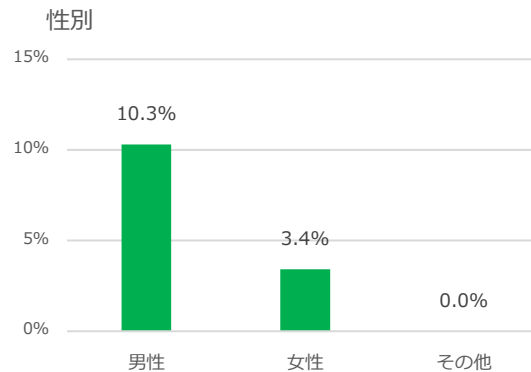
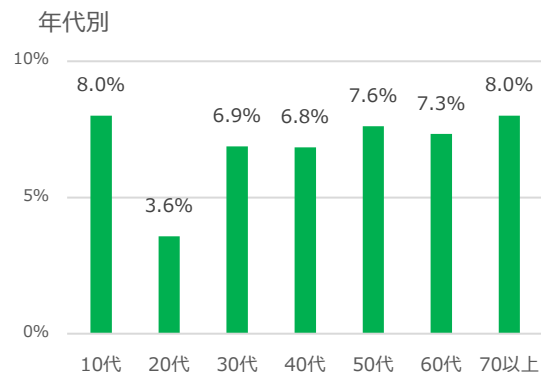


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

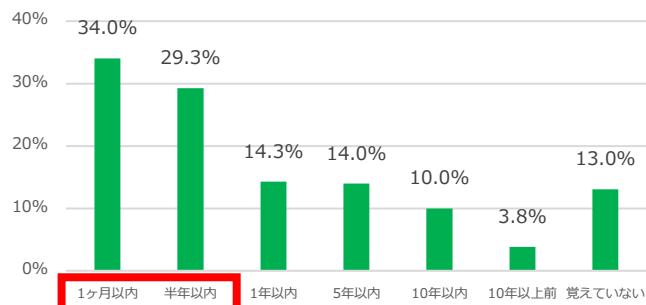
B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度： 空中写真閲覧サービス

- 「空中写真閲覧サービス」認知度(全体6.8%)は、年代別、性別で差はあまりみられない。地域別では四国でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の認知度は18.9%で、時期別では1ヶ月以内、半年以内と回答した人で高い傾向がみられる。



直近利用状況別(n = 249)

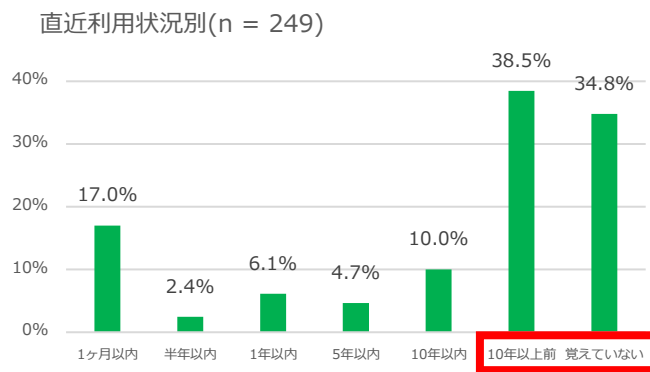
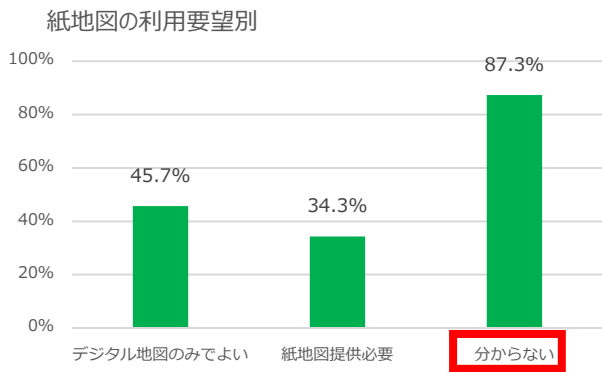
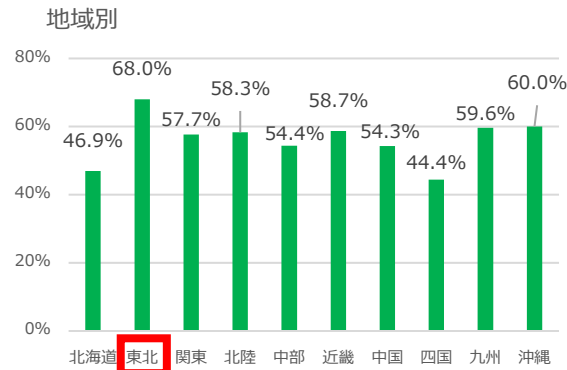
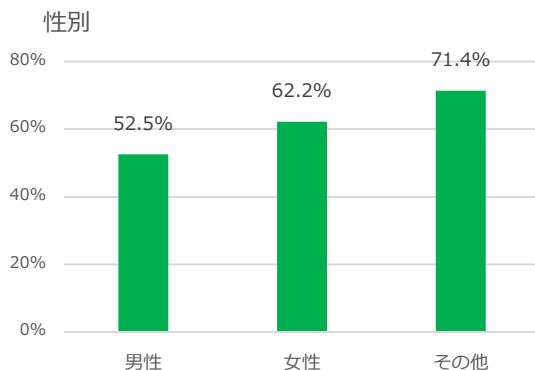
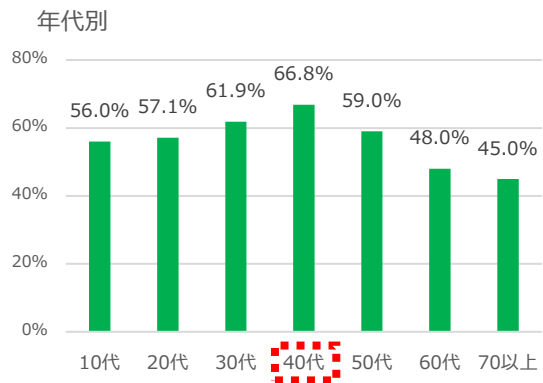


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツの認知度：知らない

- 「知らない」(全体57.5%)との回答に関しては、年代別では40代でやや高い傾向が、地域別では東北で高い傾向がみられる。性別で差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の87.3%が知らないと回答した。
- 地図利用経験者の特に無いとの回答は13.7%で、10年以上、覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる。

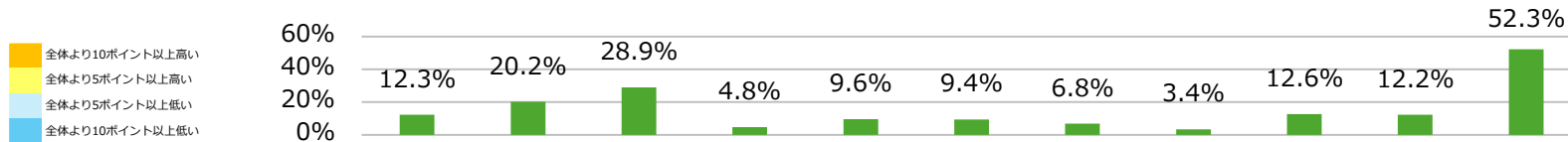


問B5(1) 国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度

- 全体では、国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツへの関心度に関しては、前問の認知度と同様に「ハザードマップポータルサイト」、「地理院地図（ウェブ地図）」が20%台と高い傾向がみられる。認知度は一桁パーセント台と低かったが、「浸水ナビ」と「空中写真閲覧サービス」には10%以上の関心が集まっている。特にないとの回答も52.3%と高くなっている。



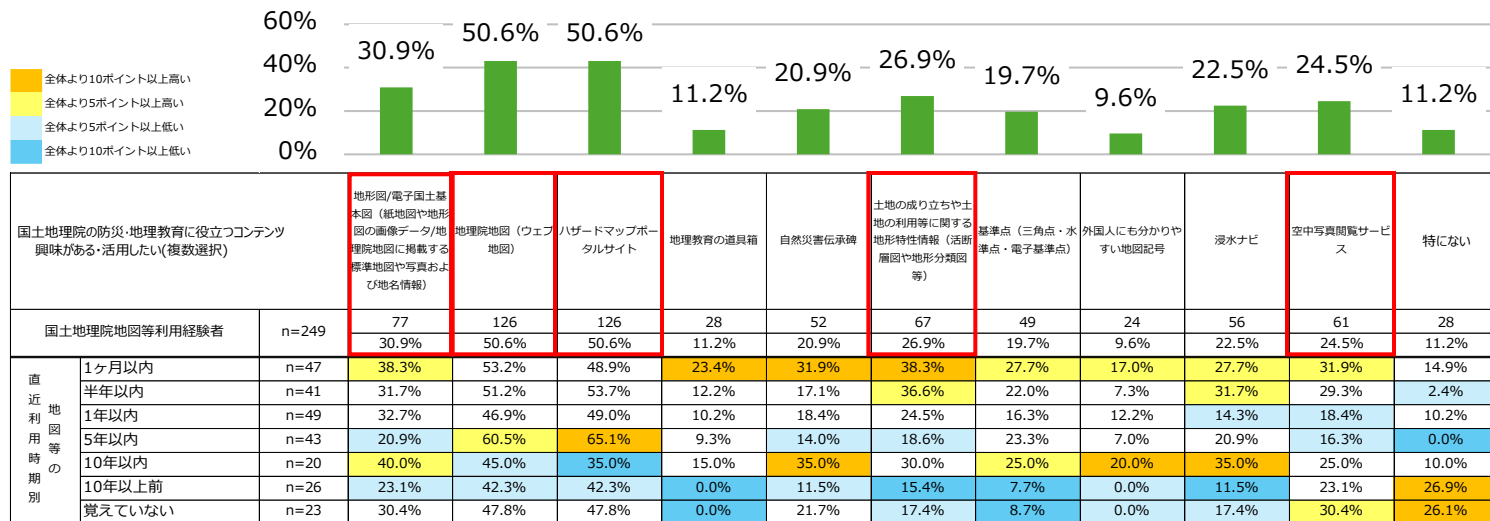
国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツ 興味がある・活用したい(複数選択)		地形図/電子国土基本図 (紙地図や地形図の画像データ/地理院地図に掲載する標準地図や写真および地名情報)	地理院地図(ウェブ地図)	ハザードマップポータルサイト	地理教育の道具箱	自然災害伝承碑	土地の成り立ちや土地の利用等に関する地形特性情報(活断層図や地形分類図等)	基準点(三角点・水準点・電子基準点)	外国人にも分かりやすい地図記号	浸水ナビ	空中写真閲覧サービス	特にない	
全体	n=1000	123 12.3%	202 20.2%	289 28.9%	48 4.8%	96 9.6%	94 9.4%	68 6.8%	34 3.4%	126 12.6%	122 12.2%	523 52.3%	
年代別	10代	n=50	12.0%	24.0%	26.0%	6.0%	4.0%	8.0%	8.0%	6.0%	12.0%	10.0%	58.0%
	20代	n=140	8.6%	15.7%	20.0%	3.6%	8.6%	10.7%	5.7%	2.1%	5.0%	7.9%	52.9%
	30代	n=160	6.9%	11.9%	20.6%	9.4%	9.4%	6.9%	3.8%	3.1%	10.0%	5.6%	60.0%
	40代	n=190	14.7%	16.8%	29.5%	6.8%	10.5%	8.9%	8.4%	4.2%	16.3%	16.3%	56.8%
	50代	n=210	11.4%	20.5%	31.9%	2.9%	7.6%	9.0%	5.2%	3.8%	14.8%	10.5%	51.4%
	60代	n=150	16.7%	30.7%	38.7%	2.0%	13.3%	10.7%	7.3%	2.0%	14.0%	17.3%	42.0%
	70以上	n=100	17.0%	28.0%	34.0%	3.0%	11.0%	12.0%	12.0%	4.0%	14.0%	18.0%	45.0%
性別	男性	n=495	16.2%	24.6%	29.1%	5.3%	11.5%	11.3%	9.9%	3.8%	12.9%	12.5%	47.9%
	女性	n=498	8.6%	15.9%	28.9%	4.4%	7.8%	7.6%	3.6%	3.0%	12.4%	12.0%	56.4%
	その他	n=7	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%
地域別	北海道	n=49	14.3%	24.5%	38.8%	2.0%	10.2%	14.3%	4.1%	0.0%	18.4%	18.4%	40.8%
	東北	n=75	12.0%	21.3%	14.7%	4.0%	9.3%	8.0%	6.7%	2.7%	6.7%	9.3%	62.7%
	関東	n=416	11.8%	18.5%	28.8%	4.8%	8.9%	10.6%	6.0%	3.1%	11.1%	11.3%	53.4%
	北陸	n=36	16.7%	16.7%	22.2%	11.1%	19.4%	8.3%	8.3%	5.6%	16.7%	16.7%	50.0%
	中部	n=125	11.2%	19.2%	32.8%	4.0%	10.4%	10.4%	5.6%	5.6%	17.6%	12.0%	50.4%
	近畿	n=184	13.0%	23.4%	31.5%	4.3%	9.2%	6.5%	8.7%	3.8%	11.4%	14.1%	49.5%
	中国	n=35	8.6%	17.1%	22.9%	2.9%	5.7%	11.4%	2.9%	2.9%	8.6%	11.4%	62.9%
	四国	n=18	16.7%	38.9%	44.4%	11.1%	11.1%	5.6%	22.2%	5.6%	16.7%	11.1%	38.9%
	九州	n=57	14.0%	14.0%	24.6%	7.0%	8.8%	7.0%	8.8%	0.0%	15.8%	8.8%	56.1%
沖縄	n=5	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	
の紙地図用図	デジタル地図のみでよい	n=311	13.2%	24.8%	36.7%	5.1%	10.6%	7.7%	9.0%	3.5%	13.8%	11.9%	41.2%
	紙地図提供必要	n=318	23.3%	33.3%	43.1%	9.1%	16.0%	18.9%	10.7%	5.7%	20.1%	22.0%	28.0%
	分からない	n=371	2.2%	5.1%	10.2%	0.8%	3.2%	2.7%	1.6%	1.3%	5.1%	4.0%	82.5%

問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツへの関心度に関しては、認知度と同様に「ハザードマップポータルサイト」、「地理院地図（ウェブ地図）」が50.6%と高い傾向がみられる。利用経験者では、「地形図/電子国土基本図（紙地図や地形図の画像データ/地理院地図に掲載する標準地図や写真および地名情報）」が30.9%、「土地の成り立ちや土地の利用等に関する地形特性情報（活断層図や地形分類図等）」と「空中写真閲覧サービス」が20%台と全体よりも関心度が高い傾向がみられる。



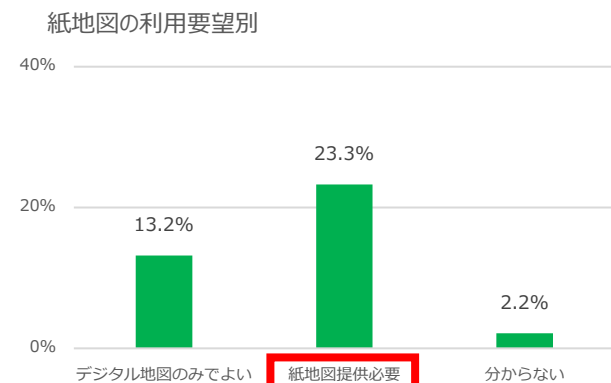
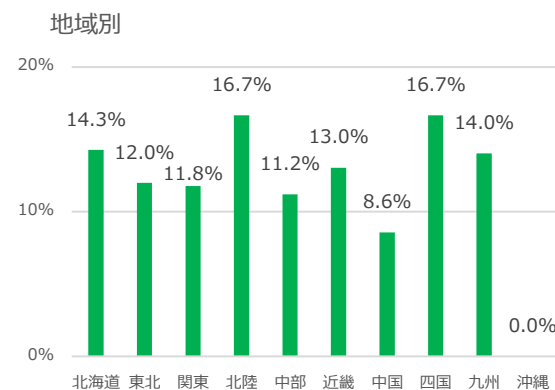
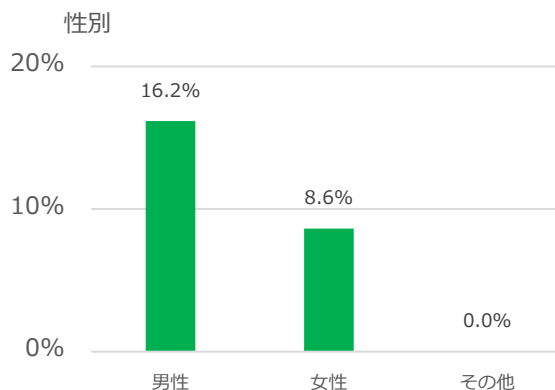
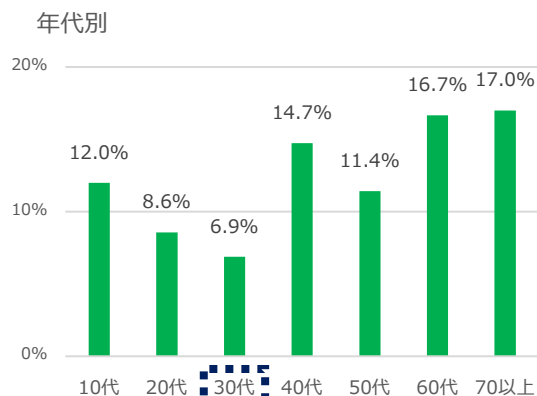
国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツ 興味がある・活用したい(複数選択)			地形図/電子国土基本図（紙地図や地形図の画像データ/地理院地図に掲載する標準地図や写真および地名情報）	地理院地図（ウェブ地図）	ハザードマップポータルサイト	地理教育の道具箱	自然災害伝承碑	土地の成り立ちや土地の利用等に関する地形特性情報（活断層図や地形分類図等）	基準点（三角点・水準点・電子基準点）	外国人にも分かりやすい地図記号	浸水ナビ	空中写真閲覧サービス	特になし
国土地理院地図等利用経験者	n=249		77 30.9%	126 50.6%	126 50.6%	28 11.2%	52 20.9%	67 26.9%	49 19.7%	24 9.6%	56 22.5%	61 24.5%	28 11.2%
直近利用等の時期別	1ヶ月以内	n=47	38.3%	53.2%	48.9%	23.4%	31.9%	38.3%	27.7%	17.0%	27.7%	31.9%	14.9%
	半年以内	n=41	31.7%	51.2%	53.7%	12.2%	17.1%	36.6%	22.0%	7.3%	31.7%	29.3%	2.4%
	1年以内	n=49	32.7%	46.9%	49.0%	10.2%	18.4%	24.5%	16.3%	12.2%	14.3%	18.4%	10.2%
	5年以内	n=43	20.9%	60.5%	65.1%	9.3%	14.0%	18.6%	23.3%	7.0%	20.9%	16.3%	0.0%
	10年以内	n=20	40.0%	45.0%	35.0%	15.0%	35.0%	30.0%	25.0%	20.0%	35.0%	25.0%	10.0%
	10年以上前	n=26	23.1%	42.3%	42.3%	0.0%	11.5%	15.4%	7.7%	0.0%	11.5%	23.1%	26.9%
覚えていない	n=23	30.4%	47.8%	47.8%	0.0%	21.7%	17.4%	8.7%	0.0%	17.4%	30.4%	26.1%	

問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。（複数選択）

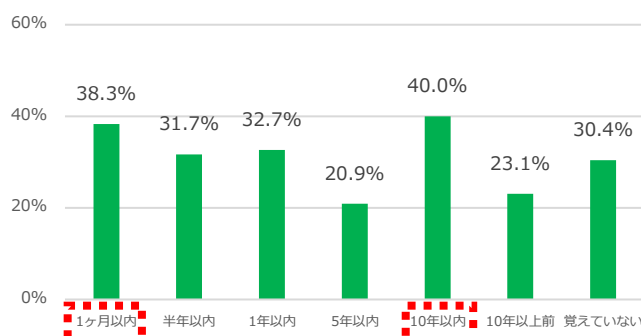
B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度： 地形図/電子国土基本図

- 「地形図/電子国土基本図（紙地図や地形図の画像データ/地理院地図に掲載する標準地図や写真および地名情報）」の関心度(全体12.3%)は、年代別では30代でやや低い傾向がみられる。地域別、性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図の必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の関心度は30.9%で、時期別では10年以内、1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。



直近利用状況別(n = 249)

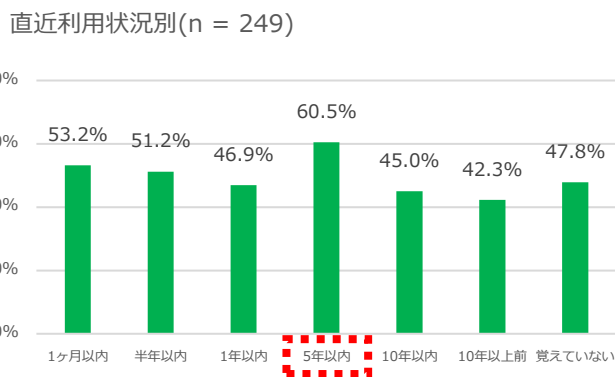
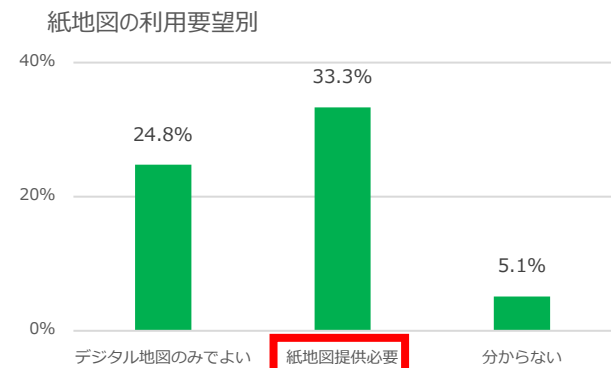
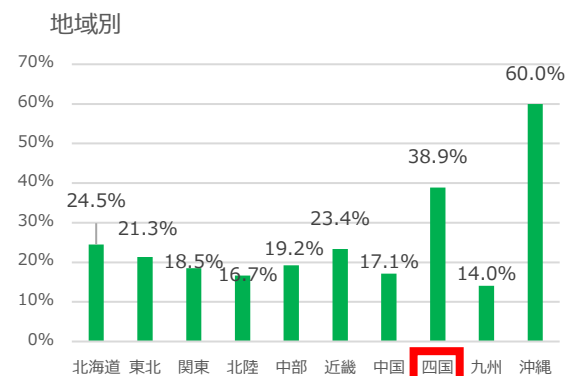
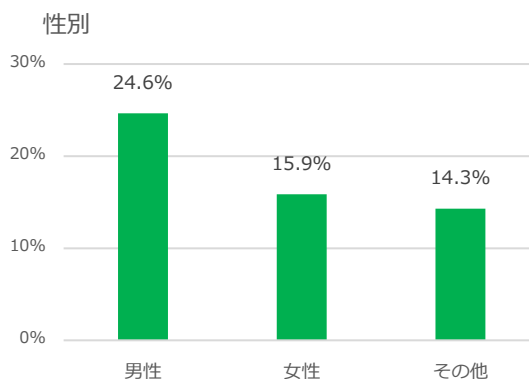
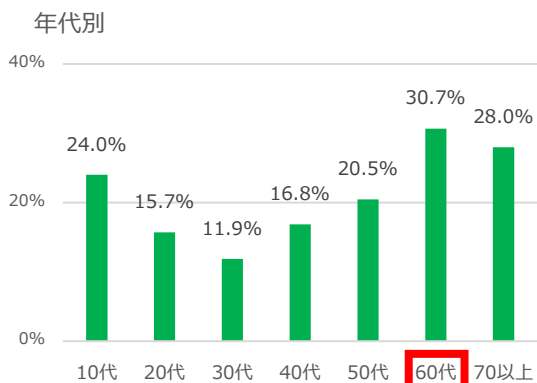


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度： 地理院地図（ウェブ地図）

- 「地理院地図（ウェブ地図）」の関心度(全体20.2%)は、年代別では60代で、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の関心度は50.6%で、時期別では5年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

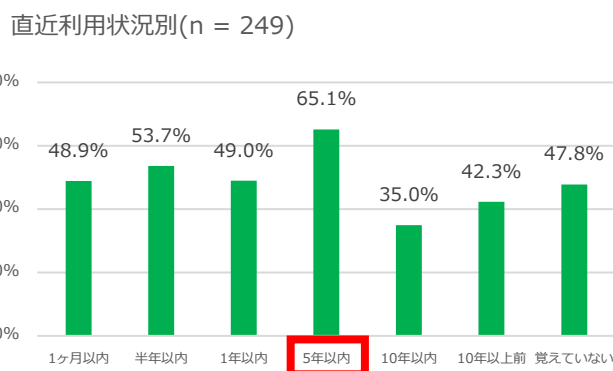
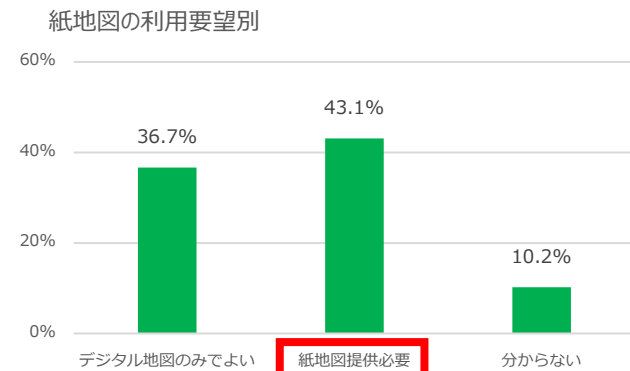
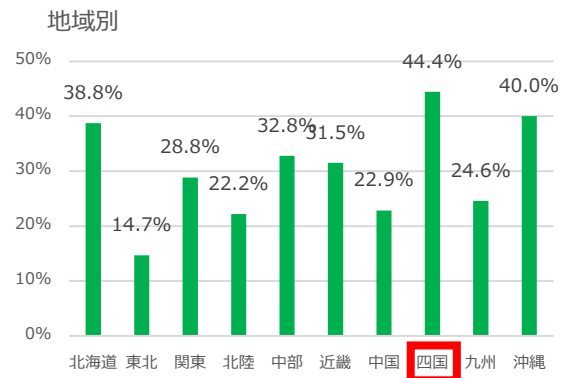
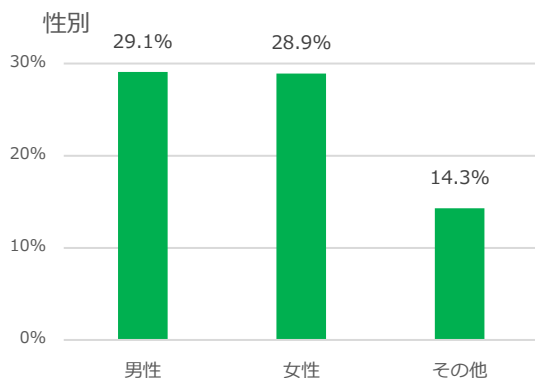
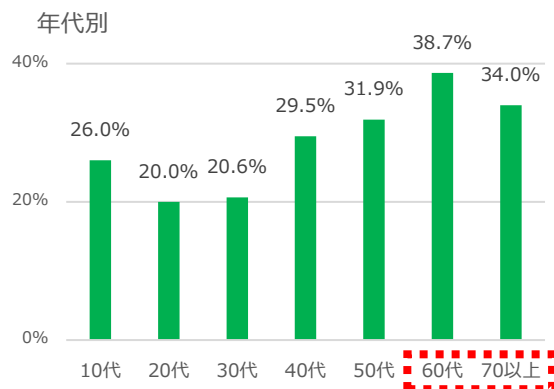


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。（複数選択）

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度： ハザードマップポータルサイト

- 「ハザードマップポータルサイト」の関心度(全体28.9%)は、年代別では60代、70以上でやや高い傾向が、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の関心度は50.6%で、時期別では5年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

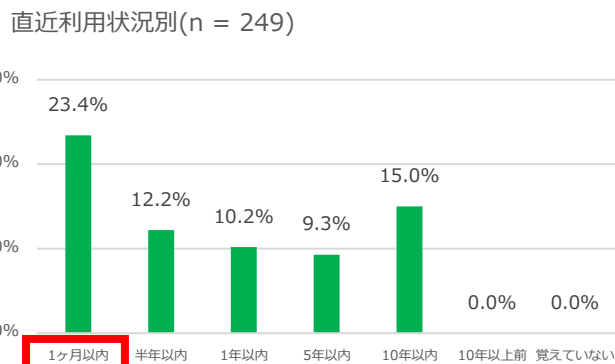
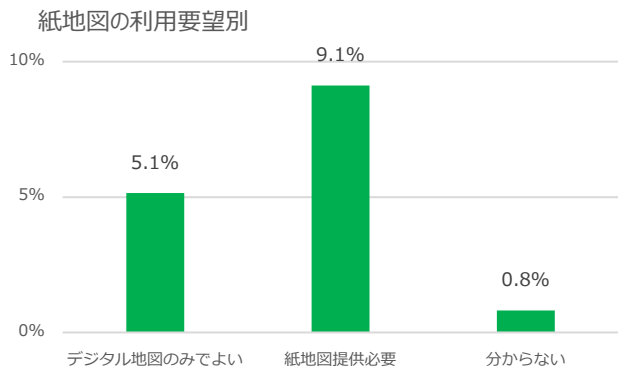
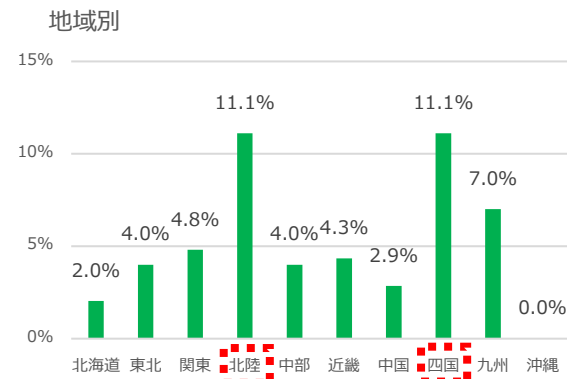
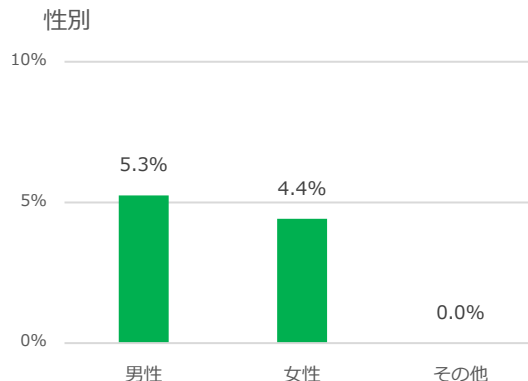
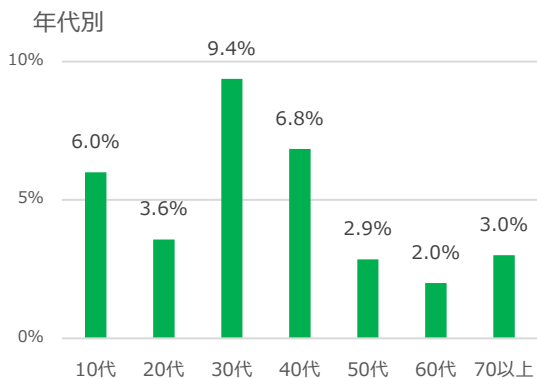


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度： 地理教育の工具箱

- 「地理教育の工具箱」の関心度(全体4.8%)は、年代別、性別では差はあまりみられない。地域別では、北陸、四国でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の関心度は11.2%で、時期別で1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。

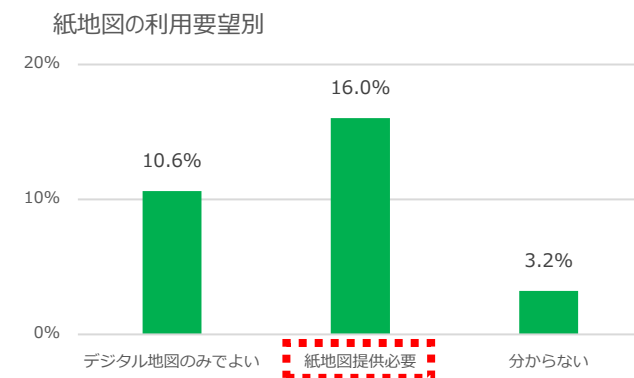
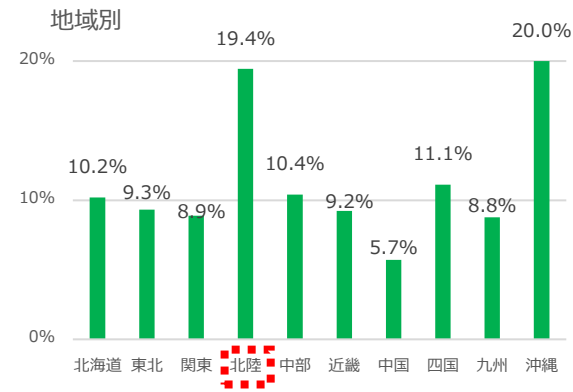
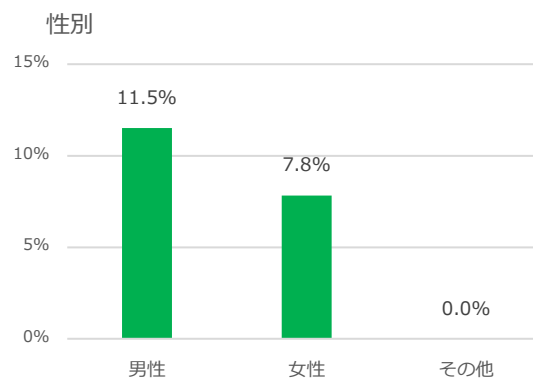
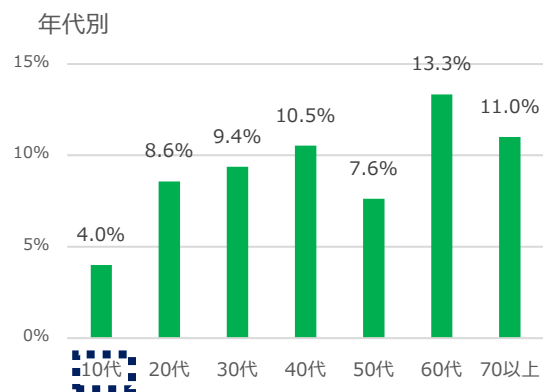


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

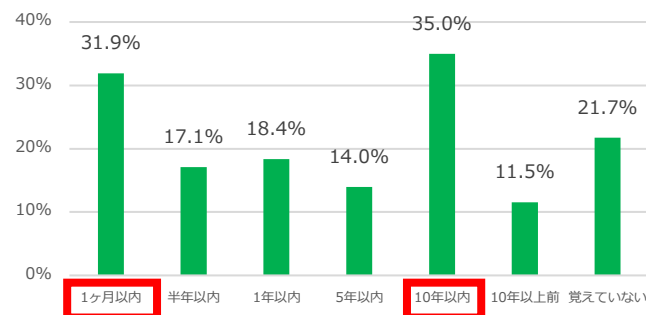
B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度： 自然災害伝承碑

- 「自然災害伝承碑」の関心度(全体9.6%)は、年代別では10代でやや低い傾向が、地域別では北陸でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の関心度は20.9%で、時期別では10年以内と1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。



直近利用状況別(n = 249)

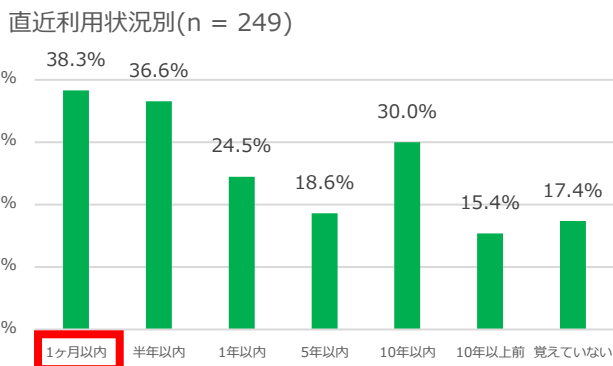
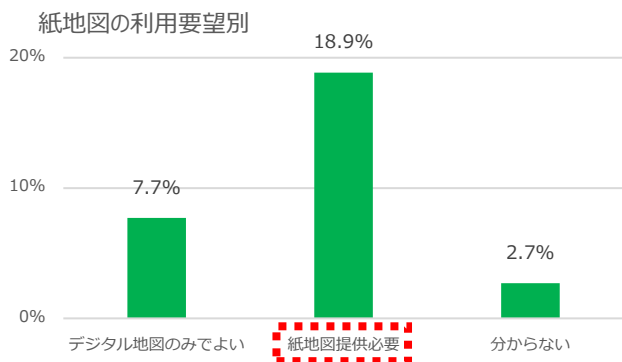
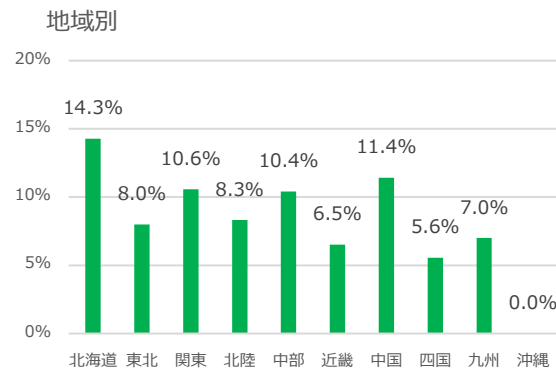
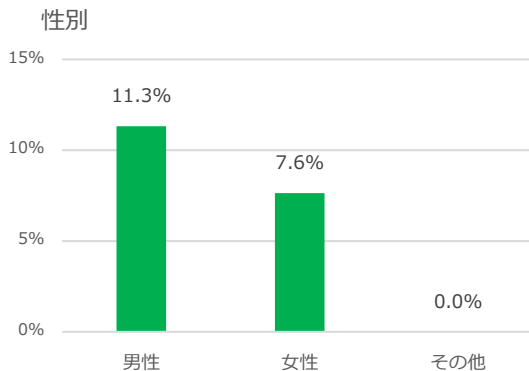
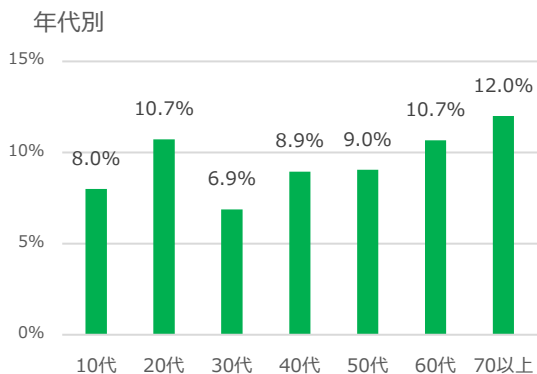


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度： 土地の成り立ちや土地の利用等に関する地形特性情報

- 「土地の成り立ちや土地の利用等に関する地形特性情報（活断層図や地形分類図等）」の関心度(全体9.4%)は、年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の関心度は26.9%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。

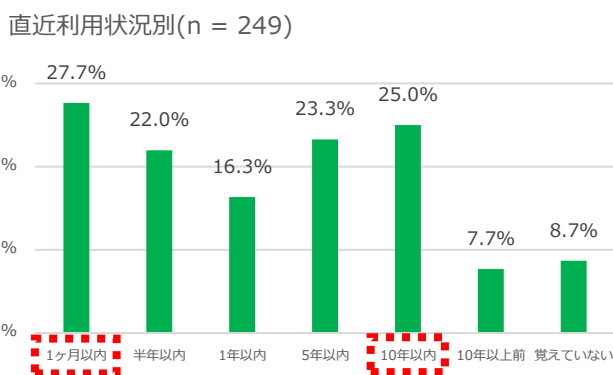
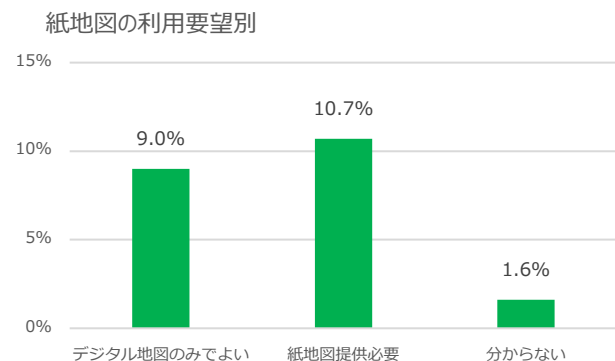
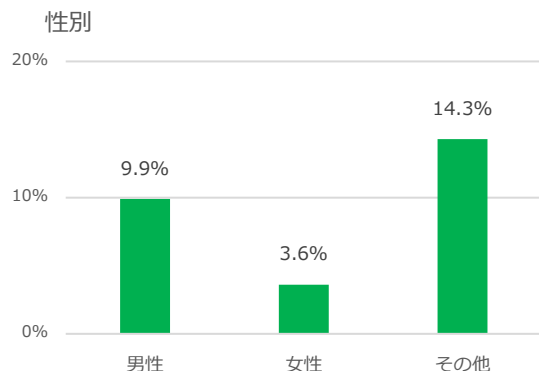
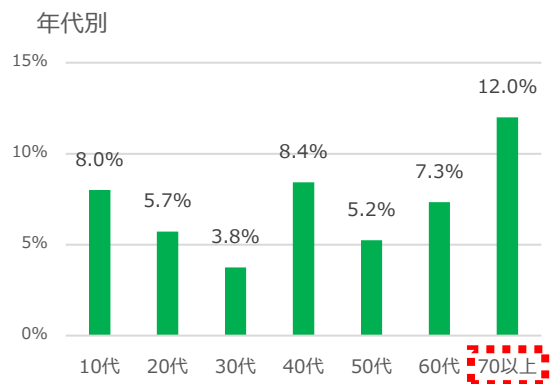


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度：基準点（三角点・水準点・電子基準点）

- 「基準点（三角点・水準点・電子基準点）」の関心度(全体6.8%)は、年代別では70以上でやや高い傾向が、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の関心度は19.7%で、時期別では1ヶ月以内、10年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

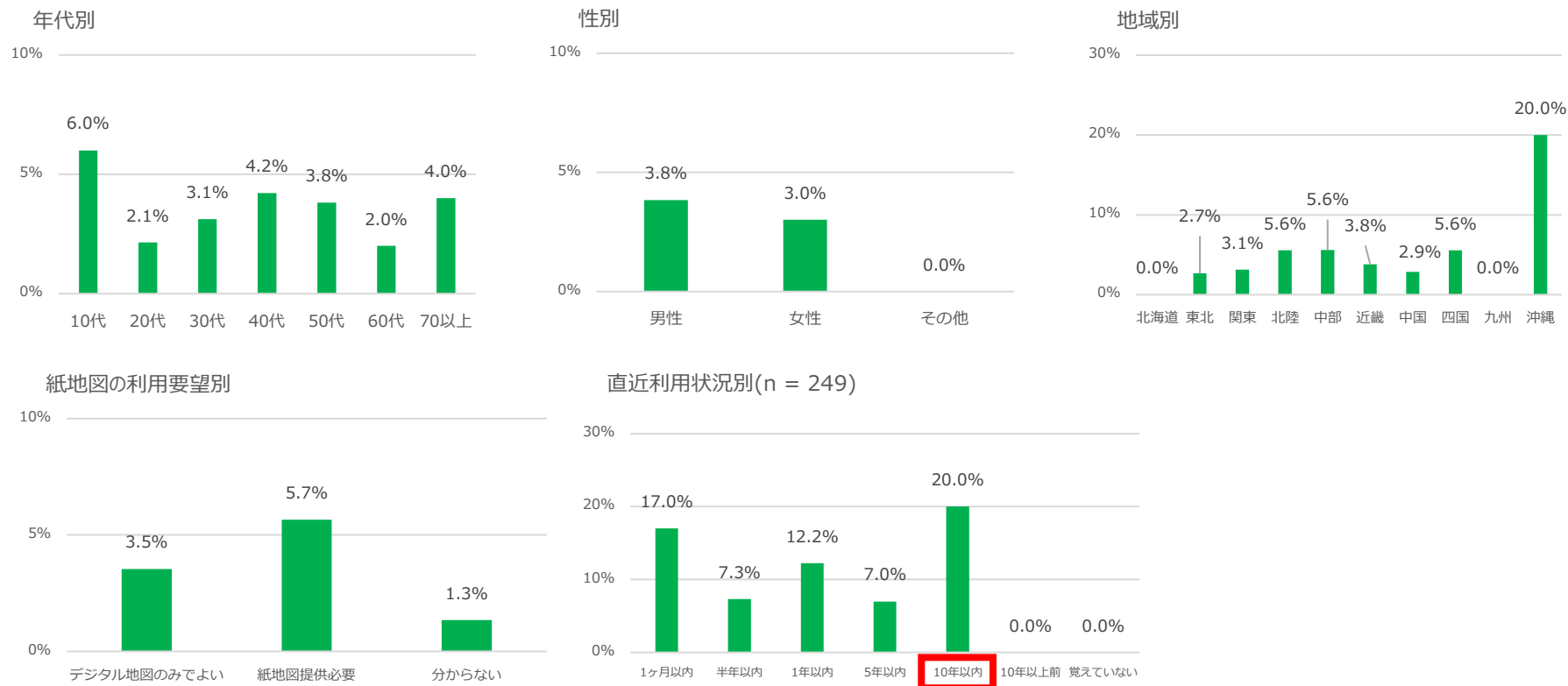


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度： 外国人にも分かりやすい地図記号

- 「外国人にも分かりやすい地図記号」の関心度(全体3.4%)は、年代別、性別、地域別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者の関心度は9.6%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

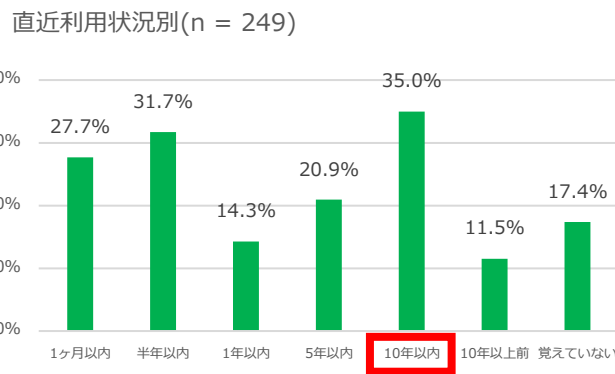
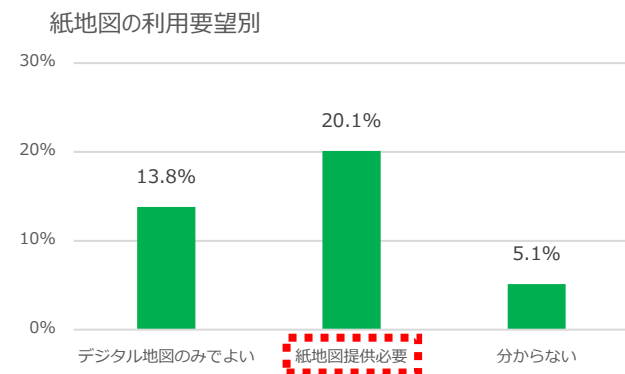
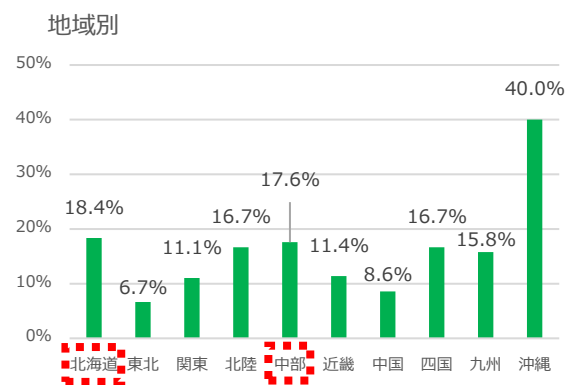
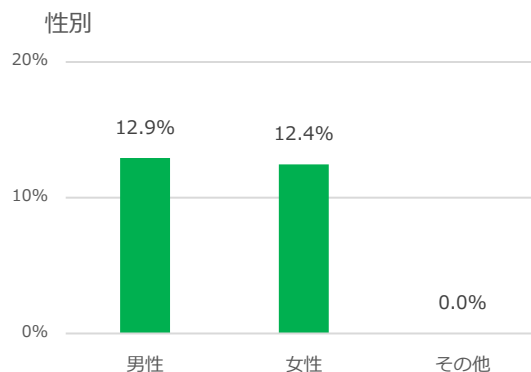
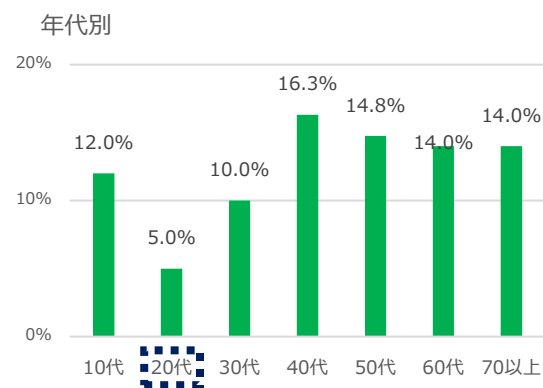


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度： 浸水ナビ

- 「浸水ナビ」の関心度(全体12.6%)は、年代別では20代がやや低い傾向が、地域別では北海道、中部でやや高い傾向がみられる。性別で差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の関心度は22.5%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

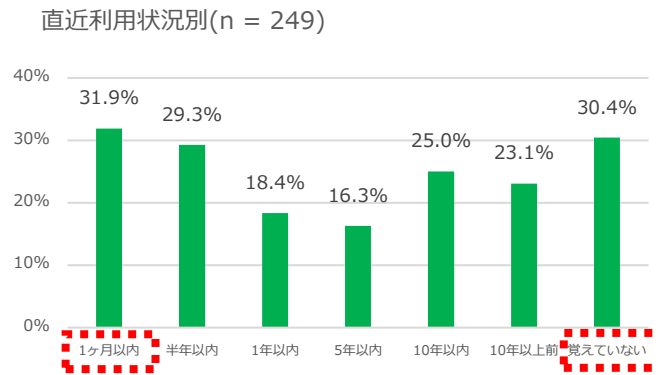
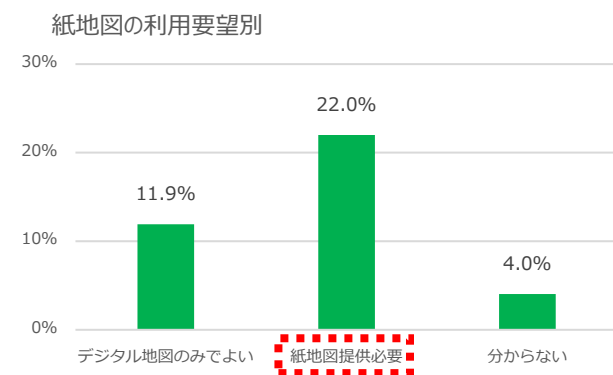
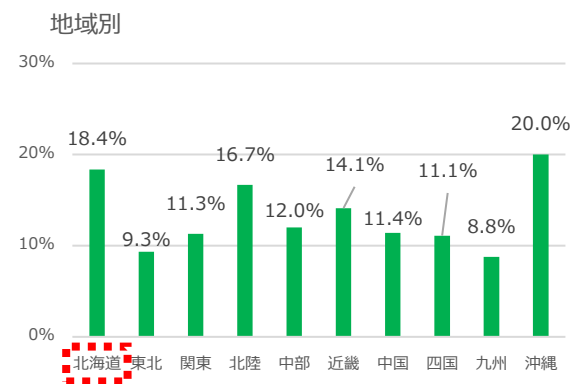
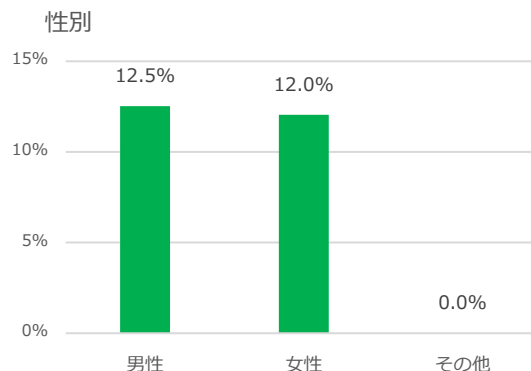
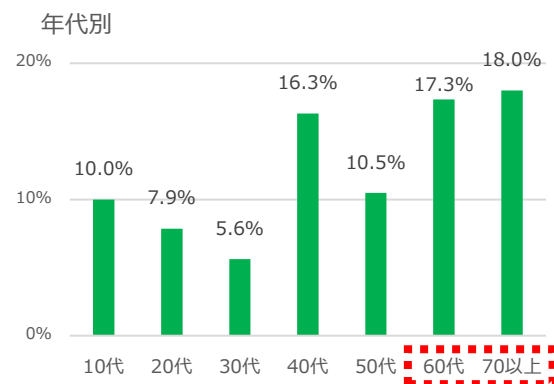


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

B.国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2)国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度： 空中写真閲覧サービス

- 「空中写真閲覧サービス」の関心度(全体12.2%)は、年代別では60代と70以上でやや高い傾向がみられる。性別で差はあまりみられない。地域別では北海道でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者の関心度は24.5%で、時期別では1ヶ月以内、覚えていないと回答した人でやや高い傾向がみられる。

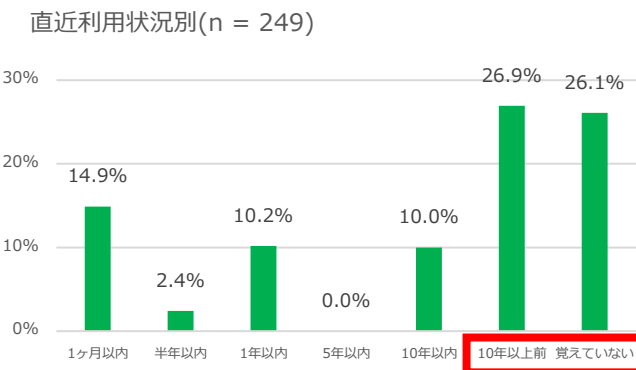
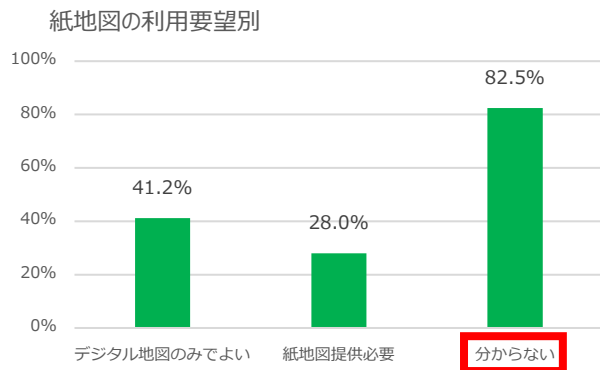
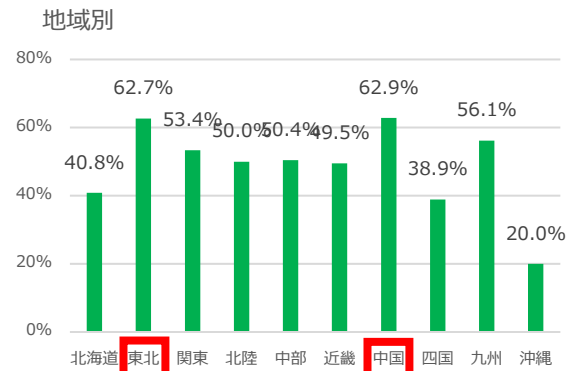
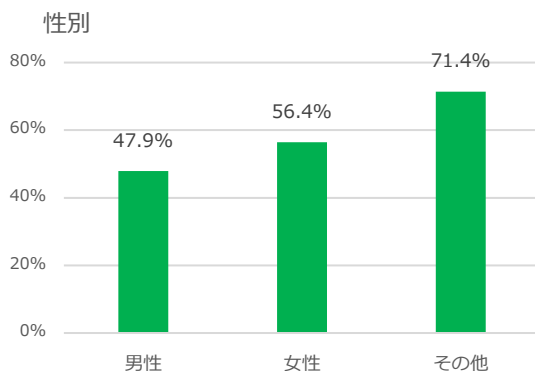
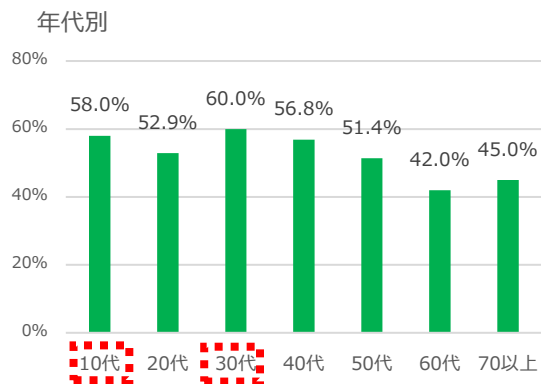


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

B. 国土地理院の取組や提供するサービスについて 5. 国土地理院の防災地理教育支援

(2) 国土地理院の防災・地理教育コンテンツへの関心度： 特にない

- 「特にない」(全体52.3%)との回答に関しては、年代別では30代、10代がやや高い傾向が、地域別では中国、東北で高い傾向がみられる。性別で差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の82.5%が知らないと回答した。
- 地図利用経験者の特にないとの回答は11.2%で、10年以上、覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる

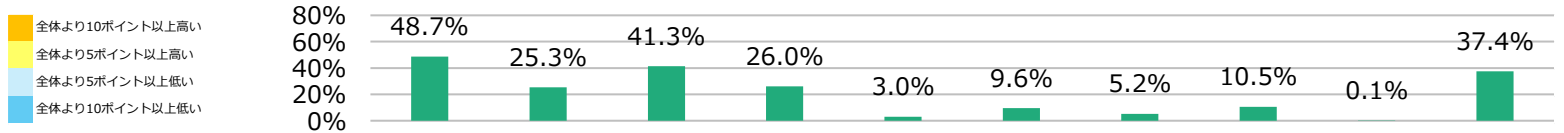


問B5(2) 前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1) 日常生活で目にする位置情報サービス

- 全体では、位置情報サービスの利用に関しては、「ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)」48.7%、「現在地の気象情報(お天気アプリ・雨雲レーダーなど)」41.3%が40%を超える高い認知度を有しており、次いで、「現在地の情報・観光案内(周辺レストラン・観光地検索など)」26.0%「行政サービス(防災マップ・ハザードマップ表示・避難所案内アプリなど)」25.3%が20%以上の認知度となっている。



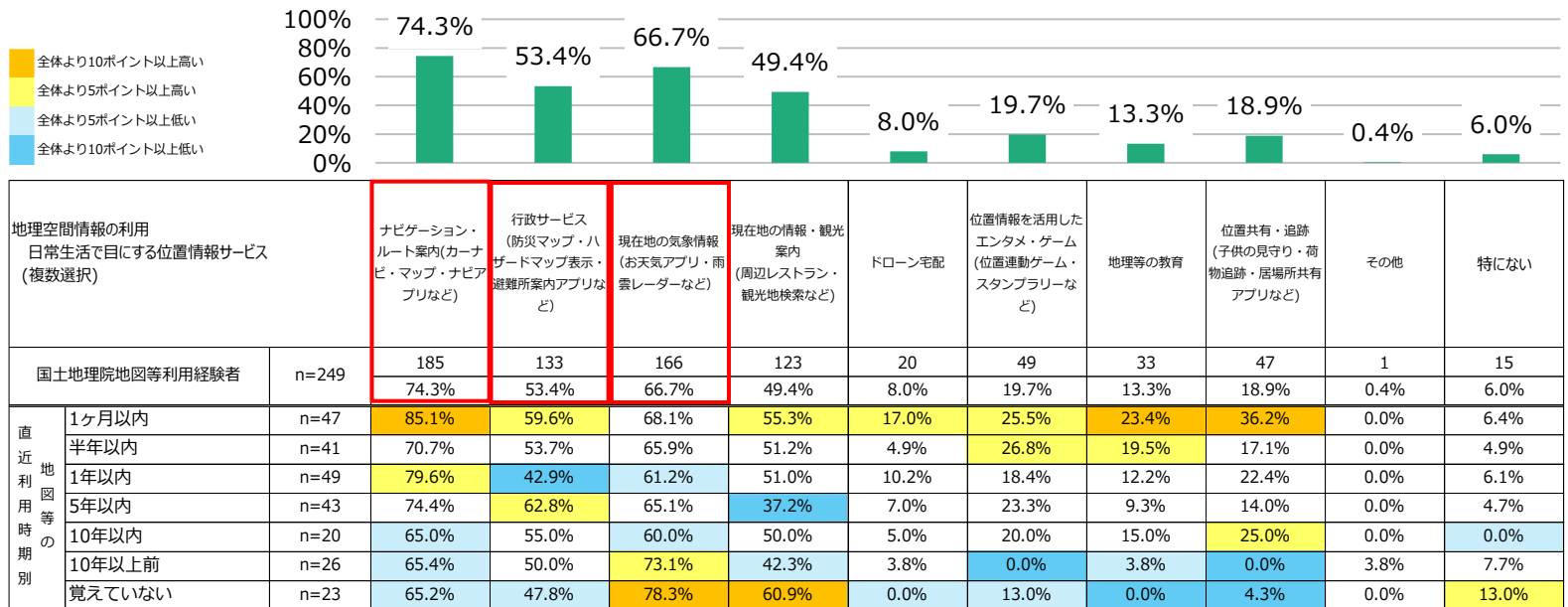
地理空間情報の利用 日常生活で目にする位置情報サービス (複数選択)		ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)	行政サービス(防災マップ・ハザードマップ表示・避難所案内アプリなど)	現在地の気象情報(お天気アプリ・雨雲レーダーなど)	現在地の情報・観光案内(周辺レストラン・観光地検索など)	ドローン宅配	位置情報を活用したエンタメ・ゲーム(位置連動ゲーム・スタンプラリーなど)	地理等の教育	位置共有・追跡(子供の見守り・荷物追跡・居場所共有アプリなど)	その他	特になし	
全体	n=1000	487 48.7%	253 25.3%	413 41.3%	260 26.0%	30 3.0%	96 9.6%	52 5.2%	105 10.5%	1 0.1%	374 37.4%	
年代別	10代	n=50	38.0%	14.0%	36.0%	16.0%	8.0%	12.0%	12.0%	10.0%	0.0%	38.0%
	20代	n=140	40.0%	16.4%	30.0%	21.4%	4.3%	9.3%	4.3%	7.1%	0.0%	42.1%
	30代	n=160	43.1%	20.6%	33.8%	21.3%	3.1%	18.8%	5.0%	13.1%	0.0%	43.8%
	40代	n=190	44.2%	21.1%	35.3%	23.2%	3.2%	10.5%	4.2%	14.2%	0.0%	46.3%
	50代	n=210	51.9%	26.7%	44.8%	30.0%	0.5%	7.1%	6.2%	11.4%	0.0%	33.8%
	60代	n=150	60.0%	33.3%	54.7%	34.0%	3.3%	7.3%	3.3%	7.3%	0.0%	29.3%
	70以上	n=100	60.0%	44.0%	56.0%	30.0%	3.0%	1.0%	6.0%	7.0%	1.0%	23.0%
性別	男性	n=495	51.5%	27.7%	43.0%	25.7%	3.8%	11.7%	6.5%	9.7%	0.2%	33.7%
	女性	n=498	46.2%	23.3%	40.2%	26.7%	2.2%	7.6%	4.0%	11.4%	0.0%	40.6%
	その他	n=7	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%
地域別	北海道	n=49	49.0%	28.6%	36.7%	24.5%	2.0%	6.1%	4.1%	6.1%	0.0%	34.7%
	東北	n=75	38.7%	18.7%	29.3%	20.0%	2.7%	12.0%	1.3%	10.7%	0.0%	50.7%
	関東	n=416	44.5%	21.9%	38.5%	25.2%	3.4%	9.9%	4.8%	9.4%	0.0%	40.9%
	北陸	n=36	55.6%	19.4%	52.8%	38.9%	2.8%	8.3%	13.9%	8.3%	0.0%	30.6%
	中部	n=125	60.8%	32.8%	48.8%	28.8%	3.2%	9.6%	4.0%	15.2%	0.0%	28.0%
	近畿	n=184	48.9%	27.2%	45.1%	27.2%	2.7%	9.2%	6.5%	10.3%	0.5%	34.8%
	中国	n=35	51.4%	31.4%	31.4%	17.1%	0.0%	8.6%	0.0%	14.3%	0.0%	37.1%
	四国	n=18	66.7%	38.9%	55.6%	27.8%	5.6%	5.6%	11.1%	5.6%	0.0%	27.8%
	九州	n=57	49.1%	26.3%	43.9%	26.3%	3.5%	10.5%	8.8%	12.3%	0.0%	36.8%
	沖縄	n=5	100.0%	60.0%	80.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
の紙地図	デジタル地図のみでよい	n=311	65.9%	32.2%	50.2%	29.6%	4.2%	12.5%	5.5%	11.6%	0.0%	19.3%
	紙地図提供必要	n=318	67.3%	42.1%	65.7%	43.7%	4.4%	14.8%	9.4%	17.9%	0.3%	11.9%
	分からない	n=371	18.3%	5.1%	12.9%	7.8%	0.8%	2.7%	1.3%	3.2%	0.0%	74.4%

問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1) 日常生活で目にする位置情報サービス

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、位置情報サービスの利用に関しては、「ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)」74.3%、「現在地の気象情報(お天気アプリ・雨雲レーダーなど)」66.7%が高い認知度を有している。利用経験者では、これらに次いで「行政サービス(防災マップ・ハザードマップ表示・避難所案内アプリなど)」が53.4%の認知度となっている。
- その他で、山岳地図、等高線入地形図で位置情報サービスを目にしていないとの回答があった。

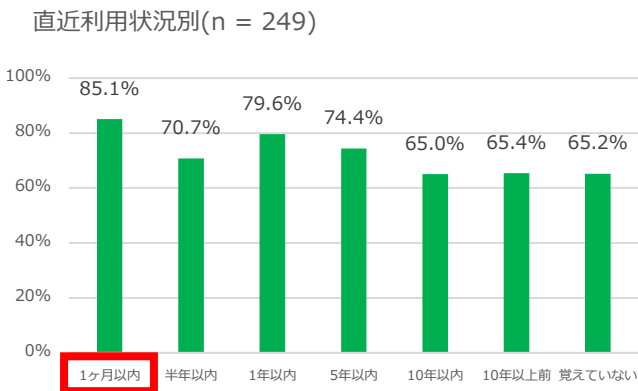
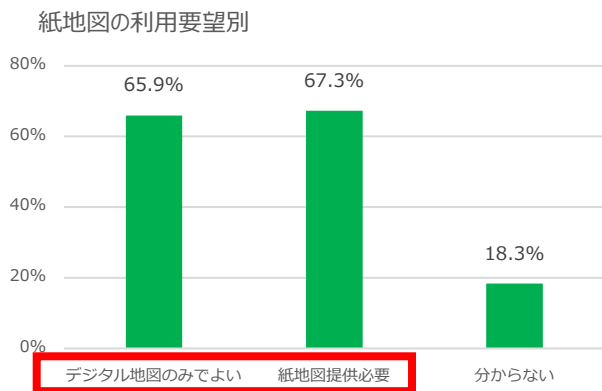
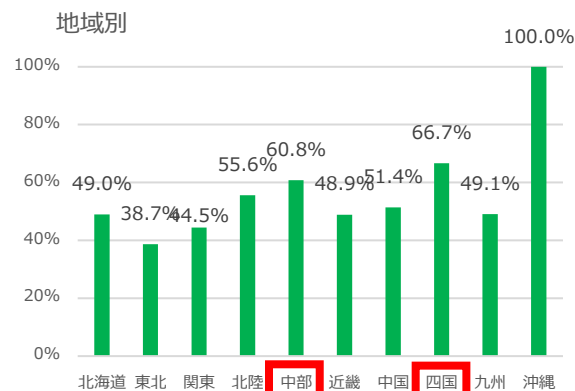
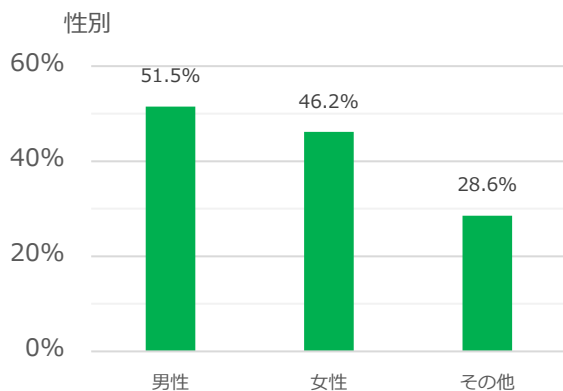
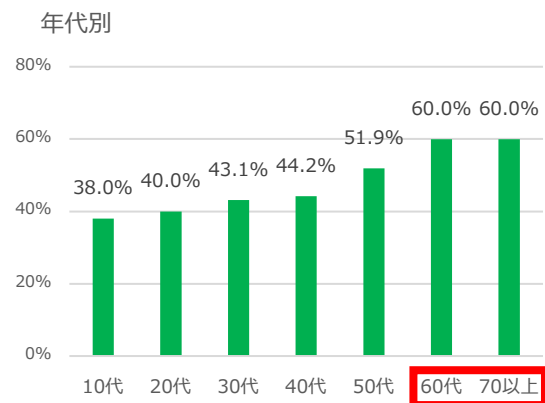


問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1) 日常生活で目にする位置情報サービス: ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)

- 「ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)」(全体48.7%)は、年代別では60代、70以上で、地域別では四国、中部で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要、デジタル地図のみでよいと回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では74.3%で、時期別では1ヶ月以内で高い傾向がみられる。

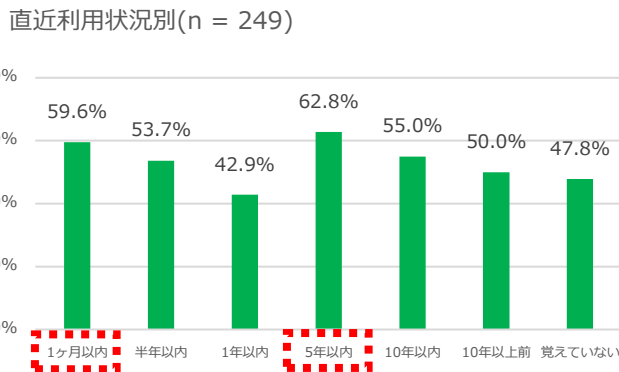
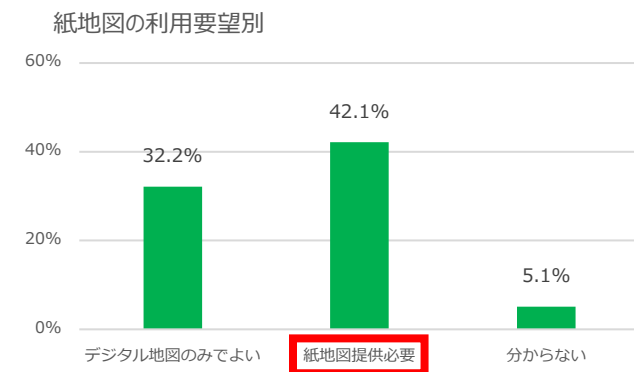
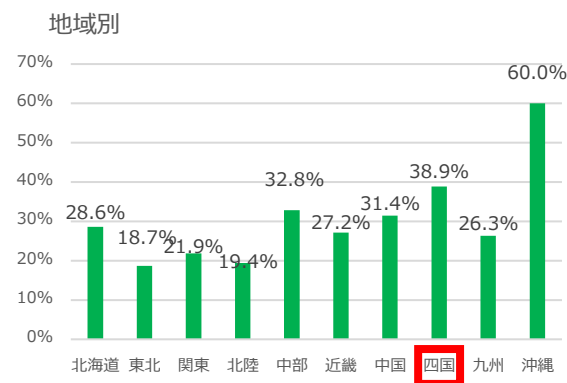
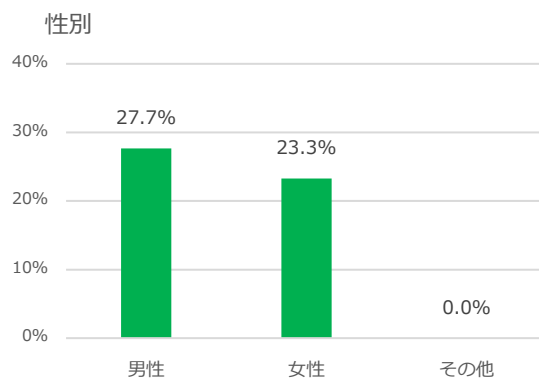
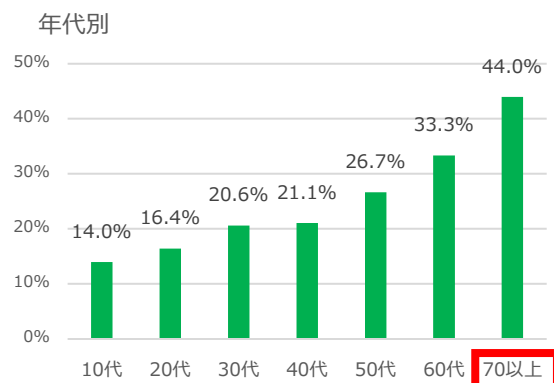


問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1)日常生活で目にする位置情報サービス: 行政サービス(防災マップ・ハザードマップ表示・避難所案内アプリなど)

- 「行政サービス(防災マップ・ハザードマップ表示・避難所案内アプリなど)」(全体25.3%)は、年代別では70以上で、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では53.4%で、時期別では5年以内、1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

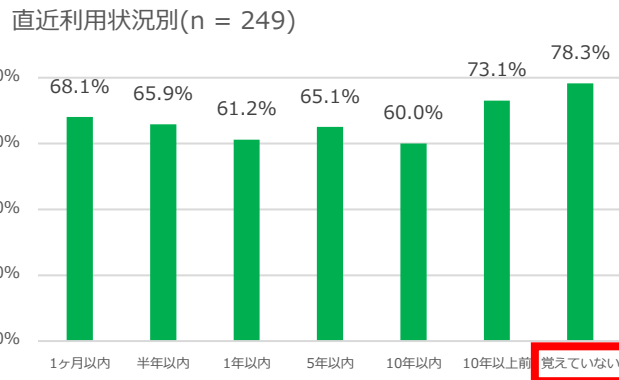
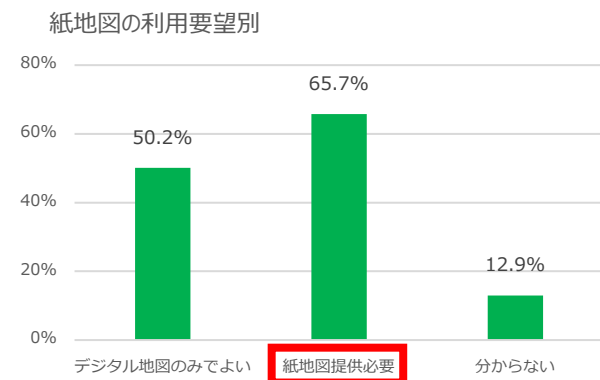
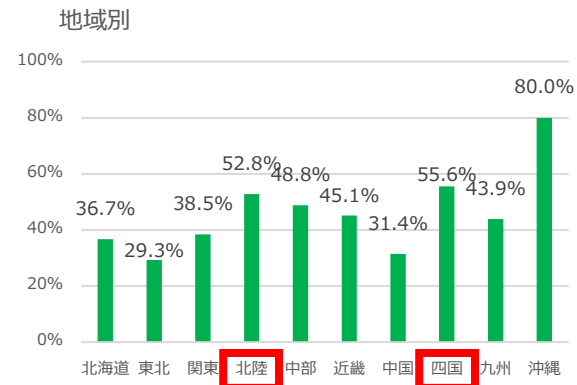
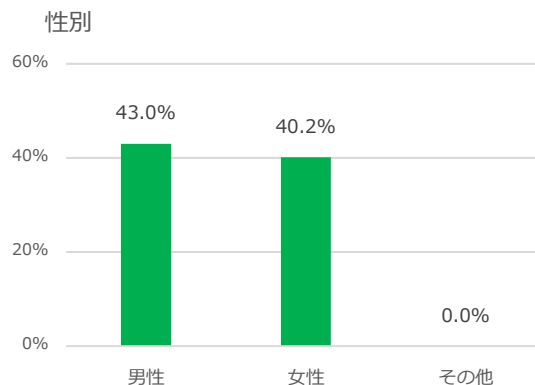
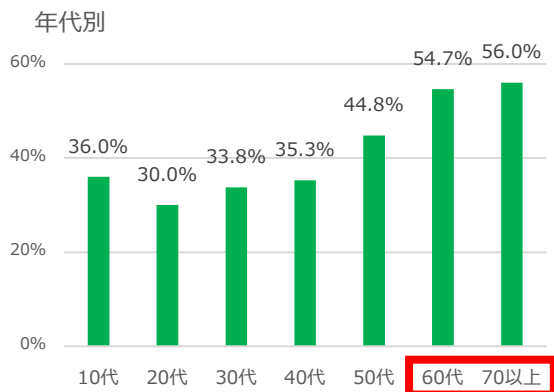


問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1) 日常生活で目にする位置情報サービス: 現在地の気象情報(お天気アプリ・雨雲レーダーなど)

- 「現在地の気象情報(お天気アプリ・雨雲レーダーなど)」(全体41.3%)は、年代別では70以上、60代で、地域別では四国、北陸で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では66.7%で、時期別では覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる。

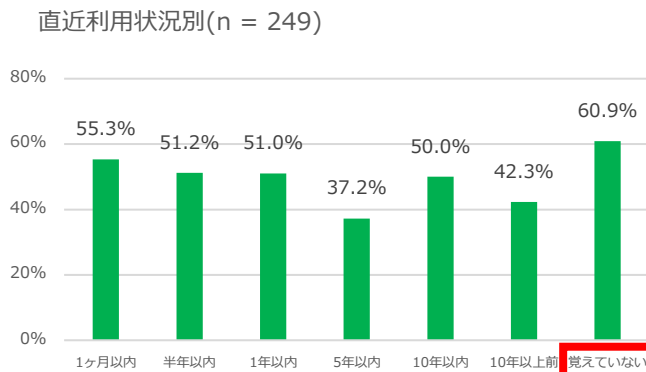
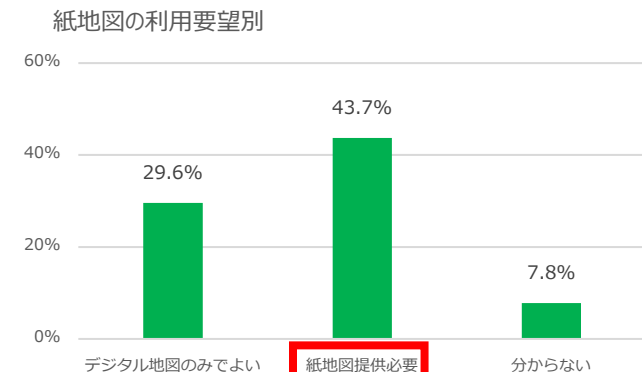
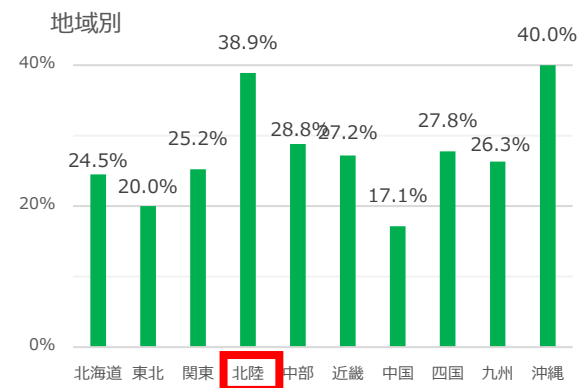
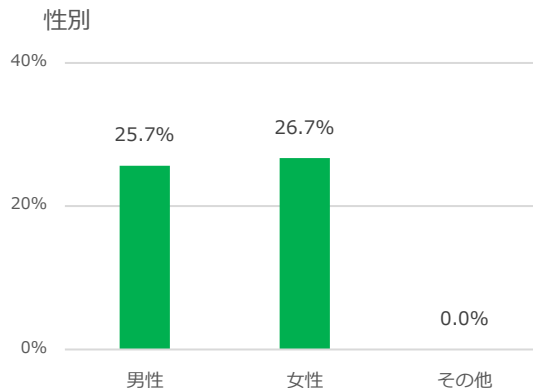
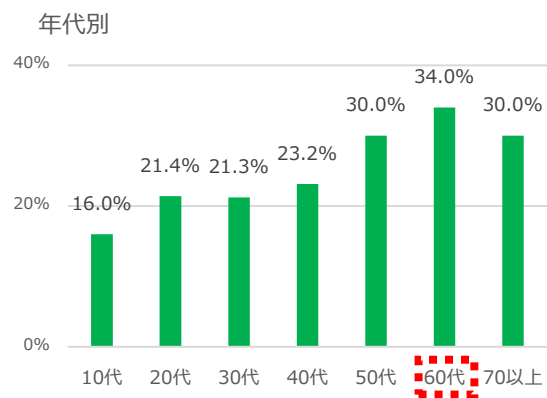


問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1) 日常生活で目にする位置情報サービス: 現在地の情報・観光案内(周辺レストラン・観光地検索など)

- 「現在地の情報・観光案内(周辺レストラン・観光地検索など)」(全体26.0%)は、年代別では60代がやや高い傾向が、地域別では北陸で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では49.4%で、時期別では覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる。

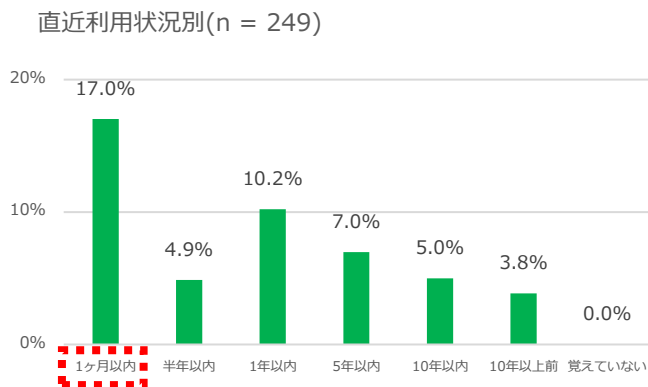
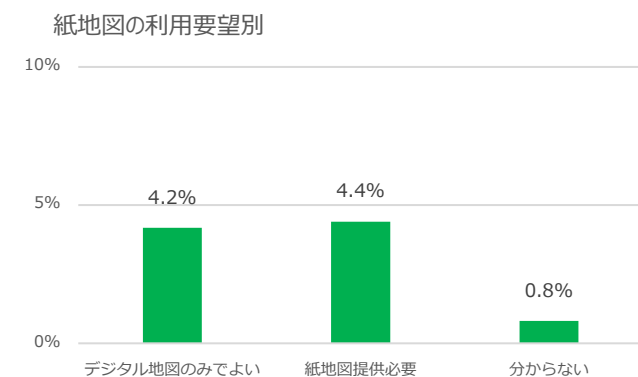
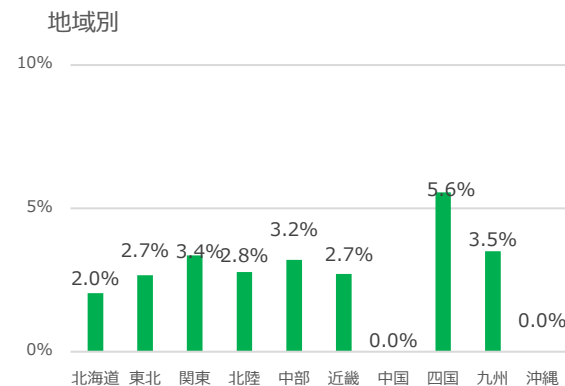
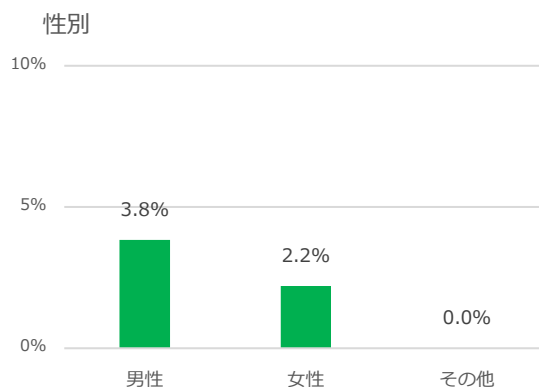
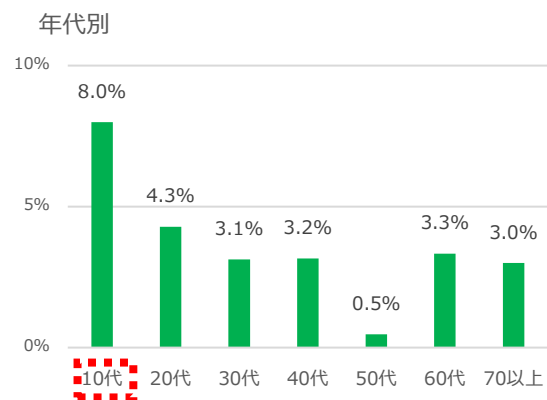


問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1) 日常生活で目にする位置情報サービス: ドローン宅配

- 「ドローン宅配」(全体3.0%)は、年代別では10代でやや高い傾向がみられる。性別、地域別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者では8.0%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

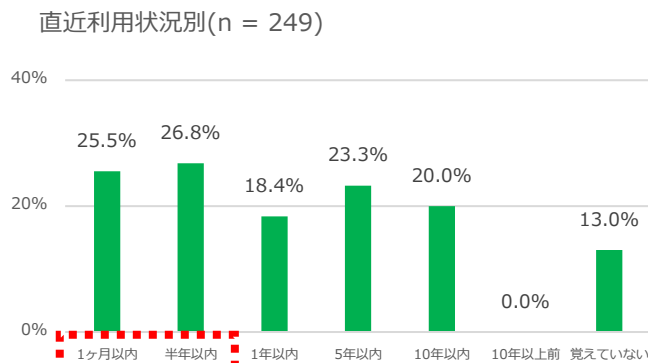
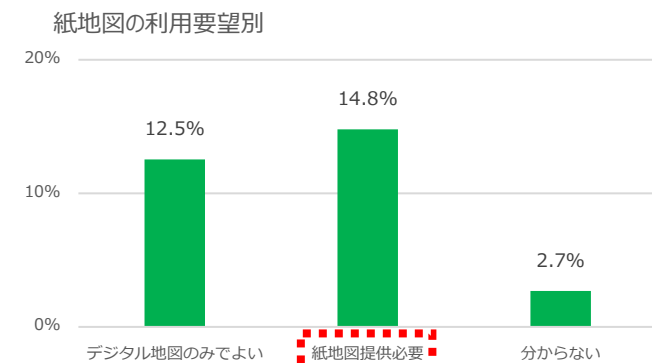
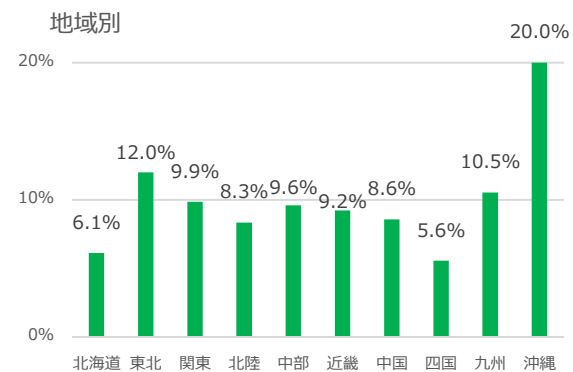
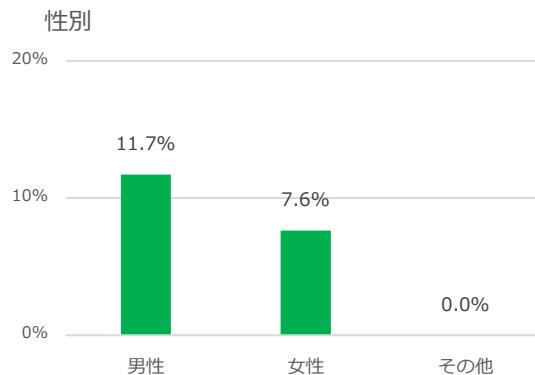
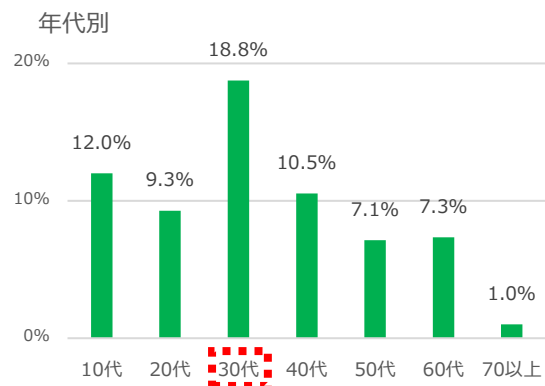


問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1) 日常生活で目にする位置情報サービス: 位置情報を活用したエンタメ・ゲーム(位置連動ゲーム・スタンプラリーなど)

- 「位置情報を活用したエンタメ・ゲーム(位置連動ゲーム・スタンプラリーなど)」(全体9.6%)は、年代別では30代がやや高い傾向がみられる。性別、地域別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では19.7%で、時期別では半年以内、1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

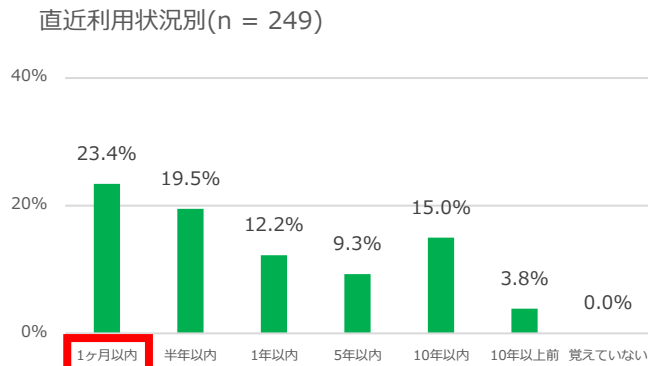
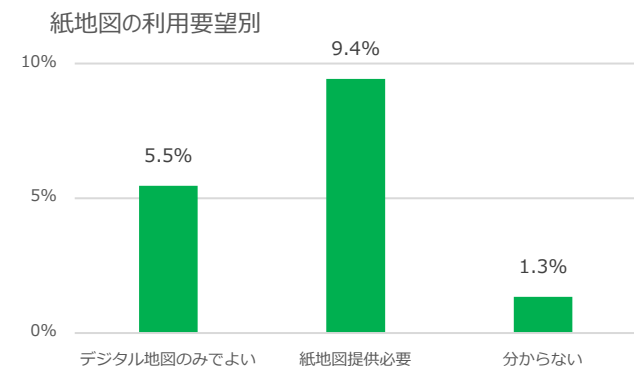
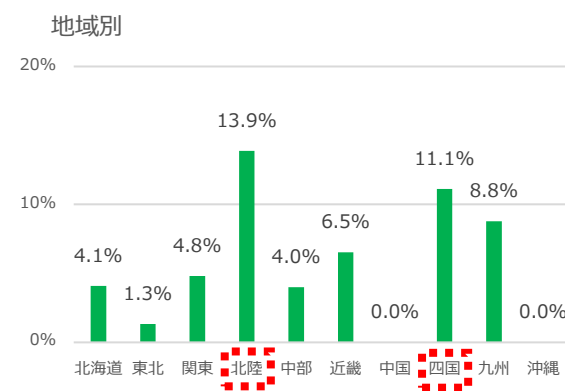
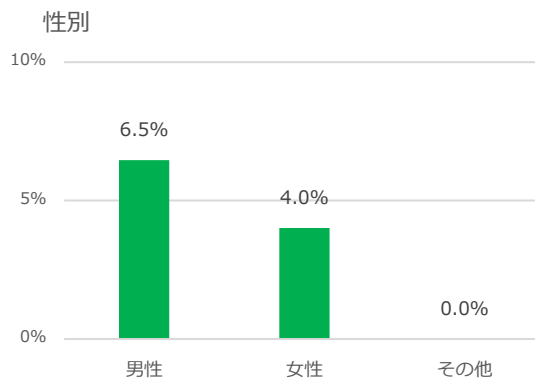
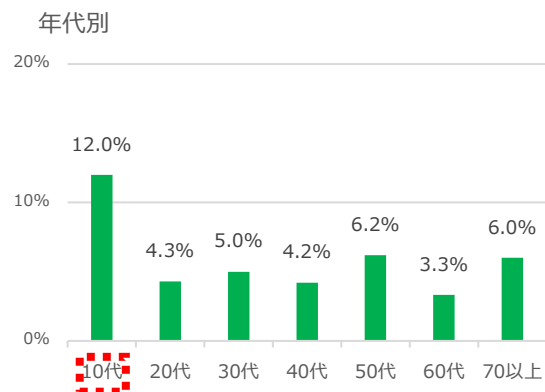


問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1) 日常生活で目にする位置情報サービス: 地理等の教育

- 「地理等の教育」(全体5.2%)は、年代別では10代で、地域別では北陸、四国でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者では13.3%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。

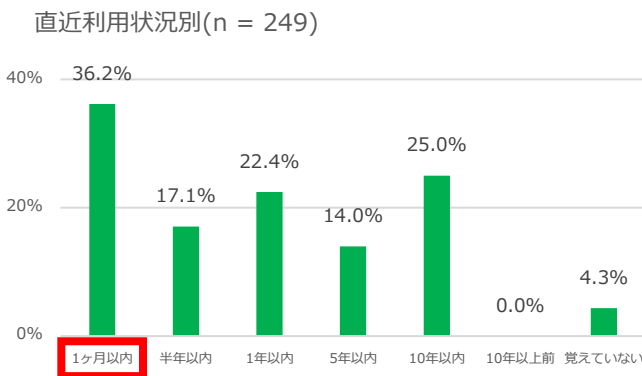
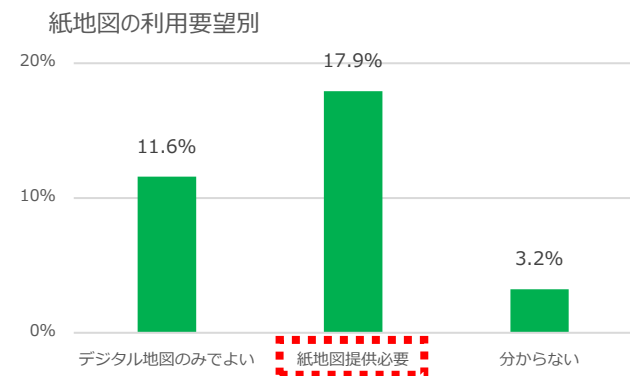
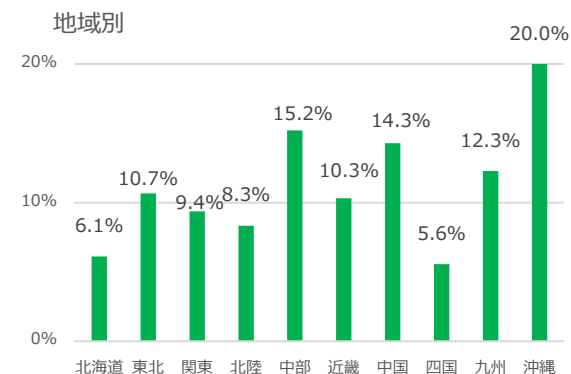
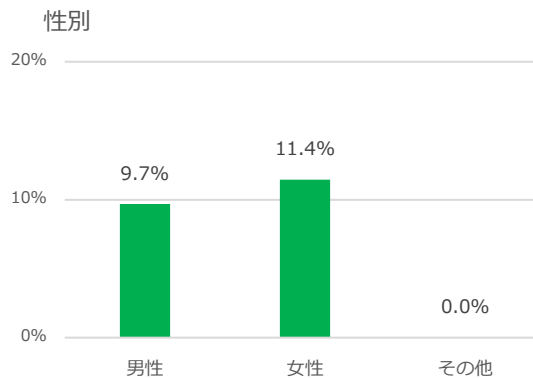
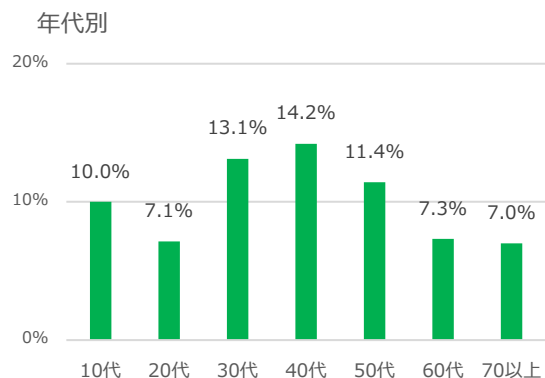


問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1) 日常生活で目にする位置情報サービス: 位置共有・追跡(子供の見守り・荷物追跡・居場所共有アプリなど)

- 「位置共有・追跡(子供の見守り・荷物追跡・居場所共有アプリなど) 」(全体10.5%)は、年代別、性別、地域別ともに差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では18.9%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。

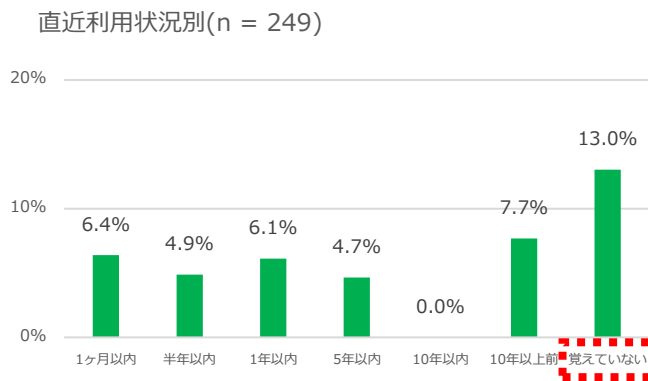
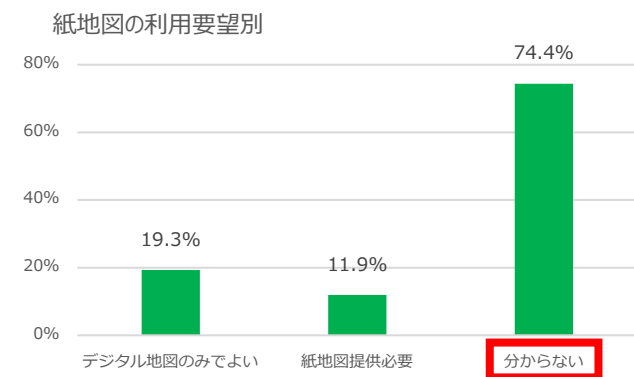
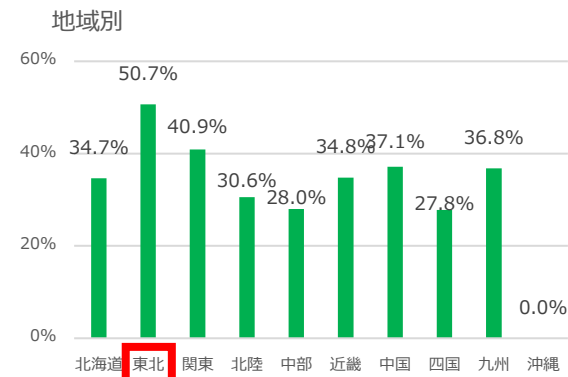
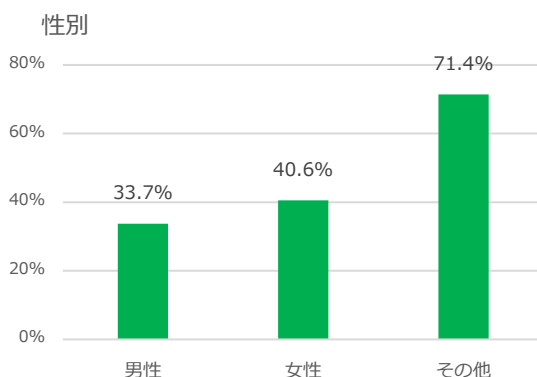
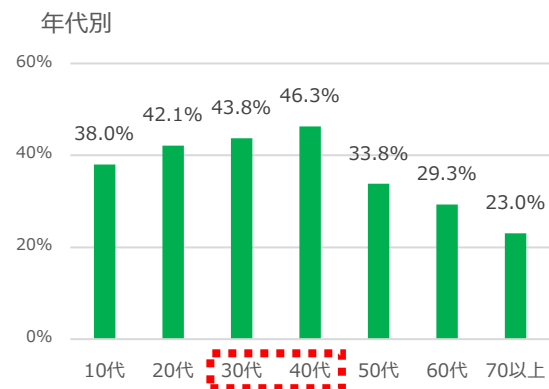


問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(1) 日常生活で目にする位置情報サービス: 特にない

- 「特にない」(全体37.4%)との回答に関しては、年代別では40代、30代がやや高く、地域別では東北で高い傾向がみられる。性別で差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の74.4%が特にないと回答した。
- 地図利用経験者の特に無いとの回答は6.0%で、覚えていないと回答した人でやや高い傾向がみられる

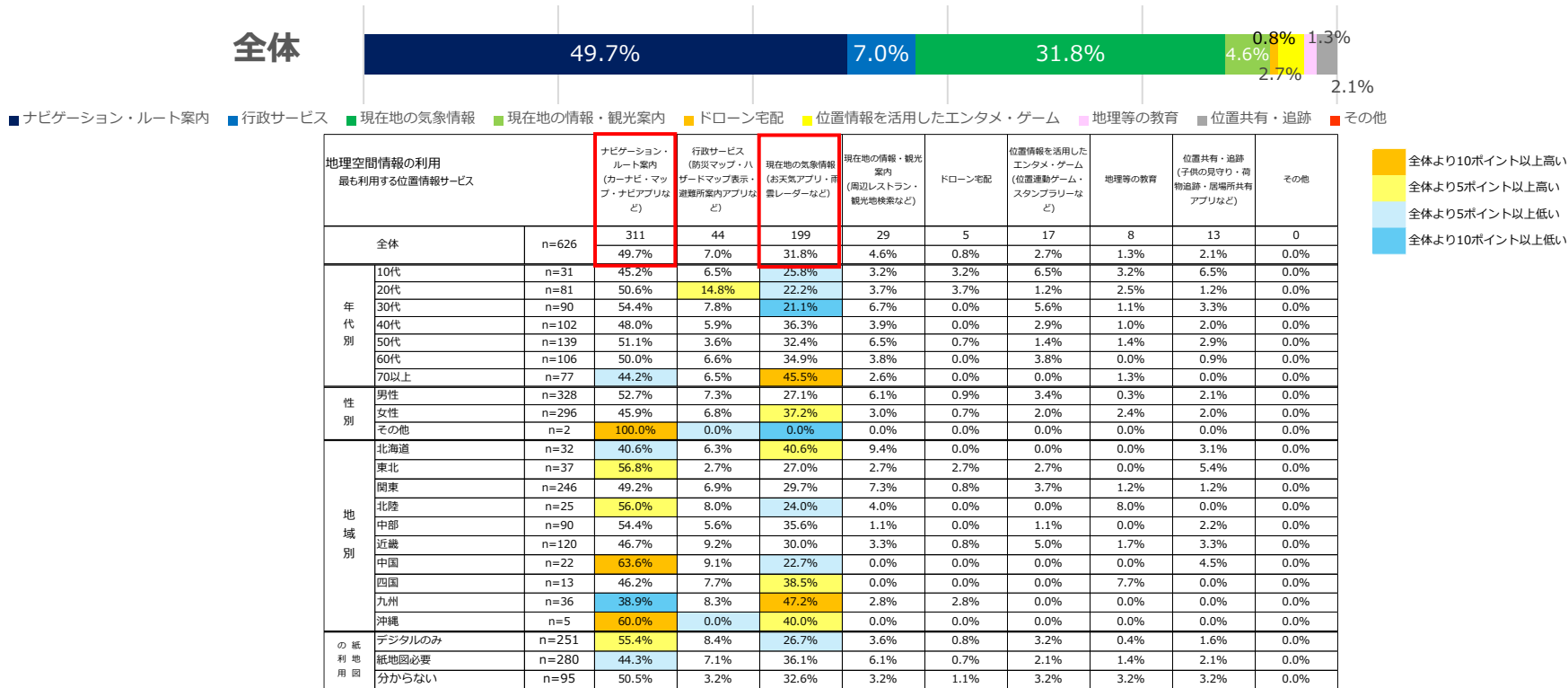


問C1(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(2) 最も利用する位置情報サービス

- 最も利用する位置情報サービスは、「ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)」が49.7%と最も高く、つづいて「現在地の気象情報(お天気アプリ・雨雲レーダーなど)」が31.8%であった。
- 年代別では、70以上で「現在地の気象情報」で高い傾向が、性別では女性で「現在地の気象情報」がやや高い傾向がみられる。地域別では、「ナビゲーション・ルート案内」が中国で高い傾向が、東北と北陸でやや高い傾向がみられる。また、九州で「現在地の気象情報」が高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、デジタルのみで良いとの回答した人で「ナビゲーション・ルート案内」がやや高い傾向がみられる。

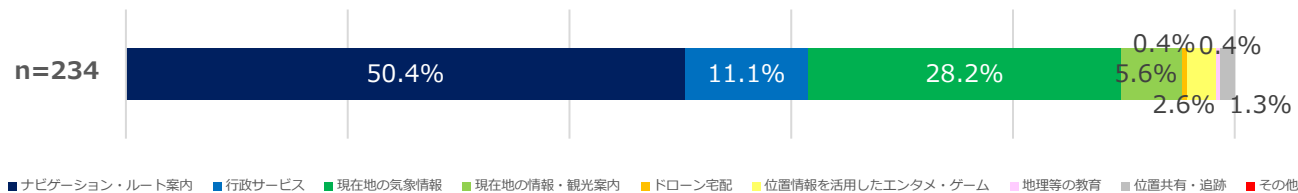


問C1(2) 前問で選択した位置情報サービスの内、最も利用するものを1つ選んでください。

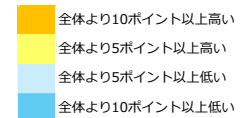
C.地理空間情報の利用に関する実態について 1. 位置情報サービス

(2) 最も利用する位置情報サービス

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した人で、且つ、日常生活で位置情報サービスを認知する人(n=234)でも、同様に「ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)」が50.4%と最も高く、つづいて「現在地の気象情報(お天気アプリ・雨雲レーダーなど)」が28.2%であった。
- 直近の利用時期別では、1ヶ月以内と回答した人で「ナビゲーション・ルート案内」が、10年以上前と回答した人で「現在地の気象情報」が高い傾向がみられる。



地理空間情報の利用 最も利用する位置情報サービス		ナビゲーション・ルート案内 (カーナビ・マップ・ナビアプリなど)	行政サービス (防災マップ・ハザードマップ表示・避難所案内アプリなど)	現在地の気象情報 (お天気アプリ・雨雲レーダーなど)	現在地の情報・観光案内 (周辺レストラン・観光地検索など)	ドローン宅配	位置情報を活用したエンタメ・ゲーム (位置運動ゲーム・スタンプラリーなど)	地理等の教育	位置共有・追跡 (子供の見守り・荷物追跡・居場所共有アプリなど)	その他
国土地理院地図等利用経験者	n=234	118 50.4%	26 11.1%	66 28.2%	13 5.6%	1 0.4%	6 2.6%	1 0.4%	3 1.3%	0 0.0%
直近 地図 利用 時期 別	1ヶ月以内	n=44 61.4%	6.8%	27.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%
	半年以内	n=39 46.2%	15.4%	17.9%	10.3%	0.0%	7.7%	0.0%	2.6%	0.0%
	1年以内	n=46 54.3%	8.7%	30.4%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5年以内	n=41 48.8%	12.2%	26.8%	2.4%	2.4%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	10年以内	n=20 35.0%	20.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%
	10年以上前	n=24 37.5%	12.5%	45.8%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
覚えていない	n=20 60.0%	5.0%	20.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

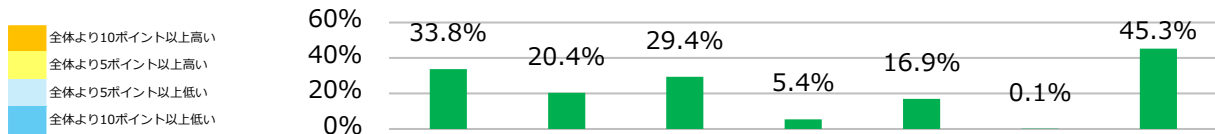


問C1(2) 前問で選択した位置情報サービスの内、最も利用するものを1つ選んでください。

C.地理空間情報の利用に関する実態について 2. 3次元地理空間情報

(1) 3次元地理空間情報の活用場面

- 全体では、3次元地理空間情報の活用場面に関しては、「車の自動運転」が33.8%と最も高く、つづいて「土砂災害危険区域や浸水想定区域等の災害リスクの確認、避難行動の検討」が29.4%、「ドローン配送」が20.4%となっている。特にないと回答も45.3%と高い傾向がみられる。



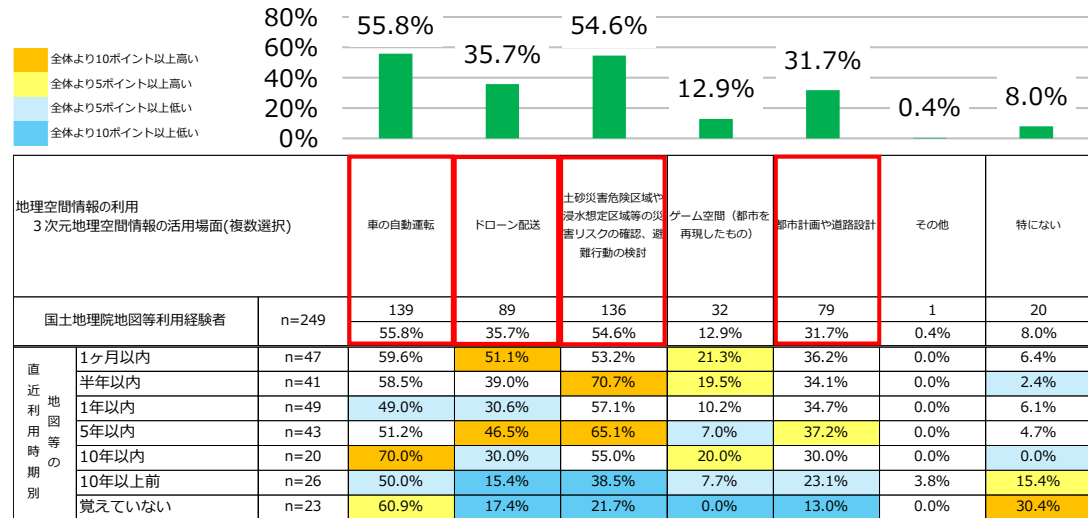
地理空間情報の利用 3次元地理空間情報の活用場面(複数選択)		車の自動運転	ドローン配送	土砂災害危険区域や 浸水想定区域等の災害 リスクの確認、避難 行動の検討	ゲーム空間 (都市を 再現したもの)	都市計画や道路設計	その他	特にない
全体	n=1000	338 33.8%	204 20.4%	294 29.4%	54 5.4%	169 16.9%	1 0.1%	453 45.3%
年代別	10代	n=50 26.0%	26.0%	28.0%	8.0%	16.0%	0.0%	46.0%
	20代	n=140 28.6%	16.4%	24.3%	13.6%	14.3%	0.0%	49.3%
	30代	n=160 27.5%	18.1%	25.0%	8.1%	12.5%	0.0%	54.4%
	40代	n=190 32.6%	25.8%	32.1%	5.3%	17.9%	0.0%	47.4%
	50代	n=210 36.2%	16.7%	27.6%	2.9%	15.7%	0.0%	43.8%
	60代	n=150 44.0%	23.3%	30.0%	1.3%	19.3%	0.0%	37.3%
	70以上	n=100 37.0%	20.0%	42.0%	0.0%	25.0%	1.0%	36.0%
性別	男性	n=495 38.4%	25.3%	30.3%	7.9%	19.2%	0.2%	41.2%
	女性	n=498 29.5%	15.9%	28.9%	3.0%	14.7%	0.0%	49.0%
	その他	n=7 14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	71.4%
地域別	北海道	n=49 36.7%	8.2%	24.5%	8.2%	10.2%	0.0%	38.8%
	東北	n=75 18.7%	12.0%	25.3%	5.3%	10.7%	0.0%	62.7%
	関東	n=416 33.4%	20.4%	29.3%	6.0%	18.5%	0.0%	45.7%
	北陸	n=36 38.9%	27.8%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	44.4%
	中部	n=125 41.6%	20.8%	29.6%	4.0%	16.0%	0.0%	37.6%
	近畿	n=184 32.6%	24.5%	29.9%	5.4%	15.2%	0.5%	46.2%
	中国	n=35 45.7%	17.1%	37.1%	0.0%	17.1%	0.0%	45.7%
	四国	n=18 44.4%	38.9%	33.3%	5.6%	11.1%	0.0%	33.3%
	九州	n=57 26.3%	21.1%	28.1%	8.8%	29.8%	0.0%	45.6%
	沖縄	n=5 40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
の紙地図 利用	デジタル地図のみでよい	n=311 47.9%	29.6%	33.4%	6.4%	19.3%	0.0%	29.3%
	紙地図提供必要	n=318 47.2%	28.6%	50.9%	8.2%	29.9%	0.3%	19.2%
	分からない	n=371 10.5%	5.7%	7.5%	2.2%	3.8%	0.0%	81.1%

問C2(1) あなたの日常生活で、3次元の地理空間情報が役立っているもしくは近い将来役立つと思うことを全てお答えください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 2. 3次元地理空間情報

(1) 3次元地理空間情報の活用場面

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、3次元地理空間情報の活用に関しては、「車の自動運転」が55.8%、「土砂災害危険区域や浸水想定区域等の災害リスクの確認、避難行動の検討」で54.6%と高く50%以上である。次いで「ドローン配送」は35.7%となっている。利用経験者では、「都市計画や道路計画」との回答も31.7%みられる。
- その他で、山岳地図、登山、ハイキング用立体地図で位置情報サービスを目にしているとの回答があった。

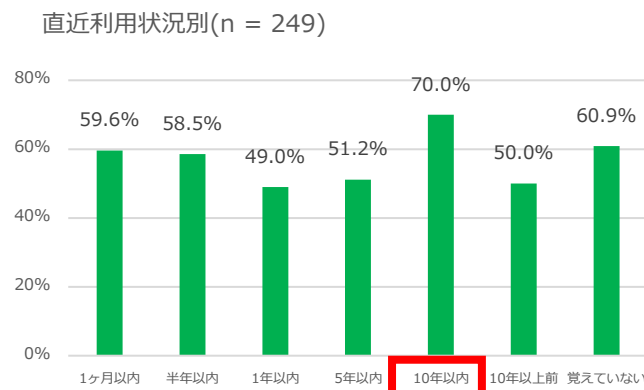
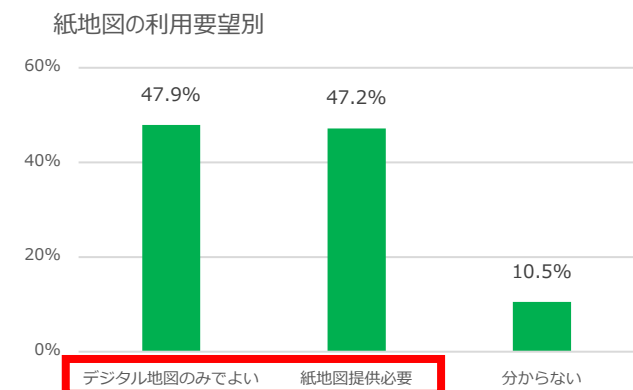
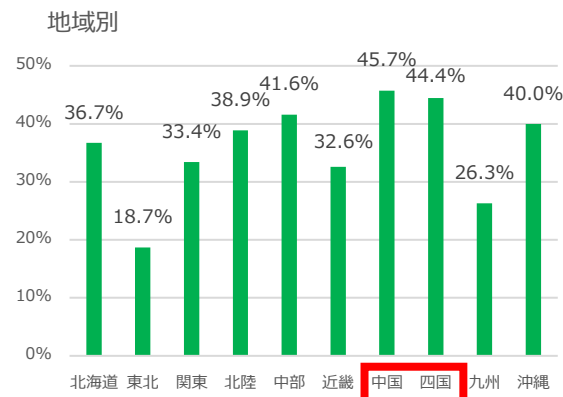
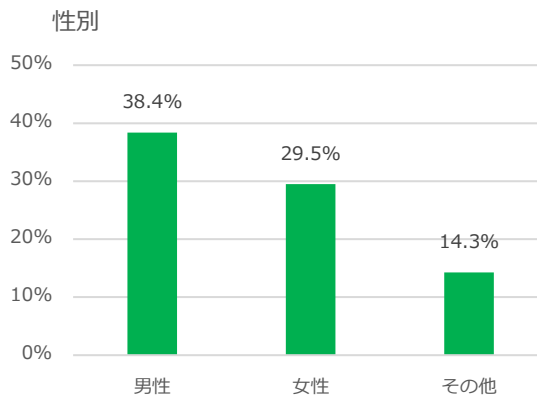
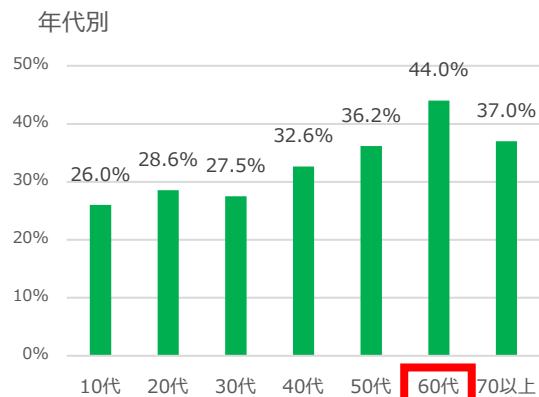


問C2(1) あなたの日常生活で、3次元の地理空間情報が役立っているもしくは近い将来役立つと思うことを全てお答えください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 2. 3次元地理空間情報

(1) 3次元地理空間情報の活用場面：車の自動運転

- 「車の自動運転」(全体33.8%)は、年代別では60代で、地域別では中国、四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要、デジタル地図のみでよいと回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では55.8%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

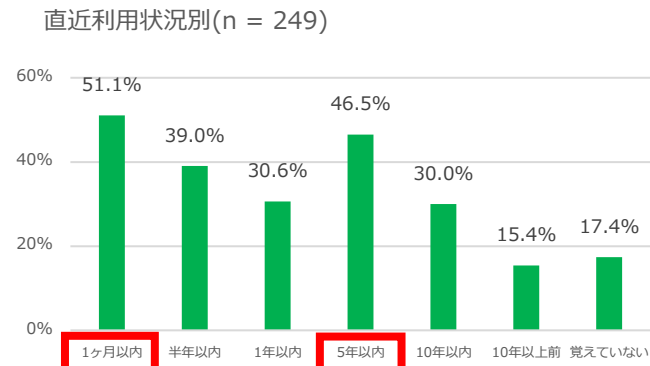
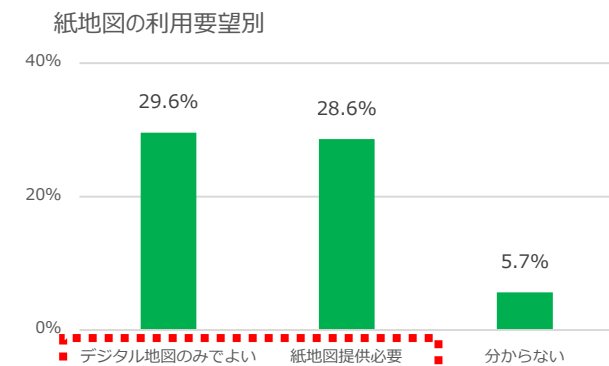
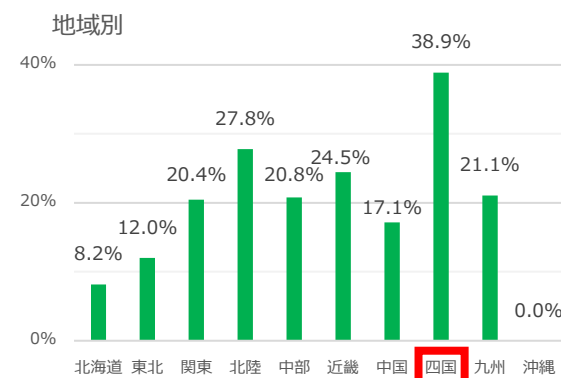
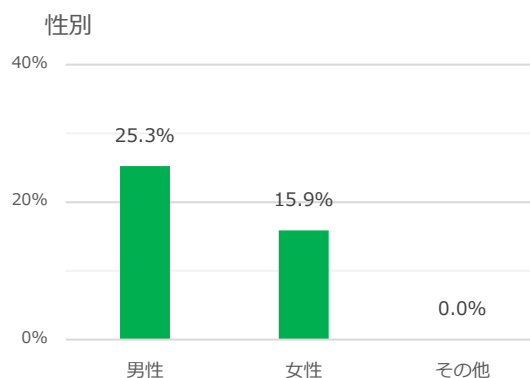
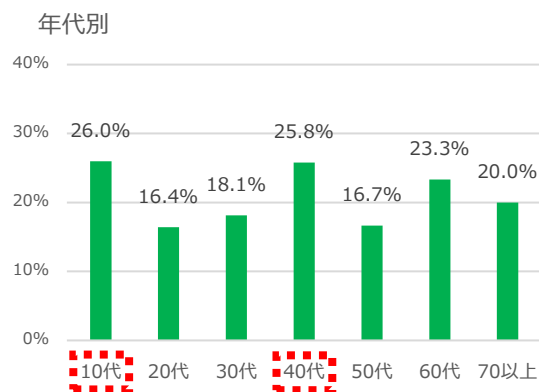


問C2(1) あなたの日常生活で、3次元の地理空間情報が役立っているもしくは近い将来役立つと思うことを全てお答えください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 2. 3次元地理空間情報

(1) 3次元地理空間情報の活用場面: ドローン配送

- 「ドローン配送」(全体20.4%)は、年代別では10代、40代でやや高い傾向が、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要、デジタル地図のみでよいと回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では35.7%で、時期別では1ヶ月以内、5年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

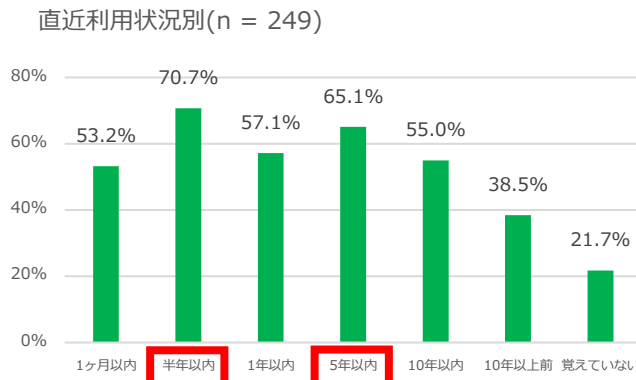
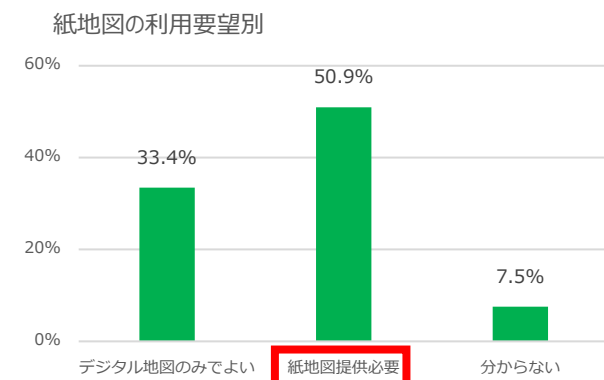
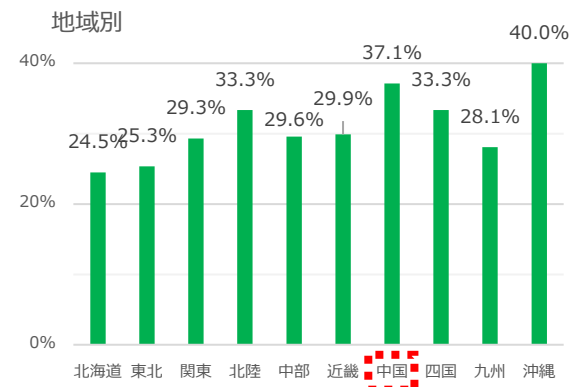
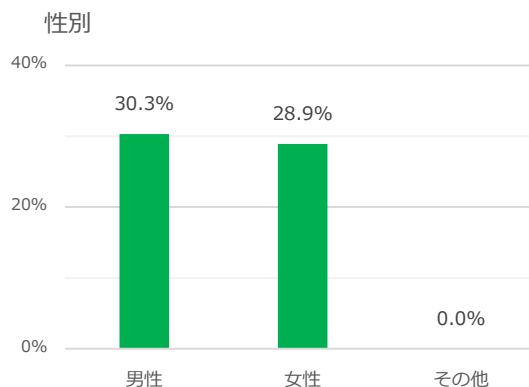
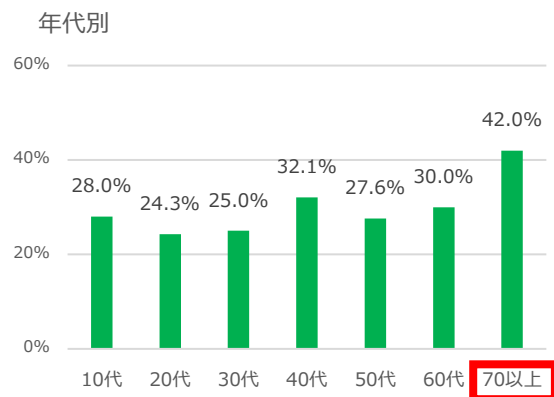


問C2(1) あなたの日常生活で、3次元の地理空間情報が役立っているもしくは近い将来役立つと思うことを全てお答えください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 2. 3次元地理空間情報

(1) 3次元地理空間情報の活用場面：土砂災害危険区域や浸水想定区域等の災害リスクの確認、避難行動の検討

- 「土砂災害危険区域や浸水想定区域等の災害リスクの確認、避難行動の検討」(全体29.4%)は、年代別では70以上で高い傾向が、地域別では中国でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では54.6%で、時期別では半年以内、5年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

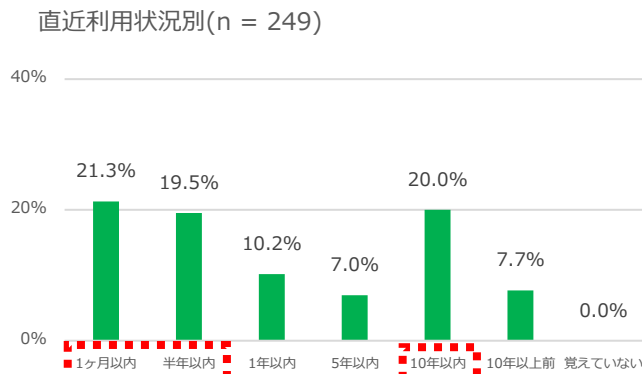
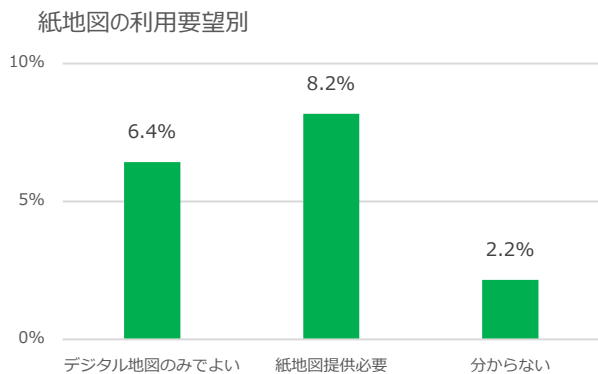
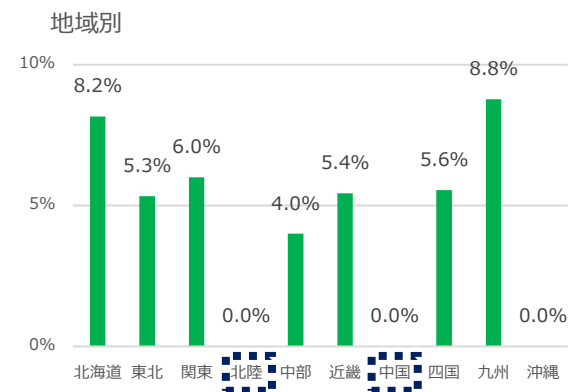
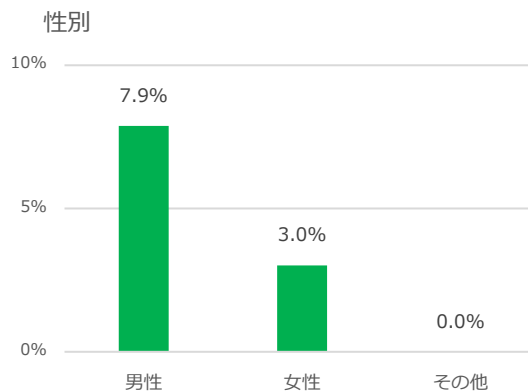
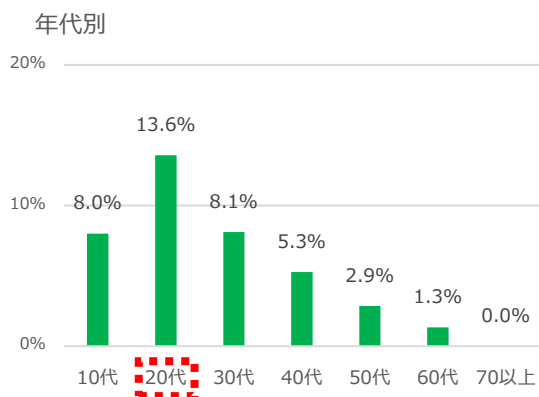


問C2(1) あなたの日常生活で、3次元の地理空間情報が役立っているもしくは近い将来役立つと思うことを全てお答えください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 2. 3次元地理空間情報

(1) 3次元地理空間情報の活用場面：ゲーム空間（都市を再現したもの）

- 「ゲーム空間（都市を再現したもの）」(全体5.4%)は、年代別では20代がやや高い傾向がみられる。地域別では、北陸、中国でやや低い傾向がみられる。性別で差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者では12.9%で、時期別では1ヶ月以内、10年以内、半年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

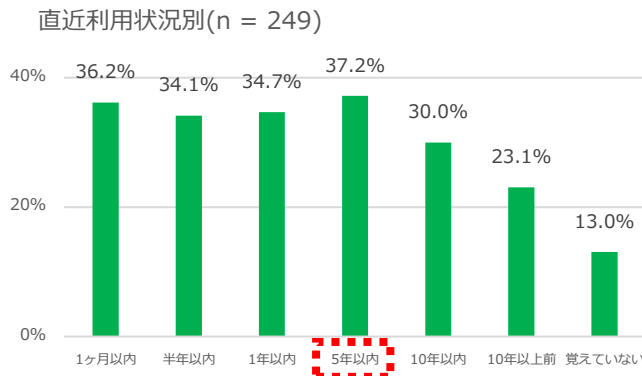
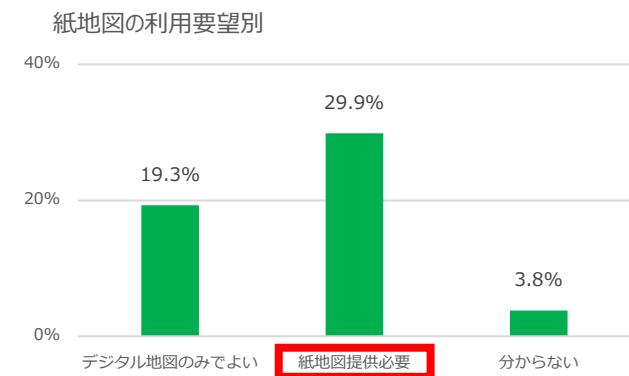
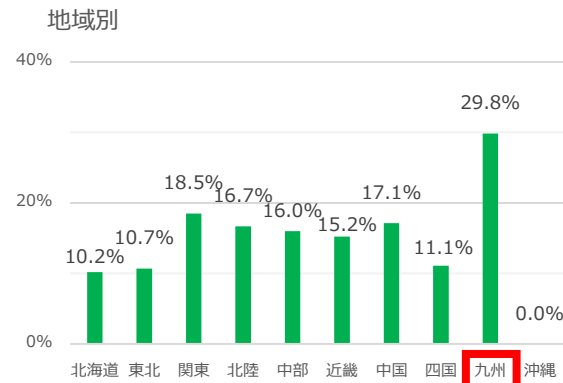
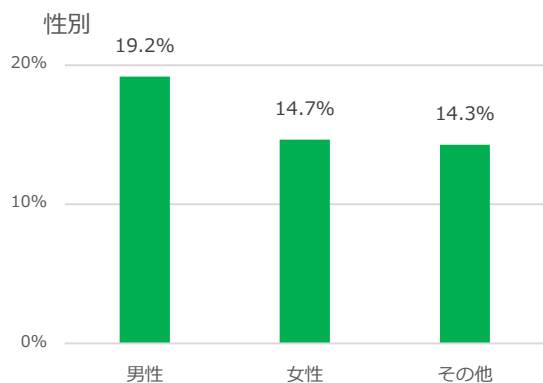
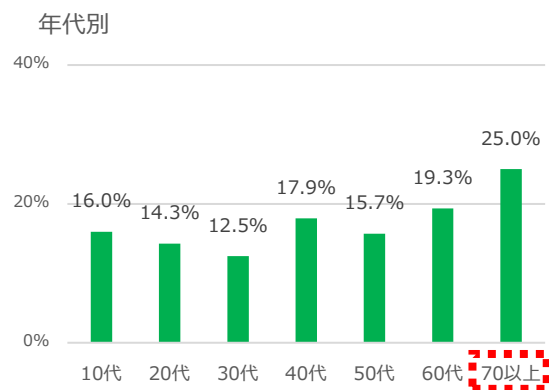


問C2(1) あなたの日常生活で、3次元の地理空間情報が役立っているもしくは近い将来役立つと思うことを全てお答えください。（複数選択可）

C.地理空間情報の利用に関する実態について 2. 3次元地理空間情報

(1) 3次元地理空間情報の活用場面： 都市計画や道路設計

- 「都市計画や道路設計」(全体16.9%)は、年代別では70以上でやや高い傾向が、地域別で九州で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では31.7%で、時期別では5年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

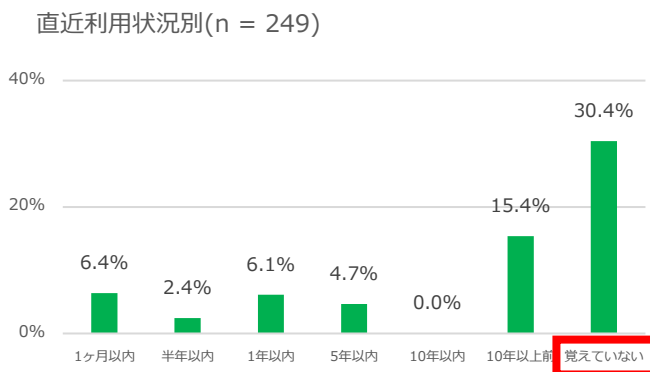
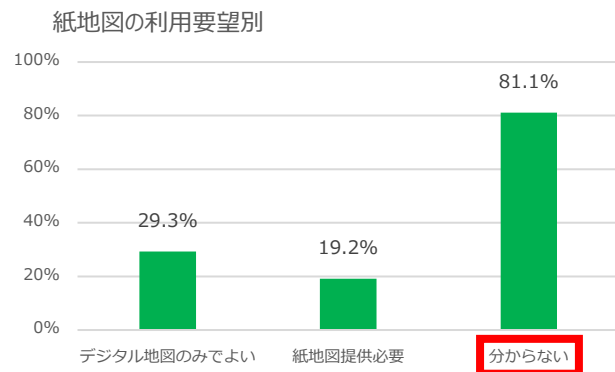
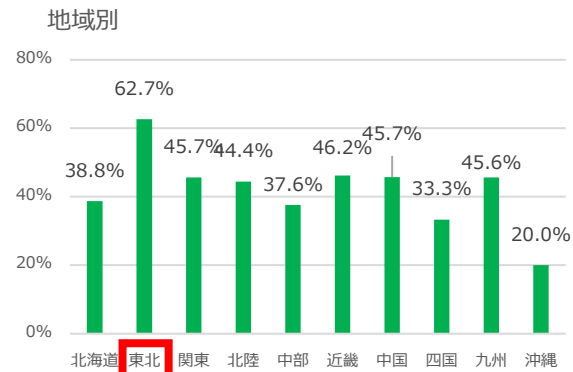
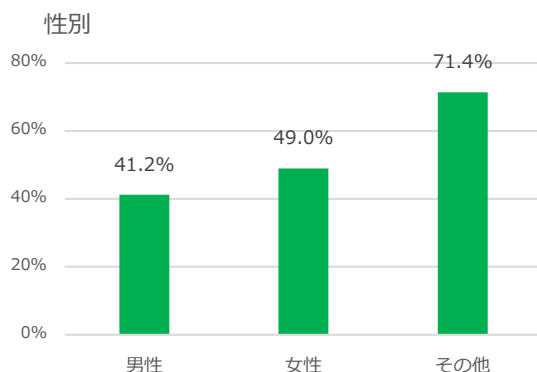
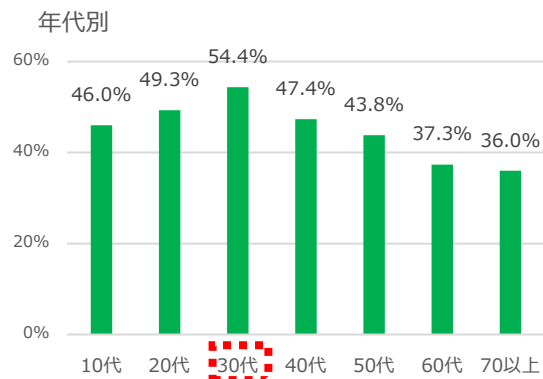


問C2(1) あなたの日常生活で、3次元の地理空間情報が役立っているもしくは近い将来役立つと思うことを全てお答えください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 2. 3次元地理空間情報

(1) 3次元地理空間情報の活用場面：特にない

- 「特にない」(全体45.3%)との回答に関しては、年代別では30代でやや高い傾向が、地域別では東北で高い傾向がみられる。性別で差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の81.1%が特にないと回答した。
- 地図利用経験者の特にないと回答は8.0%で、覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる



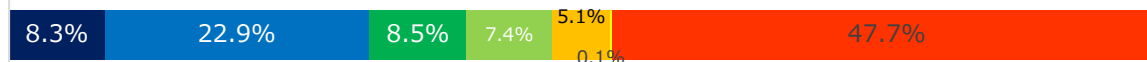
問C2(1) あなたの日常生活で、3次元の地理空間情報が役立っているもしくは近い将来役立つと思うことを全てお答えください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 3.測位技術の高精度化

(1)測位技術の高精度化で期待する未来

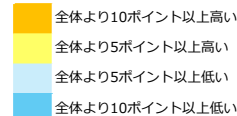
- 測位技術の高精度化で最も期待するものは、「**運送業や倉庫業等、物流の自動化**」が22.9%と高く、それ以外は10%未満であった。特にないが最も高く47.7%であった。
- 地域別では、北海道で「**農業分野の自動化促進**」が、中部で「**運送業や倉庫業等、物流の自動化**」が、中国で「**新たな産業の創出**」が、四国で「**空飛ぶクルマの運行**」と「**農業分野の自動化促進**」が、九州で「**空飛ぶクルマの運行**」と「**運送業や倉庫業等、物流の自動化**」がやや高い傾向がみられる。年代別、性別では差はみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で「**運送業や倉庫業等、物流の自動化**」が高い傾向がみられる。

全体



■ 空飛ぶクルマの運行 ■ 運送業や倉庫業等、物流の自動化 ■ 農業分野の自動化促進 ■ 測量・土木・建築分野の自動化 ■ 新たな産業の創出 ■ その他 ■ 特にない

地理空間情報の利用		測位技術の高精度化で最も期待する未来							
		空飛ぶクルマの運行	運送業や倉庫業等、物流の自動化	農業分野の自動化促進	測量・土木・建築分野の自動化	新たな産業の創出	その他	特にない	
全体	n=1000	83	229	85	74	51	1	477	
		8.3%	22.9%	8.5%	7.4%	5.1%	0.1%	47.7%	
年代別	10代	n=50	6.0%	24.0%	12.0%	4.0%	4.0%	0.0%	50.0%
	20代	n=140	12.9%	19.3%	7.1%	4.3%	4.3%	0.0%	52.1%
	30代	n=160	5.0%	24.4%	5.6%	6.9%	3.8%	0.0%	54.4%
	40代	n=190	6.8%	23.2%	6.3%	5.3%	7.4%	0.0%	51.1%
	50代	n=210	9.5%	25.7%	9.0%	8.6%	3.3%	0.0%	43.8%
	60代	n=150	8.0%	18.0%	13.3%	10.7%	6.7%	0.0%	43.3%
	70以上	n=100	9.0%	26.0%	9.0%	11.0%	6.0%	1.0%	38.0%
性別	男性	n=495	10.1%	24.4%	8.5%	8.1%	5.9%	0.2%	42.8%
	女性	n=498	6.6%	21.5%	8.4%	6.8%	4.4%	0.0%	52.2%
	その他	n=7	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%
地域別	北海道	n=49	4.1%	22.4%	14.3%	6.1%	6.1%	0.0%	46.9%
	東北	n=75	6.7%	16.0%	4.0%	10.7%	8.0%	0.0%	54.7%
	関東	n=416	9.1%	20.4%	11.1%	6.5%	4.8%	0.0%	48.1%
	北陸	n=36	8.3%	27.8%	8.3%	11.1%	5.6%	0.0%	38.9%
	中部	n=125	8.0%	28.8%	6.4%	8.8%	4.8%	0.0%	43.2%
	近畿	n=184	7.6%	22.8%	5.4%	7.1%	4.9%	0.5%	51.6%
	中国	n=35	0.0%	20.0%	8.6%	2.9%	11.4%	0.0%	57.1%
	四国	n=18	16.7%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%
	九州	n=57	14.0%	31.6%	3.5%	8.8%	1.8%	0.0%	40.4%
沖縄	n=5	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
の紙地図利用	デジタル地図のみでよい	n=311	15.1%	27.0%	10.3%	7.7%	5.5%	0.0%	34.4%
	紙地図提供必要	n=318	8.8%	34.9%	14.8%	13.5%	8.8%	0.3%	18.9%
	分からない	n=371	2.2%	9.2%	1.6%	1.9%	1.6%	0.0%	83.6%



問C3(1) あなたは、高精度測位技術の進化で実現する地理空間データの活用でどんな未来が実現されると思いますか？もっとも期待するものを選んでください。

C.地理空間情報の利用に関する実態について 3.測位技術の高精度化

(1)測位技術の高精度化で期待する未来

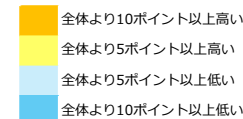
- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、「運送業や倉庫業等、物流の自動化」が37.3%と高くなっている。
- 直近の利用時期別では、1ヶ月以内と回答した人で「空飛ぶクルマの運行」が高い傾向がみられる。

n=249



■ 空飛ぶクルマの運行 ■ 運送業や倉庫業等、物流の自動化 ■ 農業分野の自動化促進 ■ 測量・土木・建築分野の自動化 ■ 新たな産業の創出 ■ その他 ■ 特にない

地理空間情報の利用		空飛ぶクルマの運行	運送業や倉庫業等、物流の自動化	農業分野の自動化促進	測量・土木・建築分野の自動化	新たな産業の創出	その他	特にない	
測位技術化の高精度化で最も期待する未来									
国土地理院地図等利用経験者		n=249	37 14.9%	93 37.3%	36 14.5%	35 14.1%	20 8.0%	0 0.0%	28 11.2%
直近利用時期別の	1ヶ月以内	n=47	27.7%	36.2%	10.6%	10.6%	6.4%	0.0%	8.5%
	半年以内	n=41	9.8%	34.1%	24.4%	17.1%	7.3%	0.0%	7.3%
	1年以内	n=49	14.3%	40.8%	18.4%	10.2%	8.2%	0.0%	8.2%
	5年以内	n=43	14.0%	41.9%	7.0%	16.3%	11.6%	0.0%	9.3%
	10年以内	n=20	10.0%	35.0%	15.0%	15.0%	15.0%	0.0%	10.0%
	10年以上前	n=26	7.7%	34.6%	19.2%	19.2%	0.0%	0.0%	19.2%
	覚えていない	n=23	13.0%	34.8%	4.3%	13.0%	8.7%	0.0%	26.1%

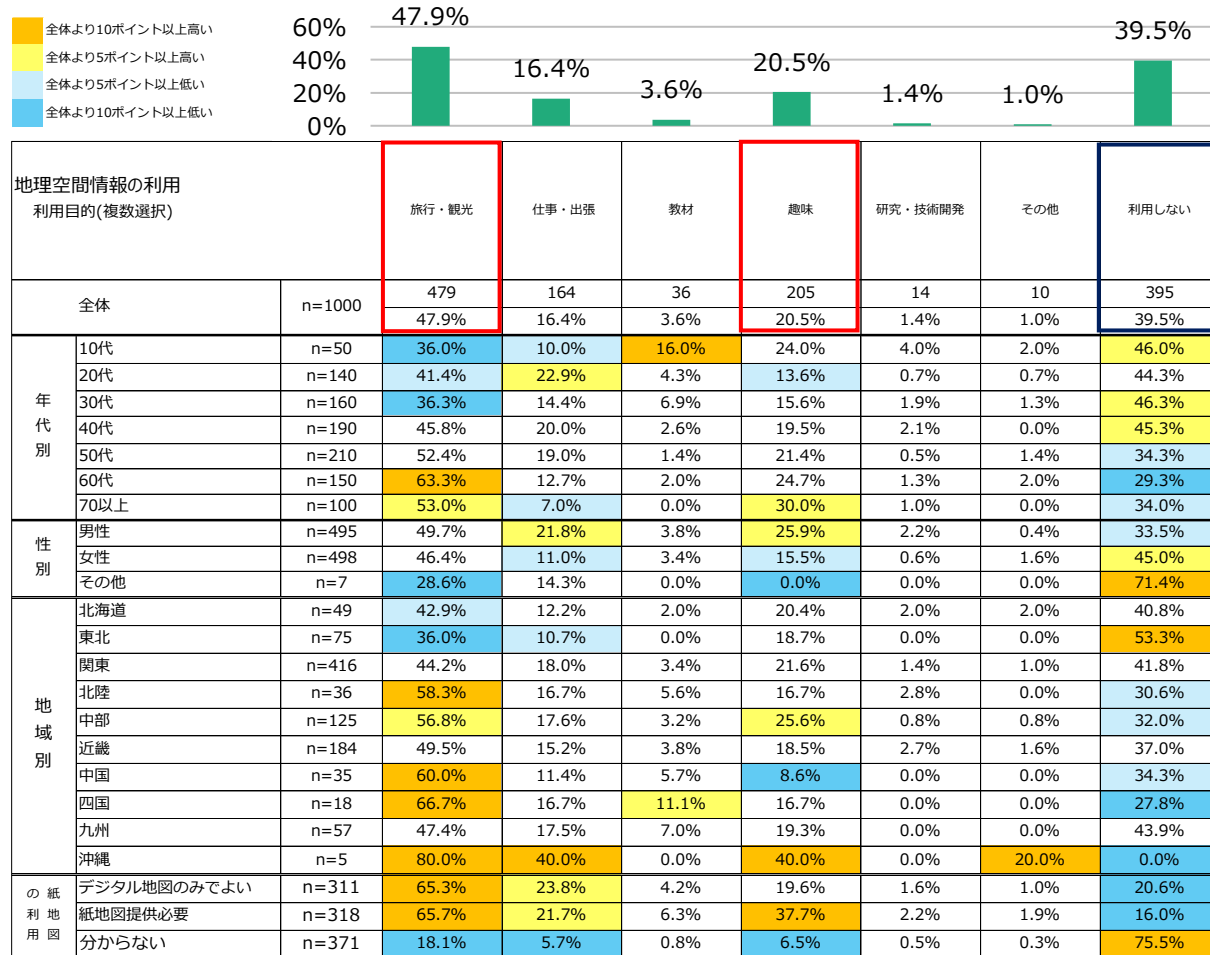


問C3(1) あなたは、高精度測位技術の進化で実現する地理空間データの活用でどんな未来が実現されると思いますか？もっとも期待するものを選んでください。

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(1) 地理空間情報の利用目的

- 全体では、地理空間情報の利用目的に関しては、「旅行・観光」が47.9%と最も高く、つづいて「趣味」が20.5%となっている。利用しないとの回答も39.5%と高い傾向がみられる。

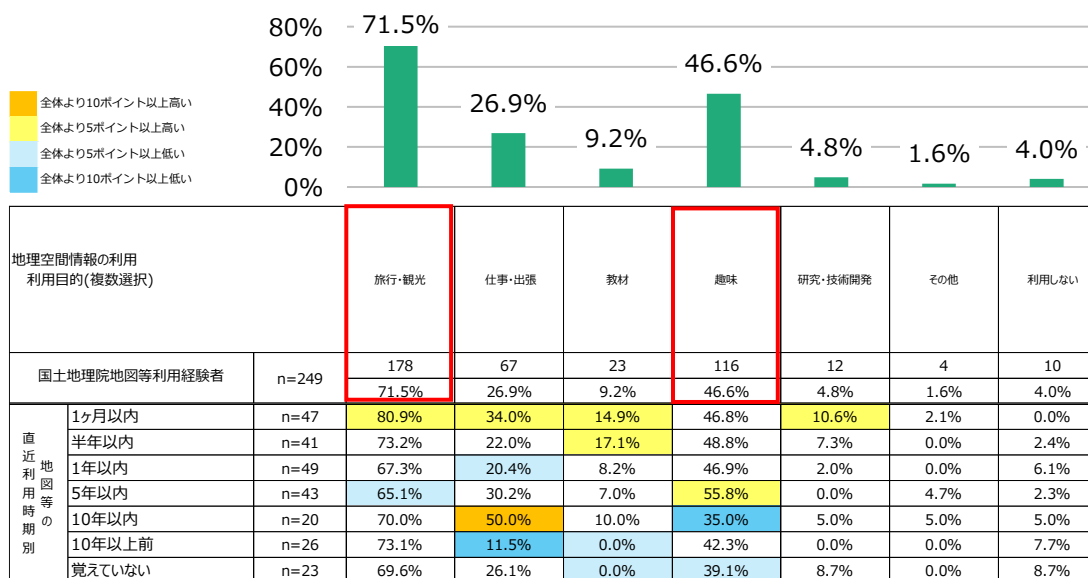


問C4(1) あなたは、どのような目的で地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(1) 地理空間情報の利用目的

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、「旅行・観光」が71.5%と最も高く、つづいて「趣味」が46.6%となっている。
- その他の回答の中には、不動産投資や日常の行動・移動手手段の考察などがみられた。

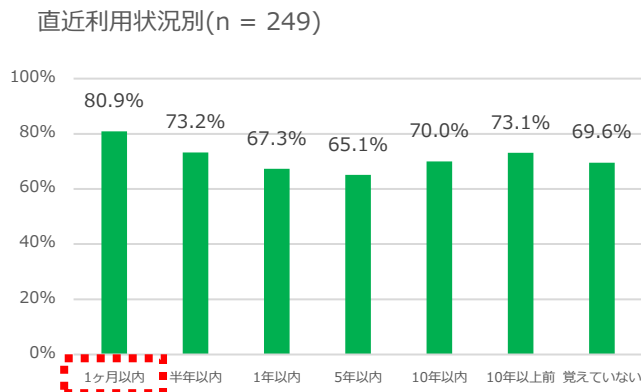
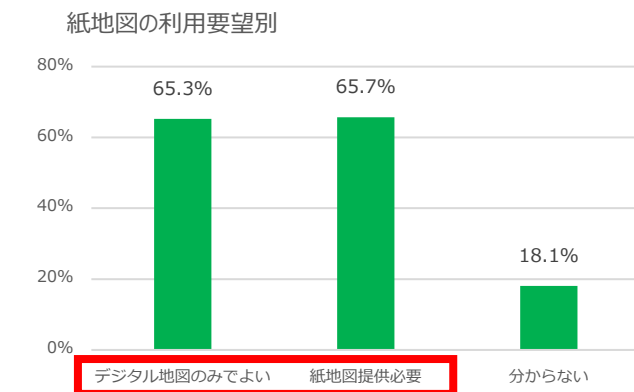
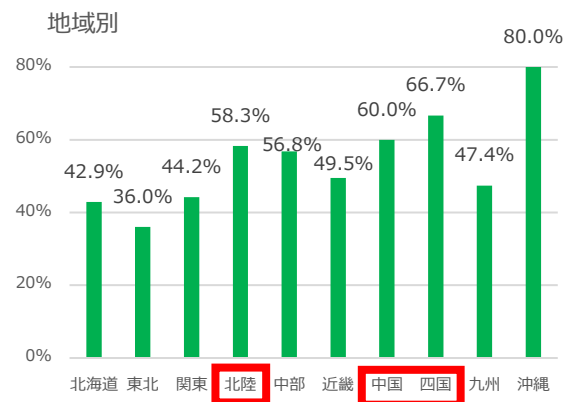
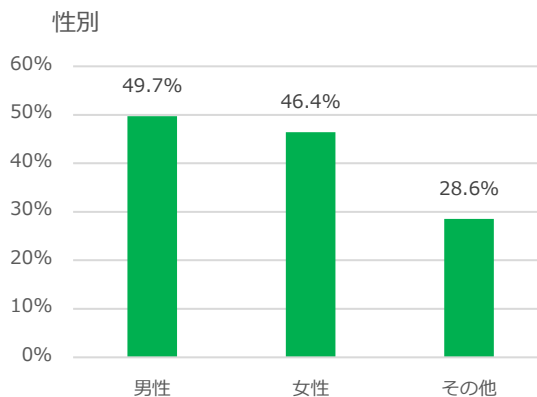
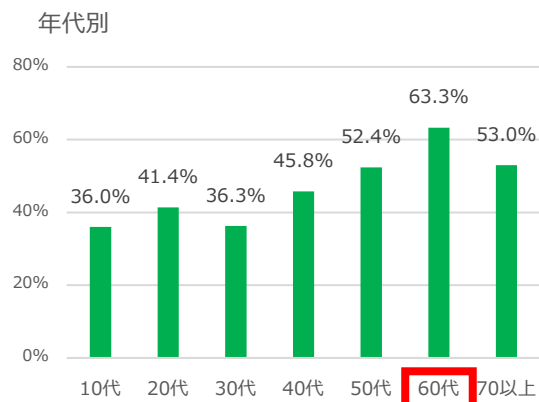


問C4(1) あなたは、どのような目的で地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(1) 地理空間情報の利用目的: 旅行・観光

- 「旅行・観光」(全体47.9%)は、年代別では60代で、地域別では四国、中国、北陸で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要、デジタル地図のみでよいと回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では71.5%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

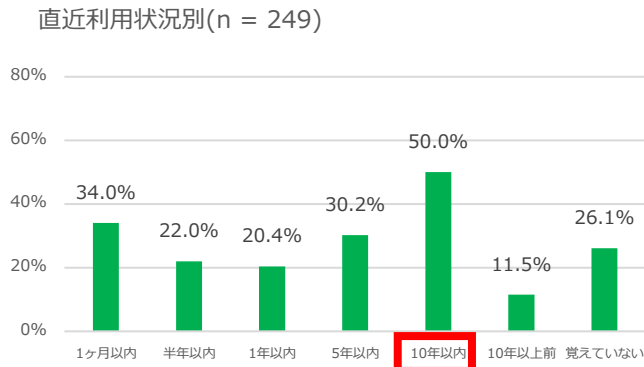
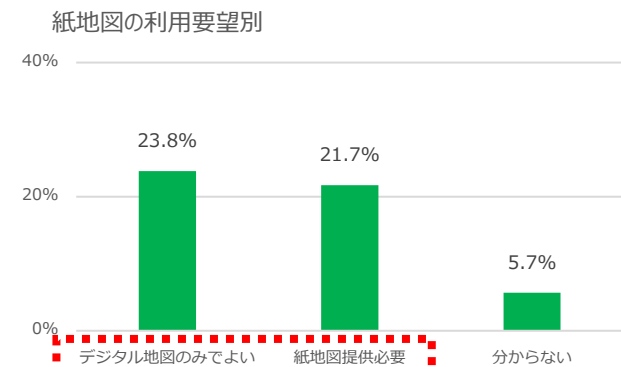
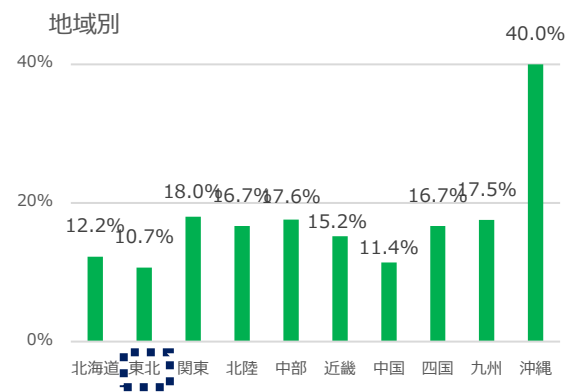
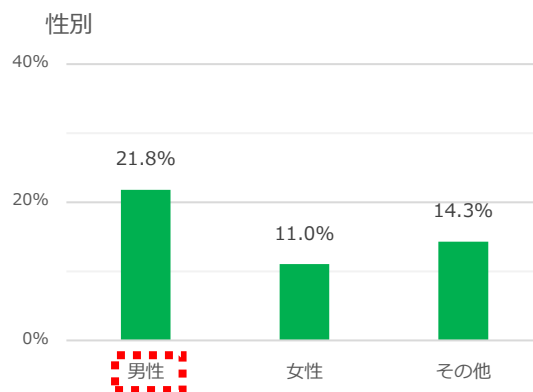
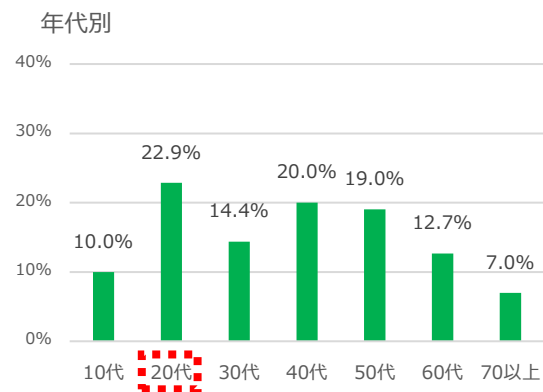


問C4(1) あなたは、どのような目的で地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(1) 地理空間情報の利用目的: 仕事・出張

- 「仕事・出張」(全体16.4%)は、年代別では20代で、性別では男性でやや高い傾向が見られる。地域別では東北でやや低い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要、デジタル地図のみでよいと回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では26.9%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

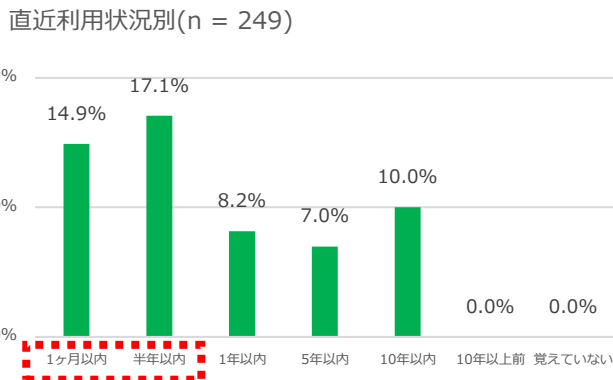
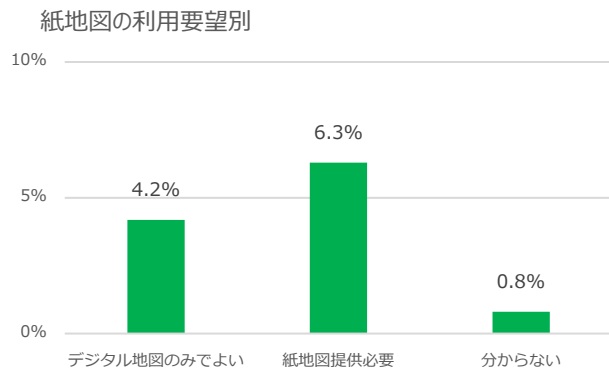
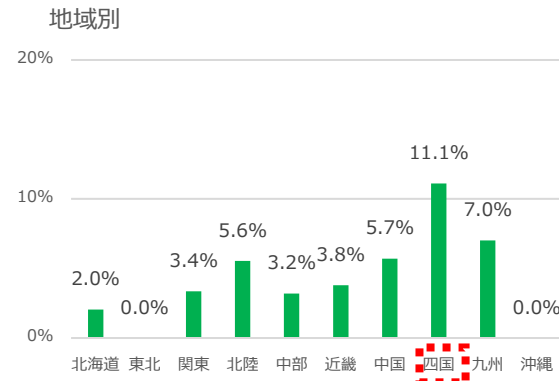
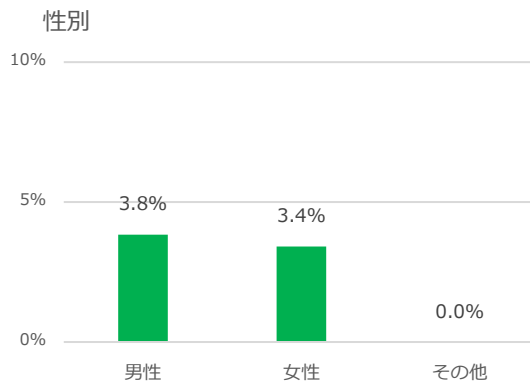
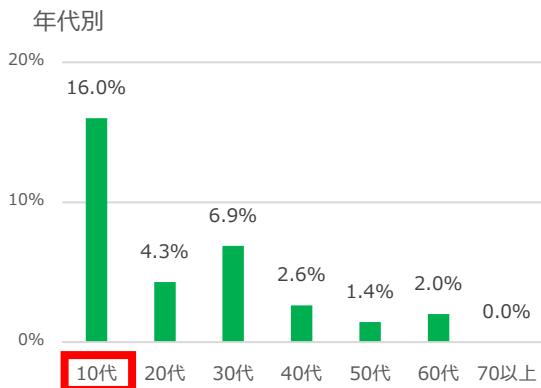


問C4(1) あなたは、どのような目的で地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(1) 地理空間情報の利用目的: 教材

- 「教材」(全体3.6%)は、年代別では10代で高い傾向が、地域別では四国でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者では9.2%で、時期別では半年以内、1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

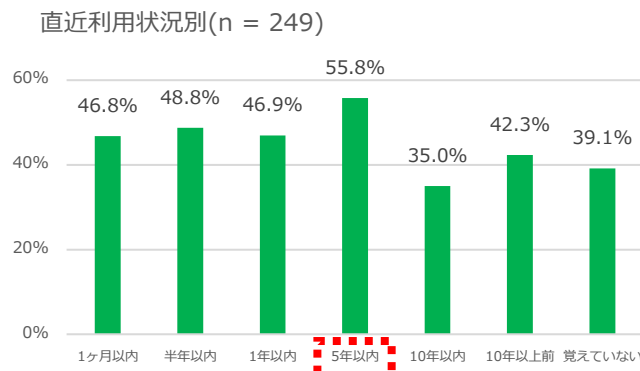
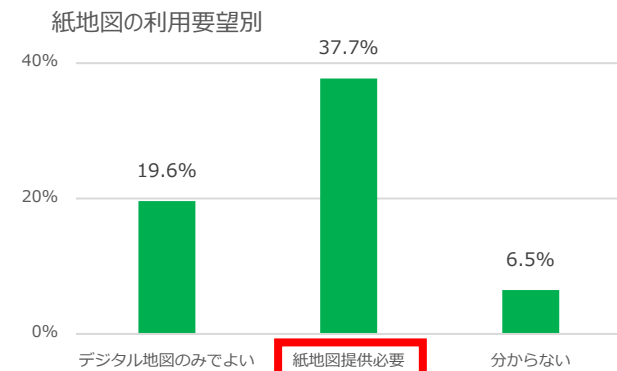
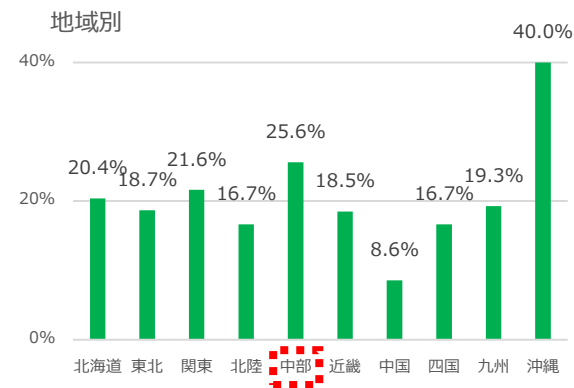
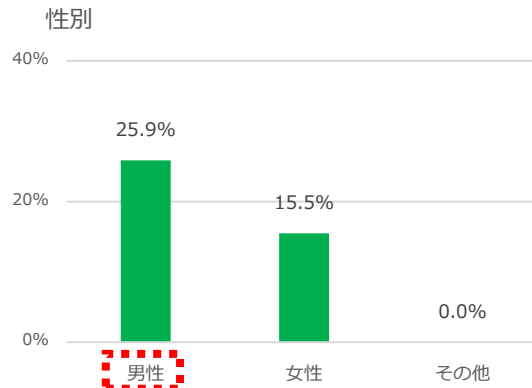
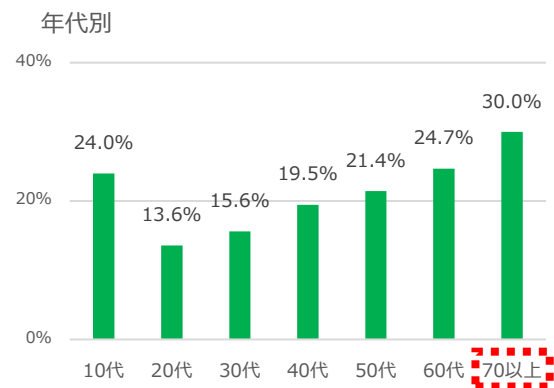


問C4(1) あなたは、どのような目的で地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(1) 地理空間情報の利用目的: 趣味

- 「趣味」(全体20.5%)は、年代別では70以上で、性別では男性でやや高い傾向がみられる。地域別では、中部でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では46.6%で、時期別では5年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

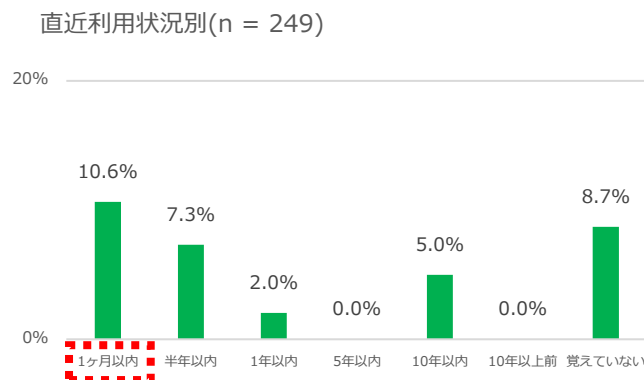
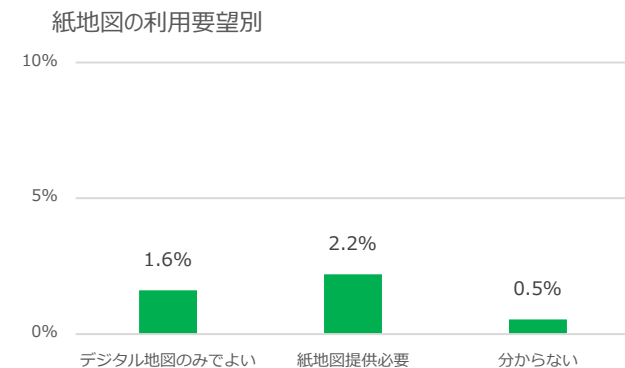
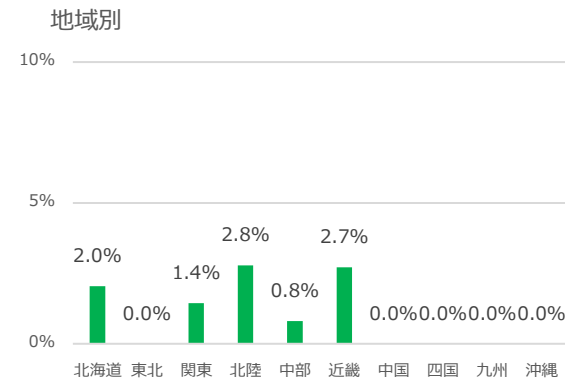
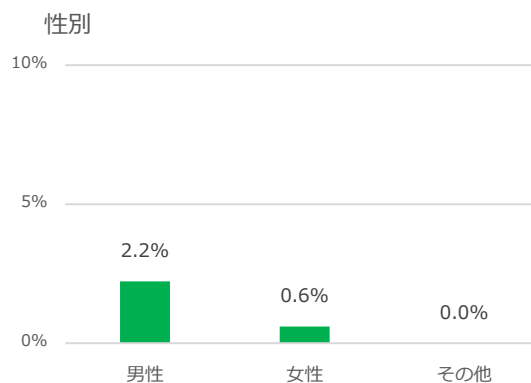
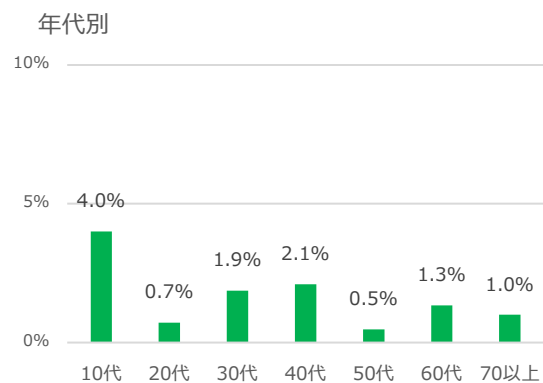


問C4(1) あなたは、どのような目的で地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(1) 地理空間情報の利用目的: 研究・技術開発

- 「研究・技術開発」(全体1.4%)は、年代別、地域別、性別のどれにおいても差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、差はあまりみられない。
- 地図利用経験者では4.8%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

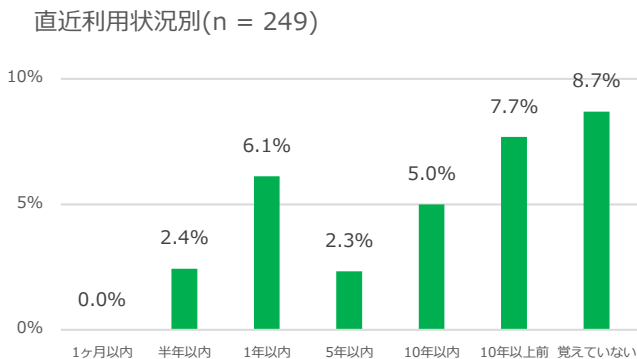
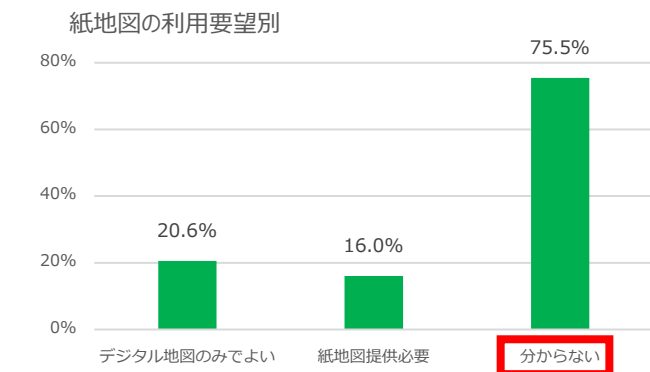
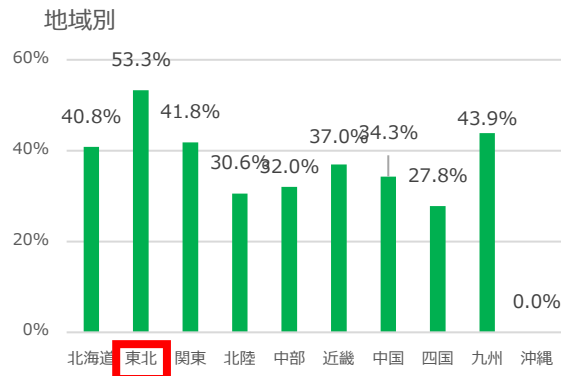
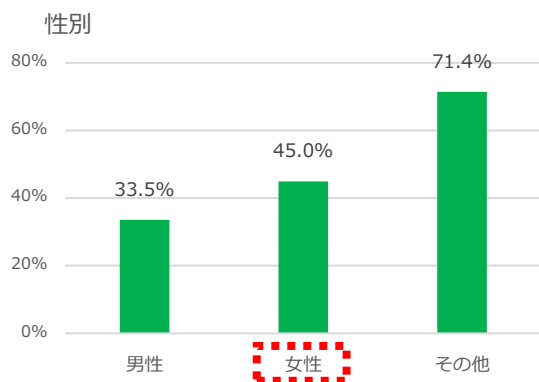
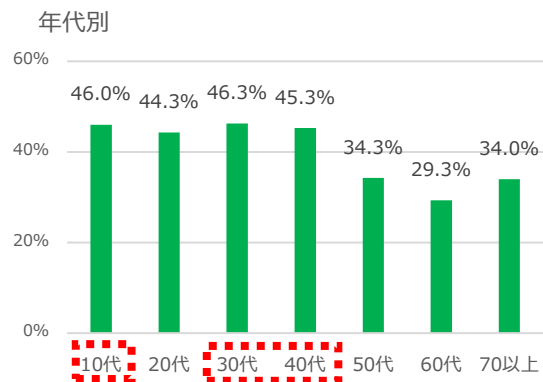


問C4(1) あなたは、どのような目的で地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(1) 地理空間情報の利用目的: 利用しない

- 「利用しない」(全体39.5%)との回答に関しては、年代別では30代、10代、40代で、性別では女性でやや高い傾向がみられる。地域別では東北で高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の75.5%が利用しないと回答した。
- 地図利用経験者の特にないと回答は4.0%で、時期別には差はあまりみられない。



問C4(1) あなたは、どのような目的で地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(2) 地理空間情報の利用目的で最も頻度の高いもの

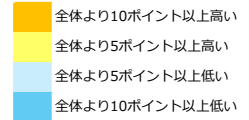
- 前問で利用しないと回答した人を除く全体(n=605)では、地理空間情報の利用目的で最も頻度の高いものは、「旅行・観光」で65.0%、つづいて「趣味」で17.7%、「仕事・出張」12.7%となっている。
- 年齢別では、10代で「趣味」と「教材」が、40代で「仕事・出張」が、60代で「旅行・観光」がやや高く傾向が、70以上で「趣味」が高い傾向がみられる。性別では、女性で「旅行・観光」がやや高い傾向がみられる。地域別では、中国、四国で「旅行・観光」が高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、デジタルのみで良いとの回答した人で「旅行・観光」が高い傾向がみられる。

全体



■ 旅行・観光
 ■ 仕事・出張
 ■ 教材
 ■ 趣味
 ■ 研究・技術開発
 ■ その他

地理空間情報の利用 最も利用する目的			旅行・観光	仕事・出張	教材	趣味	研究・技術開発	その他
全体	n=605		393 65.0%	77 12.7%	16 2.6%	107 17.7%	5 0.8%	7 1.2%
年代別	10代	n=27	51.9%	7.4%	11.1%	25.9%	0.0%	3.7%
	20代	n=78	65.4%	16.7%	3.8%	14.1%	0.0%	0.0%
	30代	n=86	59.3%	15.1%	7.0%	15.1%	2.3%	1.2%
	40代	n=104	63.5%	18.3%	1.9%	15.4%	1.0%	0.0%
	50代	n=138	64.5%	14.5%	1.4%	17.4%	0.7%	1.4%
	60代	n=106	71.7%	8.5%	0.0%	16.0%	0.9%	2.8%
	70以上	n=66	69.7%	1.5%	0.0%	28.8%	0.0%	0.0%
性別	男性	n=329	57.4%	16.4%	2.1%	22.5%	1.2%	0.3%
	女性	n=274	73.7%	8.4%	3.3%	12.0%	0.4%	2.2%
	その他	n=2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域別	北海道	n=29	62.1%	10.3%	3.4%	20.7%	0.0%	3.4%
	東北	n=35	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	関東	n=242	60.7%	14.5%	3.3%	19.8%	0.8%	0.8%
	北陸	n=25	64.0%	16.0%	8.0%	12.0%	0.0%	0.0%
	中部	n=85	70.6%	9.4%	1.2%	17.6%	0.0%	1.2%
	近畿	n=116	63.8%	12.1%	2.6%	16.4%	2.6%	2.6%
	中国	n=23	91.3%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	四国	n=13	76.9%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%
	九州	n=32	71.9%	9.4%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%
	沖縄	n=5	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
の紙地図 利用図	デジタル地図のみでよい	n=247	70.0%	14.6%	2.0%	12.1%	0.0%	1.2%
	紙地図提供必要	n=267	62.2%	9.4%	3.7%	22.5%	1.1%	1.1%
	分からない	n=91	59.3%	17.6%	1.1%	18.7%	2.2%	1.1%



問C4(2) 前問で選択した利用目的の内、最も利用する目的を1つ選んでください。

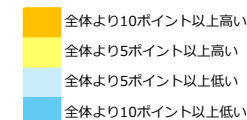
C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(2) 地理空間情報の利用目的で最も頻度の高いもの

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答し、且つ、前問で利用しないと回答した人を除く239人でも、「旅行・観光」で55.2%と最も高く、つづいて「趣味」で25.5%、「仕事・出張」12.6%となっている
- 直近の利用時期別では、10年以上前と回答した人で「旅行・観光」が、覚えていないと回答した人で「仕事・出張」が高い傾向がみられる。



地理空間情報の利用 最も利用する目的			旅行・観光	仕事・出張	教材	趣味	研究・技術開発	その他
国土地理院地図等利用経験者		n=239	132 55.2%	30 12.6%	10 4.2%	61 25.5%	4 1.7%	2 0.8%
直近 利用 時期 の 地図 等	1ヶ月以内	n=47	51.1%	17.0%	4.3%	27.7%	0.0%	0.0%
	半年以内	n=40	65.0%	2.5%	10.0%	20.0%	2.5%	0.0%
	1年以内	n=46	52.2%	13.0%	6.5%	26.1%	2.2%	0.0%
	5年以内	n=42	52.4%	14.3%	0.0%	31.0%	0.0%	2.4%
	10年以内	n=19	52.6%	10.5%	5.3%	21.1%	5.3%	5.3%
	10年以上前	n=24	70.8%	8.3%	0.0%	20.8%	0.0%	0.0%
	覚えていない	n=21	42.9%	23.8%	0.0%	28.6%	4.8%	0.0%

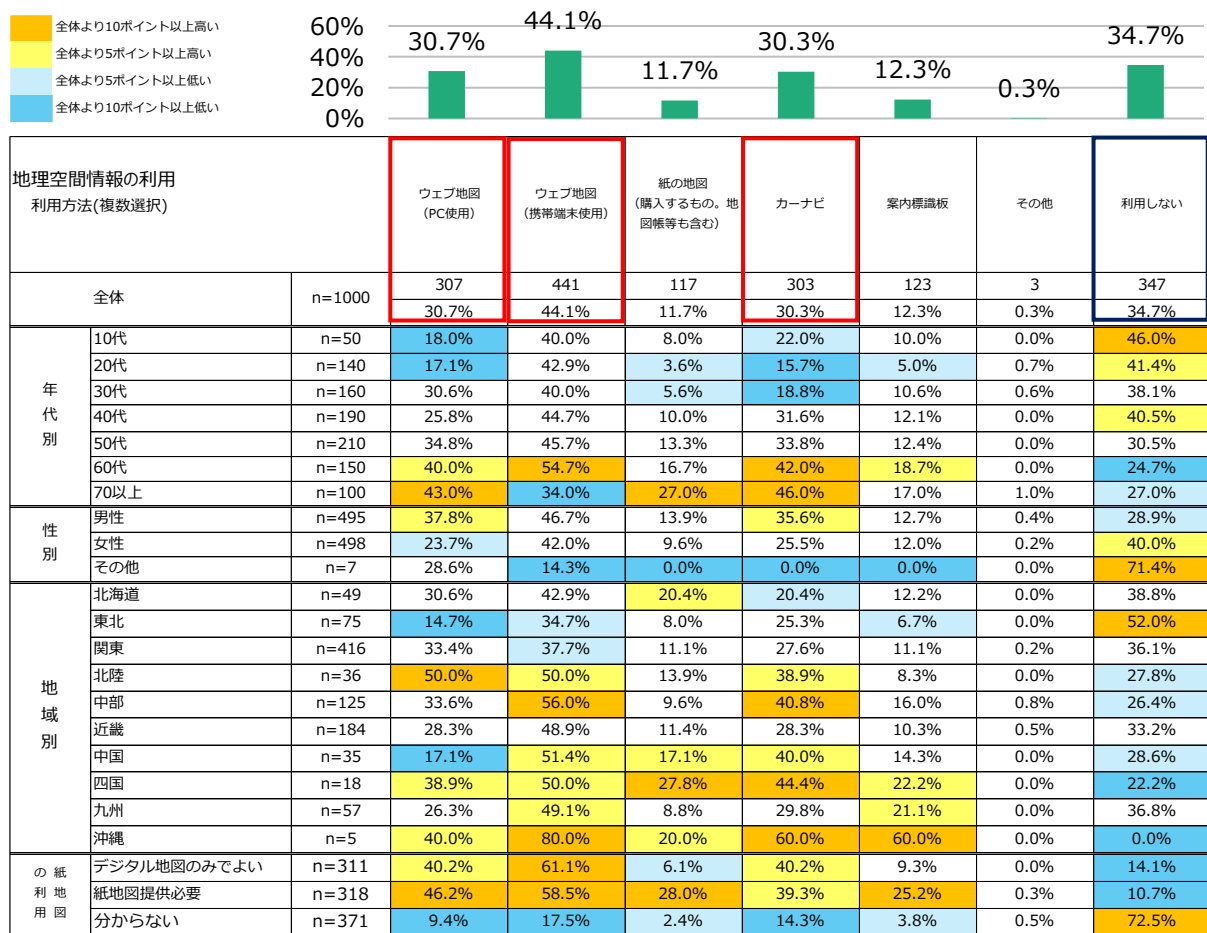


問C4(2) 前問で選択した利用目的の内、最も利用する目的を1つ選んでください。

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(3) 地理空間情報の利用方法

- 全体では、地理空間情報の方法に関しては、「ウェブ地図(携帯端末使用)」が44.1%と最も高く、つづいて「ウェブ地図(PC使用)」が30.7%、「カーナビ」が30.3%となっている。利用しないとの回答も34.7%と高い傾向がみられる。

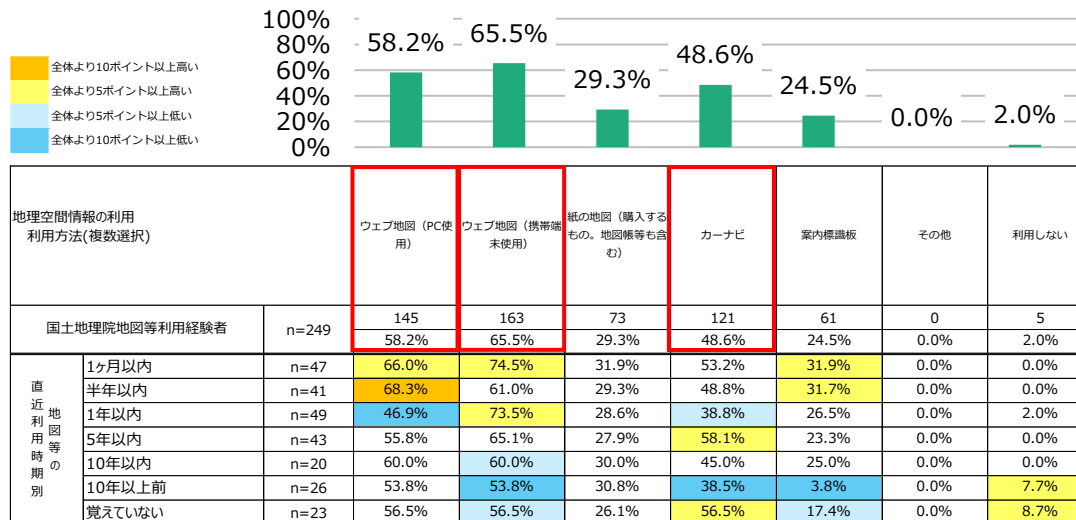


問C4(3) あなたは、どのような種類の地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(3) 地理空間情報の利用方法

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、「ウェブ地図(携帯端末使用)」が65.5%と最も高く、つづいて「ウェブ地図(PC使用)」が58.2%、「カーナビ」が48.6%となっている。

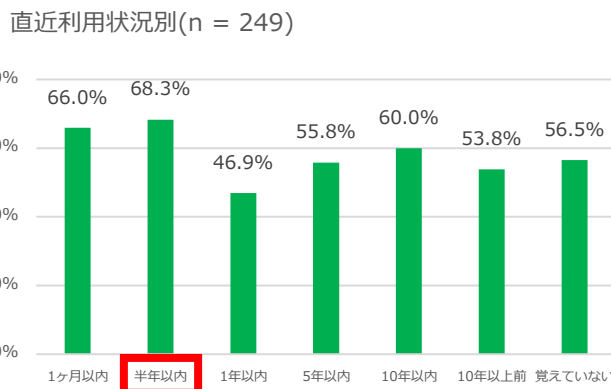
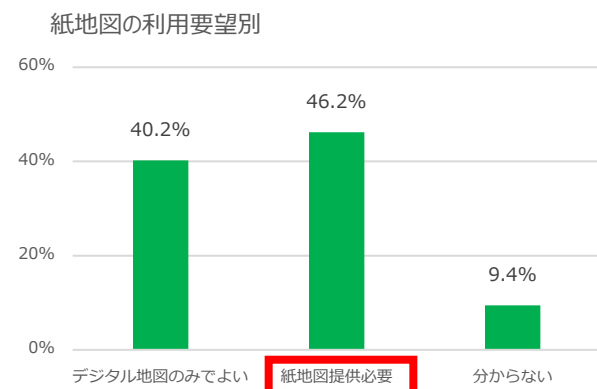
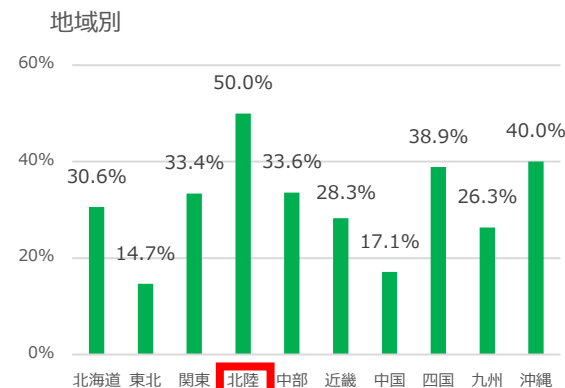
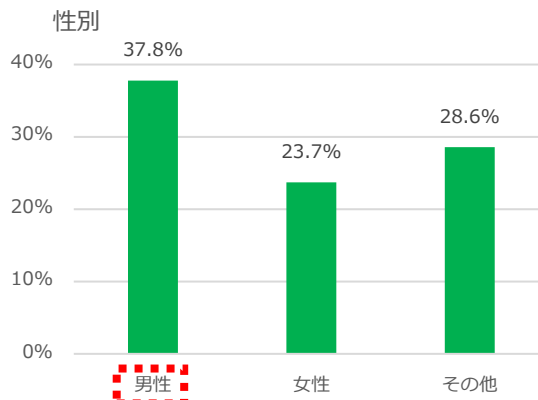
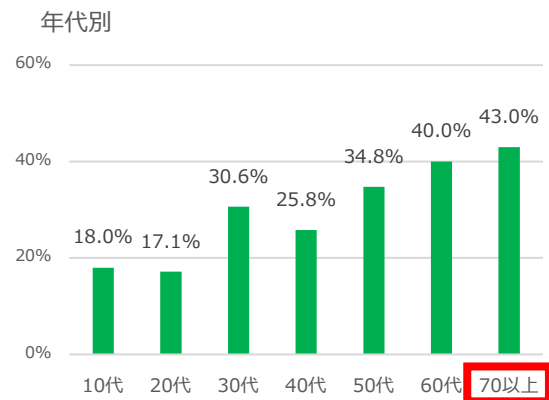


問C4(3) あなたは、どのような種類の地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(3) 地理空間情報の利用方法: ウェブ地図(PC使用)

- 「ウェブ地図(PC使用) 」(全体30.7%)は、年代別では70代で高い傾向が、性別では男性でやや高い傾向がみられる。地域別では北陸で高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では58.2%で、時期別では半年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

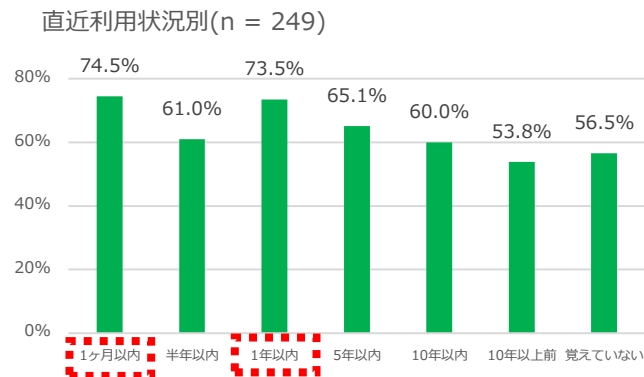
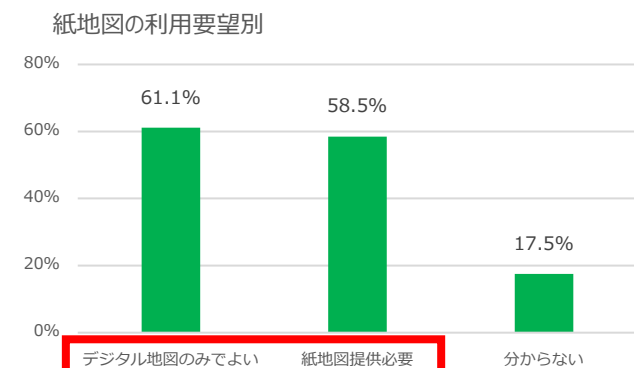
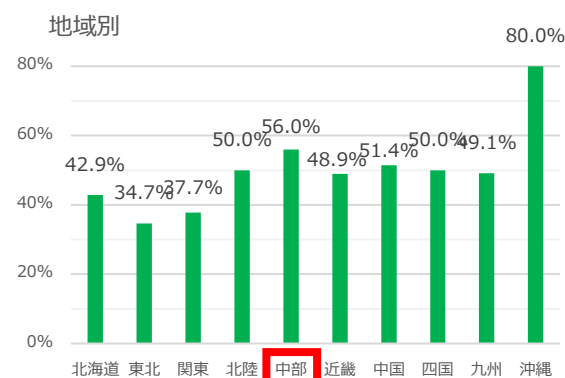
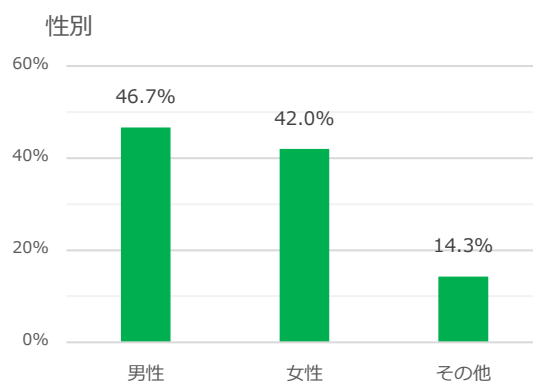
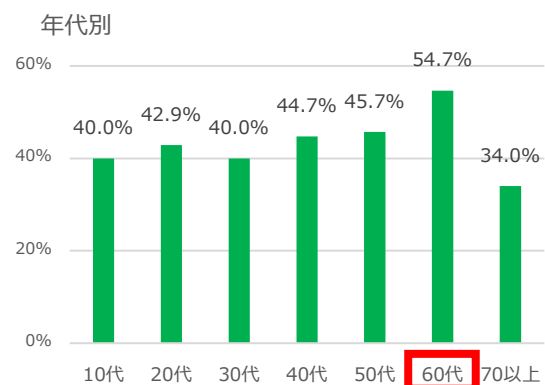


問C4(3) あなたは、どのような種類の地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(3) 地理空間情報の利用方法: ウェブ地図(携帯端末使用)

- 「ウェブ地図(携帯端末使用) 」(全体44.1%)は、年代別では60代で、地域別では中部で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要、デジタル地図のみでよいと回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では65.5%で、時期別では1ヶ月以内、1年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

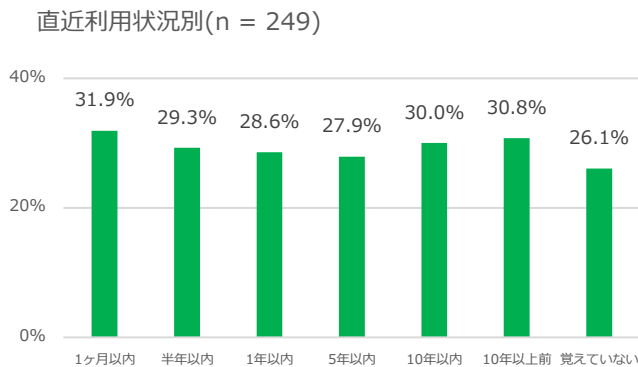
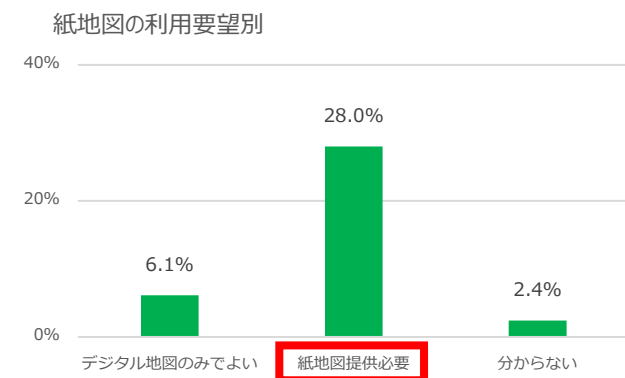
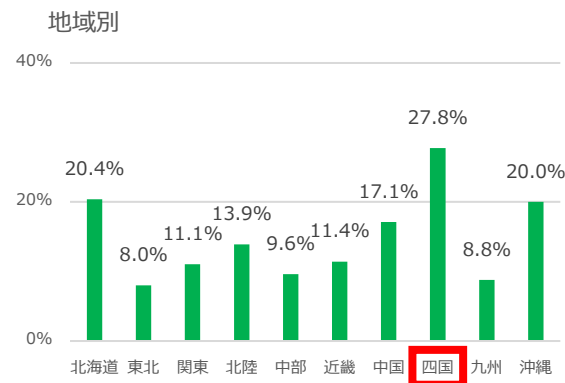
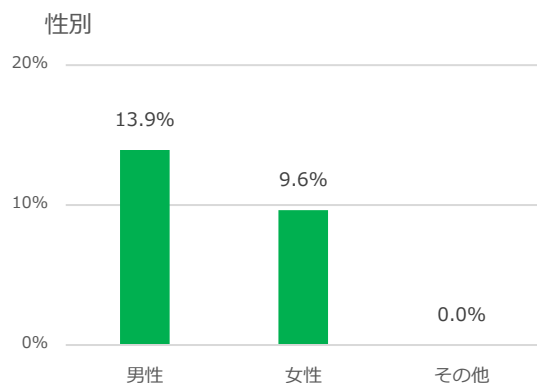
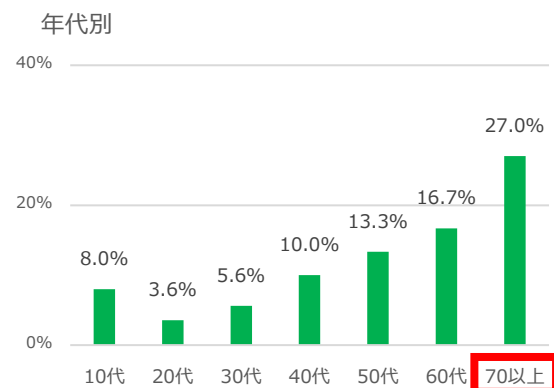


問C4(3) あなたは、どのような種類の地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(3) 地理空間情報の利用方法: 紙の地図 (購入するもの。地図帳等も含む)

- 「紙の地図 (購入するもの。地図帳等も含む) 」(全体11.7%)は、年代別では70以上で、地域別では四国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では29.3%で、時期別では差はあまりみられない。

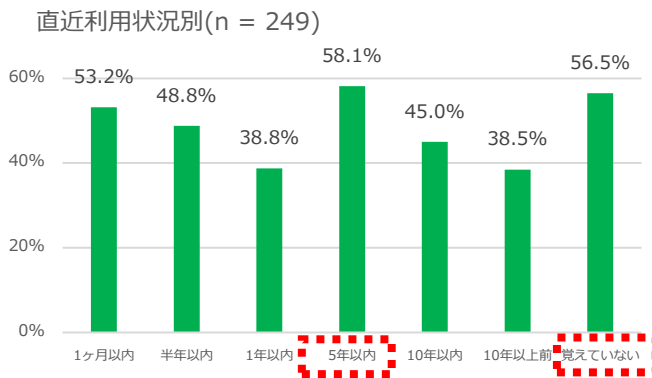
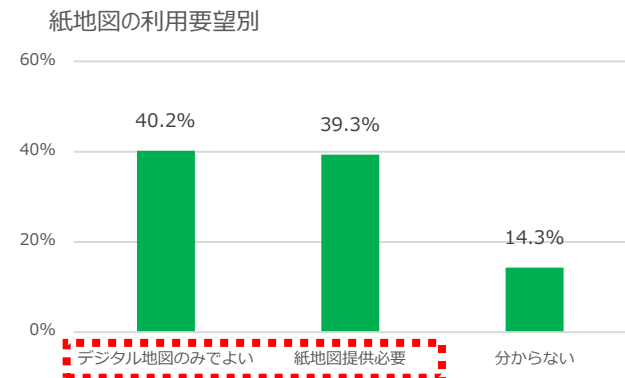
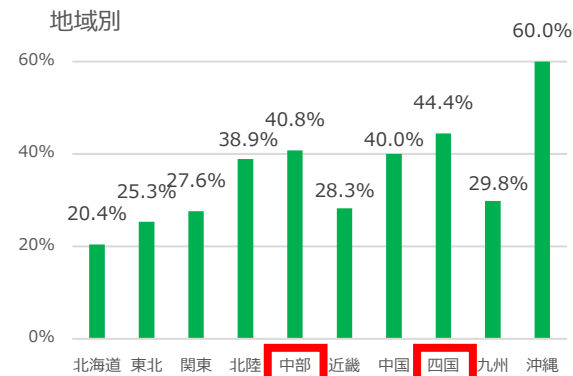
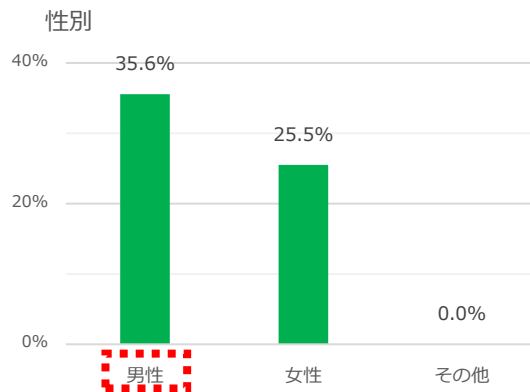
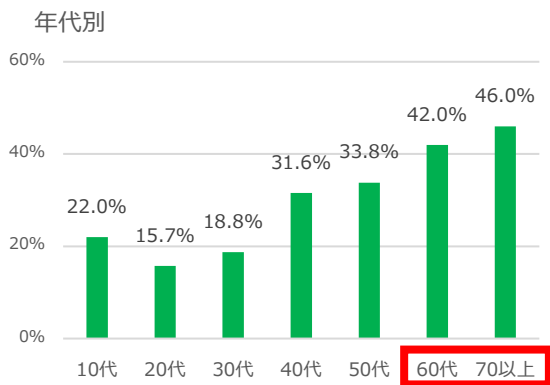


問C4(3) あなたは、どのような種類の地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(3) 地理空間情報の利用方法: カーナビ

- 「カーナビ」(全体30.3%)は、年代別では70以上、60代で高い傾向が、性別では男性でやや高い傾向がみられる。地域別では、四国、中部で高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、デジタル地図のみでよい、紙地図が必要と回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では48.6%で、時期別では5年以内、覚えていないと回答した人でやや高い傾向がみられる。

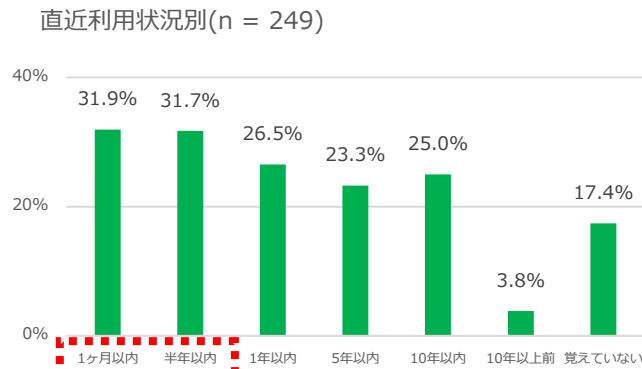
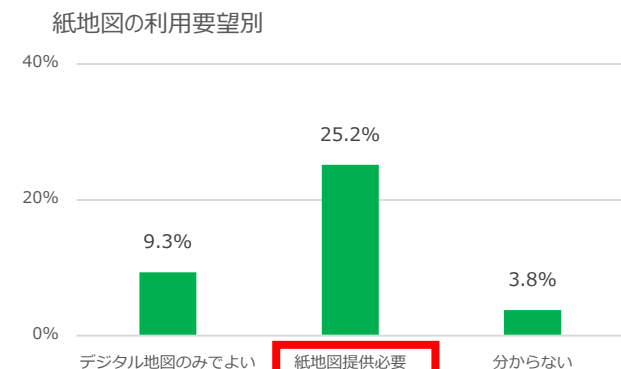
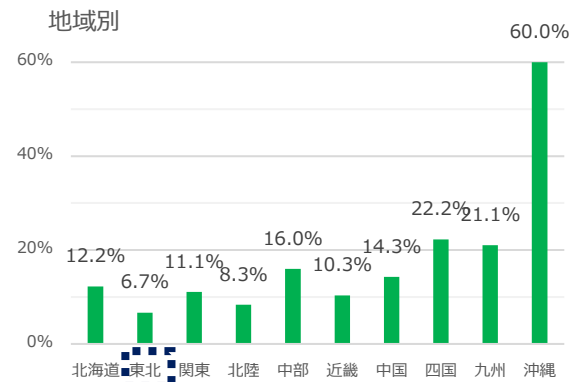
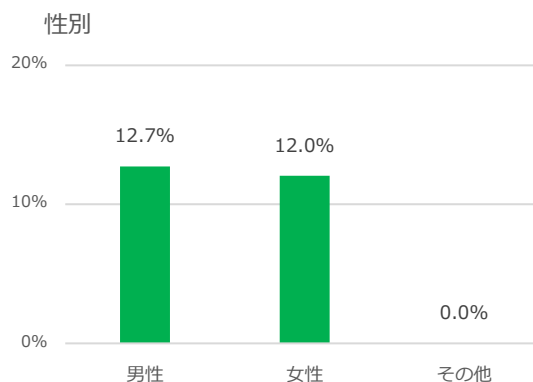
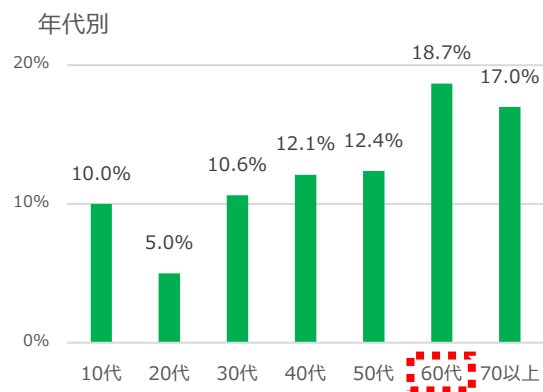


問C4(3) あなたは、どのような種類の地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(3) 地理空間情報の利用方法: 案内標識版

- 「案内標識版」(全体12.3%)は、年代別では60代でやや高い傾向が、地域別では東北でやや低い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では24.5%で、時期別では1ヶ月以内、半年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

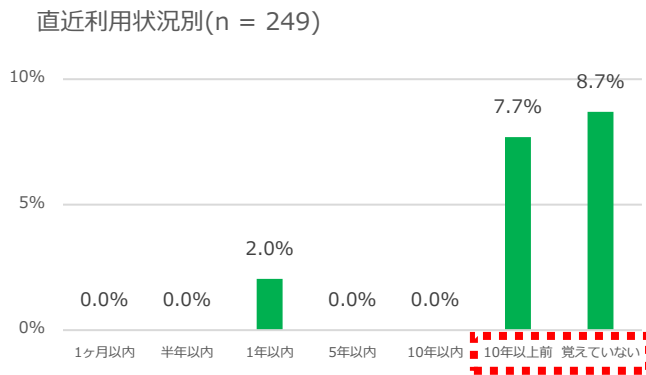
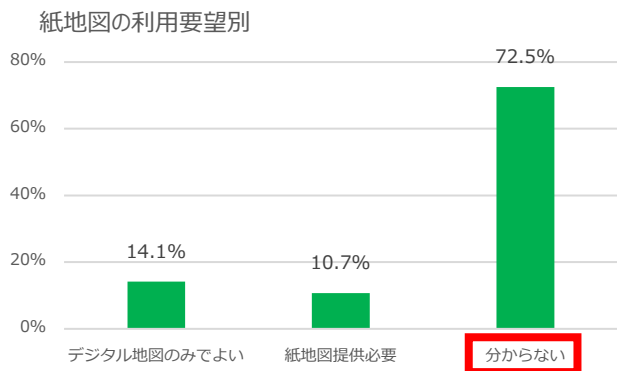
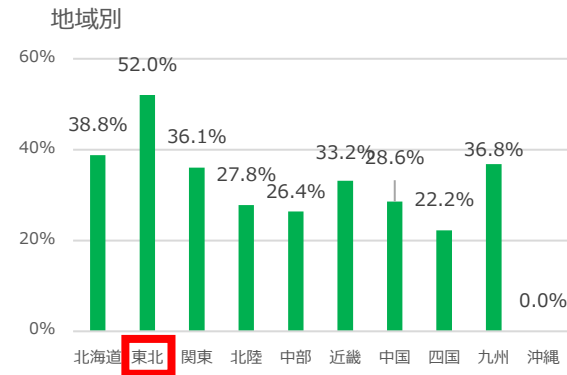
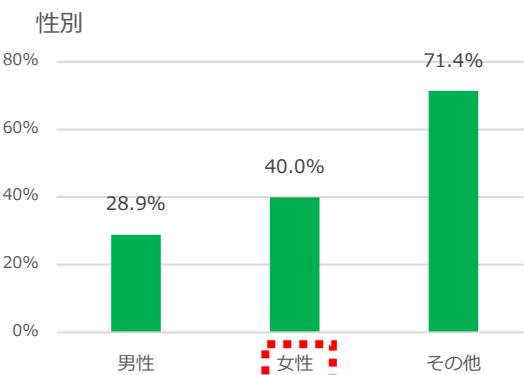
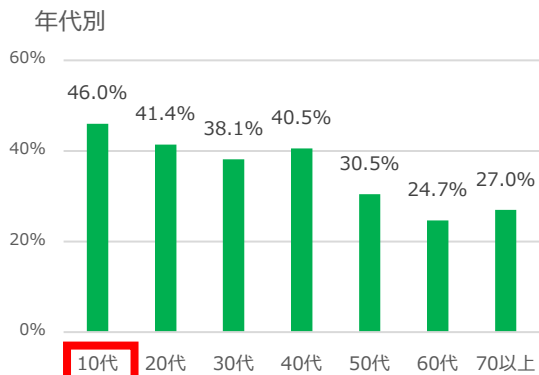


問C4(3) あなたは、どのような種類の地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(3) 地理空間情報の利用方法: 利用しない

- 「利用しない」(全体34.7%)との回答に関しては、年代別では10代で高い傾向が、性別では女性でやや高い傾向がみられる。地域別では東北で高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の72.5%が利用しないと回答した。
- 地図利用経験者の特にないと回答は2.0%で、覚えていない、10年以上前と回答した人でやや高い傾向がみられる。



問C4(3) あなたは、どのような種類の地理空間情報を利用しますか。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(4) 地理空間情報の活用度

- 地理空間情報の活用度に関しては、感じるとの回答が51.8%と過半数をこえている。わからないとの回答も40.5%となっている。
- 年齢別では、10代で「そう感じる」がやや高い傾向がみられる一方、30代で「まったく感じない」が、40代で「分からない」がやや高い傾向がみられる。地域別では、東北で「分からない」が高い傾向がみられる一方、北陸で「ある程度感じる」が、四国で「大いに感じる」が高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人で感じるとの回答が低い傾向がみられる。

全体



■ 大いに感じる ■ そう感じる ■ ある程度感じる ■ まったく感じない ■ 分からない

地理空間情報の利用				51.8%					
地理空間情報の活用度		大いに感じる	そう感じる	ある程度感じる	まったく感じない	分からない			
全体	n=1000	119	189	210	77	405			
		11.9%	18.9%	21.0%	7.7%	40.5%			
年代別	10代	n=50	12.0%	28.0%	16.0%	6.0%	38.0%		
	20代	n=140	12.9%	21.4%	15.0%	9.3%	41.4%		
	30代	n=160	9.4%	15.0%	17.5%	13.8%	44.4%		
	40代	n=190	8.9%	16.8%	19.5%	6.8%	47.9%		
	50代	n=210	14.3%	17.1%	23.3%	7.6%	37.6%		
	60代	n=150	13.3%	22.0%	28.7%	3.3%	32.7%		
	70以上	n=100	13.0%	20.0%	24.0%	5.0%	38.0%		
性別	男性	n=495	13.1%	20.6%	23.4%	7.5%	35.4%		
	女性	n=498	10.6%	17.5%	18.7%	8.0%	45.2%		
	その他	n=7	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	71.4%		
地域別	北海道	n=49	16.3%	22.4%	20.4%	0.0%	40.8%		
	東北	n=75	5.3%	16.0%	14.7%	9.3%	54.7%		
	関東	n=416	12.3%	18.8%	19.0%	8.9%	41.1%		
	北陸	n=36	13.9%	11.1%	33.3%	8.3%	33.3%		
	中部	n=125	10.4%	21.6%	24.8%	4.8%	38.4%		
	近畿	n=184	11.4%	17.4%	25.0%	8.2%	38.0%		
	中国	n=35	5.7%	17.1%	22.9%	8.6%	45.7%		
	四国	n=18	27.8%	16.7%	22.2%	5.6%	27.8%		
	九州	n=57	17.5%	26.3%	12.3%	8.8%	35.1%		
	沖縄	n=5	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	40.0%		
の紙地図利用	デジタル地図のみでよい	n=311	18.6%	27.0%	26.0%	6.8%	21.5%		
	紙地図提供必要	n=318	16.7%	27.4%	28.0%	6.9%	21.1%		
	分からない	n=371	2.2%	4.9%	10.8%	9.2%	73.0%		

全体より10ポイント以上高い
 全体より5ポイント以上高い
 全体より5ポイント以上低い
 全体より10ポイント以上低い

問C4(4) スマートフォン等を活用した位置情報サービス、スマート農業におけるロボットトラクターやドローンの活用、自動配送ロボットや空飛ぶクルマの運航など、社会の中で地理空間情報が高度に活用されていると感じますか。

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

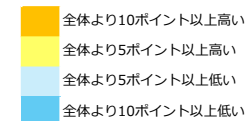
(4) 地理空間情報の利用目的で最も頻度の高いもの

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人では、感じると回答した人が83.9%である。
- 利用時期別では、半年以内と回答した人で「分からない」を選択した人がやや高い傾向がみられる。

n=249



		地理空間情報の活用度					
		大いに感じる	そう感じる	ある程度感じる	まったく感じない	分からない	
地理空間情報の利用		83.9%					
地理空間情報の活用度							
全体		n=249	53 21.3%	82 32.9%	74 29.7%	16 6.4%	24 9.6%
直近利用時期別	1ヶ月以内	n=47	25.5%	34.0%	29.8%	6.4%	4.3%
	半年以内	n=41	17.1%	34.1%	26.8%	4.9%	17.1%
	1年以内	n=49	22.4%	30.6%	24.5%	10.2%	12.2%
	5年以内	n=43	18.6%	32.6%	41.9%	0.0%	7.0%
	10年以内	n=20	25.0%	40.0%	20.0%	10.0%	5.0%
	10年以上前	n=26	23.1%	26.9%	30.8%	7.7%	11.5%
	覚えていない	n=23	17.4%	34.8%	30.4%	8.7%	8.7%



問C4(4) スマートフォン等を活用した位置情報サービス、スマート農業におけるロボットトラクターやドローンの活用、自動配送ロボットや空飛ぶクルマの運航など、社会の中で地理空間情報が高度に活用されていると感じますか。

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(5) 地理空間情報の活用の顕在化時期

- 全体では、地理空間情報の顕在化時期は、2020年が14.1%最も高く、次いで2015年、2010年の8.5%となっている。
- 地図利用者209人でも、同様の傾向がみられる。

地理空間情報の利用 地理空間情報の活用を実感した時期		2006年以前	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	知らない	
累計	n=441	67	76	88	97	141	160	176	183	190	234	247	256	275	285	358	376	394	416	429	441		
全体	n=518	67	9	12	9	44	19	16	7	7	44	13	9	19	10	73	18	18	22	13	12	77	
		12.9%	1.7%	2.3%	1.7%	8.5%	3.7%	3.1%	1.4%	1.4%	8.5%	2.5%	1.7%	3.7%	1.9%	14.1%	3.5%	3.5%	4.2%	2.5%	2.3%	14.9%	
年 別	10代	n=28	10.7%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.9%	0.0%	17.9%	10.7%	0.0%	10.7%	3.6%	10.7%	17.9%	
	20代	n=69	5.8%	1.4%	7.2%	4.3%	4.3%	1.4%	2.9%	0.0%	2.9%	8.7%	5.8%	1.4%	5.8%	2.9%	14.5%	5.8%	5.8%	4.3%	2.9%	1.4%	10.1%
	30代	n=67	9.0%	3.0%	3.0%	0.0%	9.0%	6.0%	3.0%	3.0%	1.5%	6.0%	3.0%	3.0%	4.5%	3.0%	11.9%	4.5%	6.0%	6.0%	1.5%	1.5%	11.9%
	40代	n=86	11.6%	1.2%	3.5%	1.2%	9.3%	4.7%	1.2%	2.3%	3.5%	9.3%	3.5%	1.2%	3.5%	0.0%	10.5%	4.7%	4.7%	4.7%	1.2%	2.3%	16.3%
	50代	n=115	14.8%	2.6%	1.7%	3.5%	10.4%	6.1%	4.3%	0.9%	0.0%	7.8%	2.6%	0.9%	1.7%	2.6%	8.7%	1.7%	2.6%	4.3%	0.9%	2.6%	19.1%
	60代	n=96	20.8%	1.0%	0.0%	0.0%	10.4%	2.1%	3.1%	1.0%	1.0%	9.4%	0.0%	2.1%	4.2%	2.1%	20.8%	1.0%	2.1%	1.0%	3.1%	1.0%	13.5%
	70以上	n=57	12.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%	1.8%	3.5%	1.8%	0.0%	14.0%	1.8%	1.8%	3.5%	1.8%	19.3%	1.8%	1.8%	3.5%	7.0%	1.8%	14.0%
性 別	男性	n=283	14.1%	1.8%	1.8%	1.1%	10.6%	3.2%	4.2%	1.4%	1.1%	8.1%	3.2%	2.1%	4.2%	2.1%	13.1%	3.5%	2.8%	3.9%	2.1%	2.8%	12.7%
	女性	n=233	11.6%	1.7%	3.0%	2.6%	6.0%	4.3%	1.7%	1.3%	1.7%	9.0%	1.7%	1.3%	3.0%	1.7%	15.0%	3.0%	4.3%	4.7%	3.0%	1.7%	17.6%
	その他	n=2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地 域 別	北海道	n=29	13.8%	3.4%	3.4%	0.0%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	10.3%	6.9%	0.0%	3.4%	6.9%	3.4%	0.0%	10.3%
	東北	n=27	22.2%	3.7%	7.4%	0.0%	3.7%	3.7%	7.4%	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	3.7%	3.7%	22.2%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	7.4%	
	関東	n=208	10.6%	1.9%	1.9%	1.0%	9.1%	4.8%	5.3%	1.4%	1.4%	7.2%	2.4%	1.4%	3.8%	2.9%	14.4%	3.4%	3.4%	4.8%	2.4%	2.9%	13.5%
	北陸	n=21	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	9.5%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	14.3%	9.5%	0.0%	9.5%	9.5%	0.0%	19.0%
	中部	n=71	15.5%	0.0%	1.4%	2.8%	7.0%	4.2%	1.4%	0.0%	0.0%	11.3%	1.4%	1.4%	2.8%	1.4%	16.9%	1.4%	2.8%	2.8%	1.4%	2.8%	21.1%
	近畿	n=99	14.1%	2.0%	1.0%	5.1%	12.1%	2.0%	1.0%	2.0%	2.0%	6.1%	4.0%	2.0%	4.0%	2.0%	14.1%	3.0%	6.1%	2.0%	2.0%	2.0%	12.1%
	中国	n=16	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	25.0%
	四国	n=12	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	九州	n=32	9.4%	0.0%	3.1%	0.0%	3.1%	6.3%	3.1%	3.1%	3.1%	6.3%	6.3%	6.3%	3.1%	0.0%	6.3%	6.3%	3.1%	6.3%	3.1%	0.0%	21.9%
	沖縄	n=3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
の 抵 用 用	デジタル地図のみでよい	n=223	13.0%	1.8%	2.7%	2.2%	8.1%	2.2%	1.3%	2.2%	8.1%	2.2%	3.1%	3.1%	2.2%	17.5%	4.9%	3.6%	4.0%	2.7%	2.2%	10.3%	
	紙地図提供が必要	n=229	14.8%	1.7%	2.2%	1.7%	9.2%	4.8%	3.1%	0.9%	0.9%	9.6%	2.2%	0.9%	4.8%	1.7%	10.9%	2.6%	3.5%	4.4%	2.6%	2.2%	15.3%
	分からない	n=66	6.1%	1.5%	1.5%	0.0%	7.6%	4.5%	6.1%	3.0%	0.0%	6.1%	4.5%	0.0%	1.5%	1.5%	13.6%	1.5%	3.0%	4.5%	1.5%	3.0%	28.8%
累計	n=181	34	38	45	48	64	72	79	81	82	102	105	110	115	118	145	152	160	168	175	181		
国土地理院地図等利用経験者	n=209	34	4	7	3	16	8	7	2	1	20	3	5	5	3	17	7	8	8	7	6	28	
		16.3%	1.9%	3.3%	1.4%	7.7%	3.8%	3.3%	1.0%	0.5%	9.6%	1.4%	2.4%	2.4%	1.4%	12.9%	3.3%	3.8%	3.8%	3.3%	2.9%	13.4%	
直 近 利 用 時 間 別	1ヶ月以内	n=42	19.0%	4.8%	4.8%	2.4%	4.8%	0.0%	0.0%	2.4%	9.5%	0.0%	0.0%	2.4%	4.8%	11.9%	7.1%	0.0%	2.4%	0.0%	9.5%	14.3%	
	半年以内	n=32	12.5%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	3.1%	0.0%	9.4%	3.1%	3.1%	9.4%	0.0%	9.4%	6.3%	3.1%	9.4%	3.1%	6.3%	12.5%	
	1年以内	n=38	10.5%	0.0%	5.0%	2.6%	13.2%	10.5%	7.9%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	7.9%	0.0%	10.5%	5.3%	7.9%	2.6%	5.3%	0.0%	7.9%	
	5年以内	n=40	10.0%	2.5%	5.0%	0.0%	7.5%	0.0%	2.5%	2.5%	0.0%	15.0%	5.0%	2.5%	2.5%	2.5%	20.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	7.5%	
	10年以内	n=17	23.5%	0.0%	5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	29.4%	
	10年以上前	n=21	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	4.8%	9.5%	4.8%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	4.8%	0.0%	9.5%	0.0%	4.8%	
覚えていない	n=19	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.6%	

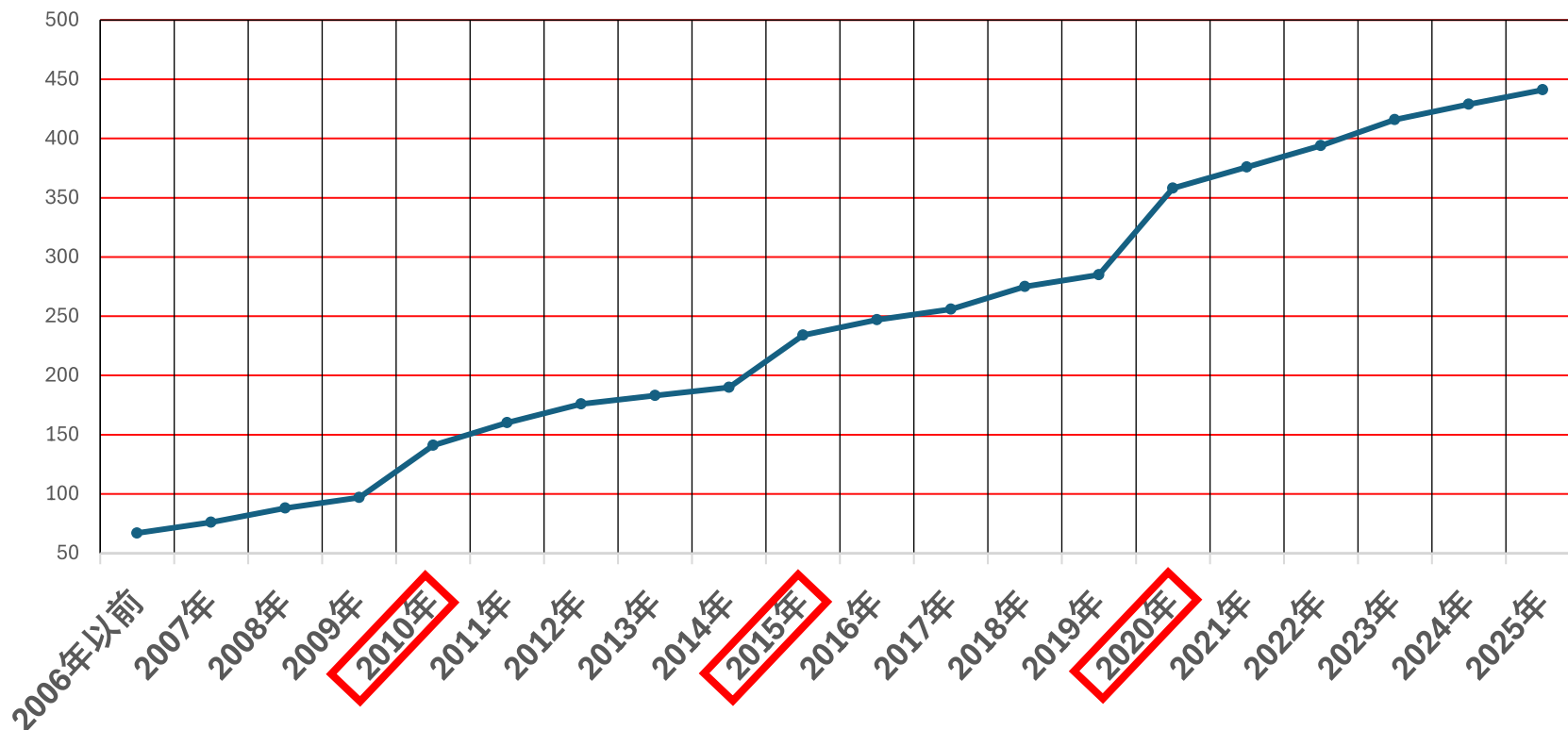
全体より10ポイント以上高い
全体より5ポイント以上高い
全体より5ポイント以上低い
全体より10ポイント以上低い

問C4(5) それは何年頃からですか。(例: スマートフォン等を活用した位置情報サービス、スマート農業におけるロボットトラクターやドローンの活用、自動配送、空飛ぶクルマの運航等)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(5) 地理空間情報の活用の顕在化時期

- 2020年、2015年、2010年において、推移の変化が見られる。

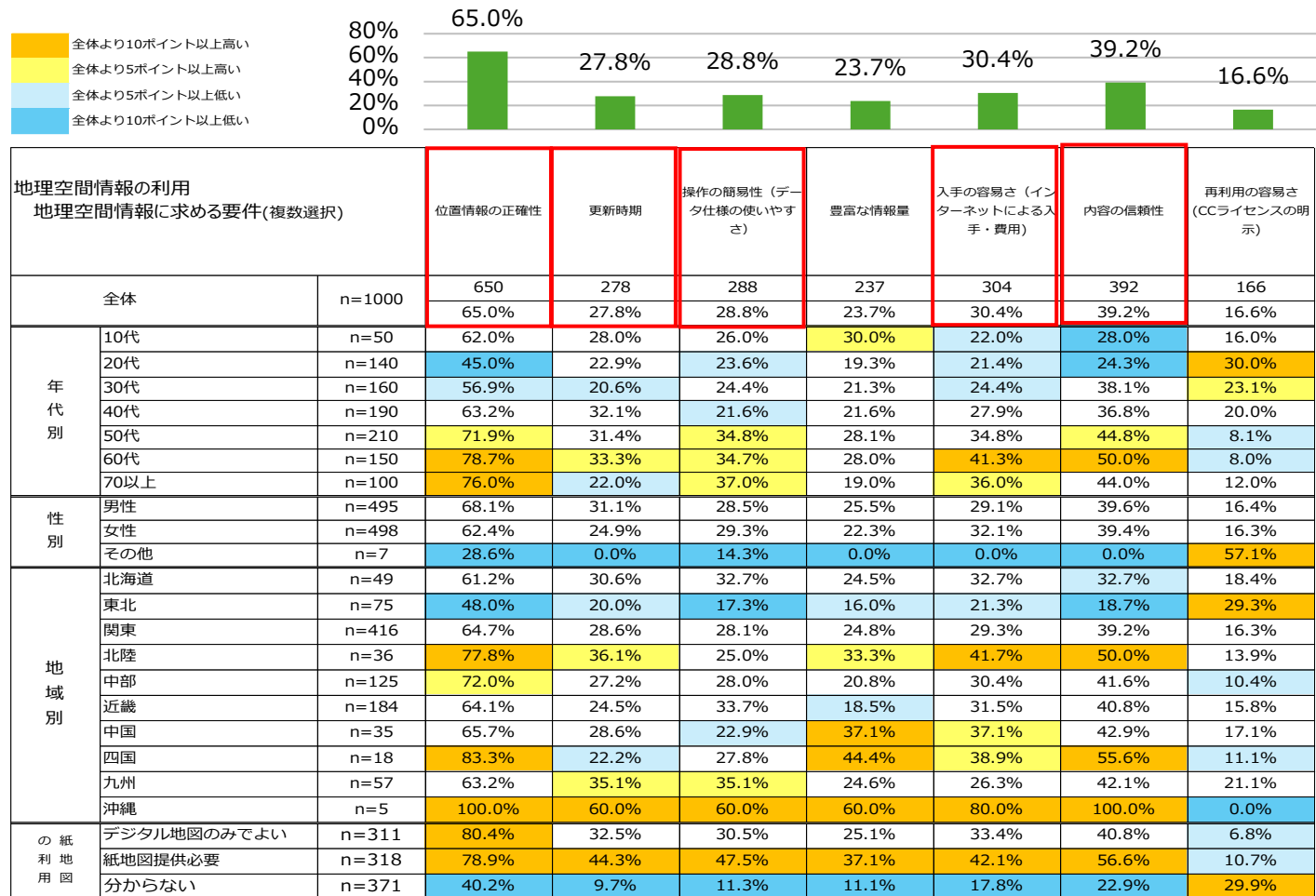


問C4(5) それは何年頃からですか。(例: スマートフォン等を活用した位置情報サービス、スマート農業におけるロボットトラクターやドローンの活用、自動配送、空飛ぶクルマの運航等)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(6) 地理空間情報に求める要件

- 全体では、地理空間情報に求める要件としては、「位置情報の正確性」が65%と最も重視されており、次いで「内容の信頼性」39.2%、「入手の容易さ（インターネットによる入手・費用）」が30.4%「操作の簡易性」が28.8%、「更新時期」が27.8%となっている。

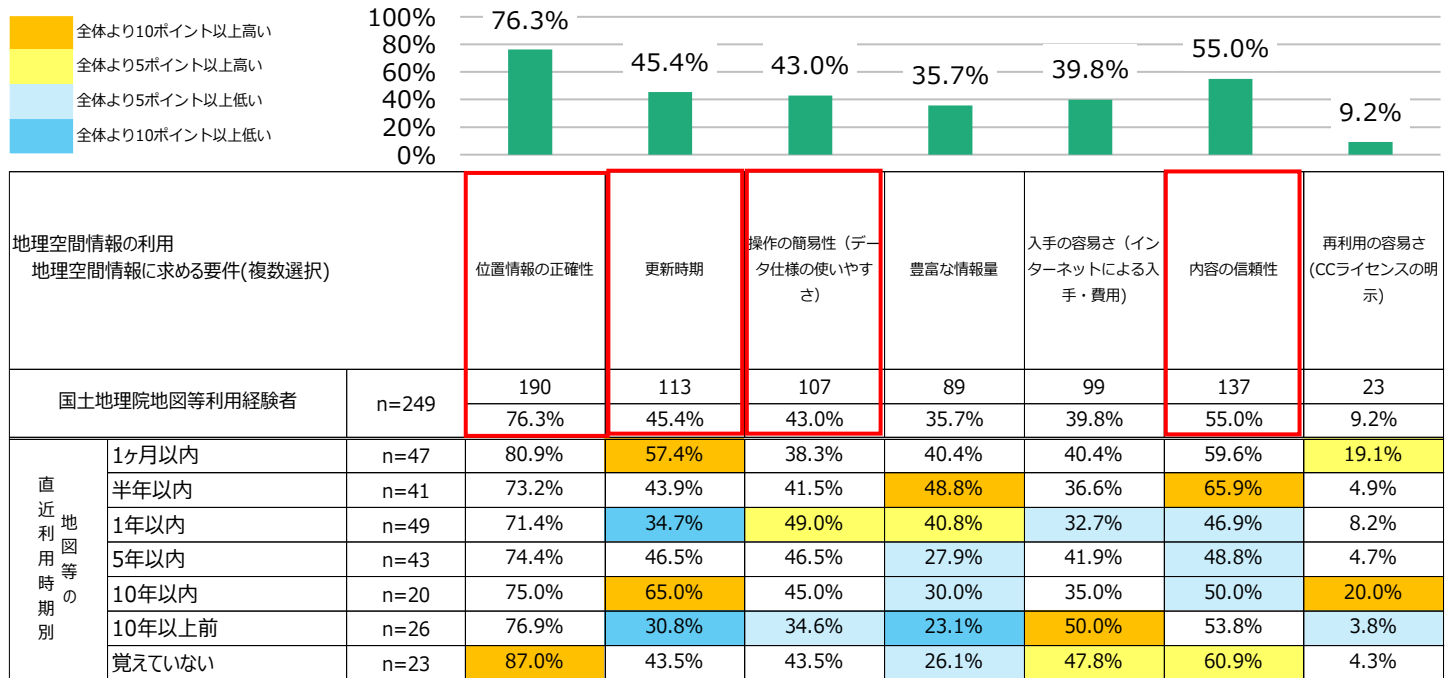


問C4(6) 地理空間情報に大事だと思うことをおしえてください。（複数選択可）

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(6) 地理空間情報に求める要件

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、「位置情報の正確性」が76.3%と最も重視されており、次いで「内容の信頼性」55.0%と全体と同じ傾向がみられる。利用経験者では「更新時期」45.4%と「操作の簡易性」43.0%が、「入手の容易さ（インターネットによる入手・費用）」が39.8%より少し高い傾向がみられる。

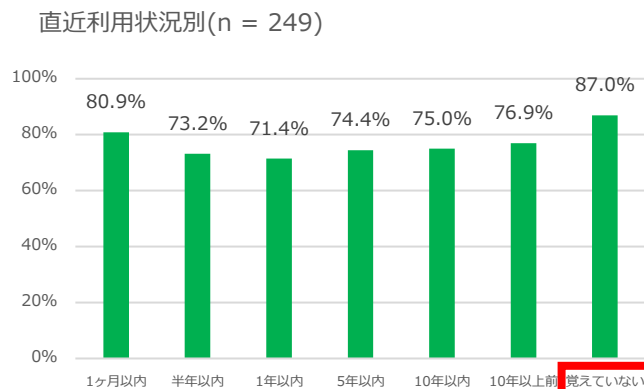
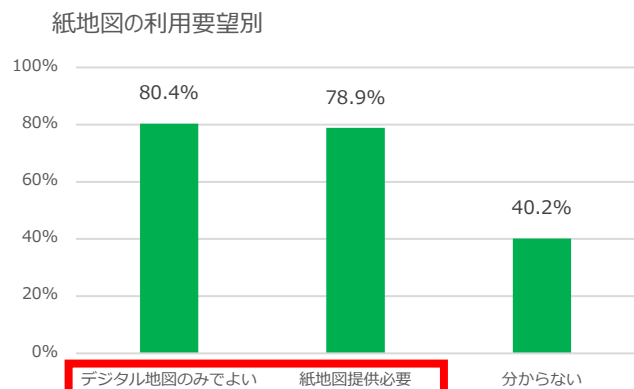
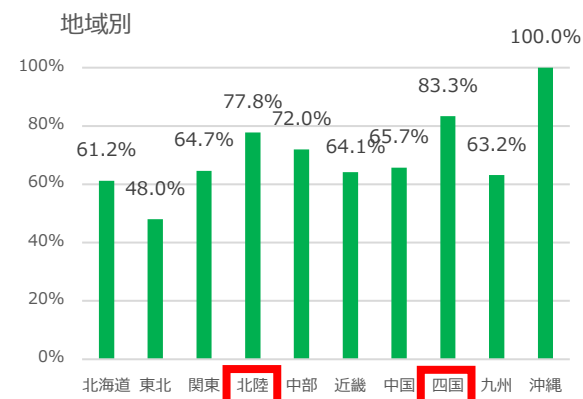
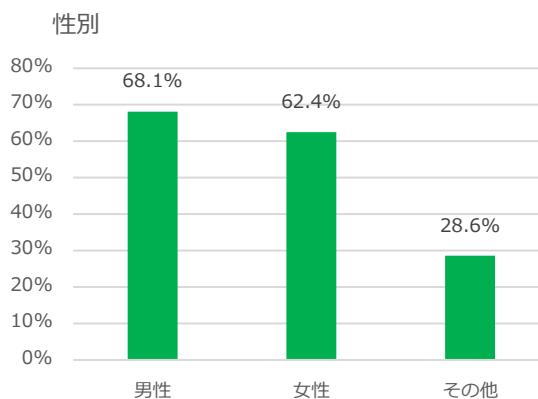
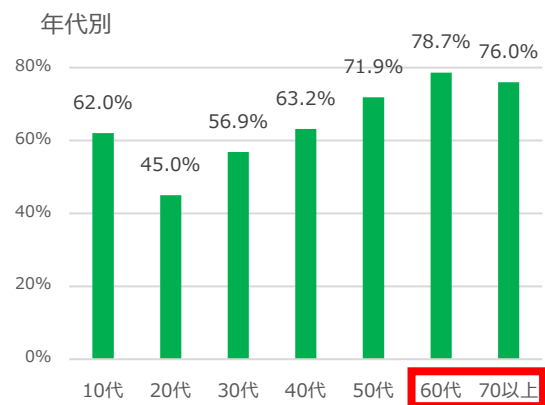


問C4(6) 地理空間情報に大事だと思うことをおしえてください。（複数選択可）

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(6) 地理空間情報に求める要件: 位置情報の正確性

- 「位置情報の正確性」(全体65.0%)は、年代別では60代、70以上で、地域別では四国、北陸で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、デジタル地図のみでよい、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では76.3%で、時期別では覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる。

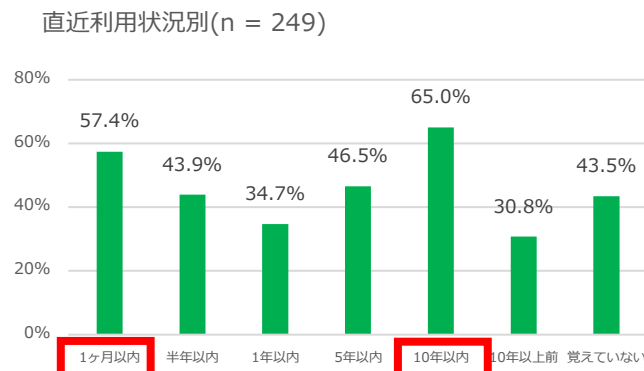
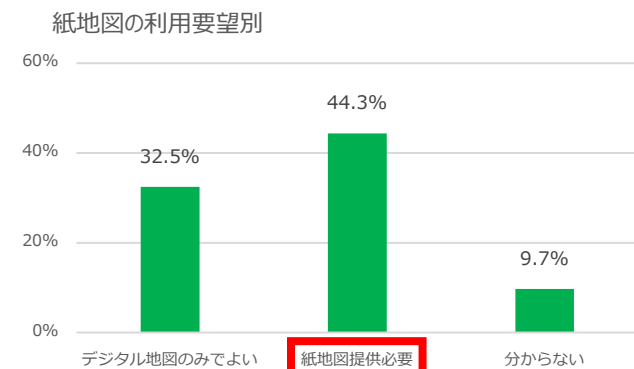
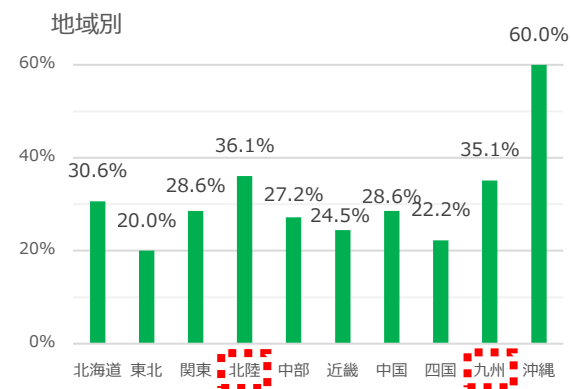
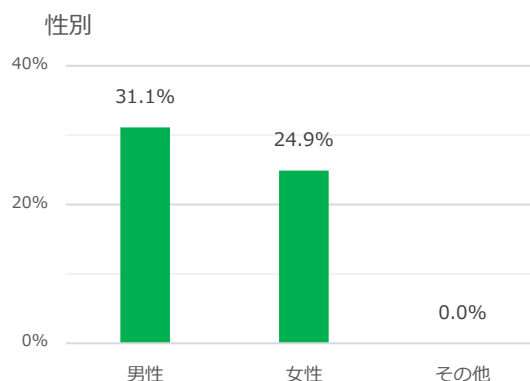
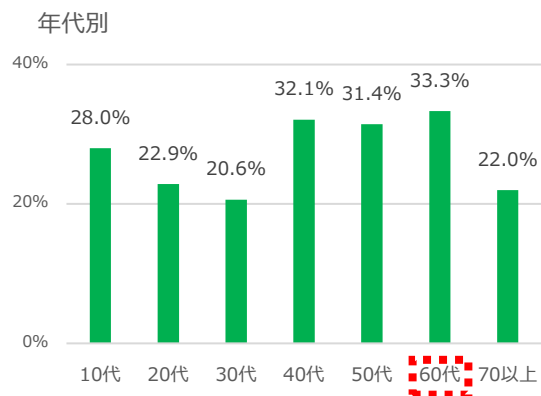


問C4(6) 地理空間情報に大事だと思うことをおしえてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(6) 地理空間情報に求める要件: 更新時期

- 「更新時期」(全体27.8%)は、年代別では60代で、地域別では北陸、九州でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では45.4%で、時期別では10年以内、1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。

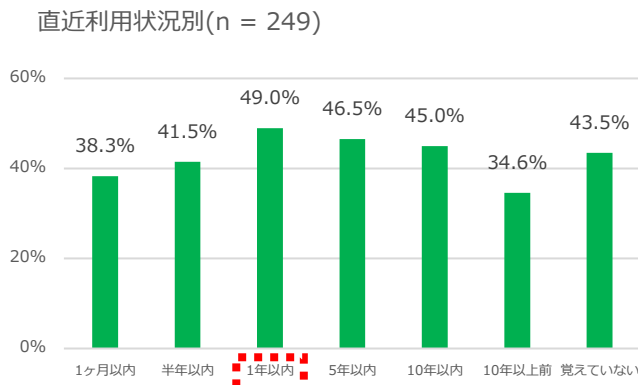
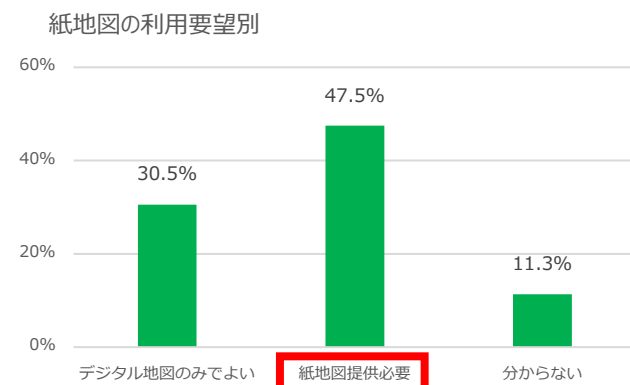
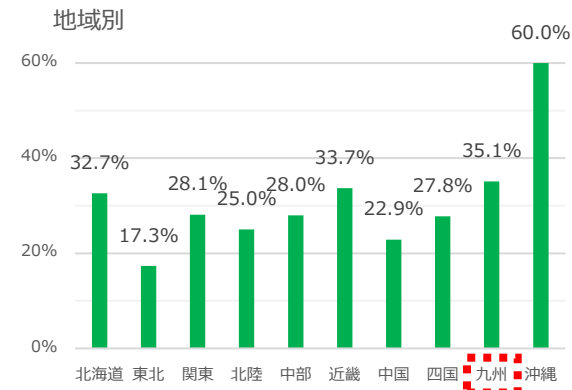
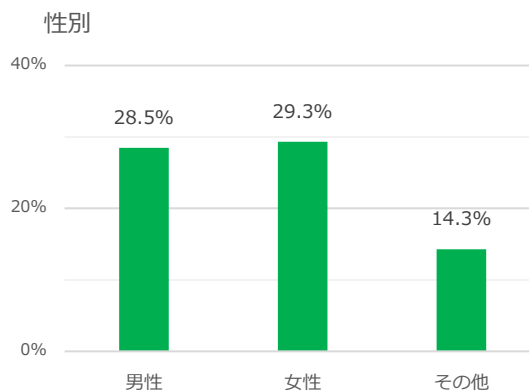
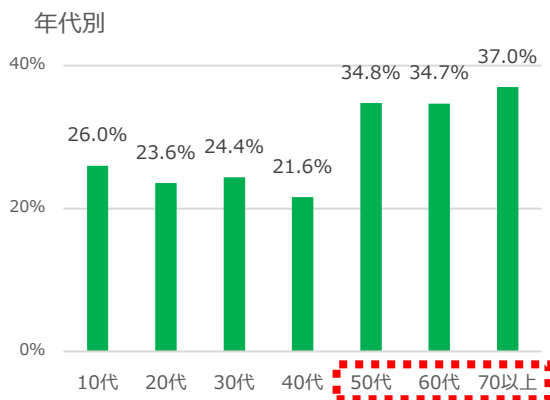


問C4(6) 地理空間情報に大事だと思うことをおしえてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(6) 地理空間情報に求める要件: 操作の簡易性(データ仕様の使いやすさ)

- 「操作の簡易性(データ仕様の使いやすさ)」(全体28.8%)は、年代別では70以上、50代、60代で、地域別では九州でやや高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では43.0%で、時期別では1年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

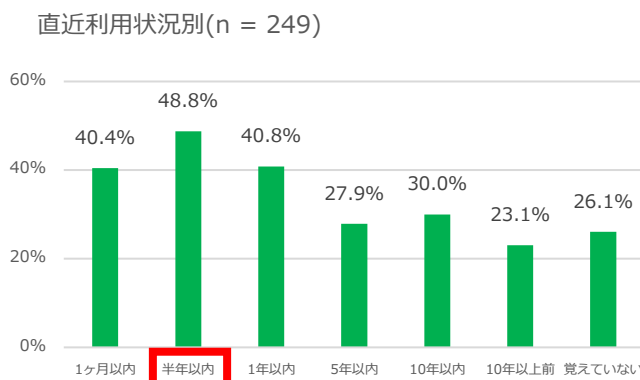
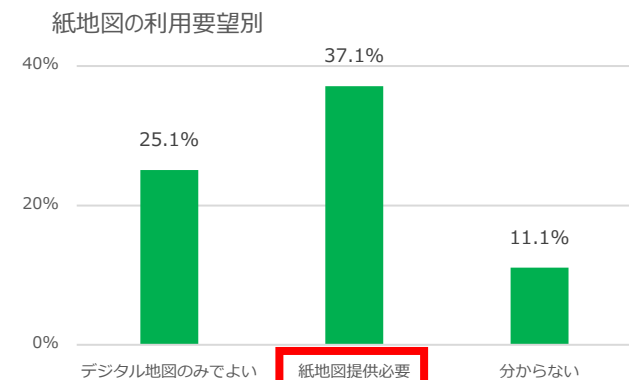
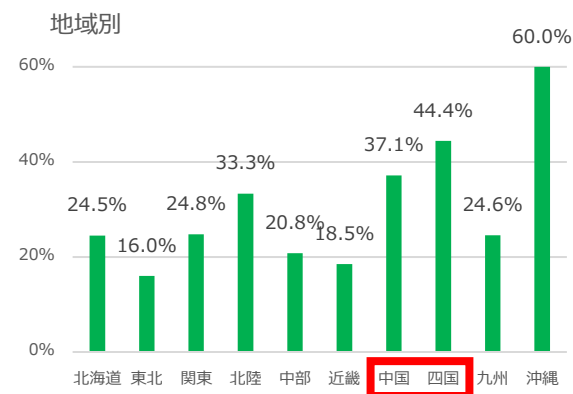
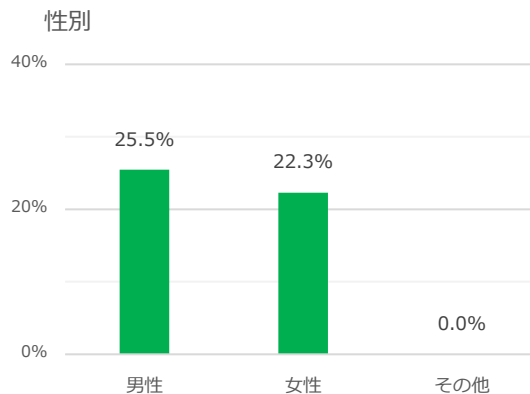
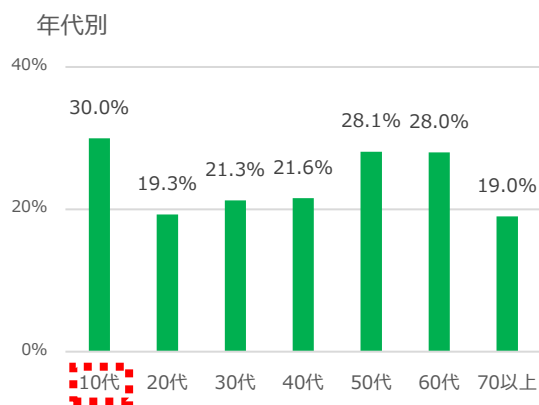


問C4(6) 地理空間情報に大事だと思うことをおしえてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(6) 地理空間情報に求める要件: 豊富な情報量

- 「豊富な情報量」(全体23.7%)は、年代別では10代でやや高い傾向が、地域別では四国、中国で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では35.7%で、時期別では半年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

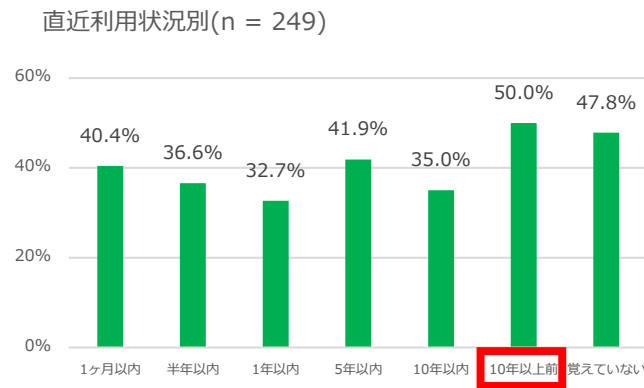
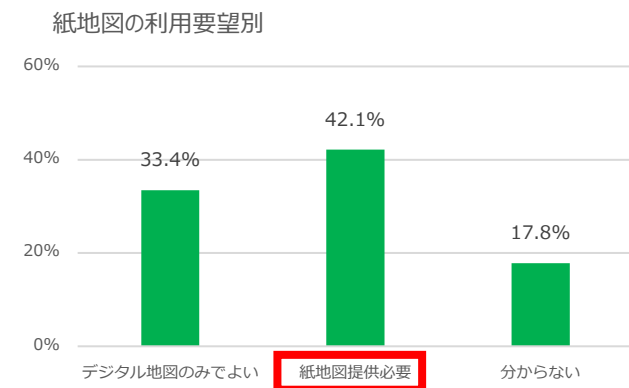
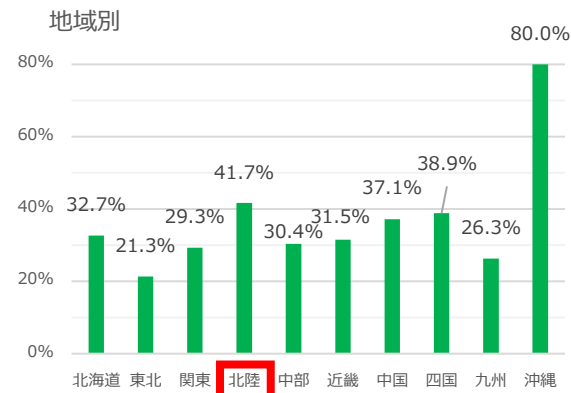
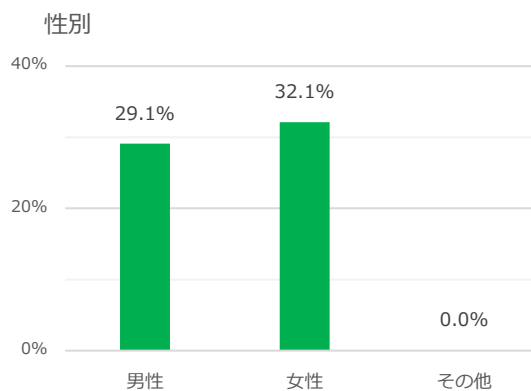
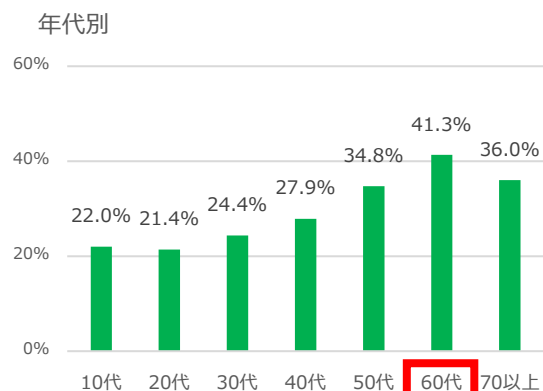


問C4(6) 地理空間情報に大事だと思うことをおしえてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(6) 地理空間情報に求める要件: 入手の容易さ(インターネットによる入手・費用)

- 「入手の容易さ(インターネットによる入手・費用)」(全体30.4%)は、年代別では60代で、地域別では、北陸で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では39.8%で、時期別では10年以上前と回答した人で高い傾向がみられる。

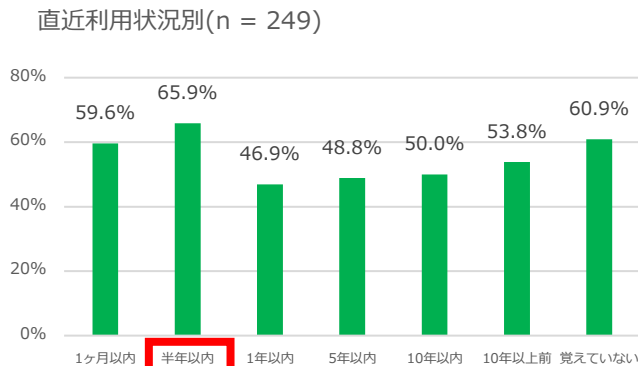
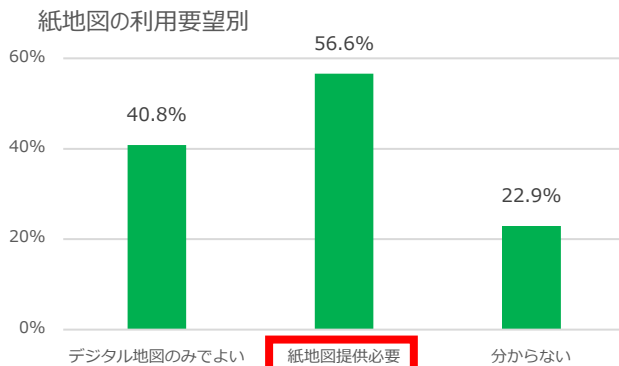
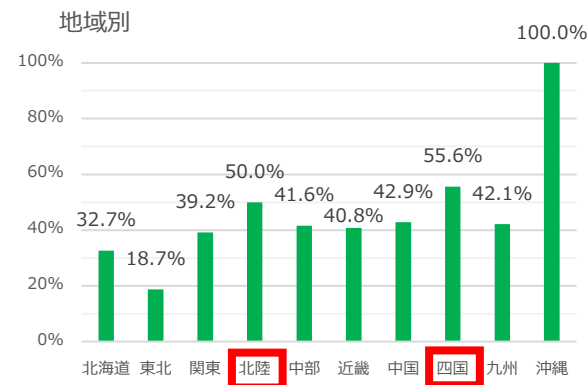
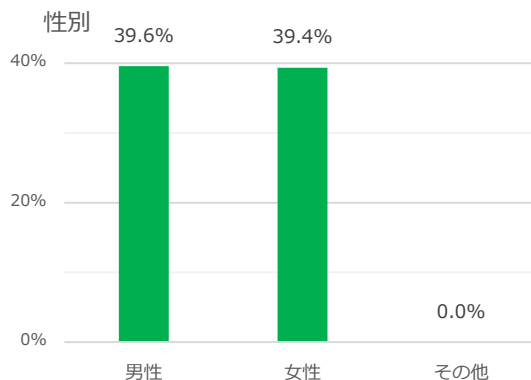
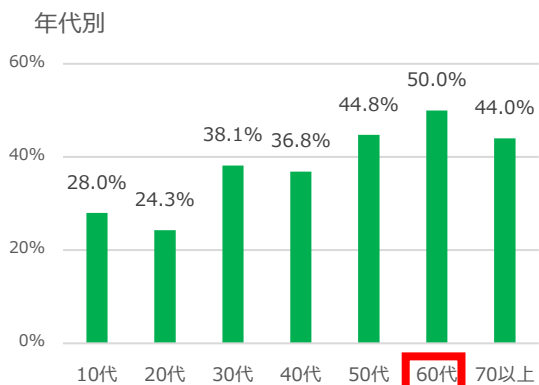


問C4(6) 地理空間情報に大事だと思うことをおしえてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(6) 地理空間情報に求める要件: 内容の信頼性

- 「内容の信頼性」(全体39.2%)は、年代別では60代で、地域別では、四国、北陸で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では55.0%で、時期別では半年以内と回答した人で高い傾向がみられる。

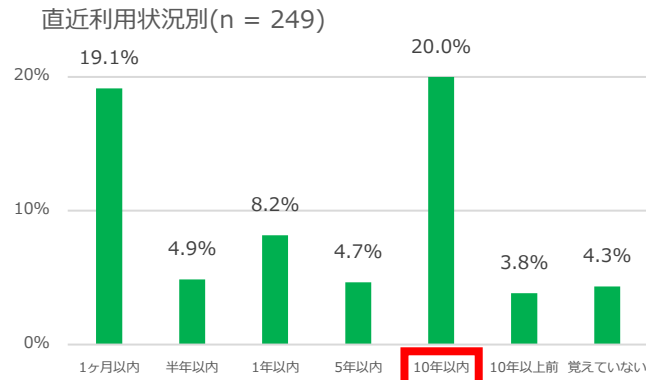
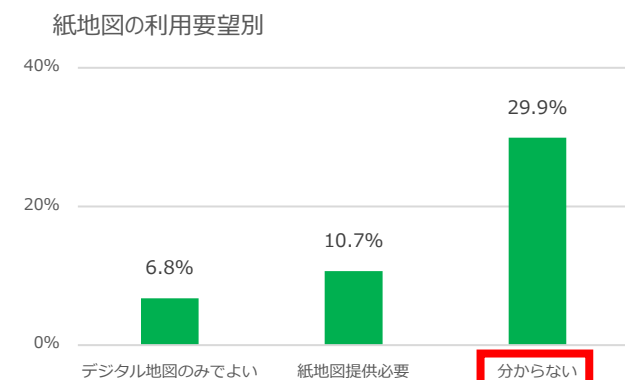
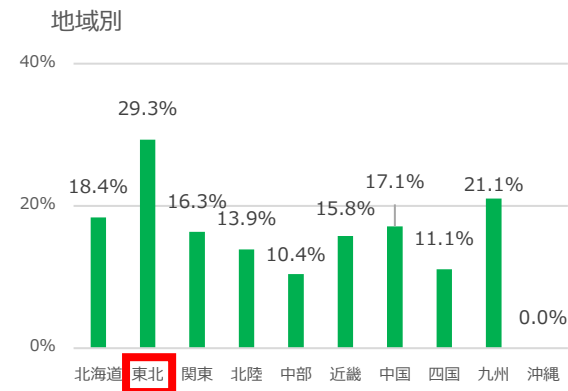
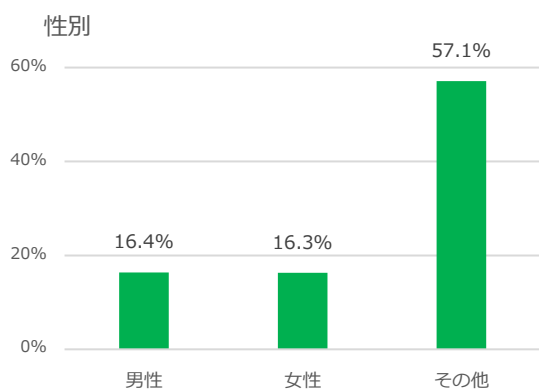
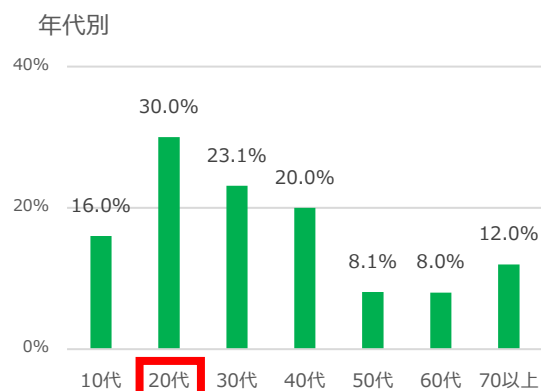


問C4(6) 地理空間情報に大事だと思うことをおしえてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(6) 地理空間情報に求める要件: 再利用の容易さ(CCライセンスの明示)

- 「再利用の容易さ(CCライセンスの明示)」(全体16.6%)は、年代別では20代で、地域別では東北で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では9.2%で、時期別では10年以内と回答した人で高い傾向がみられる。



問C4(6) 地理空間情報に大事だと思うことをおしえてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(7) 地理空間情報に求める最も重要な要件

- 地理空間情報に求める最も重要な要件に関しては、「位置情報の正確性」との回答が50.4%と過半数をしめている。
- 年齢別では、10代で「更新時期」が、50代と70以上で「位置情報の正確性」がやや高い傾向がみられる。また、「再利用の容易さ」は20代で高い傾向が、30代でやや高い傾向がみられる。地域別では、東北で「再利用の容易さ」が、中国で「豊富な情報量」が、四国で「位置情報の正確性」が高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、デジタル地図のみでよいと回答した人で「位置情報の正確性」が高い傾向がみられる。

全体



■ 位置情報の正確性 ■ 更新時期 ■ 操作の簡易性 ■ 豊富な情報量 ■ 入手の容易さ ■ 内容の信頼性 ■ 再利用の容易さ

地理空間情報の利用 地理空間情報に求める最重要要件		位置情報の正確性	更新時期	操作の簡易性 (データ仕様の使いやすさ)	豊富な情報量	入手の容易さ (インターネットによる入手・費用)	内容の信頼性	再利用の容易さ (CCライセンスの明示)
全体	n=1000	504 50.4%	62 6.2%	56 5.6%	46 4.6%	73 7.3%	145 14.5%	114 11.4%
年齢別	10代	n=50 50.0%	14.0%	8.0%	8.0%	2.0%	8.0%	10.0%
	20代	n=140 37.1%	10.0%	7.9%	4.3%	7.1%	10.7%	22.9%
	30代	n=160 45.0%	4.4%	8.8%	4.4%	5.6%	13.1%	18.8%
	40代	n=190 49.5%	6.3%	3.7%	4.2%	5.3%	17.9%	13.2%
	50代	n=210 56.7%	5.7%	4.3%	3.8%	10.0%	16.2%	3.3%
	60代	n=150 54.7%	4.0%	4.7%	8.0%	8.7%	16.7%	3.3%
	70以上	n=100 60.0%	4.0%	4.0%	1.0%	9.0%	12.0%	10.0%
性別	男性	n=495 52.3%	7.3%	4.8%	5.7%	5.7%	13.5%	10.7%
	女性	n=498 48.8%	5.2%	6.2%	3.6%	9.0%	15.7%	11.4%
	その他	n=7 28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%
地域別	北海道	n=49 40.8%	8.2%	6.1%	4.1%	12.2%	12.2%	16.3%
	東北	n=75 38.7%	8.0%	5.3%	5.3%	6.7%	8.0%	28.0%
	関東	n=416 51.9%	6.3%	5.5%	3.8%	7.5%	13.9%	11.1%
	北陸	n=36 41.7%	13.9%	2.8%	8.3%	8.3%	19.4%	5.6%
	中部	n=125 57.6%	5.6%	4.8%	4.0%	4.8%	18.4%	4.8%
	近畿	n=184 48.9%	4.3%	7.6%	3.3%	10.3%	15.8%	9.8%
	中国	n=35 51.4%	0.0%	2.9%	17.1%	5.7%	11.4%	11.4%
	四国	n=18 61.1%	5.6%	0.0%	11.1%	0.0%	16.7%	5.6%
	九州	n=57 50.9%	8.8%	5.3%	3.5%	1.8%	15.8%	14.0%
沖縄	n=5 80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
紙地図の利用	デジタル地図のみでよい	n=311 63.3%	7.4%	5.8%	3.9%	5.8%	11.3%	2.6%
	紙地図提供必要	n=318 56.9%	7.9%	7.5%	4.4%	6.3%	16.0%	0.9%
	分からない	n=371 34.0%	3.8%	3.8%	5.4%	9.4%	15.9%	27.8%

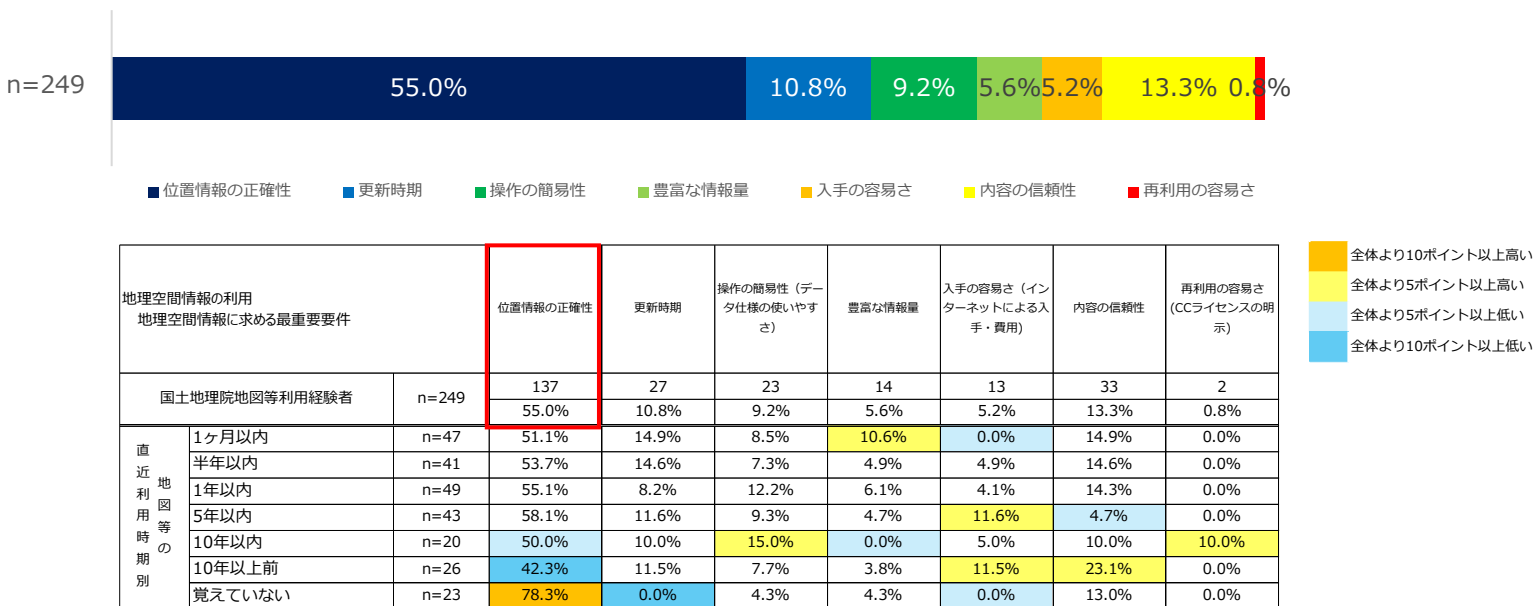
全体より10ポイント以上高い
 全体より5ポイント以上高い
 全体より5ポイント以上低い
 全体より10ポイント以上低い

問C4(7) 前問で選択した要件の内、最も大事だと思うことを1つ選んでください。

C.地理空間情報の利用に関する実態について 4. 地理空間情報の利用

(7) 地理空間情報に求める最も重要な要件

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、「位置情報の正確性」との回答が55.0%と過半数をしめている。
- 利用時期別では、覚えていないと回答した人で「位置情報の正確性」を選択した人が高い傾向がみられる。



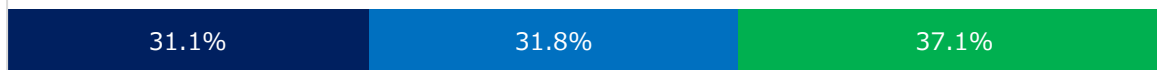
問C4(7) 前問で選択した要件の内、最も大事だと思うことを1つ選んでください。

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(1) 紙地図提供の必要性

- 紙地図の必要性に関しては、デジタル地図のみでよい、紙地図の提供も必要も、分からないの回答ともに拮抗している。
- 年齢別では、10代でデジタル地図のみでよいが、地域別では北海道でデジタル地図のみでよいが、北陸、中国、四国で紙地図の提供も必要が高い傾向がみられる。性別では、男性のデジタル地図のみでよいとの回答がやや高い傾向がみられる。

全体



■ デジタル地図のみでよい ■ 紙地図提供必要 ■ 分からない

地理空間情報の利用 紙地図提供の必要性		PCやスマホで確認 できる鮮度の高いデ ジタル地図提供のみ でよい。	デジタル地図以外 に、情報の鮮度が不 利であっても紙地図 は購入できた方がよ い。	分からない。	
全体	n=210	311 31.1%	318 31.8%	371 37.1%	
年 代 別	10代	n=50 44.0%	22.0%	34.0%	全体より10ポイント以上高い
	20代	n=140 30.0%	28.6%	41.4%	全体より5ポイント以上高い
	30代	n=160 33.8%	23.8%	42.5%	全体より5ポイント以上低い
	40代	n=190 31.1%	26.3%	42.6%	全体より10ポイント以上低い
	50代	n=210 28.1%	36.2%	35.7%	
	60代	n=150 32.7%	41.3%	26.0%	
	70以上	n=100 26.0%	41.0%	33.0%	
性 別	男性	n=495 36.2%	30.9%	32.9%	
	女性	n=498 26.1%	33.1%	40.8%	
	その他	n=7 28.6%	0.0%	71.4%	
地 域 別	北海道	n=49 42.9%	30.6%	26.5%	
	東北	n=75 25.3%	25.3%	49.3%	
	関東	n=416 29.1%	33.9%	37.0%	
	北陸	n=36 19.4%	50.0%	30.6%	
	中部	n=125 36.0%	25.6%	38.4%	
	近畿	n=184 33.2%	28.8%	38.0%	
	中国	n=35 28.6%	42.9%	28.6%	
	四国	n=18 27.8%	44.4%	27.8%	
	九州	n=57 36.8%	26.3%	36.8%	
	沖縄	n=5 20.0%	40.0%	40.0%	

問C5(1) ウェブ地図等に比較して、地図情報の鮮度において不利な紙地図の今後の提供についてのお考えを教えてください。

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

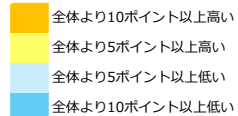
(1) 紙地図提供の必要性

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人では、紙地図の提供が必要との回答が50.2%と全体に比べ高い傾向がみられる。
- 利用時期別では、5年以内と回答した人にデジタル地図のみでよいとの回答が、10年以上と回答した人に紙地図の提供が必要との回答が高い傾向がみられる。

n=249



地理空間情報の利用 紙地図提供の必要性		PCやスマホで確認 できる鮮度の高いデ ジタル地図提供のみ でよい。	デジタル地図以外 に、情報の鮮度が不 利であっても紙地図 は購入できた方がよ い。	分からない。	
国土地理院地図等利用経験者		n=249	102 41.0%	125 50.2%	22 8.8%
直 近 利 用 時 期 別	1ヶ月以内	n=47	46.8%	46.8%	6.4%
	半年以内	n=41	41.5%	51.2%	7.3%
	1年以内	n=49	36.7%	53.1%	10.2%
	5年以内	n=43	55.8%	41.9%	2.3%
	10年以内	n=20	30.0%	60.0%	10.0%
	10年以上前	n=26	30.8%	61.5%	7.7%
	覚えていない	n=23	30.4%	43.5%	26.1%

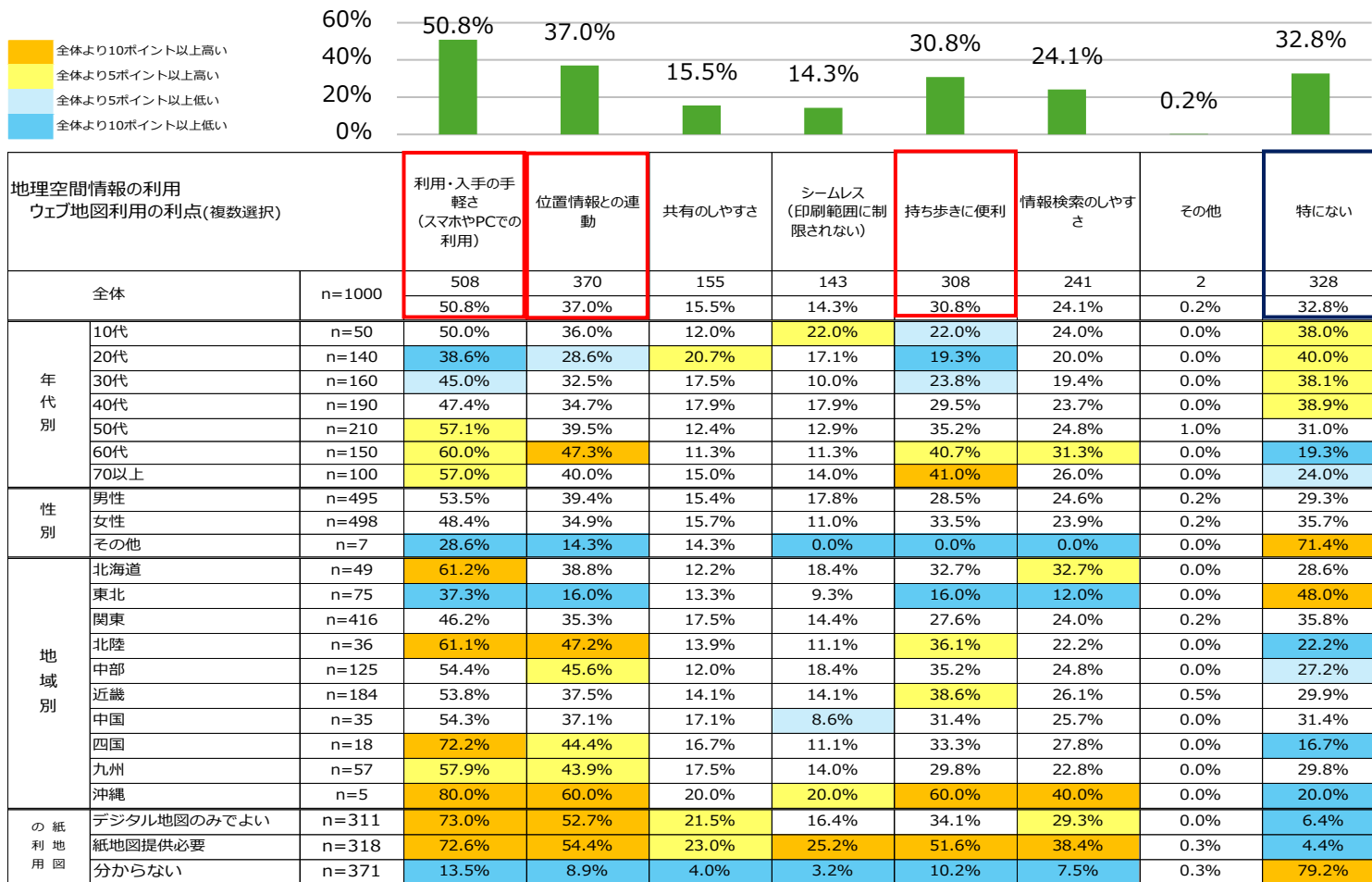


問C5(1) ウェブ地図等に比較して、地図情報の鮮度において不利な紙地図の今後の提供についてのお考えを教えてください。

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(2) ウェブ地図利用の利点

- 全体では、ウェブ地図利用の利点に関しては、「利用・入手の手軽さ（スマホやPCでの利用）」50.8%が最も高く、次いで「位置情報との連動」37.0%、「持ち歩きに便利」が30.8%となっている。特にないとの回答も32.8%あった。
- その他の回答の中には、無料での利用と情報の更新との意見もあった。

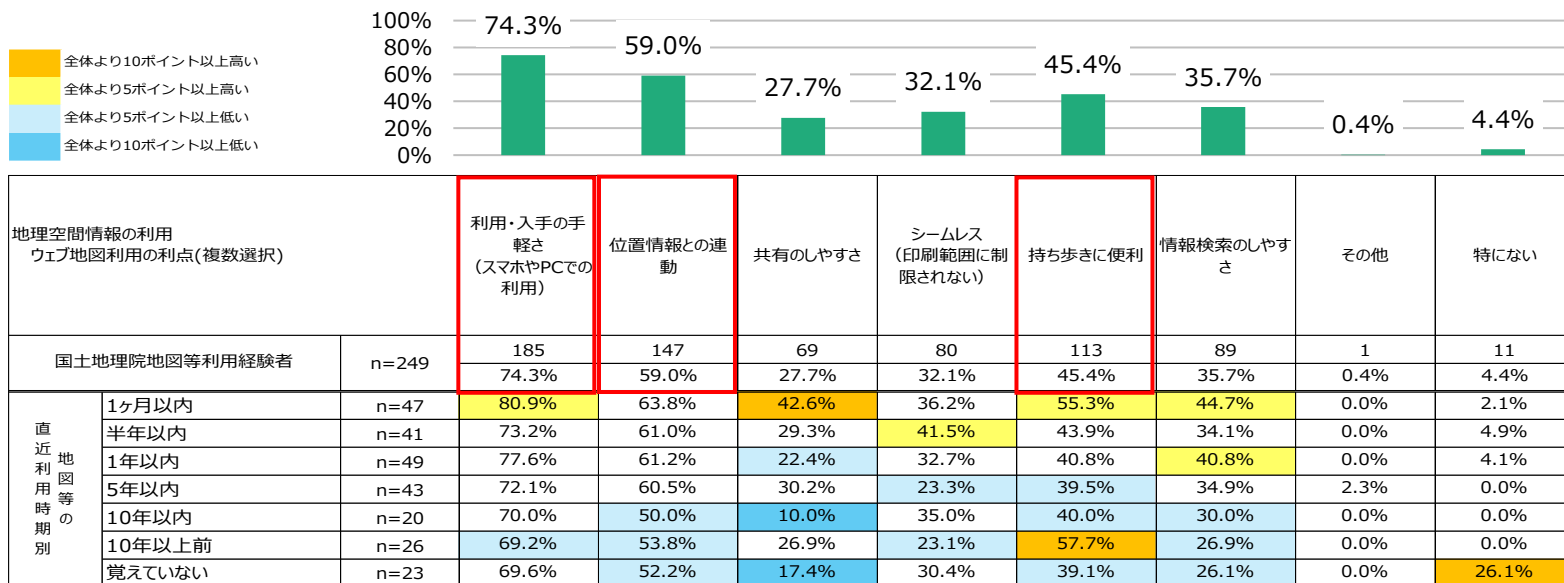


問C5(2) ウェブ地図を利用する利点と感じる点を教えてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(2) ウェブ地図利用の利点

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人でも、「利用・入手の手軽さ（スマホやPCでの利用）」74.3%が最も高く、次いで「位置情報との連動」59.0%、「持ち歩きに便利」が45.4%となっている。

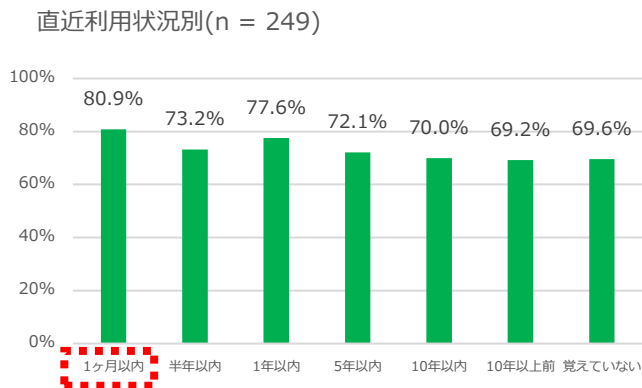
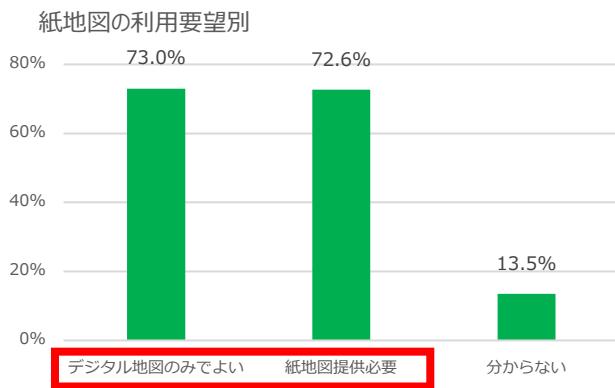
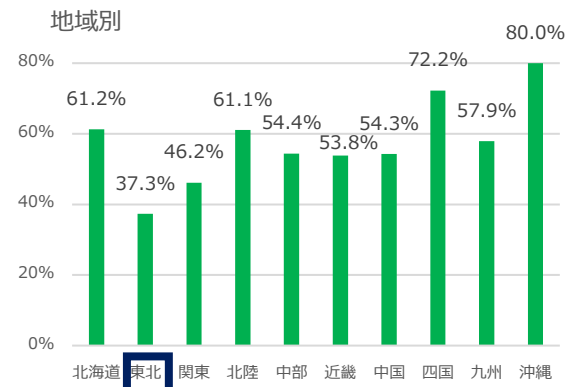
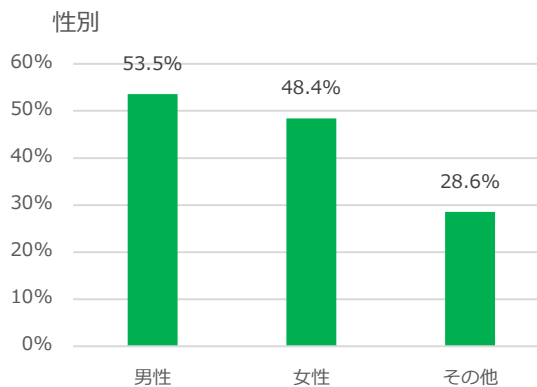
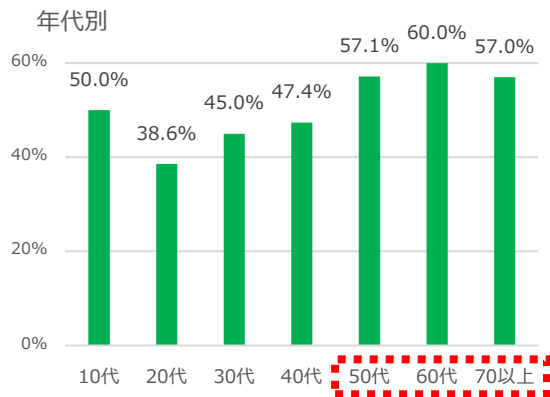


問C5(2) ウェブ地図を利用する利点と感ずる点を教えてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(2) ウェブ地図利用の利点: 利用・入手の手軽さ (スマホやPCでの利用)

- 「利用・入手の手軽さ (スマホやPCでの利用) 」(全体50.8%)は、年代別では60代、50代、70以上でやや高い傾向が、地域別では東北で低い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要、デジタル地図のみでよいと回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では74.3%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

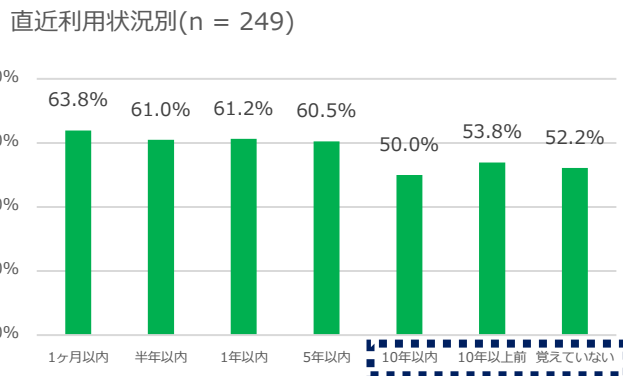
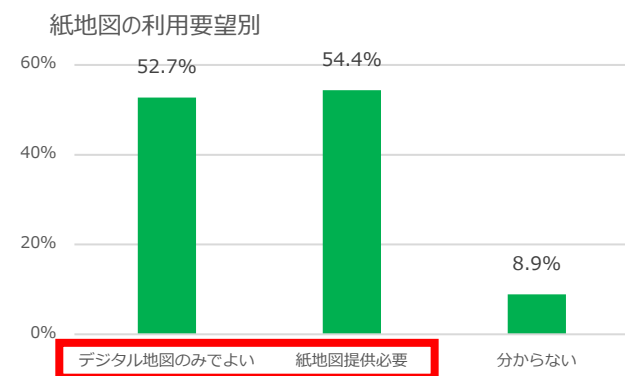
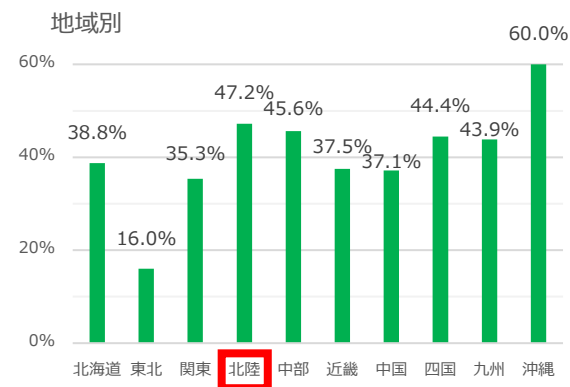
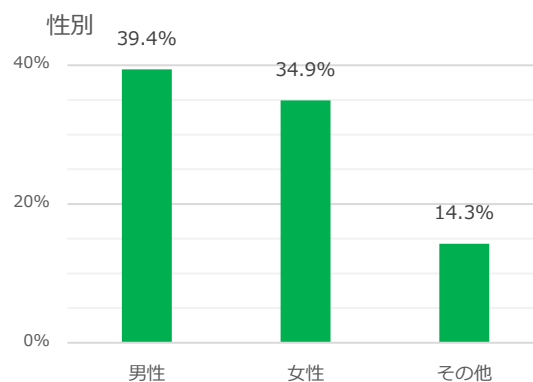
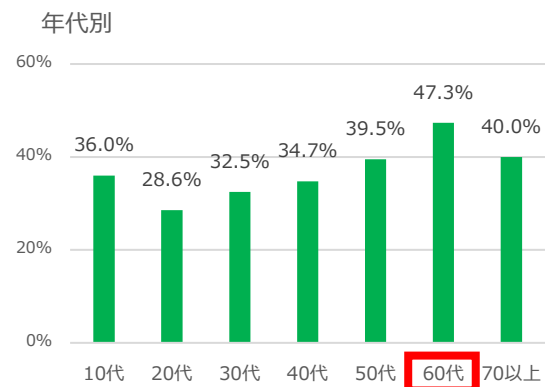


問C5(2) ウェブ地図を利用する利点と感ずる点を教えてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(2) ウェブ地図利用の利点: 位置情報との連動

- 「位置情報との連動」(全体37.0%)は、年代別では60代で、地域別では北陸で高い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要、デジタル地図のみでよいと回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では59.0%で、時期別では10年以内、10年以上前、覚えていないと回答した人でやや低い傾向がみられる。

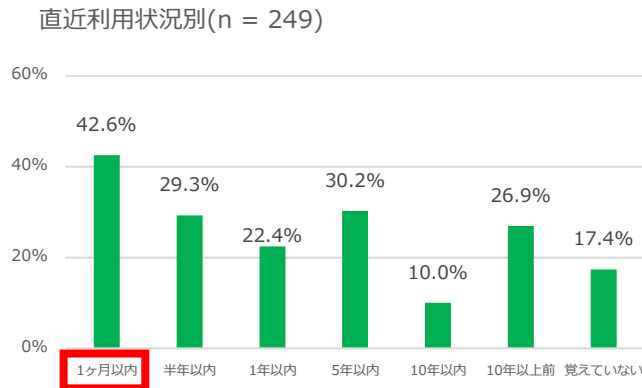
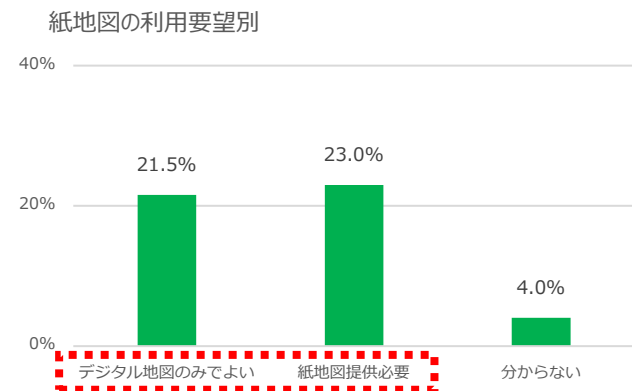
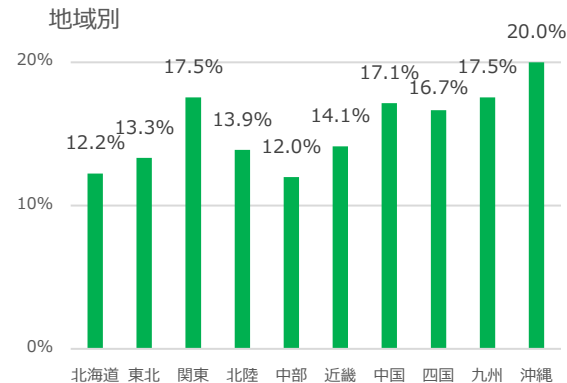
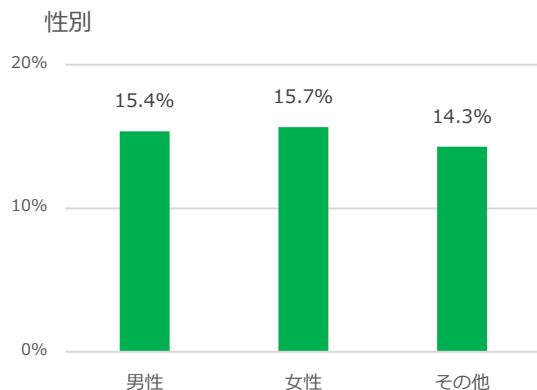
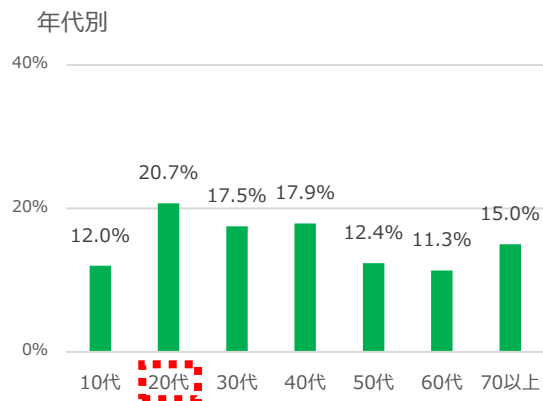


問C5(2) ウェブ地図を利用する利点と感ずる点を教えてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(2) ウェブ地図利用の利点: 共有のしやすさ

- 「共有のしやすさ」(全体15.5%)は、年代別では20代でやや高い傾向がみられる。性別、地域別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要、デジタル地図のみでよいと回答した人でやや高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では27.7%で、時期別では1ヶ月以内と回答した人で高い傾向がみられる。

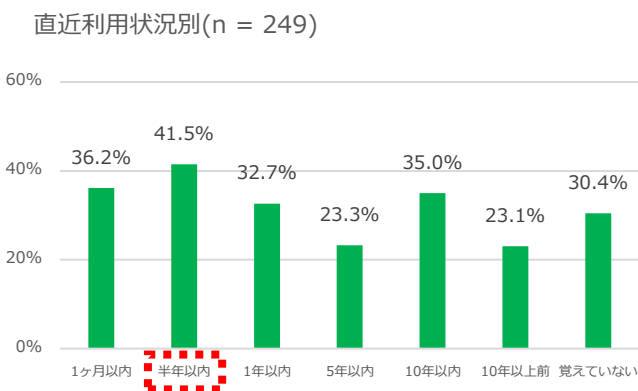
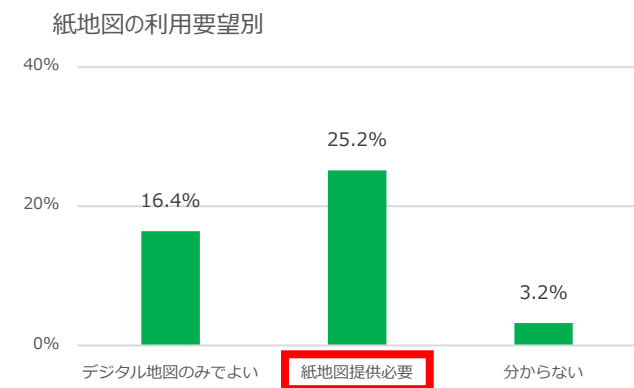
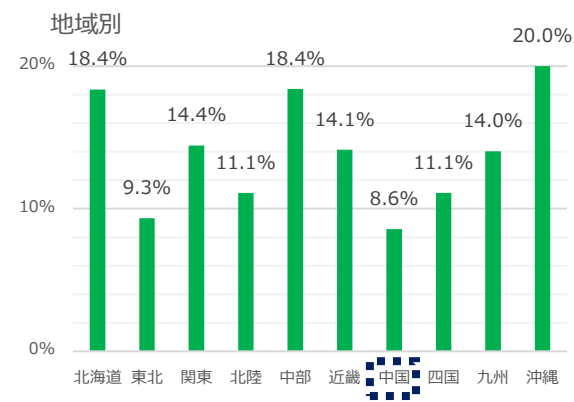
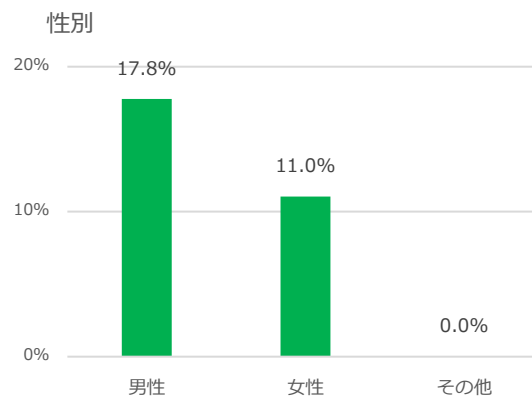
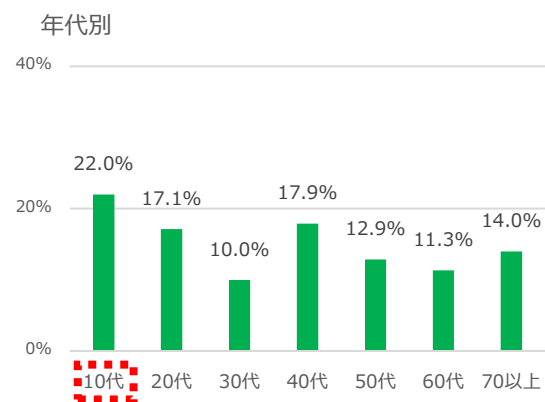


問C5(2) ウェブ地図を利用する利点と感ずる点を教えてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(2) ウェブ地図利用の利点: シームレス (印刷範囲に制限されない)

- 「シームレス (印刷範囲に制限されない) 」(全体14.3%)は、年代別では10代がやや高い傾向が、地域別では中国でやや低い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では32.1%で、時期別では半年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

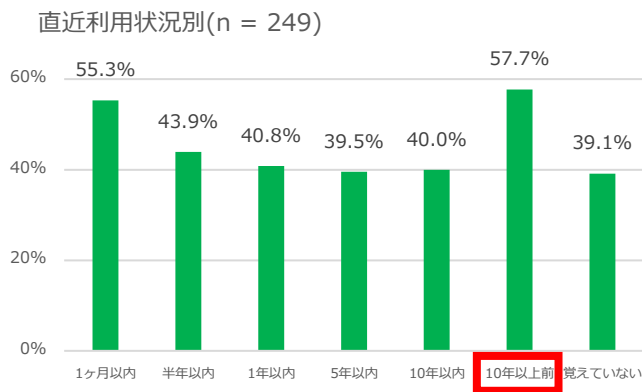
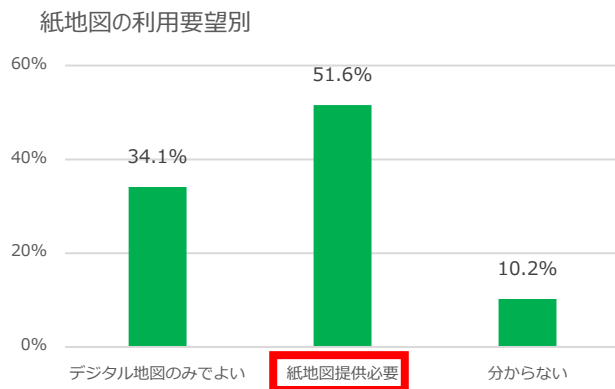
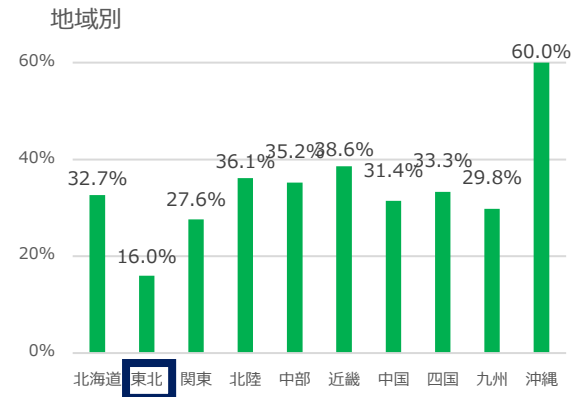
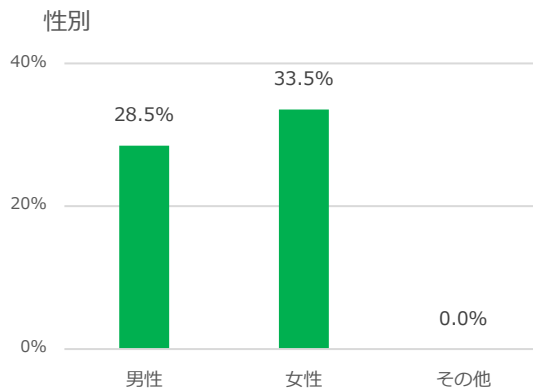
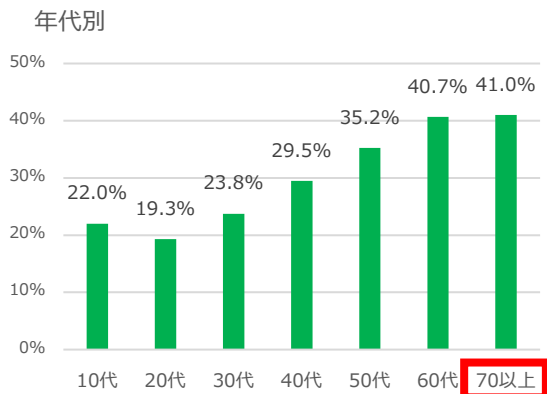


問C5(2) ウェブ地図を利用する利点と感ずる点を教えてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(2) ウェブ地図利用の利点: 持ち歩きに便利

- 「持ち歩きに便利」(全体30.8%)は、年代別では70以上で高い傾向が、地域別では東北で低い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では45.4%で、時期別では10年以上前と回答した人で高い傾向がみられる。

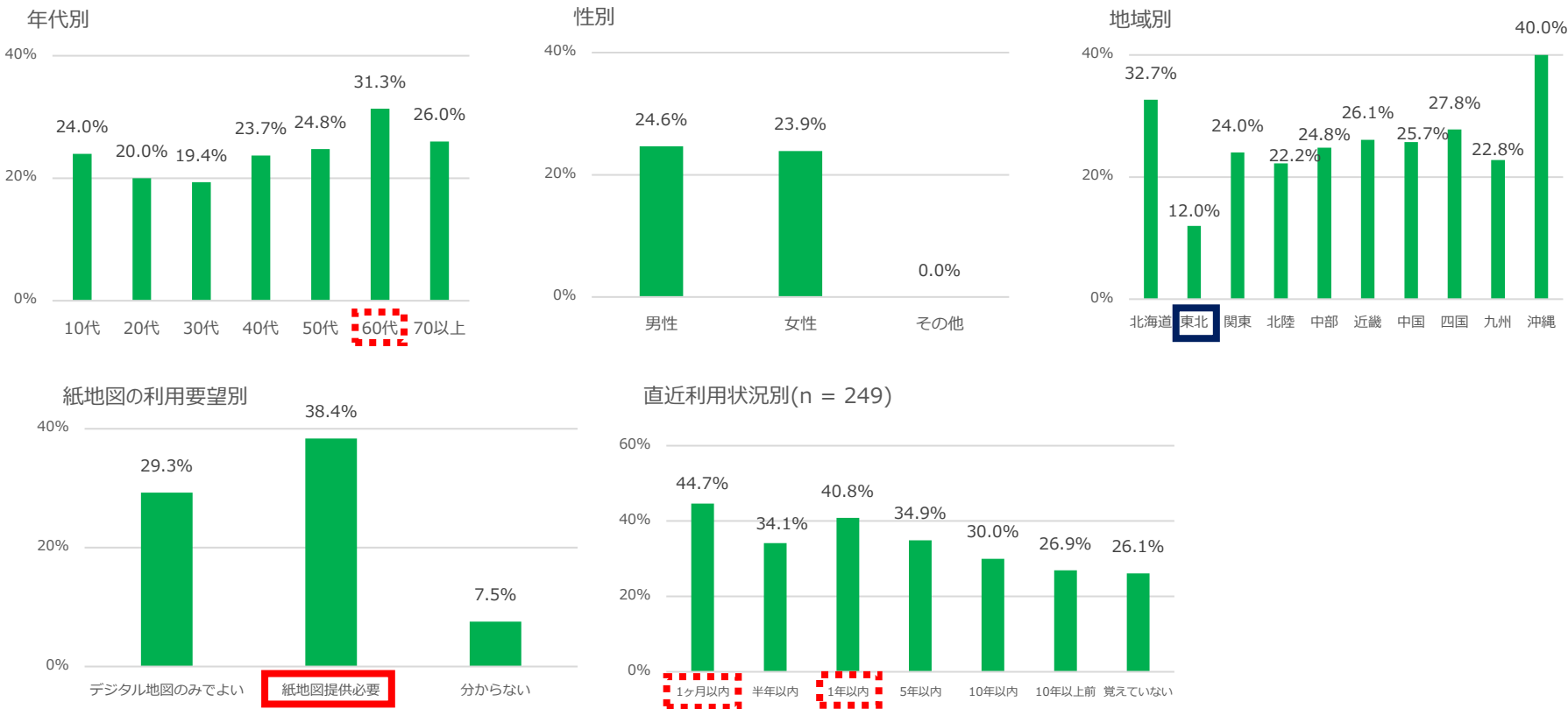


問C5(2) ウェブ地図を利用する利点と感ずる点を教えてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(2) ウェブ地図利用の利点: 情報検索のしやすさ

- 「情報検索のしやすさ」(全体24.1%)は、年代別では60代でやや高い傾向が、地域別では東北で低い傾向がみられる。性別では差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人で高い傾向がみられる。
- 地図利用経験者では35.7%で、時期別では1ヶ月以内、1年以内と回答した人でやや高い傾向がみられる。

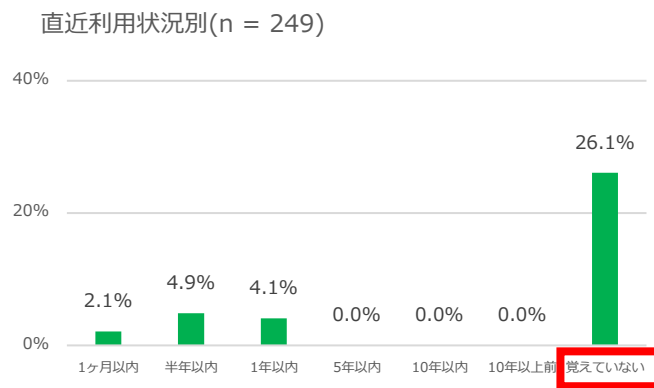
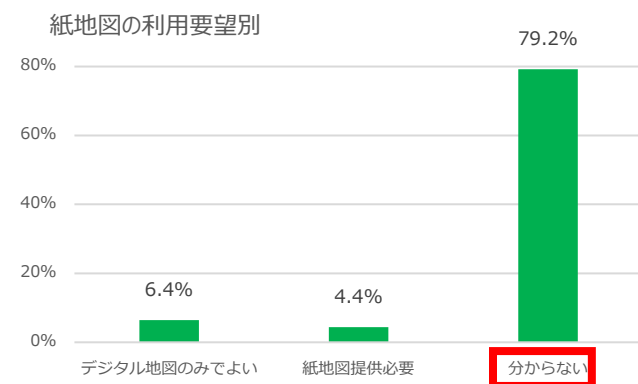
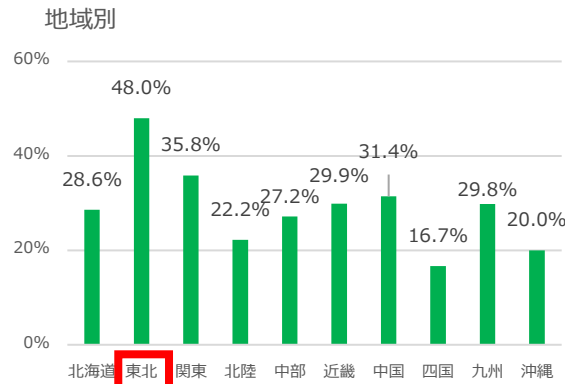
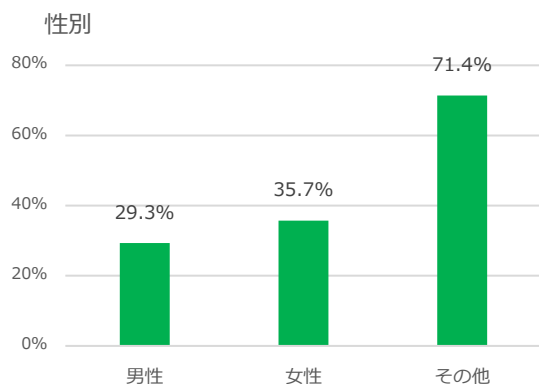
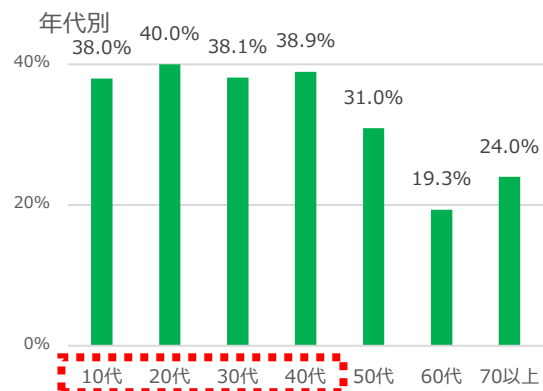


問C5(2) ウェブ地図を利用する利点と感じる点を教えてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(2) ウェブ地図利用の利点: 特にない

- 「特にない」(全体32.8%)との回答に関しては、年代別では10代から40代までがやや高く、地域別では東北で高い傾向がみられる。性別での差はあまりみられない。
- 紙地図の利用要望別では、分からないと回答した人の79.2%が特にないと回答した。
- 地図利用経験者の特に無いとの回答は4.4%で、覚えていないと回答した人で高い傾向がみられる



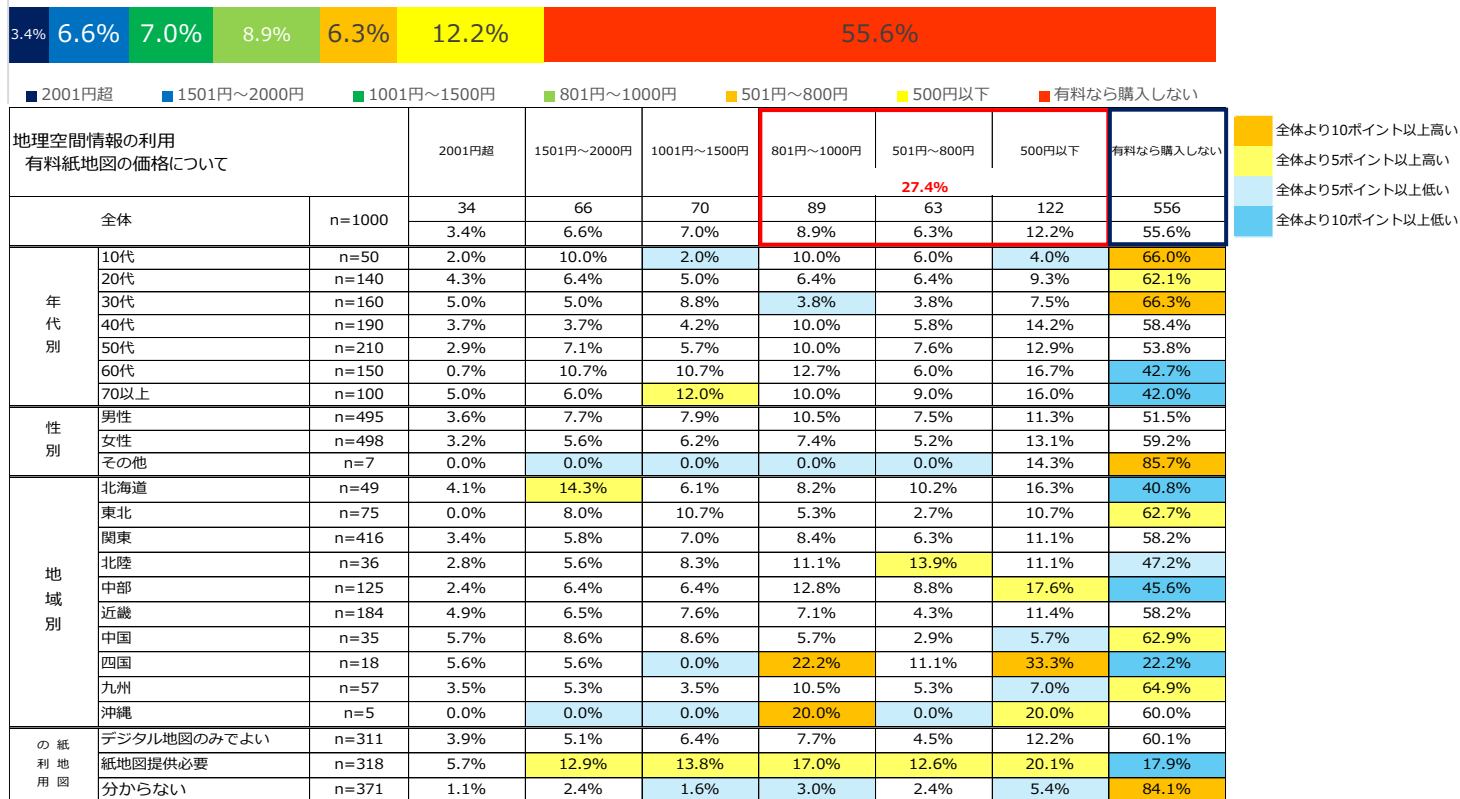
問C5(2) ウェブ地図を利用する利点と感ずる点を教えてください。(複数選択可)

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(3) 有料紙地図について

- 紙地図の価格に関しては、全体では55.6%が「有料なら購入しない」と回答。次いで「500円以下」が12.2%となっている。1000円以下なら購入するとの回答は合計で27.4%で、1001円以上では価格帯の上昇に合わせ回答が減少している。
- 有料なら購入しないとの回答は、年代別では30代、10代で高い傾向が、地域別では、九州、中国、東北でやや高い傾向がみられる。
- 紙地図の利用要望別では、紙地図が必要と回答した人では「有料なら購入しない」との回答は17.9%と低い傾向がみられる。一方で、分からないと回答した人では84.1%とでは高い傾向がみられる。

全体



問C5(3) 紙地図（2万5千分1地形図）の購入にいくらまでなら躊躇なく支払う事ができますか。地図のサイズ460mm × 580mm

C.地理空間情報の利用に関する実態について 5.ウェブ地図と紙地図の利用

(3) 有料紙地図について

- 国土地理院の地図等の利用経験があると回答した249人では、「有償なら購入しない」との回答は21.7%であり、全体の55.6%と比較し低い傾向がみられる。
- 利用時期別では、半年以内と回答した人で「1001円～1500円」と、10年以内及び10年以上前と回答した人で「500円以下」との回答が高い傾向がみられる。

n=249



地理空間情報の利用 有料紙地図の価格について			2001円超	1501円～2000円	1001円～1500円	801円～1000円	501円～800円	500円以下	有料なら購入しない
国土地理院地図等利用経験者		n=249	17 6.8%	31 12.4%	38 15.3%	42 16.9%	25 10.0%	42 16.9%	54 21.7%
直近利用時期別	1ヶ月以内	n=47	10.6%	17.0%	4.3%	14.9%	12.8%	14.9%	25.5%
	半年以内	n=41	9.8%	7.3%	36.6%	14.6%	7.3%	7.3%	17.1%
	1年以内	n=49	4.1%	18.4%	16.3%	16.3%	12.2%	14.3%	18.4%
	5年以内	n=43	4.7%	11.6%	16.3%	18.6%	11.6%	18.6%	18.6%
	10年以内	n=20	10.0%	5.0%	0.0%	15.0%	15.0%	30.0%	25.0%
	10年以上前	n=26	0.0%	11.5%	11.5%	23.1%	3.8%	26.9%	23.1%
	覚えていない	n=23	8.7%	8.7%	13.0%	17.4%	4.3%	17.4%	30.4%

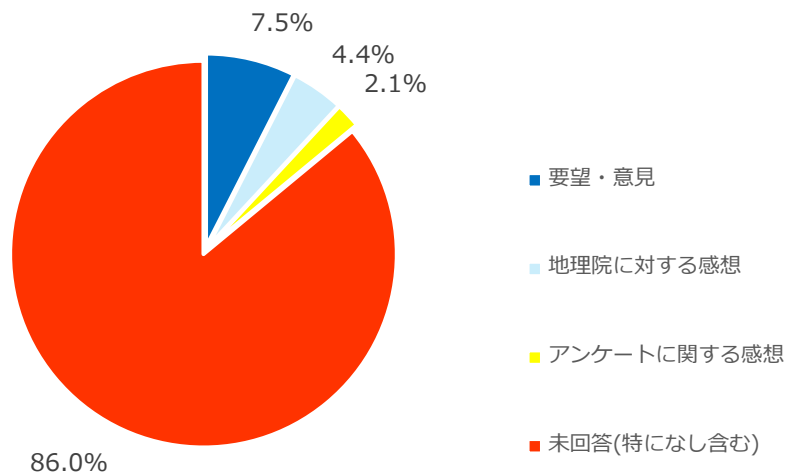
全体より10ポイント以上高い
 全体より5ポイント以上高い
 全体より5ポイント以上低い
 全体より10ポイント以上低い

問C5(3) 紙地図（2万5千分1地形図）の購入にいくらまでなら躊躇なく支払う事ができますか。地図のサイズ460mm × 580mm

D. 国土地理院や地図・測量に関する要望について

- 国土地理院や地図・測量に関する要望につて、自由回答の内容を分類すると、「要望・意見」が75件、「地理院に対する感想」が44件、アンケートに関する感想が21件となっている。
- 未回答若しくは特になしとの回答は860件であった。

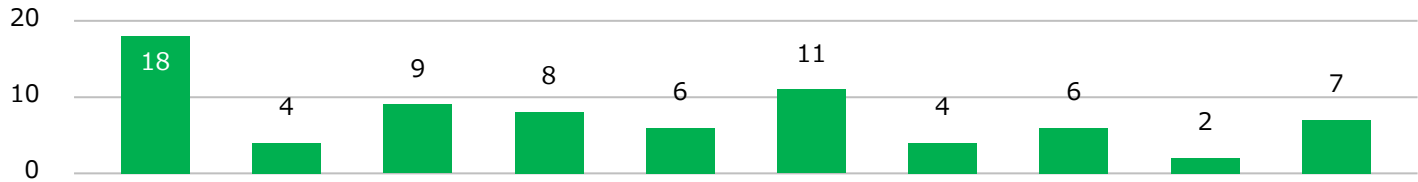
国土地理院や地図・測量全般について、 ご意見・ご要望などがあればお聞かせください。		要望・意見	地理院に対する 感想	アンケートに関する 感想	未回答 (特になし含む)
全体	1,000	75	44	21	860
		7.5%	4.4%	2.1%	86.0%



問D1 国土地理院や地図・測量全般について、ご意見・ご要望などがあればお聞かせください。

D. 国土地理院や地図・測量に関する要望について 意見・要望

- 正確で高精度な最新の地理空間情報の提供を求める意見がみられる。
- 過去との比較や興味のある事項に特化した分野の新しいサービスの提供を求める意見がみられる。
- 紙ベースの地図の利点と提供の継続を要望する意見がみられる。



国土地理院や地図・測量全般について、ご意見・ご要望などがあればお聞かせください。		正確・高精度な地理空間情報の提供について	新しいサービスの提供について	紙ベースの地図の提供について	利用の利便性向上について	わかりやすい地理空間情報の提供について	利用促進・情報発信の取組について	防災・災害対応について	活動の情報管理・安全性について	活動の重要性について	その他
意見・要望	75	18	4	9	8	6	11	4	6	2	7
		24.0%	5.3%	12.0%	10.7%	8.0%	14.7%	5.3%	8.0%	2.7%	9.3%

分類	自由記述（原文のまま抜粋）
正確・高精度な地理空間情報の提供について	<ul style="list-style-type: none"> • 地質調査会社に勤めて居たときに、大変活用させていただきました。マイホーム購入を検討する際も、ハザードマップ等利用させていただきました。今後も精度の高い地図の作成をお願いいたします。 • 現在使用できない道などが記載されているところがある。40年ぐらい前に現地調査をして消去してもらった所もあるがちょっと通れないところもある。調査して消去してほしい。山岳遭難の可能性もある。 • 登山が趣味なので地形図、地図にはいつも世話になってる。最新の情報をお願いしたい。
新しいサービスの提供について	<ul style="list-style-type: none"> • 現在と過去の出来るだけ多くとの比較図、整備前と後での比較などを、簡単に閲覧したいです。 • 地理院地図に遺跡、遺構などの表示があると色々面白いかなと思います。 • ファンタジー地図とか娯楽に特化したら面白い戦国時代風でも。
紙ベースの地図の提供について	<ul style="list-style-type: none"> • 電子端末の方が便利で情報を得やすくなってる一方で、紙媒体の地図は自分が思ってることを新たに書き足せたり、強調できたりする点が便利なので、地理の授業で地図帳を使う時は紙のほうが断然使いやすい。 • 高齢者にとってインターネットの使用はハードルが高い。やはり紙ベースの資料は必要だと思います。 • webの便利さは認めますが、紙の地図の安心感には及ばないと感じます。紙製地図の存在は永遠であってほしいと思います。

問D1 国土地理院や地図・測量全般について、ご意見・ご要望などがあればお聞かせください。

D. 国土地理院や地図・測量に関する要望について

意見・要望

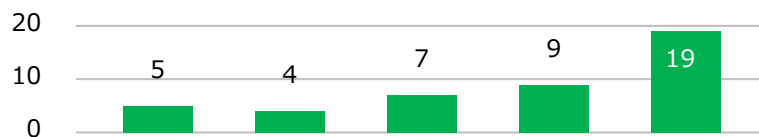
- 子供にもわかりやすい情報を手軽に簡単に提供することを求める意見がみられる。
- 国土地理院の活動が認知されるような方策の実施を求める意見がみられる。
- 個人情報の管理や不正アクセスに対する対策強化を求める意見がみられる。
- 災害等の対応も含めた国民の安全につながる活動への継続した取組を求める意見がみられる。

分類	自由記述（原文のまま抜粋）
利用の利便性向上について	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯で手軽に見られるようにしていただけると幸いです。 • 誰もが簡単に入手できるものにしてほしい。 • データの入手しやすさと使いやすさ。
わかりやすい地理空間情報の提供について	<ul style="list-style-type: none"> • “専門情報を一般向けに読みやすく見せる”UI改良。 • 子供も見やすいように、難しい地名にふりがながあると良いと思う。 • 必要なサービスの提供をわかりやすくお願いします。
利用促進・情報発信の取組について	<ul style="list-style-type: none"> • 国土地理院が関連する事業について広く認知されるような方策が必要だと思います。 • このような、情報発信を定期的実施した方が良い。 • 国土地理院の活動についてあまり知られていないので、もっと広く宣伝するなど行くと良いと思います。
防災・災害対応について	<ul style="list-style-type: none"> • 大変な仕事だと思いますが、災害の頻度がますます高まる日本ではなくてはならないもの！これからも力を尽くしていただきたい。 • 災害時に威力を発揮してほしい。 • 災害に備える研究を今まで以上に。
活動の情報管理・安全性について	<ul style="list-style-type: none"> • 個人情報の管理をしっかりしていただきたいのと外部特に海外からの不正アクセス対策をしっかりして欲しい。 • 航空写真等に個人情報などが入らないのか不安。 • 犯罪に位置情報とかが使われると怖いです。
活動の重要性について	<ul style="list-style-type: none"> • 国民の安全につながれば良いと思う。 • これからも必要不可欠。
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 地図を見るのが大好きなので、よりよい地図をこれからも作ってください。 • 測量技術が進歩してるとはいえ地球環境の変化に必死でくらいついてるように思う、頑張ってください。

問D1 国土地理院や地図・測量全般について、ご意見・ご要望などがあればお聞かせください。

D. 国土地理院や地図・測量に関する要望について 国土地理院に対する感想

- 今回のアンケート新たに国土地理院の活動を認識し、利用してみたいという意見がみられる。
- 活動への信頼と応援の意見がみられる。
- 国土地理院提供のサービスに感謝する意見がみられる。



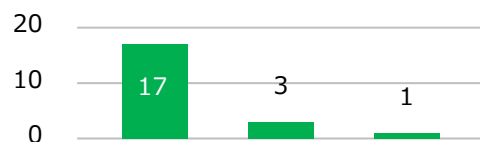
国土地理院や地図・測量全般について、ご意見・ご要望などがあればお聞かせください。		活動の認知	取組への興味	信頼	応援	感謝
国土地理院に対する感想	44	5 11.4%	4 9.1%	7 15.9%	9 20.5%	19 43.2%

分類	自由記述（原文のまま抜粋）
活動の認知	<ul style="list-style-type: none"> • このようなことをしていることは知らなかったので勉強になりました。 • 地図に関することだけのお仕事と思っていたが時代の流れに沿って多岐にわたっていたことが今回のアンケートでわかった。
取組への興味	<ul style="list-style-type: none"> • とても興味深い。 • 頻繁に利用したい。
信頼	<ul style="list-style-type: none"> • とても品質と、信頼性が優れているので良かった。 • 国民の生活の役に立っている。
応援	<ul style="list-style-type: none"> • 国土地理に関する機関は国の最重要課題を担っているので今後を期待したい。 • 地道な作業になりますが、頑張ってください。
感謝	<ul style="list-style-type: none"> • 子供の位置情報など利用しています。おかげで安心して仕事できています。 • 精度の高い地図提供や災害時の対応など生活に役立っており感謝しています。

問D1 国土地理院や地図・測量全般について、ご意見・ご要望などがあればお聞かせください。

D. 国土地理院や地図・測量に関する要望について アンケートに対する感想

- アンケートの説明や質問が難しく、よくわからないとの意見がみられる。
- 本アンケートを通じてこれまで知らなかったり、関心のなかった分野の情報を知る機会となったとの意見がみられる。



国土地理院や地図・測量全般について、ご意見・ご要望などがあればお聞かせください。		説明や質問が難しい	参考になった	その他
アンケートに対する感想	21	17 81.0%	3 14.3%	1 4.8%

分類	自由記述（原文のまま抜粋）
説明や質問が難しい	<ul style="list-style-type: none"> • 難しい言葉が多かった。 • 知らない言葉がいっぱいありました。勉強になります。 • 少し答えづらかった。
参考になった	<ul style="list-style-type: none"> • 日頃は注意を払う事の少ない分野でしたので新鮮。 • 今まで何も知らずに生活していたのが恥ずかしくなりました、勉強になりました。
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 丁寧に回答できました。

問D1 国土地理院や地図・測量全般について、ご意見・ご要望などがあればお聞かせください。

参考資料（アンケート画面）

令和7年度 地理空間情報の利用等に関する実態調査

本調査は、国土交通省国土地理院が実施する「地理空間情報の活用に係る施策」について、皆さまのご意見やご要望を幅広く把握し、今後の施策の評価・検証に役立てるための基礎情報を収集・分析することを目的としています。皆さまから寄せられたご意見を整理・分析することで、皆様のニーズを的確に把握し、より効果的な情報発信のあり方を検討するための参考とさせていただきます。

本調査結果は、統計的に処理し、個人を特定できない形で国土地理院ホームページにて公開予定です。

注) 地理空間情報とは、「位置情報 + その場所に関する多種多様な情報」のことです。この際のも種類多様な情報とは、地形や危険度、空中写真や衛星画像、人口や産業店舗や、起きている出来事（自然災害や天気、人の動きなど）まで全てを指します。

新規回答

回答再開

A. あなた自身についてお伺いします。

(1) 年齢を教えてください。

- 14歳以下
- 15-19
- 20-29
- 30-39
- 40-49
- 50-59
- 60-69
- 70歳以上

(2) 性別を教えてください。

- 男性
- 女性
- その他

(3) お住まいの都道府県を教えてください。

選択/入力してください ▾

(4) ご職業を教えてください。

「その他」選択時には具体的内容を記載ください。

- 学生
- 会社員
- 自営業
- 公務員
- 教職員
- パート・アルバイト
- その他

戻る

一時保存

次へ

B. 国土地理院に関しておうかがいします。

B1. 国土地理院の取組について

国土地理院は、地図・測量の分野からみなさまの安心安全な生活を支える取組として、日本の位置の基準や各種地図などの国土情報基盤を整備・提供している国の機関です。国土地理院では、日本の領土・領海を明示し保全するために不可欠な国土の測量を行うことに加え、様々な技術を用いた測地観測により地殻変動を正確に捉えることで、正確な測位・測量に必要な地殻変動補正情報の品質及び使いやすさの向上、国土全域の3次元データの整備を図り、高精度測位社会の実現を推進しております。

(1) 国土地理院の取組で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

- 位置に関する国家基準の整備と日本全国の座標を精密に測定
- 高品質な地理情報を収集・整備し、広く共有・活用できるように提供
- 災害に備え、災害リスク把握に役立つ地理空間情報を提供
- 災害発生時の、地殻変動観測や地図提供を通じた、状況把握・復旧支援
- 地図・写真や3Dデータ地理情報の提供(研究・ビジネス・行政・生活の場での利用促進)
- 測量法に則った国内の測量体系の管理や国際標準に関する取組
- 先端技術を活かした測量技術・地理情報分野の研究開発と専門人材育成
- 知らない

[戻る](#)[一時保存](#)[次へ](#)

B2. 国土地理院提供の地図情報サービスについて

国土地理院は、正確性・信頼性の高い地理空間情報を整備し、行政・民間を含め多様な機関において活用される社会の基盤（ベース・レジストリ）となる地理空間情報を提供しております。

(1) 国土地理院提供の地図情報で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）
「その他」選択時には具体的内容を記載ください。

- 地理院地図（ウェブ地図）
- 地図の骨格となる基盤地図情報（道路縁や建築物の外周線などの13項目）
- デジタル地図（電子地形図25000、50000といった地図画像のデータ）
- 空中写真（航空写真）
- 紙の地形図・地勢図（1万分1、2万5千分1、5万分1、20万分1）
- 活断層図などの主題図（火山、地震、水害など特定のテーマに特化した地図）
- その他
- 知らない

(2) 前問で回答の地図情報を利用した事がありますか。

- ある
- ない

（3） ご回答の地図情報利用の目的を教えてください。（複数選択可）

「その他」選択時には具体的内容を記載ください。

- 行政や学校等の手続き（図の添付等）
- 業務における報告書（図の添付等）
- 教育教材
- 学術の発表・論文（研究・開発）
- イベントの広報（展示物・パンフレット）
- 個人的な趣味（登山や観光など）
- その他

（4） その地図情報を直近で利用された時期を教えてください。

- 1ヶ月以内
- 半年以内
- 1年以内
- 5年以内
- 10年以内
- 10年以上前
- 覚えていない

戻る

一時保存

次へ

B3. 国土地理院の災害防止・減災・災害対応情報について

国土地理院は「災害対策基本法」に基づく「指定行政機関」として、頻発する災害から国土と国民の生命・財産を守るため、測量・地図分野の技術を活かした地理空間情報を整備提供し、災害対応関連施策を推進しています。

(1) 国土地理院提供の「防災に関連する情報」で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

- 衛星を活用した地殻変動情報(GPS受信基地と衛星信号を活用)
- 道路、建物などを含む我が国の基本的な電子地図 (電子国土基本図)
- 空中写真を補正し地図に重ね合わせた画像
- 高精度高密度な標高データ
- 活断層図や地形分類図などの地形特性情報
- 災害伝承に関する災害履歴情報 (自然災害伝承碑等)
- 知らない

(2) 国土地理院の災害発生時公表情報で、ご存じのものを全てお答えください。(複数選択)

- 衛星を活用した地殻変動情報 (GPS受信基地と衛星信号を活用)
- 緊急撮影による空中写真
- 斜面崩壊地等分布図
- 浸水推定図 (浸水した範囲と深さが分かる図)
- 衛星データを解析した地形変化 (地面の隆起など)
- 高精度標高データを用いた地形解析 (土砂流出など)
- 地盤災害の発生可能性の推計情報 (SGDAS)
- 震源断層モデル
- 地殻変動から推定した変動源モデル (マグマだまりなど)
- 特にない

（3）災害発生時にあなたが情報収集に活用する手段をお答えください。（複数選択可）
「その他」選択時には具体的手段を記載ください。

- テレビ
- ラジオ
- PCやスマホから見るウェブニュース
- PCやスマホから見る公的機関のウェブページ
- SNS
- 新聞
- その他

戻る

一時保存

次へ

B4. 国土地理院の国際活動について

国土地理院では、地図測量分野における様々な国際活動にも取り組んでいます。

（1）国土地理院の国際活動の取組で、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

- 国連「地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会」への参加
- 国連「国連地名専門家会合／国連地名標準化会議」への参加
- 国連「衛星航法システムに関する国際委員会」への参加
- 南極観測
- 開発途上国への技術協力（JICAと連携した研修生の受け入れや専門家としての海外派遣）
- 国際共同観測（GNSSやVLBI等のグローバル測地観測・国際重力測定）
- 二国間科学技術協力
- 知らない

戻る

一時保存

次へ

B5. 国土地理院の提供する教育支援資料について

国土地理院では、測量・地理空間情報分野におけるリテラシー向上のための取組として、防災・地理教育支援に取り組んでいます。

（1）国土地理院の防災・地理教育に役立つコンテンツで、ご存じのものを全てお答えください。（複数選択）

- 地形図/電子国土基本図（紙地図や地形図の画像データ/地理院地図に掲載する標準地図や写真および地名情報）
- 地理院地図（ウェブ地図）
- ハザードマップポータルサイト
- 地理教育の工具箱
- 自然災害伝承碑
- 土地の成り立ちや土地の利用等に関する地形特性情報（活断層図や地形分類図等）
- 基準点（三角点・水準点・電子基準点）
- 外国人にも分かりやすい地図記号
- 浸水ナビ
- 空中写真閲覧サービス
- 知らない

（2）前問記載のコンテンツで、興味がある・活用したいコンテンツがあればお答えください。（複数選択）

- 地形図/電子国土基本図（紙地図や地形図の画像データ/地理院地図に掲載する標準地図や写真および地名情報）
- 地理院地図（ウェブ地図）
- ハザードマップポータルサイト
- 地理教育の道具箱
- 自然災害伝承碑
- 土地の成り立ちや土地の利用等に関する地形特性情報（活断層図や地形分類図等）
- 基準点（三角点・水準点・電子基準点）
- 外国人にも分かりやすい地図記号
- 浸水ナビ
- 空中写真閲覧サービス
- 特にない

戻る

一時保存

次へ

C. あなたの地理空間情報の利用に関してお伺いします。

地理空間情報とは、「位置情報」＋「その場所に関する"地形や危険度"、"空中写真や衛星画像"、"人口や産業店舗"、"起きている出来事（自然災害や天気、人の動きなど）"他すべての情報」の事です。

C1. 位置情報サービスについて

(1) 日常生活で、あなたが目にする位置情報サービスを全てお答えください。(複数選択)

「その他」選択時には具体的サービスを記載ください。

- ナビゲーション・ルート案内(カーナビ・マップ・ナビアプリなど)
- 行政サービス (防災マップ・ハザードマップ表示・避難所案内アプリなど)
- 現在地の気象情報 (お天気アプリ・雨雲レーダーなど)
- 現在地の情報・観光案内(周辺レストラン・観光地検索など)
- ドローン宅配
- 位置情報を活用したエンタメ・ゲーム(位置連動ゲーム・スタンプラリーなど)
- 地理等の教育
- 位置共有・追跡(子供の見守り・荷物追跡・居場所共有アプリなど)
- その他
- 特にない⇒ C2 (1) へ

（2）前問で選択した位置情報サービスの内、最も利用するものを1つ選んでください。

- ナビゲーション・ルート案内 (カーナビ・マップ・ナビアプリなど)
- 行政サービス (防災マップ・ハザードマップ表示・避難所案内アプリなど)
- 現在地の気象情報 (お天気アプリ・雨雲レーダーなど)
- 現在地の情報・観光案内 (周辺レストラン・観光地検索など)
- ドローン宅配
- 位置情報を活用したエンタメ・ゲーム (位置連動ゲーム・スタンプラリーなど)
- 地理等の教育
- 位置共有・追跡 (子供の見守り・荷物追跡・居場所共有アプリなど)
- その他

C2. 3次元地理空間情報について

(1) あなたの日常生活、もしくは近い将来に「役立つ」と思う3次元地理空間情報を全てお答えください。（複数選択）
「その他」選択時には内容を具体的に記載ください。

- 車の自動運転
- ドローン配送
- 土砂災害危険区域や浸水想定区域等の災害リスクの確認、避難行動の検討
- ゲーム空間（都市を再現したもの）
- 都市計画や道路設計
- その他
- 特にない

C3. 測位技術化の高精度化について

（1）測位技術の高精度化で実現する地理空間情報の活用が、どんな未来を実現すると思いますか？
もっとも期待するものを選んでください。「その他」選択時には具体的内容を記載ください。

- 空飛ぶクルマの運行
- 運送業や倉庫業等、物流の自動化
- 農業分野の自動化促進
- 測量・土木・建築分野の自動化
- 新たな産業の創出
- その他
- 特にない

C4. 地理空間情報の利用について

(1) あなたは、どのような目的で地理空間情報を利用しますか。（複数選択可）

「その他」選択時には具体的内容を記載ください。

- 旅行・観光
- 仕事・出張
- 教材
- 趣味
- 研究・技術開発
- その他
- 利用しない⇒ (3) へ

(2) 前問で選択ので、あなたが最も多く利用する目的を教えてください。

- 旅行・観光
- 仕事・出張
- 教材
- 趣味
- 研究・技術開発
- その他

（3）あなたはどのような地理空間情報を利用していますか。（複数選択可）

「その他」選択時には具体的内容を記載ください。

- ウェブ地図（PC使用）
- ウェブ地図（携帯端末使用）
- 紙の地図（購入するもの。地図帳等も含む）
- カーナビ
- 案内標識板
- その他
- 利用しない

（4）あなたは社会の中で地理空間情報が高度に活用されていると感じますか。

（例: スマートフォン等を活用した位置情報サービス、スマート農業におけるロボットトラクターやドローンの活用、自動配送、空飛ぶクルマの運航等）

- 大いに感じる
- そう感じる
- ある程度感じる
- まったく感じない⇒（6）へ
- 分からない⇒（6）へ

(5) それは何年頃からですか。

(例: スマートフォン等を活用した位置情報サービス、スマート農業におけるロボットトラクターやドローンの活用、自動配送、空飛ぶクルマの運航等)

選択/入力してください ▼

(6) 地理空間情報に大事だと思うことをおしえてください。(複数選択可)

- 位置情報の正確性
- 更新時期
- 操作の簡易性 (データ仕様の使いやすさ)
- 豊富な情報量
- 入手の容易さ (インターネットによる入手・費用)
- 内容の信頼性
- 再利用の容易さ (CCライセンスの明示)

(7) 前問(6)で選択した要件の内、最も大事だと思うことを1つ選んでください。

- 位置情報の正確性
- 更新時期
- 操作の簡易性 (データ仕様の使いやすさ)
- 豊富な情報量
- 入手の容易さ (インターネットによる入手・費用)
- 内容の信頼性
- 再利用の容易さ (CCライセンスの明示)

戻る

一時保存

次へ

C5. ウェブ地図と紙地図の利用について

(1) 紙地図の今後の提供の必要性についてのお考えを教えてください。

- PCやスマホで確認できる鮮度の高いデジタル地図提供のみでよい。
- デジタル地図以外に、情報の鮮度が不利であっても紙地図は購入できた方がよい。
- 分からない。

(2) ウェブ地図を利用する利点と感じる点を教えてください。（複数選択可）

「その他」選択時には具体的内容を記載ください。

- 利用・入手の手軽さ（スマホやPCでの利用）
- 位置情報との連動
- 共有のしやすさ
- シームレス（印刷範囲に制限されない）
- 持ち歩きに便利
- 情報検索のしやすさ
- その他
- 特にない

（3）紙地図（2万5千分1地形図/サイズ460mmx580mm）の購入にいくらまでなら躊躇なくお金を払う事ができますか。

- 2001円超
- 1501円～2000円
- 1001円～1500円
- 801円～1000円
- 501円～800円
- 500円以下
- 有料なら購入しない

戻る

一時保存

次へ

D. ご意見・ご要望をお聞かせください。

アンケートにご回答いただき有難う御座いました。

最後に、国土地理院や地図・測量全般について、ご意見・ご要望などがあればお聞かせください。

0/10000

戻る

一時保存

回答内容確認画面へ